

の行動ニ熟達シタ將校團ガ無ケレバ、軍隊ハ必ず攻撃ニ失敗スル。而シテ此レ等ノ條件ハ、復々常備軍ニ於テノミ滿タシ得ル所デアアル。

總テ攻撃ハ其內在的勢力ガ、最初ノ時期カラ絶エズ減退シテ行ク特性ヲ持ツテ居ル。故ニ其成功ヲ期スルニハ、殊ニ稍々遠大ナル目的ヲ立テタル場合ニハ、適切ナル補充機關ヲ必要トスル。豫メ補充員ヲ用意シテ置キ、而カモ其補充員ハ攻撃ノ困難ナ任務ニ堪ヘル者デナクテハナラス。攻者ノ地位ニ立ツニハ此ノ點ダケデモ常備軍ガ必要デアアル。常備軍デナケレバ、補充兵ヲ適切ニ教育シ得ル所ノ設備ト人トヲ得ラレヌ。

愛國心ヤ敵愾心ハ、確カニ戰爭ノ成績ニ甚大ナ影響ヲ及ボスモノデアアルガ、之ヲ以テ常備軍隊ノ平時教育ニ代ヘラレヌコトヲ、思フベキデアアル。之ニ依ツテ初メテ、攻撃ノ實行ニ必要ナ知識ヲ授ケ從ツテ復々精神的勢力ヲ賦與シ得ル。而シテ嚴重ナ而カモ國情ニ適シタ徵兵令ガ主トシテ之ヲ助ケルノデアアル。

人員ノ補充ト共ニ、彈藥及各種ノ戰器器材ノ補給ヲモ必要トスル。此ノ方面ノ優越ハ、軍隊ニ有利ナ前徵ヲ與ヘ、劣等ナ裝備ヲ以テ敵ニ向ハネバナラヌト云フ感ハ、單純ナ兵ノ志氣ヲ阻喪サセル。攻撃軍隊ニ豊富ナル給養ヲ必要トスルハ、言フヲ待タヌ。胃ガ空虚デハ到底十分ナ働ガ出來ルモノデナイ。

動作ノ神速ト不斷ノ繼續トハ、攻撃ノ生命デアアル。目的ヲ達成スル迄ハ、決シテ靜止シテハナラヌ。其中斷ハ如何ニ注意ヲ拂フテモ、必ず志氣ノ弛緩ヲ來スカラデアアル。一度停止シタ攻撃ヲ再興スルコトハ、運動間ニ於テモ困難デアリ、會戰中ニハ殆ンド不可能デアアル。之ヲ再興サセルニハ、休止ニ依ツテ精神ノ弛緩ヲ來シタ以上ノ勢力ヲ、注入スル所ノ新銳ナ兵力ガ其期間ニ到着スルコトヲ必要トスル。故ニ有力ナ増援隊ヲ得ル見込ノ確實ナ場合ノ外ハ、攻撃ヲ任意ニ中止スベキデナイ。攻撃シ難キ陣地ニ對シテハ、徒ラニ好機ヲ待ツヨリモ、寧ロ、敵ヲ迂回シ、脅威スル目的デ、思ヒ切ツテ大膽ナ企圖ヲ敢行スベキデアアル。サモナイト知ラヌ間ニ攻者ハ被攻撃者ノ地位ニ墜チテ了フ。防者ハ敵ガ敢ヘテ攻撃シ得ヌノヲ知レバ、必ず勇氣ガ加ハツテ、自ラ攻勢ニ轉ズルノデアアル。其他尙ホ攻者トシテハ、防者ガ準備シタ場合デ、戰鬪ヲ行ハヌ方ガ利益デアアル。攻者ハ常ニ他ノ場所デ戰鬪スルコトヲ考ヘネバナラス。換言スレバ自己ノ運動性ニ依ツテ防者ヲシテ強イテ運動ヲ起サセル（之ハ全般ノ關係上攻者ノ有利トスル所デアアル）ヤウニ努ムベキデアアル。

迅速ナ攻撃ハ、全般カラ見テ、通常兵力ノ消耗（夫レガ或時期ニ纏マツテ出ルコトハアルガ）ヲ少ナクスル。迅速ノ効ハ殊ニ戰術的攻撃ニ依ツテ、良ク現ハレル。フルードリツヒ大王モ其著「戰爭ノ一般原則」中ニ、「故ニ攻撃ヲ敏速ニ行フニ從ツテ、兵卒ヲ失フコトガ益々少ナイ」ト述ベテアル。之レハ強イテ曲解セヌ限り、今日ノ戰爭ニモ當テ嵌マル。

攻撃力ハ次第ニ減退スル爲ニ、戦闘力ノ經濟的使用ノ必要ヲモ生ズル。故ニ攻撃ニハ同時ニ二ツ以上ノ目標ヲ追ハズニ、他ノ目標ハ暫ラク顧ミスコトニセネバナラス。凡ラユル精神上及物質上ノ力ヲ唯ダーツノ目的達成ノ爲ニ注グガ良イ。而シテ戰術的攻撃ヲ遂行スルニ當ツテハ、選定シテ突破點ニ絶對的優勢ヲ占メルコトニ先ヅ全力ヲ注グベキデアル。此ノ地點ニ於テハ、敵ヲシテ失敗ヲ回復セシメテハナラス。之レガ出來テカラ始メテ、他ノ有利ナ仕事ニ目ヲ注クベキデアル。戰略的攻撃ニ於テハ、其兵團ヲ撃破スレバ他ノ兵團ヲモ屈服セシメ得ルト信ズル所ノ敵ニ向ツテ、斷乎トシテ全力ヲ傾注スルノガ必要デアル。

然シ戰略的攻撃ニ於ケル目標選定ニハ、尙ホ他ノ關係ヲモ考慮セネバナラス。自己ガ策シタ全體ノ戰爭行爲ヲ、一氣ニ爲シ遂ゲルガ良イカ、將タ又之ヲ分割シテ二ツ以上ノ攻撃目標ヲ遂次眼中ニ置キ斯クシテ數次ノ戰略的攻撃(而カモ一般ノ終局目的ノ達成ニ貢獻スベキモノ)ヲ行フノガ良イカ、ト云フ疑問ヲ生ズルデアラウ。個々ノ戰略的攻撃ノ範圍ハ、自己ノ現在ノ力ニ依ツテ周密ニ決定スベキデアル。己ノ力ニ適ハシイ賢明ナ節度ガ、將帥タル者ノ第一ノ徳デアル。千八百十二年役ノ那翁ニハ、之レガ缺ケテ居タ爲ニ、自ラ没落ヲ招イタノデアル。同年ノ八月後半ニ早クモスモレンスクヨリモスコーニ向ツテ前進ヲ續行シタコトハ實ニ大膽極マル冒險デアツタ。此ノ露國遠征ノ最後ノ大切ナ部分ハ、翌年ノ春ノ別ナ征戰ニ依ツテ之ヲ完成スルコトニシ、冬ノ間ヲ利用シテ、其準備ニ着手スベキデ

アツタラウ。那翁ガ全體ノ仕事ヲ一氣ニ完了セント企テタノハ、己レノ能力ヲ過信シ、麾下ノ軍ノ志氣ノ状態ニ就テ、判斷ヲ誤ツタモノデアル。

前ニモ述べタ通り、千九百十四年ニ獨逸ノ統帥部ガ、最初ノ開進カラ一舉ニ佛國ノ征服ヲ遂行セントシタノモ亦、同一ノ過失ヲ犯シタモノデアル。之ニ反シテアレキサンダーガ亞細亞ヲ征スルニ當テハ、全體ニ於テハ、概ネ達成シ得ベキ遠大ノ目的ヲ立テ、アツタニモ拘ハラズ、克ク節度ヲ守リ一節毎ニ其計畫ヲ實行シテ行ツタ。即チ先ヅ小亞細亞ノ海岸及埃及ヲ計畫的ニ侵略シ、然ル後亞細亞ノ内都ニ向ツテ進軍シタ所ハ、流石ニ王ノ武將トシテノ天才ガ、遺憾ナク發露サレテ居ルモノト云フベキデアル。王ガ背後ヲ安全ニシ、麾下ノ軍ヲ増加シ、大ナル水軍ヲモ設ケ然ル後始メテ、東ノ方前人未踏ノ地ヲ指シテ、兵ヲ進メタレバコソ、克ククセノホンノ如キ運命ニ陥ルコトヲ避ケ得タノデアル。ソレデアルカラ、流石ニ猶猶デ用心深イ羅馬人モ、總テノ外國人中デ唯ダ一人王ニ對シテ、其大人物タルヲ認メタノデアル。普佛戰役ニ於テ、獨逸ノ統帥部ガ巴里ノ攻圍中ニ、何ヲ措イテモ先ヅ第一ニ首都ヲ攻略シテ、其成功ヲ完ウセント欲シ、佛國ノ諸州ニ對シテ攻撃ノ手ヲ擴ゲルコトヲ差控ヘタノモ亦、適切ナ節度ニ基クモノト云ヘル。若シ此ノ時ニ、此ノ如ク、良ク周圍ノ狀況ニ適合シタ制限ヲ守ラナカッタナラバ、恐ラクハ兵力ノ分散ヲ來シ、縱令最初ニハ勝利ヲ收メテモ、終ニ敗北ヲ招キ、或ハ主目的ノ達成モ疑ハシクナツタカモ知レス。要スルニ攻撃ハ其目的ヲ絶エズ追フベキデアアル

ガ、徒ラニ到達シ難イ遠キ所ニ之ヲ求メズニ、自己ノ力ノ及ブ程度ノモノニ止メテ置カネバナラス。任意ノ制限ハ敵ヨリ強イラル、退却ヲ豫防シ得ル。

攻者ハ側面及背面ノ警戒ヲ多數ノ兵力ノ分遣ニ依ツテ求メズニ、成ルベク猛烈ニ前方ニ向ツテ攻撃スルコトニ依ツテ、之ヲ期スベキデアアル。總テ副目的ノ爲メニ兵力ヲ割クコトハ、攻者ノ爲メニ不利デアアル。

出征軍ト國內ノ策源地トノ間ノ連絡線ヲ周到ニ處理スルコトハ、勿論必要ノコトデ、之ニ依ツテ策源地ヨリ送ル各種ノ補充ガ、敵前ノ軍ニ澁滯ナク送ラレルノデアアル。那翁ガ之レニ就テ行ツタ所ハ、後世ノ範トスルニ足ルモノデアアル。那翁ハ軍ノ後方ニ適切ナル兵站路ヲ設置スルニ就テ多大ノ思慮ト勢力ヲ費シタ。蓋シ攻撃軍ニハ、不斷ノ勢力注入ヲ必要トスト、認メタカラデアラシク。千八百十二年ノモスコ―遠征ノ際ニモ、此ノ點ヲ閉却シナカツタガ、其大規模ノ準備デサヘモ、至難ノ障礙ニ打ち勝チ得ナカツタノデアアル。

旺盛ナル志氣、確乎タル信念及覺悟ヲ以テ攻撃ヲ行ヒ、尙ホ必要ナ注意ヲモ拂ヘバ、益々早く目的ヲ達成スベキ見込ガアル。果敗ナル攻者ハ氣力ダケデモ、成功ヲ收メル。千八百七年ノヂューノリサボンニ對スル征戰及千八百二十九年ノデイビツチノ巴爾幹通過ノ如キハ、即チ夫レデアアル。(固ヨリ此レ等ノ場合ニ有利ナ局ヲ結ブニハ、己ノ收メ得タ效果ヲ、巧妙ナ政策ニ依ツテ直チニ利用スル必要ガ

アル)。

何等カノ原因デ自ラ敵ニ及バズト感ズル者ハ、攻撃セズニ、防禦スル。防者ハ之ニ依ツテ敵ヲ征服スルコトヲ斷念スルノデハナク、自己ノ存立、自己ノ維持ニ考ヲ向ケルノデアツテ、軍ノ素質ガ劣ルカ、若クハ數上ノ劣勢ノ爲メニ、其目的ヲ低クシテ居ルノデアアル。實際今迄ニモ到底攻撃戰ニ成功スル見込ノ無ササウナ軍ガ、防禦ニ於テ非常ナ働ヲ爲シタ實例ガ、決シテ少ナクナイ。近世ノ戰史ノ中デモ、英杜戰爭ノ如キハ、其適例デアアル。「ブーア」兵ハ長イ間確實ニ英軍ノ攻撃ヲ擊退シタガ、一度モ自分ノ方カラ大規模ノ攻撃ヲ企テナカツタノデアアル。

從來ハ防禦デハ、(殊ニ戰術的防禦ニ於テハ)、軍ノ能力ニ對スル要求ノ程度ガ頗ル低カツタ。兵卒ハ攻撃ノ場合ヨリモ、機械的ニ使用サレ、其占ムベキ場所ヲ指定サレ、其行動ヲ豫メ示サレタ。猛烈ナ射撃ト忍耐トガ、重キヲ爲シタ。斯カル働ハ經驗ノ少ナイ、訓練ノ足ラヌ兵ニモ出來タ。獨斷專行企圖心及慧敏ヲ必要トスルコトモ少ナカツタ。勿論防者ニハ嚴格ナル軍紀ヲ必要トシタガ、然シ之ヲ正シク維持スルニモ、攻者ヨリハ容易デアツタ。是レハ其部下ノ軍隊ヲ良ク手裡ニ掌握シテ居タカラデアアル。

現代ノ戰爭技術ハ此點ニ於テモ、根本的變革ヲ來シタ。攻撃ノ際ト同様ニ、防禦ニ於テモ亦、成功ヲ收ムベキ必要條件ガ、著シク變ツテ來タ。

今日ハ攻撃ハ其本來ノ要件タル迅速ト強行ノミデハ、最早間ニ合ハナクナツテ、兵器及彈藥ノ優越ヲ必要トスル。防者ノ方モ亦、忍耐ト強強ノミデハ十分デ無クナツタ。

從來ノ防禦ハ選定シタ線ヲ、猛烈ナ射撃ニ依ツテ維持スルニアツタ。若シ敵ガ侵入シテ來タ場合ニハ、爲シ得レバ準備シアル豫備ノ逆襲ニ依ツテ、之ヲ驅逐スル。然ルニ今日ノ攻者ハ、其有力ナル砲兵ヲ以テ、先ヅ防禦準備、機關銃ノ巢、掩蔽部、支撐點、砲ノ置場ヲ撃チ破リ、壕ヲ埋メ、阻止射撃(普通ノ砲彈又ハ瓦斯彈)ヲ以テ、増援隊ノ前進ヲ不可能ナラシメ、斯クシテ到底一ツノ生類ヲモ留メマイト思ハル、マデモ、彈痕ノ巢ト變シタル陣地ニ向ツテ、自己ノ歩兵ヲ(爲シ得レバ其前ニ戰車隊ヲ出シ)進メル。之レガ爲メ防者ハ止ムヲ得ズ、固定シタ線ヲ避ケ(斯カル線ハ有利ナ目標トナル)、抵抗ノ強ミヲ、配備ノ深サト移動性トニ求メル。之ニ依ツテ各抵抗群ガ或平面ヲ占有スル如ク、兵力ヲ分配スル。此レ等ノ群ハ其位置固定シテ逐次ニ打チ破ラレルヤウナコトヲセズニ、或所デハ後方ニ避ケ、他ノ所デハ自ら逆襲ニ轉ジ、以テ互ニ相援助スル。斯クシテ、今日ノ「平面的會戰」デ、最初兩軍ガ入り亂レテ戰ツテ居ル時ニハ攻者モ防者モ其行動ニ於テ最早從來ノ如キ大シタ差別ガ無クナル。ソコデ現代ニ於ケル防者ハ、縱令戰略的攻撃運動ニ適セズ、從ツテ大局カラ見テ、防衛ノミヲ行フコトニナツタトシテモ、戰術的ニ攻撃スルコトヲ解シ、尙ホ至高ノ軍人的特性ヲ有スル必要ガアル。獨逸軍デハ世界大戰ニ於テ、「敵ノ一陣地ヲ奪取スルハ比較的容易デアルガ、敵ノ大攻撃ニ對シ、一陣地ヲ

維持スルハ、實ニ至難ナ事デアルト云フ斷案ヲ得タ。

千九百十七年ノフランダールノ會戰ニ、獨逸ノ防禦軍ガ課セテレタ要求ニ就テ、「世界大戰ノ批判」中ニ詳細ニ説明シテアル。今其一節ヲ左ニ紹介シヨウ。

「防者ノ脚下ハ、^{ニッ}滲ミ出ル地下水ト、斷エ間ナキ雨トニ、泥ノ原ト化シ、見渡ス限り唯ダ彈痕ヲ以テ充タサレタ荒涼タル單調ノ光景ハ、恰カモ月世界ヲ想ヒ出サセル。ジミ／＼シタ孔ノ中デフランダールノ灰色ノ空ニ低ク頭ヲ壓シラレ、餓ト寒サトニ苦ミ、全身泥ニ塗^マレテ見ル影モ無イ。孤立ニ陥ツタ部隊ハ重燒麵麩ト罐詰肉デ數日ヲ支ヘルコトモ屢々アル。何レノ掩蔽部ニモ、暖氣ト乾燥トヲ得ラレヌ。何レノ壕モ人間ラシイ歩行ノ出來ル所ハ無イ。泥水ノ彈痕カラ彈痕ニ躍進シタリ、泥土ノ跋躄ニ苦ミナガラ、徒歩傳令、糧食運搬兵、交代兵ナドガ、頻リニ往復シテ居ルガ、單調ナ彈痕ノ野デ、動々モスレバ敵ノ方ニ迷ヒ込ム危險ガアル。此ノ骨マデ凍ラス泥ノ原ノ上ヲ、益々増加スル英軍ノ砲彈ガ、晝夜ヲ別タズニ縱横ニ飛ブ、時々射撃ガ衰ヘルカト思フト、忽チ百雷ノ一時ニ落ツルガ如キ猛火ヲ浴セカケル灰褐色彈痕ノ濕地ニ、彈丸ノ破裂スル閃光ヲ認メタト思フト、忽チ彈丸ノ破片ト泥土トガ飛散シ、ヤガテ濕ツタ空氣ヲ通ホシテ、激シキ音響ガ轟キ渡リ、毒瓦斯ノ毒々シイ綠色ノ煙ガ、怪獸ノ如ク荒野ヲ匍フ。

斯カル地獄ノ中ニ、我ガ獨逸ノ歩兵ハ、一週間モ一月モ、戰ツタノデアアル、泥土ハ死者ヤ重傷者ノ

慘憺タル體ヲ沈メ、地獄ノ慘事ヲ其面貌ニ彷彿サセナガラ、冷タイ墓ニ引キ入ラレル。込ミ上ゲル咳ニ疲レ果テ、焼テ付クヤウナ眼ノ痛ミニ涙ヲ頻リニ出ス瓦斯患者ガ、失明シテ後送サレル輕症者ハ名狀シ難キ疼痛ト、疲勞嫌忌ニ惱ミナガラ、泥ノ原ヲ通ホツテ綱帶所ニ辿リ行ク、其内ニ泥ニ塗レタ人間ガ地上ニ現ハレル。夫レガ味方カ、英兵カ、鋼製甲ノ形狀ハ餘程近ヅカネバ分ラズ、濕氣ノ多イ空氣ガ瓦斯防面ノ硝子ヲ曇ラセテ、視力ヲ鈍ラス。粘土ハ敵味方ヲ一色ニ塗り上ゲテ識別ニ苦マサレル。

ヤガテ今迄汚レヌヤウニ注意ヲ加ヘテ、隠シテアツタ機關銃ヲ、急イデ彈痕ノ上縁ニ引キ上ゲテ、猛射ヲ攻者ニ浴セル。敵ハ泥土ノ上ニ斃レル。死者モアレバ、身ヲモガク傷者モ見エル。(中略隣ノ隊モ其邊ノ彈痕ノ中ニ居ル。之ニ通ズル安全ナ通路ガ無イ。夜間ニ至ツテ始メテ其邊ニ散在スル彈痕ノ中ノ兵ガ、味方カ英兵カ若シクハ激戰ノ後互ニニラミ合ツテ居ルカラ、注意シテ窺ヒナガラ、隣ノ隊ノ所ニ行ク。斯クシテ我が歩兵ハ個々ノ分隊又ハ分隊一部毎ニ分散シテ抵抗シ、各々全ク孤獨ノ感ヲ以テ此ノ神經ヲ打ち破ル所ノ痛苦ヲ堪ヘタ。實ニ至上ノ軍紀ト云フベキデアアル。』

前述ノ如ク、最近ハ攻撃及防禦ノ實施法ガ、大ニ趣ヲ異ニシテ來タノデアアルガ、然シ攻者ノ方ハ迅速ナ大ナル衝擊ヲ以テ、自己ノ目的ヲ達成セント欲スルニ反シ、防者ノ方ハ、抵抗ノ時間ヲ延バシ時々抵抗ヲ新タニ再興スルコトニ依ツテ好機ヲ待ツト云フコトハ、右ノ變化ニ關係ナク、之ヲ是認

セネバナラス。

何レノ防禦ニモ此ノ點ヲ顧慮スベキデアアル。世界大戰ニ於テハ此ノ要求ニ應ズル爲メ、前後ニ重疊セル數線ノ陣地ヲ設ケタ。而シテ獨逸側デハ、ソナム會戰ノ經驗ニ基キ、設堡線ノ代リニ設堡地帯ヲ採用シタ。ソコデ互ニ網ノ目形ニ連ネラレタ此ノ種ノ地帯ノ數線ガ北部佛蘭西及白耳義ノ全體ヲ橫斷シテ、マースニ至ルマデ設ケラレタ。東方戰線モ亦之ニ似タモノトナツタ。而カモ廣漠タル戰場ガ千八百十二年ノ場合ト同様ニ、露軍ニ利益ヲ與ヘタ。露軍ハ一ツノ陣地系列ヨリ擊退サレテモ、左程苦痛ヲ感ゼズニ、後退シテ次ノ抵抗ヲ試ミタ。獨逸軍ガアレホド前進シテモ、露國全體ニ比スレバ云フニ足ラスホドノ地域ヲ占領シ得ルニ過ギナカツタ。

防者ハ攻者ホドノ嚴重ナル徵兵令(國防令)及平時教育ヲ要シナイトハ云ヘ、益々増加スル需要ヲ充タス爲メニ、絶エズ之ヲ補給スル爲メノ富力(國家的信用)ガ必要デアアル。而シテ適當ノ時期ニ自ラ總テヲ調ヘ得ル國ハ無イカラ、防禦ニ於テ勝利ヲ占メント欲スル國ハ、好意ヲ有スル國ト國境ヲ接シアルカ、若シクハ制海權ヲ持タネバナラス。然ラザレバ高々自國ノ工業ガ國軍ノ需要ヲ充タシ得ル期間ダケ、敵ニ抵抗シ得ルニ過ギヌ。其場合ニ近代ノ裝備ガ異常ニ複雑多樣ニシテ、且ツ益々其度ヲ遞加シツ、アル點ガ、一層ノ困難ヲ與ヘル。而シテ之ニ絶對ニ必要トスル所ノ原料品ヲ、全然自給シ得ル國ハ殆ンド無イト云フテ良イ。

又戰爭ノ長引クニ從ツテ、資金ノ缺乏ヲ來スコトモ考慮セネバナラス。

世界大戰中協商國ガ、獨逸ノ地理的政治的地位ヲ利用シ、外國トノ連絡ヲ斷ツタコトガ、獨逸ニ特別ノ苦痛ヲ與ヘ、夫レガ終局ノ屈服ノ主要原因トナツタノデアル。此ノ重大ナル價值ヲ、英國側デハ早クカラ認メ、開戦ト同時ニ獨逸ヲ國際貿易關係ヨリ遮斷スベキ處置ヲ取ルコトヲ、豫メ準備シテアツタ。其結果開戦ノ當初ヨリ、多數ノ國、就中米國ノ工業ガ、協商國側ノ爲ニ働イタノニ反シ獨逸デハ自給自足ノ地位ニ置カレタノミナラズ、世界ノ交通カラ遮斷サレ、而カモ工業力ノ劣ツタ同盟諸國ノ爲メニ、兵器彈藥等ヲ供給セネバナラヌ事ニナツタ。

又大戰中ノ露國ハ、交戦國ガ世界ノ産業ト關係ヲ繼續スルコトガ、如何ニ多大ノ利益ヲ有スルカノ絶好ノ實例デアアル。露國ハ自ラ調ヘルコトノ出來ヌ軍需品ヲ、總テ佛、英、米ノ諸國カラ輸入シ得ベキダーダネル海峡ガ土耳其古ノ參戰ニ依ツテ閉鎖サレタ爲メニ、一億五千萬ノ人口ヲ基トスル兵員ヲ悉ク使用スルコトガ出來ナクナツタ。然シ輸送力ノ劣ツタ鐵道ニ依ツテ、西比利亞ヲ通過シ、又アルハシゲルスクヲ經テ、軍需品ヲ輸入シ、以テ非常ナ物質上ノ損害ニモ拘ハラズ、何回モ新軍ヲ編成スルコトガ出來タノデアアル。

攻者ハ自己ノ要塞ヲ、單ニ後方連絡線ノ支撐點トシテ利用シ得ルニ過ギヌガ、防者ノ方ハ、大戰ノ初期ニ於ケルデヨツフル將軍ノ實例ノ示スガ如ク、大ニ之ヲ利用スルコトガ出來ル。即チ自己ノ翼ヲ之ニ托シ得、一般ニ野戰軍ト共力シテ敵ヲ破ル如ク之ヲ利用スルカ、若シクハ敵ガ野戰軍ニ向ツテ來ル前ニ、其兵力ヲ殺ガネバナラヌ如ク、之ヲ利用スル。

前ニモ述べタ通り、防者モ亦、攻者ノ如ク運動ヲ求ムベキデアアル。防者ガ戰鬪ヲ準備セル所デ、敵ノ攻撃ヲ受ケルコトハ、全ク特殊ノ地理上及風土上ノ關係ガ無クバ、之ヲ望マレヌ。故ニ防者ハ其兵力ヲ敏速ニ一地ヨリ一地ヘ移スコトヲ、常ニ考ヘテ置カネバナラス。之レガ爲メニハ、僅カニ一條ノ退路ニ拘束サレルコトナク、多クノ退路ヲ持ツテ居テ、容易ニ夫レヲ利用シ得ルコトガ必要デアアル。防者ハ多ク自國內ニ居リ、且ツ中部及西部歐羅巴ニハ、比較的濃密ナ鐵道網ガ在ルカラ、此ノ事ハ別ニ困難デハアルマイ。

又戰鬪ハ唯一ヶ所ニ於テノミ準備スベキモノデハ無イカラ、若シ防者ガ、戰ノ行ハレサウナ場所デハ、何時デモ速カニ防衛ノ出來ルヤウニシテ居レバ有利デアアル。夫レ故、佛國ハア、ロ二州ノ國境ニ個々ノ大要塞ヲ設クルヲ以テ満足セズニ、自國ノ東北部全體ヲ良ク準備サレターツノ戰場ニ改造シテ了ツタノデアアル。此ノ戰場ニ於テハ現存ノ堡壘ノ間ニ晝夜兼行デ野戰築城ガ設ケラレタ。尙ホ其上ニ白耳義ト同盟シ、同國ヲ督勵シテ軍備ノ改善ト要塞ノ完備トヲ實行セシメタ結果、右ノ戰場ヲ和蘭國境マデ都合良ク延長シ得、之ニ依ツテ獨逸軍ヲシテ佛軍ノ北翼ノ包圍ヲ、不可能ナラシメンコトヲ期シタ。

攻者ハ其運動中、攻撃點選定ノ自由ヲ有スル故、防者ハ常ニ決勝點ニ攻者ヨリモ後レテ到着スル危険ガアル。此ノ如キ場合ニハ、防者ハ敵ノ運動ヲ阻止スル必要ヲ感ズル。敵ガ企圖實行ノ最中ニ、逆襲シテ之ヲ撃チ、右ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ル。然シ此ノ如キ企圖ハ困難ナモノデ、敵情ヲ正確ニ知ルヲ要シ、且ツ沈着シテ果敢ナル指揮ヲ必要トスル。但シ最初ノ成功ノ爲メニ、餘リ深入リセヌヤウニ注意スベキデアアル。逆襲ハ自然ニ敵ノ不意ニ出ヅルモノデアアルカラ、多クハ有利ナ經過ヲ以テ開始サレルガ、然シ敵ガ狼狽セヌ以上ハ、我が意圖ヲ看破シ、其計畫ヲ變更シテ、兵力ヲ招致シ、直チニ決戦ニ移ルデアラウ。故ニ過度ニ遠ク行フ逆襲ハ、動々モスレバ攻者ガ希望シ、防者ガ(其場所デハ)望マナカツタ決戦ヲ、招來スルニ至ル。夫レデハ防者ノ方ガ不利トナル。

敵ヲ脅威スル側面陣地ヲ以テ、攻者ノ運動力ヲ鈍ブラス試ミノ方ガ、危険ガ少ナイデアラウ。防者ハ自己ガ決戦ヲ求ムル方へ、主力ヲ以テ後退スル間ニ、場合ニ依ツテハ此ノ種ノ陣地ニ一部ノ兵力ヲ出シ、其後眞面目ノ攻撃ヲ受クルニ先チ、之ヲシテ陣地ヲ棄テ、續行セシメレバ、危険ニ陥ラズニ済ムデアラウ。

之ニ依ツテ防者ハ、決シテ受動的防衛ノミヲ事トセズシテ、自己モ亦運動及戰鬥ニ對スル努力ヲ拂フベキモノデアアルト云フコトガ分ルデアラウ。夫ニハ、單ニ交戰部隊ノ移動ノミヲ云フノデハ無ク、今日ノ防禦戰ニ必要トスル所ノ莫大ナル彈藥及建築材料ノ事ヲモ含ムノデアアル。

以上ヲ以テ攻撃及防禦ノ本質及經過ノ梗概ノ説明ヲ了ツタガ、尙ホ兩者ノ併用ニ就テ少シク觀察ヲ試ミタイ。

防禦ガ本來作戰上有利ナ方法デアルト云フ考カラ出發シテ、兵學家ノ中ニハ、間々戰略的攻撃ト局部的防衛トヲ結合スルノ利益ヲ主張スル者ガアツタ。然シ此ノ如キ技工的ノ處置ハ實戰ニ應用ノ出來ルモノデナイ。否ナ戰略的攻撃ハ必然的ニ戰術的攻撃ヲ伴生スルモノデアリ、戰術的攻撃ヲ俟ツテ、戰略的攻撃ガ促進サレル。戰略的攻撃ガ種ヲ播キ、戰術的攻撃ガ收穫ヲスルノデアアル。戰略的ニ追ヒ詰メラレタ劣勢ナ敵モ自ら敗北ヲ承認スル前ニ、戰場ニ於テ勝敗ヲ爭フデアラウ。其ノ場合ニ若シ攻者ガ此ノ最後ノ時機ニ、防禦ノ利益ヲ利用セント欲シテ、差控ヘテ居タナラバ、多クハ終ニ決戦ヲ避クルト同様ノ結果ニ陥ルデアラウ。

戰略的防禦及戰術的防禦トノ關係モ、之ト似テ居ル。運動ノ際ニ防衛ノ地位ニ立ツタ者ハ、多クノ場合ニハ戰場ニ於テモ亦防禦的ニ動作スルデアラウ。攻者ハ防者ヲ壓迫シ、策動ノ進展ト共ニ戰鬥ニ移ル。防者ハ鐵砧ノ境涯ヲ脱シテ、自ら鐵錘ヲ振フ爲ニ、軛ヲ振ヒ落スベキ時機ヲ見出スコトガ、非常ニ困難ナモノデアアル。一方ノ軍ガ自ら制御サレテ居ルト感じタ場合ノ心理ハ、即チ夫レデアツテ、力ノ優ツタ場合ニモ、往々防禦ヲ續ケ、且ツ之ヲ十分ニ遂行シ得ルコトヲ以テ満足スルデアラウ。

防禦カラ決然トシテ攻撃ニ轉スルノ能力ヲ有スル者ハ、一般的ニ防禦ノ位置ニ壓迫サレズニ、最初

カラ攻者トナルデアラウ。若シ成功セル防禦ノ後周密ノ研究ト準備トニ成レル計畫ニ從ツテ逆襲ヲ行フトキハ、戰場ニ於テ攻守ノ地位ヲ轉換スルコトハ、勿論容易トナル。此ノ場合ニハ防禦カラ攻勢ニ移ルコトガ出來ルデアラウシ、又實際ニモ往々之レガ實行サレタ。然シ夫レハ依然トシテ困難ナ企圖デ、通常ハ有力ナ増援隊ガ、我が戰線若シクハ敵ノ側面ニ到着セル場合ニ於テノミ、成功シタノデア
ル。

戰略的防禦カラ攻撃ニ轉換スル前ニハ、元ノ攻者ノ勢力ガ衰ヘテ、前進ヲ繼續セヌ爲ニ生ズル所ノ靜止ノ時機ガ現ハレルデアラウ。防者ハ此ノ事態ヲ直チニ察知シ得テ、漸次被支配者タルノ感ヲ失フデアラウ。之レト共ニ自信力ガ生シテ來テ、自己ノ力ヲ強メル。斯クシテ徐々ニ轉換ガ準備サレ、其間多クノ時日ガ經過スルノデアルガ、遠ク離レタ傍察者ニハ、如何ニモ夫レガ突然ニ現ハレル如ク感ズル。那翁ノ大軍ハ千八百十二年露國ニ於テ其進軍中ニ衰退シタノデアルガ、其殘兵ガ退却ヲ始メ露軍ガ追撃ニ移ツテカラ、始メテ夫レガ暴露シタノデアル。

第八節 軍ノ離合及運動

「何レノ場合ニモ大兵團ヲ密ニ集團セシムルコトハ、本來カラ云ヘバ不利デアル。唯ダ直チニ會戰ニ移ル場合ニ限り、之レヲ實行スルモ差支ナイ。敵前デ夫レヲ分離セシムルノハ危險デアリ、又長ク集

團シテ居ルコトモ不可能デアル」。

「大兵團ヲ分トレンスン離分進状態ニ置キ、而カモ適當ノ時機ニ集フニルアイハクン結合一スル可能性ヲ保有スルコトガ統帥上ノ至難ナル要訣デアル」。

「夫レニ就テハ一般的規則ガアル譯デハナイ。問題ハ其場合々々ニ依ツテ違ツテ來ル」。

余ハ此ノ基本原則ヲ本節ノ冒頭ニ置キ、敢テ之レヲ布行スルコトヲセヌ。是レハ蓋シ實戰ノ經驗カラ割リ出サレベキモノデアル。大部隊ノ濃密ナル集合ガ厄介ナモノデアルト云フコトヲ拒メバ、軍ノ離合ニ就テ述ベル多クノ事柄ハ、其意義ヲ失フコトニナル。然シ實戰ノ經驗アル者ハ、大兵團ガ互ニ壓シ合フ場合ニハ、壓迫サレタヤウナ不快ヲ感ジ、各隊ハ皆束縛ヲ解カレテ自由ニ活動センコトヲ渴望スル事實ヲ承知シテ居ルデアラウ。分散セル隊ヨリモ、集合セル隊ニ早ク擴ガル傳染病ノ如キ特殊ノモノハ除外シテ、唯ダ普通ノ害ダケデモ、宿營地域ノ不足、野外ノ宿營、土地ノ物資ノ迅速ナル消滅、水ノ缺乏、輸送ノ杜絶、雜踏セル道路ニ於ケル傷病兵還送ノ困難、雨雪天ノ際ノ道路ノ不良等ノ如キハ僅カニ其一部ノ例ニ過ギナイ。尙ホ各所ニ往復スル行軍縱隊等ノ混雜ヤ、蝗ノ大群ノ如ク幾十萬ノ兵ガ通過シタ地方ノ荒涼セル光景ヲモ想フベキデアル。塵、煙、物ノ燒ケル惡臭ガ、四邊ニ溢ル。先頭部隊ハ尙ホ忍ブコトガ出來ルガ、後方カラ二日、三日、四日ト續イテ前進スル部隊ニ至ツテハ、實ニ慘憺タル光景ニ接シネバナラス。此ノ點ノミデモ集結ガ非常ノ場合ニノミ用フベキモノト斷定シ得

ルデアラウ。

「各軍ハ何ヲ措イテモ先ヅ生キンコトヲ欲シ、食ヲ取り、水ヲ飲ミ、且ツ運動シ得ルコトガ、是非其必要デアアル。之レハ唯ダ分離ノ状態ニノミ實行シ得ル所デアアル。廣イ地域内ニハ、多クノ村落等ガ在リ、多クノ物質モアリ、又多クノ道路及鐵道ガ通ズル。故ニ爲シ得ル限リ長ク軍ヲ分離ノ状態ニ置クベキデアアル。然シ敵ノ近傍ニ於テハ、統一的ニ使用シ得ル程度ニ兵力ヲ纏メ置ク必要ガアル。

不便ヲ伴フ所ノ集結ハ、先ニ行軍ノ説明ノ所デ、師團ニ先ヅ忍ビ得ル程度ノ宿營ニ必要トシテ示シタ所ノ地域ヲ、與ヘ得ナクナツタ時期カラ始マルモノト見ルベキデアアル。

各兵團ヲ纏メルコトハ、時機ヲ早マツテモナラズ、又時機ヲ逸シテモナラズ。此ノ問題ノ解決ハ時間、地域、行軍長經、及行軍力ヨリ割リ出スベキデアアル。之レハ單純ナ問題ノ如ク見エルガ、精神的價值、(決心ノ遲速、自信ノ確否等)ガ之ニ加ハツテ來ルカラ、其解決ハ然カク容易ノモノデハナイ。

敵ト衝突ヲ豫期スベキ時ハ、縱隊ノ數ヲ増シテ行軍長徑ヲ短縮スルヲ有利トスル場合ガ、屢々アルデアラウ。一日ノ内ニ其先頭ニ向ツテ展開シ得ル以上ノ兵力ガ、一條ノ道路上ニアル場合ニハ、殊ニ此ノ方法ヲ必要トスル。尙ホ爲シ得レバ、更ニ此ノ方法ヲ進メテ、師團ヲ二ツ以上ノ道路ニ分割スル。一師團ノ行軍長徑ハ警戒配備ヨリ生ズル距離ヲモ合算スレバ、車輛部隊、荷物及糧食行李ヲ除外シテモ、二十三軒ニ達シ、開進ノ爲ニハ、先頭ガ停止アル場合デモ五乃至六時間ヲ要スル。若シ先頭ガ

何等カノ理由デ開進中ニモ前進スル場合ニハ、開進時間ガ増シ、且ツ後方部隊ノ努力ガ動々モスレバ適度ヲ越エルコトニナル。尙ホ開進ノ必要ガ判明スル前ニ、既ニ相當ノ距離ヲ行軍セル場合モ往々アル。

例ヘバ十五軒ヲ行軍シタ後ノ開進ニハ、後尾大隊ハ戰場ニ到着スル迄ニ、總計四十軒ヲ前進セネバナラス。故ニ朝二十軒ヲ隔テ、且ツ吾ニ向ツテ前進シ來ラザル敵ニ對シテハ、其日ノ内ニ歩兵ノ全部ヲ以テ之ヲ攻撃シ得ヌコトニナル。然シ最初ヨリ數個ノ小縱隊ヲ以テ前進スルカ若クハ、戰鬪展開ヲ爲セル師團ヲ以テ運動ヲ起セバ、恐ラクテ之ヲ實現シ得ルデアラウ。

反對ニ、右ノ關係カラ、未ダ開進セヌ敵ニ對シテハ、其間ニ約三十軒ノ距離ガアレバ、之ヲ避ケ得ルコトニナル。ソコデ若シ敵ノ先頭ガ終夜十五軒ノ距離ニ停止スルナラバ、其ノ日ノ内ニ眞面目ノ歩兵戰鬪 避ケル爲ニハ、夜ノ明ケル迄ニ約十五軒ダケ退却スレバ良イ。斯クスレバ敵ノ師團ノ先頭部隊ハ三十軒、最後ノ部隊ハ少ナクトモ五十軒ヲ前進セネバ、我が後退位置ニ到着シ得ヌコトニナル。斯カル距離ヲ前進セル敵兵ハ、精力ヲ消耗シテ居ルカラ最早恐ル、ニ足ラヌ。尙ホ其次ノ日ニモ、之ヲ續行スルコトガ出來、敵ガ夜ノ中ニ出發シ、二倍ノ努力ヲ爲サヌ以上ハ、此ノ關係ヲ破ルコトガ出來ヌ。冬季ニ道路ガ不良デ、雪ガ深ク、日ガ早ク暮レル場合ニハ、敵ノ歩兵攻撃ヲ不可能ナラシムル爲メノ距離ハ、一層短クテ濟ムコトニナル。

然シ右ノ例ニ於テハ、朝居ル場所カラ、容易ニ後方ニ向ツテ運動ヲ起シ得ルコトガ必要デアル。即チ數條ノ道路ヲ利用シ得ルカ、若シクハ廣ク分進セル部隊ヲ以テ位置シ、且ツ其儘テ出發セネバナラス。若シ一師團ガ開進シテ居ツテ、夫レヨリ一條ノ道路ニ依ツテ退却ニ就ク場合ニハ、開進ノ時ト同ジク五時間乃至六時間ヲ要スル。敵ガ一日行程ヲ隔テ、居リ同時刻ニ出發シタナラバ、其先頭ハ、我が最後ノ部隊ガ、舊位置ヲ去ラントスル時ニ到着スル。其時ニハ到底戰鬥ヲ避ケル譯ニ行カヌ。若シ此ノ時尙ホ行李及輸送縱列ガ、師團ノ後方ニ居ツタナラバ、其出發ハ更ニ二、三時間モ遅レ、必ず眞面目ノ戰鬥ヲ起ス。ソコデ數縱隊ニ分ツテ、原野ヲ橫斷シテ出發スルノ外ハ無イ。然シ前ニモ述ベタ如ク、此ノ處置ニハ困難ガ伴ヒ、且ツ何レノ地形デモ實行シ得ル譯ニユカヌ。

先ニモ述ベタ如ク總テ此レ等ノ處置ハ、數學的ニ正確ニ計算スベキデ無イノハ、無論デアル。師團ガ完全ナ人員ヲ有スルコトハ稀デアラウ。而シテ此ノ如キ機會ニ嚴重ニ一條ノ道路ノミヲ進ムベキコトハ、例外ノ場合デアラウ(長イ隘路、堤防、等ヲ想像セネバナラス)。然シ此ノ例ニ依ツテ、前後及後方ヘノ運動ヲ判斷スルニ就テノ着眼點ヲ、知ルニ便利ナノデアル。之ニ依ツテ師團ハ將棋盤ノ上ノ棋子ノ如ク動カスベキモノデ無ク、之ヲ一地ヨリ一地ニ移スニハ、其各部ニ就テ直接ニ測ツタ時間及地域ノ外ニ、戰鬥前ノ開進ニ要スル時間、若シクハ開進シアル場所カラ行軍縱隊ニ移ル時間ヲモ、顧慮スベキコトヲ知ルコトガ出來ル。又敵味方ノ大ナル兵團ガ、互ニ近接スレバ、其間ニ鐵ト磁石トノ

如キ牽引力ガ自ラ起ルコトモ事實デアル。一ツノ師團ガ一日行程若シクハ夫レ以上ノ距離ニアル敵ノ師團ノ退避ヲ妨害シ得、從ツテ後者ハ防衛手段ヲ取ラネバナラスカラ、此ノ如キ距離ニ接近シタ大部隊ハ、通常戰鬥ヲ交ヘズシテ離脱スルコトガ出來ス。而シテ今日ニ於テハ假令歩兵ガ決勝的攻撃ニ參加シ得ズトモ、飛行機、砲兵、騎兵、自轉車兵、裝甲自動車及機關銃隊ヲ以テ敵ヲ攻撃シ得ル場合ガ益々多クナルデアラウ。故ニ最初ヨリ戰鬥ヲ頭ニ於テカ、ルベキデアル。唯ダ兩軍ガ尙ホ其全行軍長徑ヲ行軍路ニ沿フテ宿營シテ居リ、爲メニ翌朝退却スル方ノ各部隊ガ一齊ニ出發シ得、追撃スル方ハ攻撃ニ先チ、兵力ヲ開進スル必要ガアル場合ニハ歩兵戰鬥ヲ避ケ得ルデアラウ。

縦カラヨリモ横カラノ方ガ、早ク戰場ノ協力ニ加ハラシメ得ル。今同一ノ道路上ヲ二ツノ師團ガ前後ニ重ナツテ前進スルモノト假定スレバ(大軍デ而カモ道路網ノ十分デ無イ場合ニハ之ヲ避ケラレヌコトガアル)、後方師團ノ最後尾ノ部隊ハ、前方師團ノ先頭ニ起ツタ戰鬥ニ參加スル迄ニハ、五十糎ヲ前進セネバナラス。而シテ前方師團ノ糧食行李及荷物行李(各々二糎半宛)並ニ輸送縱列(七糎)ハ、後方師團ノ後方ヲ前進セネバナラス。此ノ如キ距離ヲ一氣ニ前進シテ、直チニ活潑ナ戰鬥ヲ行フコトハ出來ヌデアラウ。

夫レヨリモ、並行路ヲ前進スル二個ノ師團ヲ、統一的ニ攻撃ニ使用スル方ガ、遙カニ容易デアル。

縱令此ノ兩師團ノ先頭ガ、一師團ノ行軍長徑ホド相隔ツテ居テモ、一方ノ縱隊ノ先頭ニ戰鬥ガ起ツタ

場合ニハ、他ノ師團ノ後尾部隊ハ、後方師團ノ後尾ヨリ前進スル時ヨリモ、戰場ヘノ距離ハ著シク近クナル。互ニ二十軒ヲ隔ツル三條ノ並行路ヲ前進スル三個ノ師團ト雖モ、一日ノ内ニ戰鬪ノ目的デ中央師團ノ先頭ノ方ニ分進スルコトガ出來ル。外側ノ縱隊ノ方ニ纏ムベキ場合ニ限り、二日ヲ要スル。然ルニ若シ三個ノ師團ヲ其内ノ一ツノ道路ニノミ相前後シテ進マセル場合ニハ、先頭ヘノ開進ニハ必ズ三日ヲ要スル。數師團ヲ、敵ノ陣地ニ向ツテ集マル多クノ道路上ヲ進メル場合ガ、最モ容易ニ敵前ニ出デ得ルノハ、勿論デアル。朝ニ左右四十軒ノ長サノ直線上ニ廣ガツテ居ル一軍ガ、其中央ヨリ二十軒ヲ隔テタ戰場ニ赴ク場合ニ、若シ既ニ師團毎ニ其先頭ニ開進シアリテ、且ツ戰場ニ通ズル道路ヲ一條宛有スレバ、其日ノ内ニ戰鬪ニ使用シ得ル。即チ最モ遠キ位置ノ兵卒モ、約三十五軒(概算)ヲ前進スレバ濟ム。此ノ位ノ距離ハ砲聲ニ赴ク場合ニハ、要求シテ差支ナイ。

軍ガ直線上ニアラズシテ、戰場ニ向ツテ弧狀ヲ爲ス時ハ、集結ガ容易トナルノハ、當然デアル。此ノ場合ニハ單純ニ前進シタノミデ敵ノ側面ヲ脅威シ得、爲メニ戰鬪ハ著シク有利トナル。

此ノ如キ兵力ノ使用法ガ、如何ニ有利デアツテモ(例ヘバ敵ハ任意ニ陣地ヲ放棄シテ退却スルノ結果ヲ來ス)、戰爭行爲ノ重點ヲ軍ノ運動ニ置キ、會戰ニ置カヌコトハ考ヘモノデアル。

單ニ「機動ノ威力」ニ依ツテ、敵ヲ屈服セシメント考ヘタ時代ガアツタ。之レハ死傷者ヲ出スコトヲ恐レタ爲メデアアルガ、此ノ傾向ハ普魯西ガフリードリッヒ大王ノ指揮ノ下ニ強國ノ地位ヲ得ン

ト欲シ、七年間ノ惡戰苦闘ヲ續ケタ爲メノ、心理的的反動カラ來タコトハ、容易ニ判斷ガツク。ハインリッヒ親王ハ此ノ主義ノ第一ノ代表者デアル。マツセンバツハハ宴會ノ席デ、親王ガ「果敢ナル」前進ニ依ツテ、戰ハズシテ勝ツタコトニ就キ、口ヲ極メテ贊辭ヲ呈シタコトガアル。今日ノ軍人ガ斯卡ル贊辭ヲ受ケレバ、却ツテ羞カシク感ズルデアラウ。然シ大戰ノ恐ルベキ犠牲ヲ見タ今日ニ於テハ、眞ノ作戰ハ爲シ得ル限り血ヲ流サヌ手段デ目的ヲ達成スルニアルト云フ説ガ、廣ク行ハル、虞モアル。吾々ハ既ニ斯カル誤ニ依ツテ甚ダシキ失敗ヲ招イテ居ル。若シ再ビ此ノ誤ヲ犯サハ、其結果ハ知ルベキデアル。戰ハズシテ得タ勝利ノ價值ハ、弱敵ガ自ラ任意ニ其敗北ヲ認メル間ダケノ話デアル。吾々ノ云フ「軍ノ運動」トハ、決シテ巧妙ナル前進デモナケレバ、所謂果敢ナル前進デモナク、敵ヲ擊滅スル爲メニ、優勢ナル兵力及彈藥等ヲ、或地點ニ於テ敵ニ向ツテ投入スル目的ヲ以テ行フ所ノ、兵團ノ移動ヲ指スノデアアル。

前ニ、大兵團ハ左右カラ集結スル方ガ、縦カラノ開進ニ依ツテ集結スルヨリモ、統一的ノ攻撃ヲ加ヘルノニ容易デアルト、述べタ關係上先ヅ包圍(包翼)ノ事カラ研究ヲ試ミヨウ。

包圍的ノ軍ノ運動ガ、最近ノ諸戰役ニ於テ得タ聲價ハ、實ハ之ヲ行ツタ方ノ軍ガ、多クノ場合ニ最初カラ優勢ノ兵力ヲ持ツテ居タト云フ當然ノ事情ニ、負フ所ガ多イノデアアル。我が多數ノ兵力ガ、敵ノ正面ニ對シテ翼ノ方ニ張り出シテ居レバ、一翼或ハ兩翼ノ包圍ガ、自然ニ生ジテ來ル。縱令兵力ノ

劣ツタ方デモ、タンネンベルヒノ會戰ノ如ク、指揮官及軍隊ノ能力ニ於テ優ルト自信スル結果トシテ比較的廣正面ヲ取り得ル場合ニハ敵ヲ包圍スルコトガ出來ル。之ニ反シテ戰鬥能力ガ劣ルト自ラ感ズル方ハ、自己ノ兵力ヲ成ルベク纏メルコトヲ努メルカラ、自ラ包圍ヲ受ケル危險ガ増ス。而カモ尙ホ包圍ノ前進ニ伴フ所ノ、兵力ノ分離ヲ嫌ツテ、此ノ危險ヲモ甘受スルノデアアル。

總テ包圍ノ最大ノ利益ハ、夫レガ都合良ク實行ノ出來タ場合ニ、終ニ敵ノ全軍若シクハ一部ニ對シテ、其戰場デ、二ツノ方向カラ射撃シ得ル點ニアアル。シヤルンホルストハ「二方向以上カラ攻撃ヲ受ケタ軍隊ハ、敵ニ後レヲ取ツタモノト見做スベキダ」ト斷定シテ居ル。之レハ絶對ニ正シイトハ云ヘヌガ（現ニ露軍ガ千九百十四年十一月二十三日ニ獨逸ノ兵團ヲ、ブルゼジニ附近ニ於テ四方カラ攻撃シタガ、無効デアツタ）、然シ諸方向カラ敵ガ迫マルノヲ見ル隊ハ、自然ニ中央ニ縮メツケラレル感ジヲ受ケルト云フ事實ニ基ヅクノデアアル。之レガ爲メ其力ガ散漫トナルニ反シ、敵ノ力ハ共通ノ中心ニ向ツテ働キ、且ツ前進スルニ從ツテ益々其強サヲ増スノデアアル。

離レテ居ル獨立ノ諸兵團ヲ以テスル包圍ノ運動ノ、其他ノ利益、地域ノ擴大ト云フコトニ關連シテ居ル。第一ニ軍隊ノ戰鬥準備ガ早く出來ル。即チ之ヲ最初カラ分離セル數團ニ集メ得ル。二ツ若シクハ三ツノ開進地域ニハ、一ツノ場合ヨリモ多クノ鐵道ガ通ズル。次ニ其運動ニハ多クノ道路ヲ利用シ得ルカラ實行ガ容易トナル。又給養及宿營ノ爲ニ、多クノ住民地及物質ヲ利用シ得ル。又目標ノ前

デ合一スルコトモ早く出來ル。而シテ既ニ敵ノ退路ニ對スル脅威ニ依ツテ、包圍ヲ有効ナラシメル。敵ハ失敗ト同時ニ退路ヲモ斷タレ、若シクハ補給ノ道ヲモ奪ハレルト云フ憂慮カラ不安ニ陥ル。

敵ノ兩翼ヲ同時ニ包圍シ得ヌ場合ニハ、敵ノ最モ苦痛トスル方ノ翼ヲ選ブベキデアアル。夫レガ左右ノ何レニ存スルカハ、全般ノ關係カラ判斷シ得ルデアラウ。其所ニ主トシテ成功ヲ求ムベキデアアル。場合ニ依ツテハ、單ニ迂回ニ止メ、敵ヲシテ其企圖ヲ放棄サセレバ、足リルコトモアルデアラウ。然シ單ニ背後ノ脅威ノミデ十分ノ壓迫ヲ感ジサセルコトハ稀デアツテ、多クハ同時ニ敵ノ要點ヲ眞ニ危殆ナラシメルコトヲ必要トスル。現ニ千九百十四年ノ獨逸軍ノ前進ハ、大ニ巴里ヲ脅威シタレバ、コンチヨツフル元帥ヲシテ、ライン中流ヲ越エテ大規模ノ攻撃ヲ行ハントセル作戰計畫ヲ放棄セシメタノデアツテ、元帥ハ即チ自己ノ作戰計畫ヲ實行スル代リニ、首都掩護ヲ劃策スルコトヲ、獨逸軍ニ強ヒラレタノデアアル。

兩翼ノ包圍ハ、夫レニ相當スル兵力ヲ有スル場合ニハ、必ズ其效果ヲ收メルコトガ出來ル。之ニ依ツテ敵ヲシテ完全ナル包圍ニ陥ルノ危險ヲ感ゼシメル。包圍戰トナリ、捕虜トナルノ危險ガ、敵ノ心ヲ脅カス。多クノ場合ニハ夫レホドノ危險ガ實際ニ迫ツテ居ルノデハナイガ、戰爭デハ自ラ頭ニ晝イタ災厄ガ、其軍隊ノ志氣ニ影響シテ、動々モスレバ夫レヲ實現サスコトニナルノデアアル。

包圍ニ就テ起ル根本的ノ憂慮ハ、總テ共通ノ目的ニ向ツテ進ム分離兵團ノ運動ニ就テノ憂慮ト、同

一ノモノデアル。即チ敵ガ此ノ兵團ノ一時的分離ヲ利用シテ、各部分ガ其目標前テ合一スルニ先チ、之ヲ擊破スル恐ガアル。

確カニ此ノ危険ガアルニハ相違ナイガ、然シ此ノ危険ヲ減殺スベキ見易イ事情ガアル。第一ニ擧グベキハ全般ノ運動ガ明瞭ニ分ツテ居ルコトデアル。目標ハ中央ニ存在シ、何人モ之ヲ認メルコトガ出來、各兵團ノ指揮官ハ「全般ノ企圖ヲ成效サス爲ニハ、果敢ナル前進ニ俟ツノ外ハナイ」ト云フコトヲ良ク心得テ居ル。之ニ依ツテ統一の行動ガ保證サレ、其間ニ錯誤ハ容易ニ起ラヌ。斯クシテ包圍運動ハ、各縱隊ノ前進ニ依ツテ、他ノ縱隊ノ前進ヲ促進スルノ結果ヲ來ス。而シテ各縱隊ガ互ニ接近スルニ從ツテ、相互ノ援助ハ益々有力トナリ、ヤガテ同一戰場ニ於ケル共同ノ働トナツテ來ル。

包圍ニハ運動ノ神速ガ必要デアル。サモナイト敵ハ危険ヲ避ケテ了フ。然シ運動ノ神速ハ、良好ナ道路ニ俟ツ。從ツテ其道路網ハ計畫セル運動ニ有利ナル形狀デナクテハナラヌ。其運動ガ各方面ヨリノ交通路ヲ有スル大都市ニ向ツテ行ハレル場合ナドハ、良ク此ノ目的ニ叶フモノデ、此ノ如キ交通路ニ各縱隊ヲ配置スレバ、共通ノ中心點ニ對スル協力ハ、自ラ成立スル。唯ダ其合一點ヲ餘リ深ク敵地ノ中ニ選ンデハナラヌ。斯クスレバ我ガ兵力ノ一部ガ、敵ノ集結シタ部隊ト過早ニ衝突スルコトニナル。

此ノ種ノ運動中ニ、多少ノ危険ヲ感ズル時期ハ、各縱隊ガ稍々接近シテ來テ、其一ツガ優勢ノ敵ヲ避ケントスレバ、必ズ全般ニ害ヲ及ボスコトニナリ、而カモ未ダ互ニ相援助シ得ルホド近クハ接近シテ居ラヌ時デアル。

然シ一ツノ縱隊ガ擊退サレテモ、此ノ縱隊ハ今日ノ火器ノ効力ト戰鬥法トニ依レバ、全然擊破サレルコトヲバ避ケ得ルカラ、全ク戰場ヲ去ツテ了ハズニ濟ム。ソコデ敵ガ我ガ縱隊ヲ棄テ、他ノ縱隊ニ向フ場合ニハ、其後ヲ追フコトガ出來ル。斯クスレバ此ノ縱隊ト雖モ、尙ホ他ノ縱隊ノ前進ヲ促進シ得ル。

包圍運動ニハ相隔ツタ各兵團ノ指揮ガ、一様ニ良ク行ハル、コトガ必要デアル。此ノ場合ノ首將ハ通信機關ガ如何ニ發達シテモ、他ノ場合ニハ自ラ手ヲ下スベキ事ヲモ、裨將ノ思慮ト實行力トニ委ネナクバナラヌノデアル。包圍ニ對スル防者ノ最モ有効ナ對抗手段ハ如何ナル場合ニ於テモ戰鬥デア。此ノ時ニハ戰略的運動モ休ミ、戰場ニ於ケル集結ガ始マル。戰場デ戰術的包圍ヲ免レ得バ、通常戰略的包圍モ亦其終焉ヲ見ルニ至ル。

故ニ包圍サレルト感ジタ者ハ、敵ニ戰鬥フ強ヒルノガ一番良イ。戰鬥ハ總テノ兵力ヲ一ツノ場所ニ引キ寄セル。蓋シ會戰ハ戰爭ノ經過ニ對シ、重大ナル意義ヲ有スルカラ、攻者ガ單ニ自己ノ包圍運動ノ繼續ニ重キヲ置キ、強大ナル兵力ヲ戰場ニ缺クガ如キコトヲ敢ヘテセヌノデアル。

確實ナ正面攻撃ト併用サル、果敢ナル包圍運動ハ、攻者ノ最モ強ミトスル所デアツテ、防者ハ之ヲ

防衛スルコトが出来ヌカラ、其對抗手段トシテ、斷乎タル行動ニ出ヅルノ外ハ無い。

之レヲ何レノ方向ニ實行スベキカハ、其時ノ狀況、就中包圍ガ一翼ノミカ、兩翼カニ依ツテ定マル。一翼包圍ノ場合ニハ、敵兵中ノ最モ危険ナ部分、即チ包圍ヲ行フ部隊ニ對シテ出撃スルノガ、最モ單簡デアアル。其攻撃ガ成功セズトモ、尙ホ依然トシテ包圍ノ繼續ヲ妨害シ得、從ツテ包圍ノ脅威ヲ受ケタ者ヲシテ、再ビ自由ヲ得サセル。之ニ反シテ正面ニ迫ル敵ニ對スル出撃ガ失敗シタ場合ニハ、其間ニ包圍ハ着々進行シテ効力ヲ生ズルカラ、二重ノ危険ヲ來ス。固ヨリ正面ニ於テ成功スレバ、之ニ依ツテ敵ノ一部ハ擊敗サレ、他ノ一部ハ前者トノ連絡及自己本來ノ後方連絡線ヲ遮斷サレルコトニナルカラ、多大ノ効果ヲ收メ得ル。

兩翼包圍ノ場合ニハ、防者ハ困難ナ地位ニ立ツ。此ノ場合ニモ敵ノ一翼ニ對スル勇敢ナル前進ニ依ツテ、形勢ノ轉換ヲ招來シ得ルコトガ往々アル。然シ夫レハ極メテ大膽ナル行爲タルノミナラズ、元來有利ナ狀況デデモナケレバ成効セヌ。若シ一度敵ニ兩方カラ取り圍マレタナラバ、敵ノ兵數若シクハ能力上ノ優越ガ大ニ現ハレテ來ルカラ、敵カラ離脱スルコトガ益々困難ニナル。其中央ニ向ツテ突進スレバ、包圍ニ任ズル兩部ヲ中間デニツニ割り、從ツテ其本來ノ連絡線ヨリ遮斷スルコトが出来ルガ、一方ニ於テハ其間ニ敵ノ兩翼ガ手ヲ繋イデ、吾ガ軍ヲ其中ニ全ク封ジ込メル危険ガアル。

此ノ如キ場合ニ於テハ最初ニ右ニ向ヒ、次ニ左ニ向ヒ、強烈ナル打撃ヲ加ヘ、以テ分離兵團ヲ別々

ニ隔離シ置キ、逐次之ヲ擊破シ、而カモ本會戰ノ効力ニ等シキホドノ效果ヲ舉ゲル手段ヲ採ツタコトモアル。千八百十四年二月ノ那翁ノ戰法ガ即チ夫レデアリ、フリードリツヒ大王モ亦、同一ノ軍ヲ以テ最初ニ佛軍ヲロスバツハニ破リ、埃軍ヲロイテンニ破ツタ。此兩將ハ即チ所謂内線作戰ノ長所ヲ利用シテ、大成功ヲ收メタモノデアアル。

然シ之ヲ一般ニ推シ廣メテ、此手段ガ利益ダト主張スルノハ、當ヲ得タモノデナイ。内線上ニアル軍ノ一般ノ狀況ハ、殆ンド常ニ危急ノ情勢ニアル。フリードリツヒ及那翁ノ場合モ左様デアツタ。若シ何等カノ理由ニ依ツテ、敵ノ分離シアル各兵團ノ間ヲ、或ハ右或ハ左ト、自由ニ運動スルコトが出来ヌナラバ其ノ狀況ハ更ニ一層危急ノ情勢ヲ呈スルカラ、前者ハ夫ヨリハマダ良イト云フニ過ギヌ。現ニ要塞内ニ包圍サレタ軍モ亦、内線上ニ在ルノデアアルガ、之レガ爲メニ其軍ノ狀況ハ有利ト認メル譯ニユカヌ。

世界大戰ニ於ケル獨逸ノ地位ガ、屢々之ニ譬ヘラレル。實際當時ノ獨逸ハ、外界トノ交通ヲ遮斷サレタル宏大ナル要塞ノ様ナモノデアツタ。而シテ之レヲ防禦スルニモ亦、内線上ノ大規模ノ軍ノ運動ヲ行ツテ、兵力ノ重點ヲ或ハ東、或ハ西ニ移シタ。今日マデ露軍ト戰ツタ軍隊ガ、二週間ノ後ニハグエルダンヤフランドーデ戰ヒ、又間モナクデューナ河畔ヤカルバーテンノ山地デ戰フ、ト云フ有様デアツタ。斯ク同一ノ部隊ヲ、種々ノ敵ニ對シテ何回モ使用シタレバ、コソ、獨逸ガ數上ノ劣勢ヲ或程

度マデ補ヒ、國土ヲ戰禍ヨリ效ヒ、且ツ驚クベキ長年月ノ抵抗ヲ爲シ得タノデアル。

敵ノ分離セル各兵團ノ間ヲ、左右ニ有効ニ活動シ得ンガ爲メニハ、種々ノ條件ヲ必要トスル。最モ重大ナノハ、戰術上ノ決戦ノ經過ガ、以前ヨリモ著シク長クナツタコトデアル。那翁ガシレジア軍ノ各行軍縱隊間ヲ、疾風迅雷ノ如ク暴レ廻ハツタ時ニハ、僅々二、三時間ノ戰鬪デ、逐次ニ敵ヲ擊破シテ行ツタノデアルガ、今日ハ此ノ如キ經過ヲ見ラレナクナツタ。今日ノ火器ハ、甚ダシク劣等ナ部隊ニモ、大ナル抵抗力ヲ與ヘルカラ、之レヲ屈服サスニハ、多クノ時ヲ要スル。其内ニハ攻撃ヲ受ケ又他ノ部隊ガ來援シ得ル。サウナルト攻者ノ最初ノ有利ナ地位ガ一變シテ了ヒ、内線上ノ運動ノ利益カラ、却ツテ包圍ニ陥ルト云フ不利ガ起ツテ來ルコトガアル。故ニ之ヲ概言スレバ、現今ハ内線上ノ運動ノ有利ナ進展ヲ見ンガ爲メニハ、敵ノ各兵團間ノ距離ガ從來ヨリモ増大スルコトヲ必要トスル。尙ホ又攻者ハ攻撃ヲ受ケヌ敵ノ兵團ガ來援セントスル場合ニ、之ニ向ハセ得ル兵力ヲ別ニ用意セネバナラス。蓋シ不測事故ニ依ツテ、我が運動ガ遲滯スルコトガアルカラ、右ノ如キ處置ヲ講ジテ置ク必要モアルノデアル。

敵ノ各兵團間ノ距離ノ増大ハ、砲兵ノ射程ガ那翁時代ヨリモ非常ニ増加シタ點カラ見テモ必要ナル。

然シ又此ノ距離ガ甚ダシク増大スルトキハ、敵ノ一兵團ニ向ツテ居ル間ニ、他ノ兵團ハ平然トシテ自己ノ目標ニ向ツテ前進スルカ、或ハ夫レニ對抗スル我が微弱ナ部隊ヲ殲滅スル恐ガアル。但シ其際問題トナルノハ、純然タル空間的距離ヨリモ、内線上ニ在ル軍ノ使用セル連絡機關ノ如何ニ、關係スル所ガ一層多イ。世界大戰ノ時ノ獨逸ノ東西南正面ハ、若シ其當時ノ如ク東方統帥部ガ殊ニ能率ノ高イ鐵道ヲ之ニ使用シ得ナカツタラバ、大兵團ノ移動ヲ適時ニ行フ爲メニハ、其間ノ距離ガ過大ニ失シタノデアル。

内線上ノ策^{オムラチオン}動ハ常ニ困難デアアル。若シ過早ニ行ヘバ空^{クワ}ヲ突クノ危險ガアリ、時機ガ遅レ、各方面ヨリ迫ル敵ノ眞只中デ戰ハネバナラスコトニナル。此ノ事情ガ著シク決心ヲ困難ニスル。敵ガ飛行機、騎兵等ヲ適當ニ使用スレバ、其近接スル各兵團中ノ何レニ我が兵ヲ向ハシムベキカラ、容易ニ決シ難イデアラウ。唯ダ果敢ナル名將ヲ俟ツテ始メテ内線ノ利ヲ適當ニ發揮シ得ルノデアル。決斷力ニ乏シイ者ハ、決心ノ動搖ヲ來タシ、不確實ノ決心ヲ有スル者ハ、縱令適當ナ敵ノ兵團ヲ選ンダ場合ニモ、其企圖ガ最初カラ滯^{オムラチオン}ヲ來スデアラウ。

今假リニ世界大戰ニ於テ、獨逸軍ガ開戦直後ニ敵ノ一ツニ向ツテ攻撃シテ行カズニ、暫ラク形勢ヲ觀望シ、何レノ敵ガ先ヅ有利ナ目標ヲ呈スルカラ見定メテカラ、全力ヲ注イデ之ニカ、ツテ行ク考ヲ持ツタ場合ヲ想像スルガ良イ。其場合ニハ露佛ノ兩軍ハ終ニ同時ニ現出シテ來ルカラ、我が決心ハ非常ニムヅカシクナリ、恐ラクハ豫定シタ猛烈ナ攻撃ハ一變シテ全ク退嬰的トナリ、遂ニ自國內ニ於ケ

ル防禦ニ墜シ、著シク優勢ナル敵軍ノ爲メニ、忽チ大敗ヲ招クニ至ツタデアラウ。

内線上デ戦フ者ハ、勝利ヲ得タ場合ニモ、尙ホ爾餘ノ敵ヲ顧ミル必要ガアルカラ、完全ナル勝利ヲモ、唯ダ其戰場デ利用シ得ルニ過ギヌ。前ニモ述べタ通り、短時間ノ殲滅的打撃ハ、今日ニハ殆ンド期待シ得ナイ。尙ホ又フリードリッヒヤ那翁ノ時代ニハ、高級ノ軍隊指揮官ノ獨斷專行ハ、到底今日ノ如ク普及シ且ツ發達シタモノデハナカツタカラ、敵ノ一縱隊ニ對スル勝利ニ依ツテ、全般ノ區處ヲ混亂ニ陥ラセルコトヲ豫期シ得タガ、今日ハ此ノ如キ事ヲ望ミ得ナイ。通常敵ノ各縱隊ノ指揮官等ハ中心點ニ向ツテ鞏強且ツ強烈ニ近迫シテ來ルモノト、覺悟セネバナラス。ヒンデンブルヒガサムソノフノ軍ニ向ツタ際ニ、徒ラニ拱手傍觀シ、以テ獨軍ヲシテタンネンブルヒノ大勝ヲ收メシメタルレンネンカンブノ如キ者ヲ、何時モ相手トスル譯ニハユクマイ。

兵力ノ大モ亦、内線ノ利用ヲ困難ニスル。内線ノ利用ニハ、軍隊ノ迅速ナル集結及敏速ナル轉向ヲ必要トスル。之レハ三、四師團位ナラバ出來ルデアラウガ、十師團、十二師團トナツテハ、實行シ得マイ。斯カル大兵團ハ、此ノ如キ場合ニ許容サル、以上ニ、運動ノ自由ヲ必要トスル。世界大戰ノ時ノ獨逸軍ノ如ク、極端ニ大規模ノ戰略的關係ニ於テ、鐵道ヲ以テセネバ實行シ得ヌヤウナ内線上ノ兵力移動ヲ行フ場合ニ在テモ其動カスベキ兵力ハ、輸送機關ノ能率ノ爲ニ制限ヲ受ケル。所期ノ成效ヲ收メル爲ニハ、増援ヘベキ正面ノ抵抗力ノ適切ナル算定ト、他ノ正面ヨリ招致スベキ増援隊ノ戰鬥參

加マデノ所要時日ノ正確ナル計算トヲ必要トスル。

内線上ノ運動ノ利益ノ一ツハ、諸方向ヨリ近接シ來ル敵ヨリモ、首將ガ一層良ク麾下ノ軍隊ヲ掌握シアル點デアアル。其軍隊ハ互ニ近ク纏マツテ居ルカラ、首將ノ心ヲ之ニ傳ヘ、之ヲ統率スルノニ便利デアアル。此ノ一事ハ、如何ニ發達セル通信機關ヲ以テモ、之ニ代ヘルコトノ出來ヌ利益デアアル。從ツテ分離セル兵團ヲ以テスル運動ノ際ホドニ、一樣ニ卓越セル裨將ヲ必要トセヌト云フ結果ヲ、副生スル。然シ夫レダケ首將ニ對スル要求ハ益々高マル。機敏、大膽、勇猛、果斷ナル者デナクバ、強大ナル敵ノ眞只中ニ在ツテ勝利ヲ獲ルコトナドハ、到底出來ルコトデナイ。

「大體ニ於テ内線上ノ防禦ヲ有利ニ遂行スルコトハ、包翼攻撃若シクハ、諸方向ヨリ同一ノ中心點ニ向ツテ進ム攻撃ヨリモ困難デアアル」ト云フテモ、先ヅ差支ナイデアラウ。世界大戰ニ於ケル獨逸ノ最高統帥部ノ任務ハ、敵ヨリモ遙カニ困難デアツタコトハ、争フベカラザル事實デアアル。壓倒的ノ優勢ヲ以テ各方面ヨリ迫リ來ル敵ニ對シ、全體ニ於テ遙カニ劣勢ノ兵力ヲ保ツ爲ニハ、如何ニセバ可ナルカト云フ難問題ニ就テ、終始心ヲ惱マシタノデアアル。之ニ反シテ協商國側ノ首將等ハ、唯ダ使用シ得ル限りノ兵力ヲ提ゲテ、一齊ニ前進スレバ良カツタノデアアル。

兩軍ガ運動中ニ、相並行シタ正面ヲ以テ互ニ近接シ、且ツ彼我ノ兵力ノ間ニモ大ナル懸隔ナキトキハ、包圍ハ不可能デアアル。此ノ場合ニモ果敢ナル統帥者ハ、正面攻撃ヲ辭セヌ。正面攻撃ノ成功ニハ、

正面ノ或部分ニ敵ニ優ル人員及兵器彈藥等ヲ早ク集メテ、猛烈ニ攻撃セネバナラヌ。此ノ如キ前進ニ依ツテ、最初ハ敵ノ地帯ニ侵入シ、次デ、敵ノ逆襲ヲ擊退シ、且ツ新銳ノ豫備ヲモ投入シ得レバ、ヤガテ突破ヲモ來タスニ至ル。ソコデ敵ヲ兩分シ、之ニ對シテ包圍ニ着手スルコトガ出來ル。然シ之レヲ爲スニハ、突破ヲ成ルベク深く行ヒ、且ツ其破孔内ニ多數ノ新銳ナ隊ヲ注入シ、之ヲシテ從來ノ位置ヲ維持シアル敵ノ正面ヲ、直チニ側面ヨリ席捲サセルコトガ必要デアアル。

一面カラ見レバ、敵ノ中央ニ對シテノ前進ハ、常ニ兩側ヨリノ包圍ニ陥ル危險ヲ藏スル。突破ヲ達成スル以前ニ、攻撃ガ停止スレバ我ガ側面ハ著シク脅威ヲ受ケ、攻撃部隊ノ楔狀ニ侵入セル部分ニ對スル敵ノ包圍射撃ハ、猛威ヲ振ヒ、爲ニ、攻者ハ一旦獲得シタ利益ヲモ放棄セネバナラヌコトガアル。世界大戰ハ從來ノ戰役ニ比シ大ナル決戰的勝利ニ乏シカッタガ（其原因ニ就テハ既ニ述ベタ）、突破ノ成功セル場合ハ包圍ノ成功ヨリモ一層少ナカッタ。

獨逸軍ガ千九百十四年ニ北部佛蘭西ヲ通過シテ前進セル際、巴里及ヴェルダン間ニ配置セル佛英軍ニ衝突シ、且ツ我ガ總司令部ガ此ノ時マデ維持シテ居タシユリーフエンノ包圍ノ考案ノ最早實行シ難キヲ認ムルニ及ビ、ウイリ、ル、フランソア西方デ敵ノ中央ヲ突破スル決心ヲ爲シタ。此案ハ本來ハ非難スベキモノデハナイガ、之ニ要スル兵力ガ所要ノ場所ニ無カッタ爲メニ、其實行ガ出來ナカッタ。軍ノ中央後ニ豫備ガ無ク、又此ノ火急ノ際ニ、急速ニ其方ヘ豫備ヲ送ルコトモ出來ナカッタカラ、

此ノ案ハ着手ノ初ニ於テ失敗シタノデアアル。

千九百十五年五年初ノゴルリツエ——タルノウ附近ノ會戰及千九百十八年三月ノ佛國ニ於ケル大會戰ノ場合ノ獨逸軍ハ、前述ノ場合ヨリモ有利デアッタ。此ノ二ツノ場合ニハ、突破ニ成功シテ、多大ノ戰略的効果ヲ收メタ。協商國側モ此ノ如キ成功ヲ千九百十八年八月八日ニ獨逸ノ第二軍ニ對シテ收メ得タ。

敵ノ戰略的側面ニ向ツテ行フ前進ハ、敵ヲシテ自己ノ豫定セヌ極メテ不利ナ方面ニ敵力ヲ集結セシムル大利益ガアル。現ニルーマニアノ中立地帯ガ、埃匈國軍ノ右側ヲ都合ヨク掩護シテ居タノガ、千九百十六年八月二十六日ニハ同國ガ宣戰スルニ及ビ、同盟軍ハ非常ニ危險ナ狀況ニ陥ツタ。若シルーマニア軍ガジューベンビュルゲン及匈牙利ノ方ニ猛烈ニ突進スルトキハ、獨逸、埃聯合軍ノ東方戰線ノ全部ヲ席卷サル、コトニナル。獨逸軍ノ最高統帥部ハ其當時ソナム河畔及ヴェルダンノ前面ニ、少シデモ多クノ兵力ヲ欲シカッタニモ拘ハラズ、右ノ危險ヲ豫防スル爲メニ、多大ノ兵力ヲ以テ、此ノ新シイ敵ヲ擊破スル決心ヲ取ツタ。普通ノ場合ナラバ容易ナラヌ結果ヲ來タスベキ此ノ危險モ、我ガ軍ノ統帥及軍隊ノ優越ニ依ツテ、忽チ之ヲ除クコトガ出來タ。此ノ如キハ稀ナ場合デハアルガ、然シ若シ今迄中立ノ位置ニ立チ、若シクハルーマニアノ如ク好意アル態度ヲ示シ、從ツテ之ニ對シテ備ヘテ無カッタ隣國ガ、突然攻撃ヲ行フ場合ニハ、夫レガ起リ得ル譯デアアル。

防者ガ豫メ側面陣地ヲ取り、而シテ敵ガ其前ヲ通過スル場合ニハ、攻者ノ側面ヲ突クコトガ屢々起リ得ル。強イ軍ハ勿論此ノ如キ手段ヲ取ラズニ、單純ニ敵ト衝突ヲ試ミルデアラウガ、弱イ軍ハ之ヲ利用シテ成功ヲ收ムルデアラウ。

側面陣地ハ敵ノ進路ヲ閉鎖セズシテ、之ヲ制スル。其目的ハ敵ヲシテ其希望セス方面ト場所トデ、止ムヲ得ズ戰ハシメルニアル。敵ハ己レノ進路ヲ去リ、爲メニ從來ノ連絡ヲ離レテ側方ニ展開シ、一般ノ關係上餘リ有利テ無イ狀況ニ於テ、攻撃ヲ行フ。敵ハ期セズシテ側面運動ヲ開始シ、而カモ防者ノ奇襲ヲ受ケル憂ガアル。豫定ノ側敵運動ニ於テハ、通常敵前デ一ツノ道路ヨリ概ネ同方向ヲ有スル側方ノ他ノ道路ニ移ルノデアアルカラ、其後方連絡線カラ離レル譯デハナイガ、此ノ場合ニハ防者ノ側面陣地ノ方ヘ正對スル爲ニ、連絡線ヲ絶エズ側方ニ置クコトニナル。

然シ側面陣地ヲ有利ニ使用スルニ就テハ、尙ホ種々ノ條件ヲ必要トスル。若シ敵ガ過早ニ之ヲ發見スレバ（飛行機ノ時代ニハ從來ヨリモ容易ニ行ハレル）、行軍縱隊ノ先頭ヲ適當ノ時機ニ轉向サセルコトモ困難デハナイ。之ニ依ツテ敵ヲ避ケルコトモ出來（其場合ニハ側面陣地ハ無効トナル）、又自ラ敵ノ側面ヲ衝クコトモ出來ル。故ニ側面陣地ハ地形ノ自然ノ保護ヲ受ケルカ、若シクハ敵ガ攻撃シ得ヌホドニ後退シ、且ツ秘匿シアルコトヲ必要トスル。若シ敵ガ唯ダ一條ノ道路ヲ前遮スルヲ要スル場合ニハ、側面陣地ハ好都合デアアル。例ヘバ敵ガ今大河ヲ渡ツタバカリデ、而カモ其後方ニハ唯ダ一本ノ

橋ガアル場合ナドガ、之ニ當ル。此ノ場合ニハ敵ノ方向變轉モ亦、頗ル不便トナル。防者ノ兵力ノ少ナイ關係上、側面陣地ノ前ニハ、障礙物ノ有ルコトヲ必要トスルガ、然シ夫レモ敵ガ前面ヲ通過シテ前進ヲ續行スル場合ニ、自ラ進出シ得ヌホドノ大障礙デアツテハナラヌ。此ノ點ハ常ニ注意ヲ要スルコトデ、故ラニ此ノ如キ地點ヲ選バヌ迄モ、ツイ此ノ過失ヲ犯シ易イノデアアル。

此ノ如キ多クノ條件ヲ具備スルコトハ稀デアアルカラ、有効ナ側面陣地ハ例外ニ屬スル。

此ノ場合ニモ亦大切ナノハ陣地ノ位置デナク、之ヲ占領スル軍隊ノ力デアアル。氣力ノ乏シイ敵ガ、何時側面陣地ヲ占メテモ、之ニ對シテハ少數ノ兵力ヲ以テ監視サセ、主力ハ平然トシテ從來ノ目標ニ向ツテ前進ヲ繼續シ得ル。

時間ノ餘裕ヲ得ントスル時ト、自ラ斷乎タル處置ニ出ヅル前ニ、先ヅ敵ノ意圖ヲ或程度マデ暴露セシメント欲スル時トニハ、一時側面陣地ヲ利用スルコトガ出來ル。其目的ヲ達シ、敵ヲ展開サセタナラバ、攻撃ヲ受クルニ先チ、其陣地ヲ去ル。其際ハ常ニ最大限度ノ時機マデ踏止マルコトガ必要デアアルガ、然シ又タ此ノ時機ヲ覺エズ逸シテ、深ミニ嵌リ易イモノデアアルカラ、此ノ點ニモ注意スベキデアアル。要スルニ此ノ種ノ行動ハ頗ル冒險的ノモノデアアル。

總テ軍ノ運動ヲ爲スニ當ツテハ、兵員、彈藥、糧食等ノ前送及傷病者ノ後送ヲ爲スベキ道路及鐵道ト、不利ノ場合ニ應急的ニ使用シ得ル鐵道及道路トニ就テ、或程度ノ顧慮ヲ必要トスル。然シ「連絡線」

及「自然ノ退却線」ニ對スル此ノ顧慮ガ、果敢ナル作戰ヲ決定的ニ左右スルコトヲ許サス。自己ノ意圖——敵ヲ擊滅スベキ要求ニ害ヲ及ボサス程度ニ於テ、之ニ注意ヲ拂フノハ差支ナイ。攻撃スル場合ニ退却ノコトヲ頻リニ心配スル者ハ、其儘引込シテ居ル方ガ良イ。勝利ヲ得ルト同時ニ、後方連絡線モ退却線モ安全トナル。敗レタ軍ハ、敗北ノ時ニ總テ軍隊ノ足ガ速クナリ、又勝者ノ方ハ戰場ニ於ケル處置ナドニ手間取ルカラ、餘程困難ナ場合デモ、其連絡線ニ到着シ得ルノデアアル。ツオルンドルフノ會戰デ、露軍ハドレウイッツエル荒地ヨリ普魯西軍ノ左翼ヲ廻ハツテ、クライン、カミンニ、大膽ナ行軍ヲ爲シ、以テ一旦全ク失ハレタ元ノ退路ニ復歸スルコトガ出來タ。フリードリツヒハホツホキルヒノ敗戰後、包圍セントセル墮軍ノ兩翼ノ中間ヲ通過シテ、クライン、パウツエンニ退キ、夫レヨリゲルリツツマデ側敵行軍ヲ行ツテ、後方連絡線ヲ回復シタ。故ニ首將タル者ハ目ヲ前方ニ注ギ、後方ヲ顧ミテ、退路ナドヲ探カスベキモノデハナイ。

然シ自己ノ軍ノ動脈、即チ連絡線トノ關係ガ不自然ニナツテ居ルコトハ、決シテ便利ナモノデナイ。夫レガ正面ノ中央デ概ネ直交スルノガ最モ良ク、此ノ場合ニハ、敵ニ對シテモ安全デアリ、又軍ノ各部ニ達スルノニモ最モ容易デアリ、交通ガ自由ニ且ツ單簡ニ行ハレル。敵ガ之ヲ脅威スルノニハ、遠ク兩翼ヲ迂回セネバナラヌ。之ニ反シテ正面ニ斜交シテアル場合ニハ、一翼ガ後方ニ退ガツテ居ルカラ、敵ガ其方カラ、後方ノ交通ヲ脅カシ易イ。連絡線ガ一翼若シクハ側面ニ接續スル場合ニハ、最モ

不利デアツテ、軍ノ掩護ヲ受ケヌカラ、特別ノ處置ヲ取ル必要ヲ生ジ、之レガ爲メニ兵力ヲ殺ガレル。

世界大戰ノカルバーテン山地ノ戰ニ墮匈軍ノ四乃至五師團ハ唯ダ一條ノ交通路ヲ有シ、夫ニ依ツテ總テノ輸送ヲ實行シタガ、此ノ如キ場合ハ稀デアラウ。今日ハ開ケタ土地デハ、各師團ニ絶エズ一本宛ノ前進路ヲ與ヘルノガ、一番都合ガ良イ。此ノ道路上ヲ行李及輸送縱列ヲ續行サセル。之レガ永續的ノ連絡線トナル。夫レデアルカラ、狀況ガ有利デ、且ツ軍ガ餘リ大キク無イ場合ニハ、各師團ハ夫夫自分ノミガ使用スル所ノ交通線ヲ有スルコトニナル。唯ダ敵地ニ深く侵入シタ場合ニハ、多分軍全體一本ノ鐵道線ヲ使用スルコトニナルデアラウ。蓋シ同一方向ニ多數ノ鐵道ガ走り、而カモ夫レガ直チニ使用シ得ル状態ニアルト云フコトハ、殆ンド豫期シ得スカラデアアル。軍ノ運動ガ長イ間止マツタ場合ニ始メテ、破損ノ部分ヲ修繕シテ、漸次其數ヲ増加スルデアラウ。

後方ノ交通路上デハ、絶エズ往復ノ交通ガアルカラ、其沿線ニハ種々ノ永續的施設ヲ要スルカラ、之ヲ變換スル事ハ決シテ容易ノ事デハ無ク、何時モ其變換ノ完了ニ多クノ時日ヲ要スル。軍ノ中ノ行軍縱隊ノ交叉ハ、若シ全然其連絡線ヲ交換スル考ガナクバ、連絡線上ノ交通交叉ヲ來ス。輸送縱列ノ行軍交叉ハ、常ニ錯誤ト澁滯トヲ生ズル。前方ノ軍ニ於ケル大ナル單位部隊ノ序列ノ變更ガ、往々後方ノ機關ニ迅速且ツ十分ニ徹底セヌ爲メニ、車輛縱列等ノ混亂ヲ來スコトガ少ナクナイ。最高統帥部ハ軍ノ運動ノ間隙ヲ見テ、成ルベク各兵團ヲシテ元通り、一翼ヨリ他ノ翼ニ至ル順序ニ、復歸セシム

ベキデアル。戰略的運動ガ其ノ實行ノ好機會ヲ與ヘルコトガ往々アル。然シ必ズシモ最初ノ關係ヲ無理ニ守ル必要ハナイ。多少ノ不便ナドハ重大ナ不利トハナラス。

將來ハ其武裝及裝備ガ現代ノ戰爭技術ノ要求ヲ充タスニ從ツテ、軍ガ其後方連絡線ニ益々拘束サルベキヲ、考慮セネバナラス。普墮戰役及普佛戰役ノ如キハ過去ノ戰爭デハ、本來國內デ製造シテ鐵道ヲ以テ輸送セシ彈藥ノミガ、其連絡線ニ關係ヲ持ツタノデアツテ、其他ノ關係ハ極メテ自由デアツタ。然ルニ世界大戰デモ軍ノ運動ト連絡線トノ相互ノ關係ハ、戰線ガ一年以上モ變ラズニ居ツタ爲メニ、餘リ顯著デハナカツタ。然シ何レニシテモ大ナル戰鬪行爲ハ、後方カラ能率高イ鐵道ノ通ズル場所ニ於テノミ、之ヲ實行シ得タノデアアル。作戰上將來再ビ運動ノ自由ヲ回復セント努メテモ、軍ガ此點ニ於テ後方ノ輸送ニ著シク拘束ヲ受ケル以上ハ、其所ニ相當ノ困難ガ起ルコトヲ免レヌデアラウ。所要彈藥ハ最近ノ經驗ニ依ツテモ、莫大ノ數量ニ上ルコトガ分ルガ、今日ニ於テハ尙ホ此ノ外ニモ、同ジク内地ニ於テ製作シ、且ツ其輸送ニハ能率ノ高イ、良ク組織サレタ連絡線ノ力ニ待ツヘキ、幾多ノ物品ガアル。即チ毒瓦斯、飛行機、氣球、戰車、及其燃料等ノ補充ハ其主ナルモノデアアル。又破壊サレタ砲ノ補充ハ、從來ハ左程ノモノデナカツタガ、今日ハ頗ル重要ナル仕事トナツタ。機關銃ヲ始メトシ、障礙物及掩蔽部ノ建設材料等モ亦同様デアアル。若シ一度此レ等ノ物品ノ輸送ニ故障ヲ生ズレバ、軍ノ戰鬪力ニ甚ダシキ影響ヲ及ボス。故ニ將來ノ將帥タルモノハ、モルトケガグラエロツト

——サンブリヴァー及セダンノ決戰前ニ行ツタ如キ思ヒ切ツタ連絡線ノ變更ヲ、一時的任務ノ爲メニ敢行スベキカ否カニ就テ、再三再四熟考スルデアラウ。

自然ノ退却線モ亦正面ノ中央ニ於テ垂直ニ走ツテ居ルノガ最モ良イ。是レハ退却ヲヨギナクサレタ軍ハ此ノ方向ノ退路ニ就クノガ一番容易ダカラデアアル。斯カル危急ノ時機ニハ、軍隊ノ方向ヲ變換スルコトガ困難デアルカラ、此ノ方面ニ退路ヲ取ルノガ良シクナイノデアアル。

連絡線ト退却線トハ一致スルコトハアルガ、然シ常ニ一致スベキモノトハ限ラス。前者ハ力ノ本源ニ連接スルモノデアアルガ、後者ハ其時ニ力ノ増加ヲ求ムル方ニ向フモノデアアル。

地形ハ元來殆ンド常ニ兩軍ニ同様ノ影響ヲ及ボスカラ、軍ノ運動ニ際シテハ、餘リ重要ナ關係ガナイ。敵ノ動ク所ニハ何所ニデモ我が軍ヲ以テ同様ニ運動シ得ル。重要ナノハ道路網デアアル。現代ノ凡ラユル要求ニ從ツテ武裝シ且ツ裝備セル軍隊ノ、後方ニ連レ歩ルタ莫大ナル行季ハ、大ナル交通路ニ膠着スル。輕裝シ、從ツテ復タ不完全ナ武裝ヲ以テスレバ、運動ノ自由ガ増大スルガ、此ノ理由ヲ以テ此ノ種ノ軍隊ガ有利ダトハ云ヘヌ。何ントナレバ重キ武裝ノ軍隊ト雖モ、道路ノ不十分ナ土地デハ大ナル砲ヤ戰車等ヲ殘シテ置ケバ、運動ノ自由ガ増シ、而カモ之レガ爲メニ過度ニ戰鬪力ヲ減損セヌカラデアアル。例ヘバ波蘭土ノ沼澤地及森林地ノ前進ニハ、今日ノ佛蘭西軍ハ、其大兵器ノ一部ヲ携行スルコトガ出來ヌデアラウ、敵モ亦此ノ種ノ兵器ヲ其所ニ使用シ得ヌカラ、別ニ差支ハ無イノデアアル。

退却スル防者ハ、橋梁、鋪裝道及鐵道ヲ破壊シテ、地形ノ利益ヲ收メ得ル。例ヘバ獨逸軍ハ千九百十七年三月ニ、アラール——ソアツソンノ戰線ヨリ、所謂ジークフリード陣地ニ後退セシ時ニ、之ヲ實行シタ。其際ハ追躡スル敵軍ガ、廣大ナル地域ニ亘リ少シモ飲用水ヲ得ラレズ、又新陣地前ノ戰鬪距離内ニハ、宿營地ヤ飛行機ニ對スル掩蔽物ナドヲ、一ツモ得ラレヌヤウニシタ。之レガ爲メ敵ハ其年内ニハ、同所ニ於テ眞面目ノ攻撃ヲ行フニ足ルホドノ兵力ヲ集メルコトガ出來ナカツタ。此ノ如クシテ長イ時日ノ間此ノ方面ガ靜穩デアツタカラ、獨逸軍ハ此ノ部分ノ兵力ヲ節約シ、他ノ方面ニ力ヲ注ク事ガ出來タ。

然シ此ノ破壊ハ何ケ年ニモ亘ル計畫的ノ作業ヲ以テ實行サレタノデアアル。一時的ノ破壊ノ如キハ、今日ノ軍隊ハ皆ナ速カニ之ヲ補修スル技能ヲ持ツテ居ルカラ、目的ヲ達シ得ヌ。徹底的ノ破壊ニハ時ヲ要スル。故ニ攻者ハ之ヨリ生ズル妨害ヲ受ケヌ爲ニ、激シク敵ニ迫ツテ、絶エズ之ヲ追躡スルコトガ必要デアアル。

軍隊ヲ成ルベク多クノ道路ニ配當シツ、廣大ナル正面ヲ取ツテ戰略的前進ヲ開始スル。爲シ得レバ師團モ若干縱隊ニ分チ、適當ナル並行路ヲ利用スル。ヤガテ我が飛行機及騎兵ガ、前進シ來ル敵若シクハ全ク停止シアル敵ヲ發見シタ方ニ、行軍縱隊ヲ引キ寄セル。ソコデ戰術的運動ノ端緒ニ入

ル。包圍ヤ敵ノ一翼若シクハ中央ニ對スル主力ノ前進ニ着手スル。敵モ(若シ一定ノ陣地デ吾ガ攻撃ヲ待ツノデナクバ)同様ノ手段ヲ以テ吾ニ應^コヘル。敵ハ我が包圍ヲ避ケ、其方向若シクハ正面ヲ變更シ、側面陣地ヲ取り又夫レヲ捨テル。是レハ戰鬪ニ成功スル見込ガ未ダ立タナイカラデアアル。吾ハ之ヲ追ヒ、敵ハ吾ヲ避ケル。然シ益々戰鬪ノ觸接ガ進展スル。我が軍隊ハ益々狹ク相接近シ合フ。此ノ時機ニ至ツテハ、總テ軍隊ノ便宜ヲ計ルコトガ出來ナクナル。行李及縱列ハ必要止ムヲ得ザル距離マデニ止メテ置カネバナラス。即チ後^ノ容易ニ招致シ得ベキ地點ヲ指定シテ、一時停止サセ^ル。之ニ依ツテ先頭師團ノ後方ノ道路ガ開放サレ、他ノ後方師團モ同一方向ニ續行シ得、少ナクトモ一部ヲ以テ其日ノ内ニ援助スルコトガ出來ル。二ツノ軍ガ或數ノ道路上ダケ、同一方向ニ向ヒ前後ニ重ナツテ、前進スルコトサヘモ起リ得ル。之レハ前ニ進ム方ノ軍ガ、大規模ノ包圍ヲ行フ如キ場合デアラウ。此ノ時若シ敵ガ豫想以上ノ兵力ヲ以テ、此ノ師團ニ向ツテ來タナラバ、最初ノ不利ヲ來タサヌ爲ニ、豫備軍ヲシテ急速ニ先方ノ軍ニ近接セシメネバナラス。此ノ時先方ノ軍ハ悉ク自己ノ行李ヲ、増援軍ノ前進地域ヨリ去ラシメネバナラス。即チ軍ノ戰ノ後方連絡線ヲ爲ス所ノ道路ニ、之ヲ移シ、且ツ其各群ヲシテ、自己ノ部隊ノ方ニモ行キ得ル位置ヲ占メサセル。然ラザレバ之ヲ部隊ニ近ク招致シ、若シ軍ガ夫レヨリ餘リ遠ク前進スル見込ガ無クバ、糧食行李ノ荷物ヲ車ヨリ卸ロシテ之ヲ集積スルカ、若シクハ部隊ノ許ニ存在スル車輛ノ中デ、更ニ加重シ得ルモノニ増積シ

然ル後其空軍(行李)ヲ迂回ヲ經テ後退サセル。要スルニ此ノ場合ニ道路ヲ開放シ、戰團部隊ノ縱隊ノ運動ノ自由ヲ謀ル爲メニハ、如何ナル手段ヲ取ツテモ差支ナイ。斯クテ村落露營ハ漸次純然タル露營ニ近似シテ來ル。

此ノ如キ状態ハ勿論永續セズ。彼我ノ兩軍ガ斯ク近接シタ以上ハ、戰團ヲ交ヘズシテ離脱スルコトハ出來ス。

會戰ハ結局ヲ解ク。敗者ハ危地ヲ脱セント試ミ、勝者ハ之ニ追及センコトヲ欲スル。然シ夫レニハ前進ヲ容易ニスル爲メ、其主力ヲ狭イ地域カラ、再ビ廣イ地域ニ分ツテ、多數ノ通路ヲ利用スル必要ガアル。行李ヲ招致シテ今迄ノ不足勝ナ給養ヲ補ヒ、宿營地ヲモ裕ニ取ル。敵ハ再ビ元氣ヲ回復シテ停止シ、ソコデ吾軍ハ復タ兵力ヲ集結シテ第二ノ戰團ニ移ル。

此ノ如ク運動戰ニハ分(分進)ト集(集合)トガ附物トナル。此ノ二ツハ適切ナ時機ニ行ハネバナラス。過早ニ集結スレバ、再ビ排開スル必要ヲ生ジ、若シクハ狭小ナル地域ニ纏マツテ小數ノ道路上ヲ前進セネバナラスコトニナル。然ルトキハ正面ヲ再ビ擴張スル必要ヲ生ズルカ、サモナクトモ行軍長徑ノ過大ノ爲メニ不利ヲ來タス。早クカラ長ク集結シテ居ルト、軍ノ宿營及給養等ヲ不便ニスル。集結ガ遅レテモ、又分離ガ過早ニナツテモ、共ニ一部ノ兵團ノ敗北ヲ招ク。運動及戰團ノ連鎖ニ關スル一定ノ法則ハ得ラレス。最モ單純ナル運動ガ一番良イ。別ニ技工ヲ弄スルノ必要ハ無ク、唯ダ

敵ヲ破ルノガ目的デアアル。兩脚器ヲ手ニシテ、圖上デ熱心ニ研究スルノガ、任務達成ノ安全ナ手段デアアル。戰團ニハ凡ラユル力ノ協力ヲ必要トスルガ、然シ軍隊ヲ狭小ナ地域ニ集メルト、宿營地及糧食燃料等ノ缺乏ヲ來シ、疾病ヲ發生シ易クナル不利ヲ必ズ伴フコトヲ、忘レテハナラス。ソコデ分離ヲ必要トスルコトニナルガ、夫レハ我ガ目的ニ對スル行動ノ統一ヲ確實ニ保證スルモノタルヲ要スル。此所ニ掲ゲタ例ハ、勿論世界大戰ノ經過ノ大部分ヲ占メル所ノ戰況トハ、頗ル趣ヲ異ニスル。後者ハ陣地戰ガ主トナツテ居タ。然シ夫レトモ、運動ト戰團トノ内的連鎖ヲ必要トシタ。即チ勝敗ノ決シタ後ニ、最モ狹隘ナル集合ヨリ、縦長ノアル樂(楽)デ便利ナ配置ニ復歸セント欲シテ、焦點ニ向ツテ、徒步行軍及鐵道輸送ニ依ル軍隊ノ大移動ヲ行ツタ。現ニ陣地戰ノ數年間ニハ、或ハ數百軒ニ亘ル戰線内ヲ、或ハ相異ナツタ戰地ノ間ヲ、幾百萬ノ兵ガ移動シタ。唯ダ此ノ場合ニ特異ナ點ハ、兩軍ガ兩翼ヲ依托シタ設堡陣地ニ據ツタカラ、互ニ敵ノ來ヌ地域デ運動ガ行ハレタ事デアアル。將來モ斯カル場合ガ生ズルカ否カハ、疑問トセネバナラス。何レニシテモ作戰ノ上カラハ、陣地戰ノ束縛カラ免レルコトヲ望ム。飛行機及戰車ヲ利用スレバ、此ノ目的ヲ達成スル手段ヲモ見出シ得ルヤウニ思ハレル。

第九節 戰 闘

クラウゼウイツツハ、千八百六十年十月ニザイン河ノ後方ニ、側面陣地ヲ取レル普魯西軍ノ戰略的狀

況ハ有利デアツテ、同河トベーメン國境トノ間ヲ通過セル那翁ノ前進ハ、甚ダ大膽ナ處置ダト斷定シタ。實際「那翁ハ如何ナル理由デ、敢テ斯カル形勢ヲ招來シ、而カモ此ノ形勢ノ下ニ勝利ヲ得タカ」ト云フ疑問ガ、自然ニ起ルノデアアル。然シ其答解ハ、實ハ頗ル單簡ナモノデ、那翁ハ「如何ナル狀況デ戰ツテモ、自分ノ方ニ勝味ガアル」ト、確信シテ居タカラデアアル。麾下ノ軍隊ハ百戰ノ精兵デ、而カモ兵力ガ多ク、又自己ノ力ニ信賴スルコトモ厚カツタカラ、「何時何所デ敵ニ衝突ストモ、結局ハ勝ヲ占メ得ル」ト云フ信念ヲ持ツテ居タノデアアル。此ノ如キ信念サヘ持ツテ居レバ、大膽ナ戰略的行動ヲ斷行シ得ル。退路ヲ終始側面ニ置カウガ、後方ニ國境ヤ河川ヲ控ヘヨウガ、連絡線ガ不利ナ關係位置ニ在ラウガ、戰場ニ於ケル強者デサヘアレバ、其様ナ事ハ毫モ問題トスルニ足ラヌ。戰闘ガ甚大ノ價値ヲ有スルコトハ、凡ラユル經驗、總テノ戰史ノ良ク、立證スル所デアアル。

「戰爭ニハ火器サヘアレバ良イ。其外ノモノハ要ラヌ」ト那翁ガ言ツテ居ル。(但シ之ニ對シテ世人ハ、那翁ガ大集團ノ銃劍突擊ニ自己ノ強味ヲ求メタト非難スル)。那翁ノ言ハ其當時ヨリモ、千九百十四年ニ一層良ク適合スルノデアアル。然ルニ獨逸軍ノ武裝ハ遺憾ナガラ不十分デアツタ。機關銃ノ數ハ少ナク、野砲ノ威力ガ足ラズ、從ツテ射法モ舊式デアツタ。飛行機ノ如キモ、寧ロ邪魔物扱ヲ受ケタ。

全ク歩兵本位デアツテ、歩兵ガ戰闘ノ主役、眞ノ決戰兵種デアツタ。其教育ニハ往々缺陷モアツ

タガ、兎ニ角世界ニ比類ナキ精銳ノ軍隊デアツタト云フテ差支ナク、大戰中克ク偉勳ヲ奏シ、敵軍マデモ驚嘆ヲ禁ジ得ナカツタホドデアアル。實際獨逸ノ歩兵ハ良ク行軍シ、良ク射擊シ、不撓ノ攻撃精神ガ溢レテ居タ。當時ノ操典ニハ、行軍縱隊ハ微弱ナル敵火ナドヲ意トセズニ、勇往邁進スベキコトヲ要求シテアツテ、損害ノ生ズルニ至ツテ、始メテ敏活且ツ巧妙ニ散兵線ヲ作り、其後方ニハ縱隊ヲシテ地形及敵火ノ効力ニ適應スル隊形ヲ取ツテ續行サセタ。最初ノ散兵線ハ成ルベク兵力ヲ少ナクシ、敵火ノ効力ノ爲メ、疎散ノ隊形デモ最早前進シ得ヌ時期ニ至ツテ、始メテ射擊ヲ開始スルコトヲ許シタ。而シテ爾餘ノ前進ノ爲ニハ、火線ヲ後方ノ縱隊ヨリ増加シ、増加毎ニ若干ヅ、前進セセルコトヲ考ヘタ。斯クシテ終ニハ濃密ナル散兵線ヲ得タ。其主任務ハ火力ノ優勢ヲ贏チ得ルニアツテ、之ヲ獲ナケレバ敵ノ近クニ迫リ得ヌモノト考ヘタ。故ニ中隊長及小隊長ノ射擊指揮ニハ非常ニ重キヲ置イタ。其極度ハ散兵線ニ於テ行フ總テノ射擊ヲ、一ツノ束縛ニ纏メテ、號令ニ依ツテ目標ニ向ケル方法ヲ取ツタノデアアル。(此ノ技術ハ獨逸ノ歩兵隊ニ於テ大ニ發達シ、戰闘射擊ニ於テ、遠距離ノ見エ難イ目標ニ對シテモ、驚ク可キ成績ヲ收メタ)。

ヤガテ火力ノ優勢ヲ占メ得タ後ハ、小隊及分隊ハ交互ニ前進シ、相互ニ射擊ヲ以テ援護シ、以テ突擊距離マデ迫ツタ。ソコデ短時間ノ猛射ヲ行フタ後ニ、最後ノ豫備ヲモ加ヘテ、喊聲ヲ揚ゲ、銃ヲ構ヘテ、敵ニ肉迫シテ勝敗ヲ決スルノデアツタ。

攻撃ノ成功ニハ、歩兵ガ正シイ正面ヲ取ツテ、戦闘ヲ開始スルコトガ必要デアツタ。一旦散兵線ヲ作ツタ後ニ、之ヲ修正スルコトハ何レノ場合ニモ困難デアツテ、密集シタ隊ハ必要ニ應ジテ、左右何レニモ容易ニ向ケ得ルガ、散開シタ線ヲ新正面ニ向ケ直スノハ、容易デナイ。故ニ比較的多クノ損害ヲ受クル迄ハ、成ルベク長ク密集ノ隊形ヲ取ルコトヲ要求サレタ。

後方ヨリ逐次兵力ヲ増加シテ、攻撃ヲ促進スル方法ヲ取ツタノハ「敵ノ射撃ノ爲メニ一旦停止シテ地物ニ據ツタ散兵ハ、今迄通りノ勢デ敵彈ガ身邊ヲ掠メル間ハ、中々自ら再ビ前進ヲ起スコトガ困難デ、夫レヲ行ハセルノニハ、新銳ヲ増加隊ヲ以テ、後方カラ促進スル必要ガアル」ト云フ考カラ出タモノデアアル。而シテ豫備隊ノ使用ニ就テハ、攻撃ガ中途デ挫折スル危険ヲ避クル爲メニ、敵陣地ニ到着スル以前ニ、之ヲ使ヒ果タサヌ點ニ注意シタノデアアル。

上述ノ全般ノ處置ハ、「散兵ノ構成ト地形ノ利用トヨリ生ズル不秩序ヲ、セメテ號令デ射撃動作ヲ統一ニスルコトニ依ツテ、整理スル」ト云フ考案カラ出タモノデアアル。此ノ統一ニ依ツテ、單獨ノ射撃デハ銃ノ自然ノ躲避カラ、効力ヲ期待シ得ヌ如キ目標ニ對シテモ、多數ノ射彈ヲ纏メテ同時ニ注ゲバ、其所ニ居ル敵ニ損害ヲ與ヘルコトガ出來ルト期待シタ。斯クテ所要ノ教育ヲ施シタ相當ノ人員ヲ、一ツノ大キナ生キタ彈丸放射器ノ如クニ、戦闘ニ使用シ、其効力ヲ任意ニ各所ニ向ケル、ト云フ考ガ成立ツタノデアアル。

機關銃ハ中隊ニ隸屬セズニ、特別ノ大隊ニ纏メ、且ツ特殊ノ兵器トシテ取扱ハレテアツテ、超越射撃又ハ側方ヨリノ射撃ヲ以テ、歩兵ヲ援助スルコトニ定メテアツタ。

獨逸ノ戰術デハ砲兵ヲ、歩兵ノ必須ノ戰鬥仲間トシテ取扱ツタ。砲兵ハ歩兵ノミデハ前進ノ出來ヌ場所ノ進路ヲ打開シ、戰鬥ヲ準備シ、突撃中歩兵ヲシテ無益ノ損害ヲ免レシメ、要スレバ障礙物ヲ破壊シ、歩兵ガ止ムヲ得ズ退却スル場合ニ、夫レヲ支持スベキモノトサレタ。總テ此レ等ノ任務ノ達成ニハ、敵ノ砲兵ノ征服ヲ以テ最良ノ手段ト考ヘ、而シテ之ガ遂行ハ、全砲兵ノ纏マツタ効力ニ俟ツベキモノトサレタ。ソコデ砲兵主力ノ統一的使用ノ原則ガ生ジタノデアアル。

一軍團ノ地域内デ、三乃至四軒ノ幅ヲ持ツタ砲兵ノ陣地ハ、全般ノ戰鬥展開ノ脊樑ヲ爲シタ。比較的射程大ナル野戰重砲兵ハ、野砲兵ノ後方ニ陣地ヲ占メタ。砲兵ノ射撃ハ戰術上最モ重要ナ目標デ、最初ニハ之レ亦敵ノ砲兵デアツタ。而シテ敵ノ砲火ヲ衰退セシメ得タナラバ、直チニ我が砲兵ノ一部ヲ歩兵ニ向ハセタ。此ノ時期ニ至ツテ始メテ、攻撃ガ一層早く進捗スルモノト期待シタ。歩兵ガ最初ヨリ著シキ優越ノ地位ヲ占メヌ以上ハ、砲兵カラ右ノ如キ援助ヲ受ケル迄ハ、歩兵ハ決戰距離ニ近接スルコトヲ必ズ差控ヘベキモノトサレタ。尙ホ愈々敵陣地突入ノ直前ニハ、砲火ヲ最大限ニ高メテ、之ヲ準備スルヲ要シタ。

戰場ニ於テ土工具ヲ使用シ、且ツ攻撃ニモ掩體ヲ掘開スルコトガ、盛ニ行ハレタ爲ニ、一旦忘レ

ラレテ了ツタ曲射ガ、再ビ重要視サル、ニ至ツタコトハ、前ニモ述べタ所デアアル。故ニ各軍團ニハ野戰輕榴砲一大隊宛ヲ備ヘタ。運動戰ガ計ラズモ陣地戰ニ移ツテ、敵ノ散兵ガ一夜ノ内ニ等身ノ深サノ壕内ニ没シテカラハ、此ノ大隊ガ非常ナ用ヲ爲シタ。野戰軍ノ重砲ハ最初ニハ曲射砲、即チ十五糎榴彈砲及二十一糎白砲ノミデアツタ。

騎兵ノ協力、殊ニ其馬上ノ本來ノ戰鬪行爲ハ、搜索勤務ニモ、又會戰ニモ、之ヲ放棄シ得ルモノト考ヘタ。

「指揮ノ要訣ハ、各兵種ヲ其特性ニ應ジテ戰鬪ニ使用スルヲ以テ足レリトセズ、其効力ヲ戰鬪目的ノ爲ニ統一的ニ纏メルニアル。而シテ軍隊ガ一度戰鬪ノ爲メニ展開シテ了ヘバ、高級指揮官ハ之ヲ自己ノ意ノ如ク動カスコトガ出來ヌ。敵ト火戰ヲ交ユル散兵、及砲戰ニ從事スル砲兵ハ、意ノ如ク之ヲ動カシ得ヌモノデアツテ、高級指揮官ハ自己ノ考ヲ實現スルニハ、新銳ノ兵力ヲ戰鬪ニ參加サセル外ニ手段ガ無イ」ト考ヘラレタ。

軍隊ヲ戰鬪ニ使用スルニ就テハ相反スル二ツノ顧慮ガアツタ。即チ敵ニ向ツテ注グ多量ノ彈丸ノ壓倒的効果ノ上カラ考ヘレバ、諸兵種ヲ同時ニ且ツ統一的ニ使用スルノガ、良イトモ思ハレル。然シ何レノ戰鬪ニテモ、其初期ニハ狀況ガ不明デアルカラ、其兵力ヲ過早ニ使用シ、且ツ誤ツタ方向ニ出ス恐レガアル。而シテ攻撃ヲ促進スルニハ、絶エズ新シイ兵力ヲ必要トシ、又指揮官ハ不測ノ

事故ノ爲メニ支援ヲ要スルカラ、軍隊ノ一部ヲ豫備トシテ割キ、且ツ夫レヲ決戰ノ時期マデ纏メテ置クコトニ努メタノデアアル。而シテ戰鬪ノ進捗ニ伴フテ、逐次ニ之ヲ使用スルノ必要ヲ往々生ズベキコトヲモ豫期シタ。但シ少數ヅ、徐々ニ使用スルノハ、我が戰鬪法ニハ有利デ無イト考ヘタ。

現ニ我が操典ニハ、遭遇戰ニ於ケル軍隊指揮官ノ處置ニ就テモ、少ナクトモ其本隊ダケハ、一定ノ戰鬪目的ヲ以テ統一的ニ使用スベキコトヲ示シテアツタ。若シ前衛ガ不意ニ敵ト衝突シテ攻撃ニ移リ、而カモ危險ノ状態ニ陥ツタ場合ニハ、右ノ統一的使用ガ困難トナリ、下級指揮官ガアセリ、高級指揮官ガ不安ヲ感ズル結果、動々モスレバ軍隊ガ戰場ニ到着スル毎ニ、少數宛逐次ニ戰鬪ニ加入サセルコトニナルガ、斯クテハ本隊ノ統一的使用ナドハ思ヒモ寄ラヌカラ、爲シ得ル限りハ、戰鬪ニ移ルニ先チ、分進及展開ヲ行フヲ要シ、少ナクトモ軍隊ヲ容易ニ且ツ有効ニ前進シ得ル方向ニ出スコトヲ、必要トシタ。戰鬪開始ヲ周到ニスルニ從ツテ、同時ニ且ツ統一的ニ兵力ヲ（縱令全部デナクトモ其大部分ヲ）使用シ得ル見込ガ多イ、ト考ヘタノデアアル。

以上述べタ所ノ戰術上ノ見解ハ、攻撃ノ必要ヲ徹底的ニ主張セルモノトシテ、正ニ戰爭ノ適切ナル觀察ニ基クモノト云ヘル。之レハロスバツハ及ロイテンノ戰ヨリ、ライプチツヒ及ワールローノ會戰ヲ經テ、ケーニヒグレッツツ及セダンニ至ルマデ、普魯西軍隊及獨逸軍隊ヲ指導シタ所ノ精神ヲ、良ク發露セルモノデアアルガ、然シ舊時代ノ只猛烈ナ突進ニ依ツテ贏チ得タル大勝ノ印象ニ支配サレ過ギ

テ、其間ニ起ツタ兵器ノ技術界ニ於ケル進歩ヲ、餘リ輕視シタモノデアツタ。其結果自己ノ勇氣ヲ過信シ、敵火ノ効力ヲ蔑視スルニ至ツタ。大戰ノ初期ニ屢々下サレタ「損害ヲ顧慮スルコトナク、突撃ヲ實行スベシ」トノ命令ハ、獨逸軍隊ニ行ハレタル戰術上ノ意見ヲ、良ク表明セルモノデアアル。此ノ命令ハ口頭ヲ以テ幾回トナク達セラレ、緒戰ニ於テ到ル所我が軍ニ勝利ヲ與ヘタガ、同時ニ又甚大ナル損害ヲモ齎ラシタノデアアル。歩兵隊ノ現役ノ下級將校及下士ハ開戰後ノ數週間ニ其定員ノ大部ヲ失ヒ夫レガ後ノ軍隊教育及指揮ニ少ナカラザル害ヲ及ボスニ至ツタ。

諸兵種間就中、歩砲兵間ノ協力ニ關スル理解ガ、殊ニ不充分デアツタ。典範ニハ其必要ヲ説イテアツタガ、實際ニ於テハ夫レガ主ニ、此ノ兩種ヲ併セ率キル高級指揮官ガ命令ニ依ツテ求メタノミデ、戰鬪ノ實況及能力ニ就テノ相互ノ精確ナル知識ニ依ツテ、之ヲ實現スルコトヲ努メナカツタノデアアル。之レガ爲メ往々砲兵ノ効力ヲ待タズシテ過早ニ步兵攻撃ヲ行ヒ、或ハ砲兵ノ成果ヲ步兵ガ利用スルコトヲ怠ルガ如キ結果ヲ來シタ。

此ノ點ニ就テハ佛國軍隊ノ方ガ、確カニ進ンダ考ヲ持ツテ居タ。軍事技術ニ關スル問題、地形ノ利用及諸兵種相互ノ援助ニ就テノ理解ハ、良ク行キ渡ツテアツタ。獨逸デハ騎兵ガ軍隊ノ中デ一番尊重サレ、國民ノ間ニ一番愛サレタガ、佛國軍隊デハ工兵及徒歩砲兵ガ優待サレタ。此ノ一事ニ依ツテモ技術ニ對スル觀念ノ彼我ノ差ヲ認メルコトガ出來ル。

然シ佛國ノ戰術ガ、概シテ獨逸ノ戰術ヨリモ良イトハ決シテ云ヘス。マルヌ會戰マデノ戰鬪ノ經過ハ、到ル所ニ其反證ヲ示シテ居ル。

尙ホ近代ノ戰鬪ノ真相、並ニ夫レヨリ生ズル戰鬪隊形ニ關シ、獨逸ニ行ハレタ意見ハ、種々ノ點ニ於テ實際ニ適合シナカツタ。之レハ今迄ニモ、長イ平和ノ後ニ起ツタ戰爭ニハ、何時モ免レ難イ現象デアツテ、我敵國ニ於テモ亦同様デアアル。否ナ我が邦ヨリモ一層夫レガ甚ダシカツタヤウニ思ハレル。蓋シ撃針銃及普佛戰爭時代ノ砲ヨリ、機關銃及砲身後坐砲ニ至ル如キ大進歩ヲ爲シタ場合ニ、新歩器ガ實際ニ如何ナル働ヲ及ボスベキカヲ正確ニ豫想スルコトハ、何人ト雖モ出來ルコトデハナイ。要ハ未知ノ兵器ノ効力ニ遭遇シタ軍隊ガ、狼狽セズシテ早ク夫レニ應ズル道ヲ解決スルニアル。千八百七十年ニ獨逸ノ歩兵ガ、異常ノ遠距離ヨリ佛軍ノ「シヤスポー」銃ノ射撃ヲ受ケタ時ニハ、良ク之ニ應ズルノ手段ヲ取り、世界大戰ノ獨逸軍隊モ亦、軍事技術界ノ新シイ發明ニ對シテ、十分之二處スルコトガ出來タ。蓋シ獨逸ノ陸軍ニ横溢セル活氣ガ、之ヲ能クセシメタノデアツテ、其養ヒ得ル獨斷專行ト決斷力トニ依ツテ、將卒ヲシテ克ク戰場ニ於ケル實際ニ適應スルヲ得サセタノデアアル。

千九百十四年ノ最初ノ衝突ニ依ツテ、敵ノ有効射程内ニ於テハ密集部隊及濃密ナ散兵ヲ用ヒ難キコトヲ認メタ。無益ノ損害ヲ避クル爲メ、他ノ形式ヲ發見スル必要ヲ認メ、殊ニ地形及夜間ノ利用ヲ、今迄トハ全ク異ナツタ方法ヲ實行スル必要ヲ感ジタ。ソコデ一方デハ、敵ニ爲シ得ル限り小ナル目標

ヲ呈スルコトヲ努ムルト共ニ、又一方デハ新火器ノ採用ニ依ツテ、自己ノ射撃効力ヲ増大スルコトヲ謀ツタ。

尙ホ小隊或ハ中隊ヲ以テスル歩兵射撃ノ、統一的指揮ガ不可能ナ事モ分ツタ。急射撃ノ音響ノ爲メニ音聲ガ行キ渡ラズ、兵卒ガ戰鬪ノ爲メニ熱シテ目標ノ指示ヲ常ニ正シク理解シ得ズ、照尺ヲ裝置シ、豫命ト動令トノ間ニ、指揮官ノ希望スル方向ニ自己ノ目ト兵器トヲ向ケルコトガ出來ナクナリ、唯ダ指揮官ノ近クニ居ル者ダケガ、之ヲ實行スルニ過ギナカッタ。之レガ爲メ射撃指揮ハ忽チ最小部隊ノ指揮官ノ手ニ歸シ、散兵群ガ（後ニハ殊ニ輕機關銃群ガ）、火戰ノ擔任者トナツタ。

從來立前トシタ所ノ中隊及小隊ヲ以テスル躍進ヲ止メテ、小群及極小群若シクハ單獨兵ノ、躍進或ハ駈歩ヲ行ヒ、濃密ナ長イ散兵線ノ代リニ、不規則ニ分割シタ疎散ナ戰鬪群ヲ採用シタ。ソコデ恰カモ土地其物ガ活動シテ戰鬪シツ、アルガ如キ觀ヲ呈シ、生籬ノ後ニハ一挺ノ輕機關銃ガ射撃シ、其側方後ノ孔ノ中ニハ一門ノ迫撃砲ガ射撃ヲ行ヒ、小銃手ハ分隊毎ニ前後左右ニ分レ、掩體ヲ掘開シテ一定ノ地帯ヲ占領シテ、精密ナ照準ヲ以テ敵ヲ射撃シ、其後方ニハ側方並ニ小高イ所ノ陣地カラ輕機關銃ガ、時々短時間ノ猛射ヲ行ツテ前方ノ戰鬪部隊ヲ援助スル、ト云フ有様デアツタ。

佛蘭西ノ砲兵ガ優秀ナ砲ト、其多樣ナル使用法トニ依ツテ、獨逸ノ砲兵ヲ驚カセタ爲メニ、我が砲兵ハ新タナ研究ヲ爲ス必要ニ迫ラレタ。佛軍ノ砲兵ハ「彼我ノ長大ナル砲兵線ヲ對立サセテ、著シキ

優勢ノ地位ヲ贏チ得ル迄、砲戰ヲ繼續スル」ト云フヤウナ方法ヲ取ラズ、砲兵ノ全部ヲ一陣地ニ出スコトヲ避ケ、戰鬪ノ要求ニ應ジテ群毎ニ各所ニ出沒シ、最初カラ砲兵ノ一部ヲ歩兵戰鬪ニモ參加サセ、他ノ部分ヲ控置シテ、敵ノ突撃前進ノ時機ヲ待ツテ不意ニ出現サセタ。

「千九百十四年ニマルヌニ向ツテ行ヘル獨逸ノ大規模ノ攻撃運動ノ失敗ノ原因ハ、佛軍ノ砲兵ノ威力ニ歸スベキモノデ、獨逸側ノ重砲ノ優勢ヲ以テモ、之ヲ埋メ合ハスコトガ出來ナカッタ」トハ、多クノ歷戰者ノ認ムル所デアル。其後我が軍ガ新式野砲ヲ採用シ、夫レニ應ジテ射法及戰術上ノ處置ヲ改メテカラハ、漸次形勢ヲ有利ニスルコトガ出來タ。然シ大戰ノ最後ノ二年ニハ、協商國側ノ各種口径ノ火砲ノ數ガ増加シ、且ツ戰車及飛行機モ大ニ有力トナツタ爲メニ、終ニ優勝ノ地位ニ立ツニ至ツタノデアル。

是レヨリ、最近ノ戰爭ノ經驗ヨリ得タル戰鬪ノ原則ヲ單簡ニ述ベル。夫レニ就テハ先ヅ相向ツテ前進スル兩軍ノ間ニ起ル戰鬪ノ狀況ヲ一應觀察スルコトニスル。

此ノ種ノ遭遇戰ハ兩軍カラ出ス搜索部隊及前衛ノ衝突カラ進展スル。此ノ戰鬪ノ經過ハ、主力ノ使用法ニ關シテ、指揮官ニ重要ナル參考トナル。此ノ部隊ノ周到ニシテ且ツ猛烈ナル處置ハ、爾後ノ進展ニ大ニ貢獻スルノデアル。然シ指揮官ガ、或ル程度マデ狀況ガ判明シテカテ決心ヲ定メントスルノ

ハ誤リデアル。斯クスレバ、敵ガ先制ノ利ヲ占メルコトニナルデアラウ。

多クノ場合ニハ斷乎タル處置ヲ取ルノガ、一番結果ガ良イ。然シ之レガ爲メ動々モスレバ、上官ノ意圖ニ反スル結果ヲ生ジ易イ。例ヘバ前衛司令官ハ、所屬師團ノ狀況及其企圖ヲ知り、且ツ地形ヲモ顧慮スベキデアアルノルニ、若シ前衛司令官ガ無謀ノ前進ヲ爲シテ、優勢ナ敵ニ襲ハルル危險ニ陥ツタナラバ、全般ニ非常ナ害ヲ及ボスコトニナル。但シ其決心ニ就テ據ルベキ一定ノ規則ガアル譯デハナイ。指揮官タル者ハ錯雜紛糾ノ中カラ、正シイ方途ヲ選ブノ道ヲ解スベキデアアル。

敵ニ先ンジテ戰鬪展開ヲ爲スコトガ緊要デアアル。之ニ成功スル者ハ先制ノ利ヲ占メ、敵ヲシテ我が意志ニ從ハシメ得ル望ガアル。戰鬪展開ハ一ツノ長イ行軍縱隊カラ、多數ノ小縱隊ヲ作ツテ、之ヲ行フ。其小縱隊ニ新シイ行進目標ヲ與ヘテ、本縱隊ノ左方又ハ右方、若シクハ兩方ニ出ス。其際廣ク搜索及警戒ノ幕ヲ張ツテ全體ヲ掩ヒ、敵ノ偵察ヲ爲シ得ル限リ妨害スル。而シテ前衛ノ部隊ガ之ヲ行フノミデナク、行軍縱隊ヨリ分レテ出テ行ク部隊モ亦、斥候ヲ出ス。斯クシテ行軍間ノ搜索カラ、戰鬪搜索ニ移ル。ソコデ飛行機ノ外ニ繫留氣球ヲモ使用スル。

前衛ハ其全般ノ動作ニ依ツテ、敵ヲ欺瞞スルコトヲ試ムベキデアアル。前衛ハ間モナク本隊ヨリノ援助ヲ受ケ得ルカラ、比較的廣ク正面ヲ取ツテモ差支ナイ。砲兵ヲ小群毎ニ、時ニハ一門毎ニ使用シ、且ツ之ヲシテ遠距離ヨリ活潑ニ射撃セシメ、又歩兵ヲモ廣く正面ヲ以テ元氣ニ前進セシムルトキハ、敵

ヲシテ實際ヨリモ戰鬪展開ガ大ニ進捗セル如ク思ハセ、之ニ依ツテ敵ヲ過度ニ用心深イ處置ニ出デ、迂路ヲ取り、時間ヲ徒費スル等ノ過失ヲ犯サセルコトガアル。前衛ハ此ノ戰鬪着手ニ當ツテ、重要ナル各地點ヲ成ルベク自己ノ手ニ收ムルコトヲ努ムベキデアアル。觀測所ニ適スル高地、支撐點トナルベキ村落、森林、地區等ハ、即チ夫レニ屬スル。前衛砲兵ハ此ノ任務達成ニ就キ、歩兵ヲ有力ニ援助スルヲ要スル。

其間ニ砲兵指揮官ハ、本隊ニ在ル砲兵ヲ陣地ニ就カシメル。之レガ爲メ自ラ全般ノ狀況及地形ヲ顧慮シテ、軍隊指揮官ニ意見ヲ具申シ、其命令ヲ受ケテ、之ヲ實行スル。砲兵ハ目下形成シツ、アル戰鬪正面ノ、後援ヲ爲スベキモノデアアルカラ、軍隊指揮官ガ此ノ時期ニハ、如何ニ戰鬪ヲ指導スベキカニ就キ、既ニ決心ヲ定メテ居ルコトハ言フ迄モ無イ。此ノ命令ニ依ツテ本隊ヲ一定ノ方向ニ出ス。後デ其方向ヲ變換スルコトハ極メテ困難デアアル。

ヤガテ各所ニ進展スル戰鬪ニ依ツテ、此ノ處置ヲ或程度マデ知り得ル。少ナクトモ此ノ砲兵ハ（若シ夫レヲ既ニ使用シアル以上ハ）其發射ニ依ツテ、自己ノ位置ヲ告白スル。又何レノ地點ヲ敵ノ歩兵ガ占有スルカ、若シクハ何レニ向ツテ進マントスルカヲ、知ルコトモ出來ル。ソコデ我が戰鬪任務ヲ益々明瞭ニ下級指揮官ニ示シ得ル。砲兵ハ猛烈ナル効力ヲ發揮シテ、此ノ抵抗ノ打破ニ任ジ、總テノ處置ヲ此ノ主目的ニ合致スル如ク實行スル。

歩砲兵ノ相互ノ理解ガ緊要ナル。歩兵ハ砲兵ノ力ニ及バヌコトヲ要求シテハナラヌ。砲兵モ亦、歩兵ガ本來爲スベキ任務ヲ果スノヲ、待ツテ居テハナラヌ。多クノ場合ニハ歩兵部隊ニ砲兵ノ一部(例ヘバ歩兵聯隊ニ砲兵一大隊)ヲ「配屬」シ、更ニ爾後ノ戰鬪經過中ハ、近戰砲兵トシテ歩兵ニ直接ニ「隸屬」シ、以テ機關銃並ニ迫撃砲デハ、十分ニ打チ勝ツコトノ出來ナイヤウナ局部的抵抗ヲ打開スルコトヲ、直接ニ援助スルノガ有利デアラウ。砲兵ハ又不測ノ場合ニ備フル爲メ、其一部ヲ豫備トシテ取ツテ置カネバナナルマイ。砲兵ハ狹小ナル地區ニ集メルコトヲ避ケ、一群ヅ、縦長ニ配置スル方ガ適當ナル。又手段ヲ盡クシテ、敵ノ空中偵察ニ對スル掩蔽ヲ求ムベキデアアル。我が偵察機及砲兵用飛行機ノ數ガ多ク、且ツ有力ナルニ從ツテ、敵ヲシテ射撃ヲ中止セシムルコトガ容易ニナル。ソ、ゴ、デ攻撃ノ進捗ハ、主トシテ砲兵及ビ其實行ノ遲速ニ從ツテ決定スルノデアアル。歩兵ガ砲兵ノ効果ヲ待タズシテ過早ニ前進スレバ、必ズ敵ノ爲ニ撃退サレル。

若シ前衛及本隊ヲシテ、各々從來ノ指揮官ノ下ニ、獨立ノ戰鬪群トシテ戰鬪ヲ實行セシメ、且ツ前者ヲシテ正面攻撃ヲ、後者ヲシテ包翼ヲ遂行セシメ得バ、最モ好都合デアアル。前衛ガ其任務ノ達成ニ兵力ノ不足ヲ感ズル時ニハ、本隊ヨリ之ヲ増加セネバナラヌ。其場合ニハ本隊ノ先頭部隊ガ前衛ノ傍ニ參加シタ時期カラ、前衛ノ關係ヲ中止スベキ命令ガ下サレ、再ビ其軍隊區分ニ應ズル隸屬關係(命令)關係ガ生ズル。軍隊ガ到着スルニ從ツテ、之ヲ少シツ、逐次使用スルコトヲ許容スル場合ハ、前

衛ガ爾後ノ戰鬪經過ニ緊要ナル地點ヲ機敏ニ占領セル後ニ、敵ノ之ニ奪回セントスル努力ヲ阻止スル必要ニ迫ラレタ時ニ限ル。其他ノ場合ニ、此ノ如キ兵力ノ使用法ヲ爲スノハ、多クハ適切ニ搜索ガ行ハレナカツタ證據デアアル。

軍隊指揮官ガ自己ノ意志ニ依ツテ、戰鬪ノ進展ヲ左右スベキ最要ノ手段ハ、砲兵ニ與フル戰鬪任務デアアル。之ニ依ツテ歩兵トノ協力ガ保證サレ、又砲兵ノ活動ノ重點ヲ、戰鬪目的ガ要求スル方ニ向ケルコトガ出來ル。最初ヨリ近戰砲兵及遠戰砲兵ノ區別ヲ設クベキカ否カハ、其時ノ狀況ニ依ル。然シ前ニモ述べタ通り、歩兵ニ配屬シ且ツ之ニ隸屬スルコトモ出來ル。極メテ蔭蔽セル土地デ、師團ノ砲兵指揮官ガ統一的射撃指揮ヲ爲シ得ヌ場合ニハ、殊ニ其必要ガアルデアラウ。此ノ場合ニハ歩兵ノ爲メ、主トシテ砲兵ノ參加ヲ必要トスル場所ヲ、砲兵ヲシテ有効ニ射撃セシムル目的デ、近戰砲兵ヲ多數ノ小部隊ニ分割スル必要ガアルカラデアアル。尙ホ之ト同一ノ目的ニ使用スル爲メ、別ニ歩兵砲ガアル。之ハ歩兵ノ重火器トシテ取扱ハレテ居ル。歩兵聯隊長ハ歩兵砲ヲ小隊若シクハ一門ヅ、大隊ニ配屬シ、又大隊長ハ場合ニ依リ、更ニ之ヲ中隊ニ配屬スル。其準備彈藥ガ少ナイ爲メニ、長ク射撃ヲ繼續スルコトガ出來ヌカラ、近距離カラ少數ノ彈丸ヲ以テ、戰鬪任務ヲ達成シ、然ル後敏速ニ再ビ撤退シ、以テ敵砲兵ノ發見ヲ免レネバナラヌ。緊要デ戰場ヲ運動シ得ヌカラ、人力ヲ以テ曳キ得ル如ク輕ク造ルカ、若シクハ低イ装甲ノ自動車砲ト爲ス。此ノ砲ノ口徑ハ彈藥補充ノ關係上野砲ト同一ニス

ベキデアル。

遠戦砲兵ハ敵砲兵ヲ制壓シ、且ツ戰場ノ内部ニ位置スル目標ヲ射撃スル。陣地變換ハ効力ノ中絶ヲ來スカラ、若シ同一陣地カラ總テノ任務ヲ果タシ得レバ、有利デアル。然シ之ヲ必要トスル場合ニハ、梯次ニ實行セネバナラス。單ニ觀測所ノミヲ移セバ、陣地ヲ變更セズトモ濟ム場合ガ往々アル。既ニ第一陣地選定ノ際ニ、突入^{アインブルッフスツレ}點ニ對シテモ火力ヲ集中シ得ル如ク、顧慮スル必要ガアル。依托セザル側面ノ掩護ニハ、特ニ射程ノ大ナル平射砲ガ適スル。砲兵自身ハ其前方ノ歩兵ニ依ツテ保護サレル。特別ノ掩護隊ヲ要スルノハ、例外ノ場合デアル。砲兵ノ各中隊モ亦近距離防禦ノ手段トシテ、自己ノ輕機關銃、騎銃及手投彈ヲ使用スル。

戰鬪間ノ指揮官ノ位置ノ選定モ亦、重要ノ事柄デアル。早ク之ヲ決定シ、又其所カラ麾下ノ各本部トノ通信連絡線ヲ、成ルベク速カニ規定スベキデアル。

工兵ハ其特別ノ能力ヲ充分ニ發揮シ得ル場所ニ使用スル。夫レガ出來ヌ場合ニハ、當分之ヲ控置スル。單純ニ歩兵的ニ使用スルコトハ、之ヲ避ケネバナラス。強イテ之ヲ使用スレバ、過度ニ工兵ヲ苦メ、後ニ特別任務ニ使用スル場合ニ至ツテ、十分ノ能力ヲ發揮シ得ヌコトニナル。軍隊中、戰鬪ヲ行ハヌ部分(衛生中隊、小行李、糧食行李及荷物行李)ハ、當分一定ノ線内ニ入ルコトヲ許サヌ。繙帶所及輕傷者集合場ノ爲ニ、適當ノ位置ヲ選ビ、又輸送縱列ヨリノ彈藥補充ヲ確實ナラシムベキ手段ヲ講

ズル。

總テ攻撃ニハ必ズ、其重點ガナケレバナラス。之レハ本隊ヲ使用シタ方向ニ依ツテ、既ニ示サレテアルガ、狀況ノ次第ニ判明スルニ從ツテ、決戦ヲ求ムベキ場所ヲ一層精密ニ選定シ、且ツ之ヲ軍隊ニ示シ、之ニ總テノ火力ノ効力ヲ特ニ集中スベキデアル。

若シ偵察及緒戦ニ依リ、敵ノ兩翼ノ包圍若シクハ背面攻撃ヲ、行ヒ得ルコトガ分ツタ場合ニハ、我が狀況ハ最モ有利トナル。然シ之ヲ實行シ得ベキ條件ノ備ハル場合ガ極メテ稀ナコトハ、前ニモ述べタ所デアル。一翼ノ包圍ハ夫レヨリモ容易デアル。若シ最初カラ數縱隊トナツテ前進スレバ、其前進方向カラ夫レガ自然ニ實行サレテ、多大ノ効果ヲ收メルコトガ多イ。然シ包圍ハ又、分進ノ方法若シクハ最初後方ニ控置セル兵力ヲ動カスコトニ依ツテ、之ヲ實現サセルコトモ出來ル。此ノ處置ハ比較的迂遠デアリ、且ツ之レガ成功ヲ見ル爲メニハ、時機ヲ逸セズニ其決心ヲ爲ス必要ガアル。何トナレバ包圍ニ當ツタ部隊ハ、其運動間ハ戰鬪ニ加ハラヌカラ、最初正面デ戰鬪シテ居ル部隊ヲシテ、困難ノ狀況ニ陥ラス虞ガアルカラデアル。又包圍ニ任ズル部隊ガ、自己ノ意志ニ反シテ過早ニ戰鬪ノ渦中ニ卷キ込マレテ、遂ニ其企圖ヲ實行シ得ヌ場合モアル。故ニ偵察ニ任ズル諸機關ハ、包圍ノ能否及其實行法ヲ早ク確メデ、之ヲ報告スル必要ガアル。而シテ包圍ヲ行フ場合ニハ、正面攻撃ニハ成ルベク少數ノ兵力ヲ當テ、包圍ニハ成ルベク多クノ兵力ヲ使用スベキデアル。

包翼ガ出來ス場合ニハ、唯ダ正面攻撃ノミヲ行フノ外ハ無イ。之レハ困難デハアルガ、有爲ノ軍隊ハ之レヲ恐レテハナラス。前ニモ述ベタ如ク、最良ノ手段ハ敵ノ弱點ニ向ツテ優勢ナル兵力ヲ集メ、且ツ其突入ヲ擴大シテ突^{ドウルヒトツツ}破ニ至ラシメ、敵ノ兵力ヲ兩斷シ、夫レヨリ包翼ニ着手スルニアル。更ニ遭遇戰ニ於ケル攻撃遂行ノ細部ニ就テ左ニ述ベル。

本隊ニ與ヘタ分進命令ニ依ツテ、行軍縱隊ハ數個ノ小縱隊トナツテ、本縱隊ヨリ分岐シ、砲兵ノ一部ハ、既ニ進行中ナル前衛ノ戰鬪ニ參加スル爲メ陣地ニ就キ、一部ハ之ヲ陰匿シ置ク。次デ指揮官ハ攻撃命令ヲ起案スル。

其際ニハ各戰鬪群若シクハ各部隊ニ、一定ノ「戰鬪地帶」(攻撃地帶)ヲ指定スルコトガ緊要デアル。之レハ展開及夫レニ引キ續イテ行フ前進ノ爲ニ、左右ノ限界ヲ定メタ地域ヲ指スノデアル。此ノ戰鬪地帶ハ敵ノ中ノ方マデ延ビテ居ルモノデアルカラ、之ニ割リ當テラレタ部隊ガ奪取スベキ敵ノ正面若シクハ側面ノ區域ガ、之ニ依ツテ分ル譯デアル。而シテ決戰ヲ求ムル地域ハ、戰鬪地帶ヲ狹小ニシ、以テ其部隊ヲシテ深キ縱長配備ヲ取ツテ戰鬪シ、且ツ補充シ得ル如クシ、又敵ヲアシラヒ若シクハ抑留スベキ部分ノ戰鬪地帶ハ、廣ク取ツテ、自然ニ持久的ノ戰鬪ガ起ル如クスル。大體ノ標準トシテハ、一師團ガ普通ノ狀況ニ於テ戰鬪シ、且ツ其兩翼ヲ依託スル場合ノ正面幅ハ、三乃至四軒トナルデアラワ。戰鬪地帶ノ指定ノ外ニ、先ニ述ベタ他ノ總テノ事項ヲ包括スル所ノ全關ノ攻撃命令ヲ、

先ヅ各個命令トシテ下スカ、夫レトモ纏マツタ命令トシテ下スカハ使用シ得ル時間ノ長短ニ依ル。其要件ハ、各部隊ヲシテ何レノ地點ニ展開スベキカラ、時ヲ移サズ知ラシメルニアル。其際指揮官ハ特別ノ注意ヲ拂ツテ、明確ニ之ヲ示スコトガ必要デアツテ、戰鬪地帶ニ就キ決シテ誤解ヲ生ゼシメテハナラス。精確ナ地圖ヲ有スル場合ニハ、之レガ容易デアルガ、然ラザル場合ニハ、然カク單簡ニハ行カズ、多クハ現地ニ於ケル基準點(方向ヲ定ムル諸點)ニ依ツテ、之ヲ示スノデアル。小部隊ノ場合カ、若シクハ地形ガ陰蔽シテ居ル場合ニハ、正確ナ一線ヲ定メ、其線上ヲ正面ノ中央或ハ一翼ヲシテ前進セシムルヲ以テ、満足スル時モアル。周到ナル用意ヲ以テ部隊ヲ前進セシムルニハ、相當ノ時間ヲ費ヤスガ、夫レハムダニハナラス。蓋シ此ノ時間ハ多クノ場合ニ、戰鬪搜索ノ補足ニ利用シテ、大ニ有益ナルデアル。時間ノ消費ハ攻撃ノ圓滑ナル進捗ニ依ツテ價ハレル。

歩兵ノ前進ハ陣地ニ着イタ砲兵ト、不規則ナ疎散ナ群ニ配置サレタル重機關銃及迫撃砲トノ、援護ノ下ニ行ハレル。其際ニハ從來好ンデ用ヒタ「有力ナル散兵線」ヲ作ルコトヲ避ケル。勇敢ナル軍隊ハ絶對ニ必要ヲ生ズル迄ハ、射撃ヲ開始セズニ、爲シ得ル限り敵ニ近接スル。遠大ノ距離ヨリ照準モセズニ亂射スルノハ訓練ガ不十分デ、軍紀ノ嚴正デナイ證據デアル。歩兵ハ上述ノ重火器ノ援護ノ下ニ前進シテ、自己ノ輕火器即チ小銃、輕機關銃及銃榴彈ヲ使用センコトヲ努メル。歩兵ガ敵ニ近迫スルニ從ツテ、砲兵ハ敵ノ歩兵ニ對スル中隊數ヲ増加シ、終ニ突撃距離ニ迫ツタ時ニハ(敵ノ砲兵ノ制壓

ニ必要ナラザル限リハ、全砲火ヲ突入點ニ集メル。敵ガ十分ニ屈服シタト認メタ時ハ（射撃ノ衰退、若干ノ兵及部隊ノ後退ニ依ツテ知ルコトガ出來ル）、突撃ニ移ル。之ヲ最前線ノ考テ實行スルカ、指揮官ノ命令ヲ待ツテ行フカハ、其時ノ狀況ニ依ル。最前線ヨリ行フ場合ニハ、歩兵ハ突撃實行ノ意志ヲ信號テ表明スル。光彈ガボツ／＼現ハレ、漸次夫レガ増加シテ各所カラ揚ガレバ、砲兵ハ愈々最後ノ突進ガ始マルモノト承知シ、最後ノ猛射ヲ浴セタル後、射程ヲ延バス。其際「誘導彈幕射撃」ト稱シテ、短時間射撃シツ、五十呎、百呎ト逐次射程ヲ延バス方法ヲ取ルコトガ往々アル。歩兵ハ我が砲火ノ爲メニ多少ノ損害ヲ受ケルコトナドヲ意トセズニ、此ノ砲火ノ壁ニ密ニ接近スベキデアル。斯クスレバ我が砲兵ノ猛火ヲ免レタ敵ノ一部ガ、再ビ氣力ヲ回復スルニ先ツテ、容易ニ之ヲ處分スルコトガ出來ル。此ノ瞬間コソ、歩砲兩兵種間ノ水モ漏サヌ協力ヲシテ、其最高調ニ達セシムベキ時デアル。歩兵ハ砲兵ガ射程ヲ延バスヤ否ヤ、直チニ其地域ヲ占領シテ、砲兵ノ收メタ成果ヲ確保シ、砲兵モ亦最前進ト肉眼ニ依ル連絡ヲ保ツテ、歩兵戰鬪ヲ觀察シツ、何レノ地點ヲ射撃セバ、最モ歩兵ノ前進ヲ容易ニスルカラ自ラ感得セネバナラス。而シテ低空ヲ飛ブ裝甲セル歩兵用飛行機ハ、殊ニ最前ノ戰鬪部隊ト、砲兵トノ連絡ヲ確保シ、且ツ高級ノ指揮官ニ戰鬪ノ狀況ニ就キ、確實ナル報告ヲ呈スルニ適スル。

突撃ノ時機ノ迫マレルコトヲ認メタナラバ、後方ニアル豫備ヲ悉ク招致スル。戰車ハ歩兵ノ先ニ立ツテ進ミ、又使用シ得ル限リノ飛行機ハ爆彈及機關銃ヲ以テ地上ノ戰鬪ニ參加スル。突入ガ成功シタナラバ、豫ネテ陣地變換ノ偵察及準備ヲ爲セル一部ノ砲兵ハ、前方ニ急行シ、殘餘ノ砲兵ハ、敵ノ前進路及豫想ノ準備位置ニ砲火ヲ移シ、以テ斯カル場合ニ必ズ豫期スベキ敵ノ逆襲ヲ未然 防壓スルノ手段ヲ講ズル。前進セル砲兵ハ、抵抗ヲ續クル敵ヲ制壓シ、且ツ猛烈ナル追撃射撃ニ依ツテ、敵ノ再起ヲ妨グル。他ノ砲兵モ亦、從來ノ陣地デハ射撃スベキ目標ヲ見出し得ナクナツタナラバ、直チニ前方ニ移ル。

敵ハ多クノ場合ニ縱長ノ防禦配備ヲ取ツテ居ルデアラウ。其場合ニ第一線ヲ奪ツタノミデハ、攻撃ハ完了セス。夫レカラハ緩漫ナ靱強ナ前進ヲ以テ、敵ノ抵抗地帯ノ全部ヲ突破セネバナラス。諸兵ノ密接ナル協力ノ下ニ、強烈ニ行フ所ノ幾多ノ局部的戰鬪ヲ、互ニ間隙^{スキマ}ナク受ケ繼ギシツ、敵ノ各支撐點ヲ攻略シテ行ク。其際戰車ノ協力ガ好結果ヲ收メル。一番深ク進入シタ戰鬪群ハ、側面ヨリノ射撃ニ依ツテ、隣接部隊ノ前進ヲ容易ニスルコトガ出來ル。

突撃部隊ノ側面及背面ハ、後續部隊ヲ以テ援護スル。總テ後方部隊及豫備隊ハ、損害ヲ補充シ得ンガ爲メ、突撃部隊ニ從ツテ速カニ戰鬪地域ヲ通過スル。之ニ依ツテ始メテ攻撃ノ活氣ガ維持サレルノデアル。

力ガ足ラヌ爲メニ、攻撃ヲ繼續シ得ヌ場合ニハ、指揮官ハ今迄獲タ地域ヲ維持スル爲メニ、凡ラユ

ル手段ヲ講ズル。ソコデ到着シタ前線ハ、當分「主戰團線」トナリ、夫レニ散兵群及輕機關銃群ガ占據スル。直チニ縱長ノ區分ヲ設ケ、且ツ輕重兩火器ノ防衛射擊ノ併用ニ就テ、指示スル。然シ若シ防禦ガ長ク繼續スル場合ニハ、地形ニ對スル顧慮(觀測所、戰車ノ障碍物)及左右ノ連繫上カラ、主戰團線ヲ後方ニ移ス。夫レニハ戰團前哨ヲ敵前ニ留メテ置イテ、夜暗ヲ利用シテ實行スル。砲兵ハ夜間ニハ、我が獲得シタ地域ヲ射彈ノ壁ヲ以テ掩護スル。但シ歩兵ヨリ火光信號ヲ以テ、之ヲ請求シタ場合ニ、之ヲ實行スルノデアアル。砲兵ハ此ノ請求ヲ受ケタナラバ、直チニ短時間ノ急射ヲ當該地區ノ前面ニ注ギ、且ツ火光信號ノ出テ居ル間ハ、之ヲ復行スル。其實行ニ就テハ、各砲兵ニ任務ノ分擔ヲ精確ニ割リ當テネバナラス。各中隊ハ夫レニ對シテ日没前ニ試射ヲ行ツテ置ク。

前衛ガ分進セズニ、互ニ衝突スル所ノ純粹ノ遭遇戰(飛行機又大射程平射砲ノ時代ニハ、恐ラク極メテ稀ニ起ルベキモノデアラウ)デハ、最前部隊ハ爾後ノ搜索ノ結果ヲ待タズシテ、斷乎タル處置ヲ取ルコトヲ要求スルノデアアルガ、然シ又一面ニ於テハ、若シ偵察並ニ最初ノ戰團ノ狀況ニ依ツテ、敵ガ展開ニ於テ一步ヲ先ヅテ居ルコトガ分ツタ場合ニハ、我が隊ガ一翼若シクハ兩翼ノ包圍ノ中ニ自ラ入込ミ、且ツ絶エズ寡兵ヲ以テ衆兵ト戰フベキ危險ガアル。之ヲ避クル爲メ、前衛ノ一部若シクハ全部ヲ後退セシムル方ガ、良イコトガアルデアラウ。夫レニハ右或ハ左ヘ斜ニ退グ、以テ追攝スル敵ヲシテ、其間ニ分進セル我が本隊ノ方ニ、側面ヲ露ハサセルノガ一番良イ。

敵ガ既ニ陣地ニ就キ、且ツ防禦ニ決心シタラシク認メタ場合ニ、其正面ニ衝キ當ルノハ、重大ナ過失デアツテ、其不注意ハ甚大ナル損害ヲ以テ報キラレルデアラウ。故ニ此ノ如キ場合ニハ、前進中ノ敵ニ對スル單純ナル遭遇戰トハ、自ラ違ツタ處置ヲ取ラネバナラス。即チ此ノ攻撃ニ先チ、面倒デアカモ多クノ時間ヲ要スル所ノ偵察ヲ、必要トスル。其際敵ノ本陣地ヲ確實ニ知ルコトガ最モ大切デアツテ、偽工事ヤ、前進陣地ノ爲メニ、誤ラレテハナラス。前進陣地ハ躊躇セズニ之ヲ驅逐スベキデアル。次ニ各兵種カラ、多數ノ斥候ヲ本陣地ニ向ツテ放ツ。夫レニハ通信班ヲ附シ、報告ヲ後方ヘ迅速ニ傳ヘサセル。斥候ハ本陣地ノ幅、其線ノ形狀、及防禦工事ノ有無、殊ニ包圍或ハ包圍ノ能否ヲ確カメル。正面攻撃ニハ、敵陣地ノ弱點ヲ發見スルコトガ緊要デアアル。飛行機ノ寫眞(之ヲ利用スルマデニハ勿論ニ、三時間ヲ要スル)、不斷ノ視察(他ノ方法デハ見エヌ場所マデモ、繫留氣球ヲ用ヒレバ見エル)、及敵ノ無線通信ノ監視ハ、地上ノ偵察ヲ有益ニ補足スルデアラウ。

敵モ亦一本調子ノ陣地線ヲ設ケズニ、小群宛ニ分ツテ、或地帯内ニ占據スルカラ、容易ニ正確ナ狀況ヲ知ルコトハ出來ヌ。

此ノ場合ニ攻撃ノ時期ヲ適切ニ選定スルノハ一ニ指揮官タル者ノ技倆ニ待ツノデアアル。一面ニ於テハ不注意ナル突進ヲ戒ムベキデアアルガ、又一面ニハ敵ガ其與ヘラレタ時間ヲ利用シテ、陣地ヲ益々強固ニシ、爲ニ益々攻撃ヲ困難ニスルコトヲモ考フベキデアアル。故ニ偵察及砲兵ノ開進中、敵ハ砲兵

ノ有効射界外ニ留マル所ノ攻撃部隊ヲシテ、砲兵ノ射撃準備完了後、成ルベク早く攻撃前進ニ移ラセ
ルコトヲ、努メネバナラス。

大部隊デ、且ツ敵ガ既ニ防禦ノ爲ニ展開シアルコトヲ知ツタ場合ニハ、多クハ攻撃前ニ「準備位置」
ヲ占メル。其時ニハ分進、展開及攻撃ノ三ツガ一氣ニ繼續シテ行ハレズニ、攻撃部隊ガ各其戦闘地帯
デ出來ルダケ敵ニ接近シ、其所ニ遮蔽シテ居テ、更ニ本攻撃開始ノ命令ヲ待ツ。此ノ時期ニ於テ展開
ガ一時中絶サレル。其際攻撃ノ遂行ニ緊要ト認ムル所ノ觀測地點ヲ、爲シ得ル限り我ガ手ニ收メルコ
トニ意ヲ用ヒル。兵力ガ多ク、地形ガ蔭蔽シ、且ツ敵情ノ不明ナル爲メニ、攻撃動作ノ統一ガ危ブマ
レル場合ニハ、右ノ如キ處置ヲ取ツテ、此ノ危険ヲ免レルコトガ出來ル。總テ此ノ如キ場合ニハ、展
開セル主力ヲ地區毎ニ逐次ニ前進セシメルノガ良イ。準備陣地ノ占領ヲ、敵ニ秘匿スルコトガ必要デ
アルカラ、大抵ノ場合ニハ、夜間ヲ利用セネバナナルマイ。而シテ其際混亂ヲ豫防スル爲メニハ、指定
ノ準備位置ヘノ進入法ヲ豫メ偵察シテ、之ヲ決定スルコト、及軍隊ガ夜間ニモ道路外ヲ横斷スルコト
ニ、熟達シテ居ルノガ必要デアアル。晝間ニ準備位置ニ就カシムル場合ニモ、精密ナル偵察ニ基ヅイテ、
之ヲ實行スベキデアアル。其際ハ主トシテ敵ノ空中偵察ヲ顧慮セネバナラス。尙ホ敵ノ砲兵ノ行動ニモ
注意シ、如何ナル地點ヲ特ニ強ク射撃スルカ、如何ナル地域ガ敵ノ射撃ヲ受ケルコトガ比較的少ナイ
カラ、調査スル必要ガアル。損害ヲ避クル爲メニ、此ノ如キ地域ヲ利用スルニ就テハ、縦合隣接地區

ヲ經テ、迂路ヲ取ルコトヲモ辭スベキデ無イ。但シ其場合ニハ、隣接隊ト協定ヲ遂ゲル必要ガアル。
而シテ準備位置ヘノ進入中、及同所ニ留マル期間ニハ、決シテ敵ニ大ナル目標ヲ現サズ、又狹小ナ地
域ニ軍隊及車輛ヲ集メタリ、規則正シク隊形ヲ取ルコトヲセズ、總テ凡ラユル機會ヲ利用シテ、敵ノ
空中偵察ヲ避クベキデアアル。遮蔽物ノナキ土地デハ、遠距離カラ部隊ヲ小分セネバナラス。攻者ノ各
部分ノ準備位置ヲ、同高ニスル必要ハ無ク、寧ろ有利ナ機會ヲ得タモノハ、之ヲ利用シテ、敵ニ隠レ
テ近接スベキデアアル。此ノ如キ位置ニ在ル部隊ハ、開濶地ヲ前進スルモノ、任務ヲ、援助スルコトガ
出來ル。

指揮官ハ各部隊ヨリ準備配置ニ就キタル報告ヲ受クルヤ否ヤ、攻撃命令ヲ下ス。其命令ニハ各戰鬥
群ノ戰鬥地帯（攻撃地帯）、及攻撃ノ重點ニ就キ、一點ノ疑惑ヲ起サヌヤウニ、明確ニ示サネバナラス。
決勝點ニハ爲シ得ル限り兵力ヲ多ク配置シ、戰場ニ無意味ニ兵力ヲ平等ニ分配スルコトヲ避ケ、一定
ノ地點ニ對シテ射撃効力ヲ極度ニ達セシムルコトヲ、努ムベキデアアル。

其後ノ攻撃實施ハ、既ニ述べタ如キ方法ヲ以テ行フ。

若シ偵察ノ結果、敵ガ野戰築城ヲ施セル地帯ニ據ツテ、我ガ攻撃ヲ待ツコトヲ確認シ得タ場合ニハ、
指揮官ハ先ヅ第一ニ、此ノ攻撃ガ果シテ眞ニ必要ナルカ否カラ、考ヘネバナラス。吾ガ軍トシテハ、
設堡陣地ハ主ニ「成ルベク小數ノ兵力ヲ以テ敵ヲ抑留シ、以テ他ノ方面ノ兵力ヲ増大スル」ト云フ考

ノ下ニ、之ヲ利用スル。敵モ亦之ト全ク同様ノ處置ヲ取ルデアラウ。故ニ吾ガ隊ガ敵ノ設陣地ノ攻
略ニ精力ヲ費ヤシテ居ル間ニ、敵ハ多分何レカノ平野デ、吾ニ不利ナル決戦ヲ行フデアラウ。吾ニシ
テ若シ當面ノ敵ヲ監視スルニ止メズニ、多數ノ兵ヲ陣地戰ノ爲メニ使用シテ、決戦ニ十分ノ兵力ヲ使
用シ得ヌコトニナレバ、敵ノ目的ハ即チ達成サレタノデアアル。

故ニ設陣地ニ據レル敵ハ、我が戰爭目的ノ達成上必要ナル場合ニ限り、之ヲ攻撃スル。其場合ニ
於テモ攻者ハ、先ヅ敵ヲシテ其陣地ヲ去ラシムルコトヲ、試ムルデアラウ。即チ敵ノ翼ヲ迂回スル運
動ニ依ツテ、敵ヲシテ自己ノ準備セル戰場ヲ止ムヲ得ズ棄テシメ、以テ他ノ場所デ之ヲ擊破スルコト
ヲ企テルノデアアル。之レガ爲メニハ夜間ニ於テ大膽ナル兵力移動ヲ爲スノガ、適當ナ場合ガ往々アル。
如何ナル場合ニモ、戰術的包翼ヲ努ムベキデアアル。

然シ敵ノ翼ガ依托サレ、若シクハ其側面ガ他ノ敵ニ依ツテ保護セラレアル爲メ、迂迴モ包翼モ實行
シ得ヌ時ニハ、突破ノ外ニ手段ガ無イ。

設陣地帯ニ對スル攻撃ノ實行ニハ、前ニ述べタ攻撃法、即チ防禦ノ決心ヲ以テ一定ノ地帯ニ占據セ
ル敵ニ對スル攻撃ト、概ネ同様ノ原則ヲ適用スル。實戰デハ、此ノ兩者ノ間ノ差別ハ、左程判明セヌ
モノデアツテ、自己ガ何レノ場合ニ遭遇シテ居ルカヲ、實際ニ識別シ難カツタノデアアル。總テ一定ノ
型ニ依ツテ事ヲ實行セントシタモノガ、一番有害デアツタ。之ニ反シテ敵ノ防禦設備ノ強度ヲ正確ニ

知ルコトハ、最モ緊要デアアル。狭小ナ障碍物ノ後方ニ急速ニ掘開シタ散兵壕ニ據ツタ敵ハ、一週間餘
モ諸種ノ材料ヲ費ヤシテ、防禦工事ヲ施シタ陣地ニ據ル敵ヨリモ、容易ニ之ヲ驅逐シ得ルハ、言フ迄
モナイ。故ニ此フ場合ニハ音ニ敵ノ占領シアル地帯ノ形狀、其内ノ主抵抗線ノ位置、一般ノ地形及兵
力ノ配置ヲ知ルノミデナク、防禦工事ノ種類及強度ヲ明確ニ必要ガアル。夫レニハ時間ヲ要スル。
指揮官ハ偵察ヲ命ジタ諸機關ニ、此ノ時間ヲ與ヘネバナラヌ。之レハ通常不利ヲ來タサヌ。蓋シ敵ハ
障碍物ノ後方ニ居ル以上、既ニ動作ノ自由ヲ棄テ、居リ、吾ニ大ナル不利ヲ與ヘルホドノ事ヲ、企テ
ル筈ガ無イノデアアル。

搜索ハ既ニ前進中ニ於テ、凡ラユル手段ヲ盡クシテ行ハネバナラヌ。之レガ爲メニハ制空權ヲ獲ル
コトガ、緊要デアアル。之ヲ獲レバ、屢々反覆シテ繼續撮映ヲ行フコトモ出來ルカラ、敵ノ地帯内ノ變
化ヲ監視シ得ル。其外ニ敵ノ無線電信ノ監視、敵ノ無線電話ヲ盜聽スル爲メノ盜聽所ノ前遣、並ニ繫
留氣球ノ使用ハ、有利ノ結果ヲ與ヘル。然シ總テ之レ等ノ手段ハ、詳細ナル地上偵察ヲ以テ、之ヲ補
ハネバナラヌ。夫レニハ軍隊ガ敵ノ有効射程外ニアル間ニ、各兵種ノ將校斥候ニ依リ、正面ニ於テハ
徒歩デ、側面及背面ニ於テハ乘馬ヲ實行スル。希望ノ程度ニ敵情ヲ知ルノハ、勿論敵ノ前進部隊ヲ驅
逐シテカラ後ノ事デアラウ。從ツテ有力ナル歩兵部隊(工兵ヲ附ス)ヲ以テ、若干地點ニ於テ之ヲ攻撃
シ、其兵力ヲ示サシムル必要ガ屢々アルデアラウ。

軍隊指揮官が自己ノ知り得タ全般ノ狀況ニ基キ、如何ニシテ敵ノ陣地ヲ奪取スベキカ、包翼ニ依ルカ、若シクハ正面攻撃ヲ行フカヲ、決定シタ後ニ、軍隊ノ前進及攻撃準備配置ヲ命ズル。其際ニハ、敵ノ全砲兵ガ既ニ陣地ニ就キ、問題トナレル總テノ地點ノ試射ヲ完了シテ、攻者ガ應戰ノ準備ノ整フ以前ニ損害ヲ與ヘントシテ、頻リニ好機ヲ窺ツテ居ルコトヲ考慮スベキデアル。殊ニ防者ハ攻者ノ砲兵ヲ、其開進中ニ擊破スルコトヲ努ムルデアラウ。此ノ理由ニ基キ、止ムヲ得ズ、陣地ニ對スル歩兵ノ近接及砲兵ノ開進ヲ夜ニ入ルマデ延バスコトガ多イ。砲兵ガ一齊ニ射撃ヲ開始スルコトハ、有利デアル。然シ時ニハ又其一部ハ、他ノ掩護射撃ヲ受ケテ始メテ陣地ニ進入シ得ベキ場合モアル。

縱令微弱ナル兵力ヲ以テ占領シタル設陣地ト雖モ、我が砲兵ノ火力ノ大ニ優越セル場合デナクバ、其攻撃ヲ一日ノ内ニ遂行スルコトハ出來ヌ。其外ノ場合ニハ、歩兵ハ夜間ヲ利用ニシテ、爲シ得ル限リ近ク敵陣地ニ近接シ、拂曉ニ短時間ノ猛烈ナル準備射撃ヲ行ツタ後ニ、突撃ヲ企テル。突撃ハ軍隊指揮官ヨリ時刻ヲ以テ示ス。

戰爭ガ陣地戰トナツタナラバ、最早其方面デハ包翼ヲ行フ機會モ、敵ヲ陣地ヨリ去ラセル機會モ、共ニ得ラレヌコトニナル。ソコデ突破ノミガ問題トナル。夫レニハ各種ノ戰鬪器材及軍隊ノ局部的優勢ヲ必要トスル。彼我ノ兩軍ハ各防禦組織(系列)ヲ備ヘテ、近ク相對峙スル。其強度ハ設備ニ使

用スル時日、作業ニ從事スル人員、及使用材料ニ關係スル。終ニハ各所ニ散兵壕、鐵條網、掩蔽部、支撐點及抵抗ノ巢ヲ簇生シ、其攻撃ハ特別ノ條件ガ備ハラナケレバ、到底成功ノ見込ガ立たナクナル。

先ヅ第一ニ必要ナノハ、敵ノ不意ニ乘ズルコトデアル。陣地戰ノ攻撃ニハ他ノ場所ヨリモ、之レガ一層緊要デアル。例ヘバ他ノ場所ニ於テ虛偽ノ攻撃準備ヲ裝ヒ、大ニ斥候ヲ活動サセ、且ツ攻撃動作ヲ實行シ、又偽ノ情報ヲモ傳ヘ、以テ敵ヲ欺イテ置イテ、極メテ秘密ニ眞ノ攻撃準備ヲ實行スルノデアル。而シテ此ノ準備ニハ第一ニ、攻撃ノ出發陣地トシテ選定セル正面ノ後方ニ、輕重ノ兩砲兵、迫撃砲、飛行機、及戰車ノ多數ヲ招致シ、且ツ軍隊及縱列ヲ集メ、集積所及倉庫ヲ設ケ、道路、野戰鐵道及輕便(土工用)軌道ヲ新設スル。之レニ要スル運動ハ、敵ガ全然空中ヨリ驅逐サレヌ以上ハ、到底隠クシテアセスデアラウ。然シ其一部ガ既ニ實行サレタ後ニ至ツテ、敵ニ發見サレテ、敵ガ直チニ對抗手段ニ着手シテモ、既ニ吾ニ於テ一步ヲ先ンゼル利益ハアル。固ヨリ攻者ハ一刻ト雖モ、無益ニ過ゴスコトナク、準備ノ成リ次第、直チニ實行ニ移ル。其際攻者ガ、恰カモ千九百十六年ノヴェルタンニ對スル獨逸軍ノ攻撃ノ如ク、天然ノ障礙ニ依ツテ妨害サル、場合ニハ、防者ニ脅威ヲ受ケタ正面ノ抵抗力ヲ増大シテ、攻撃ヲ不成功ニ終ラセルコトガ出來ル。此ノ如キ狀況ハ常ニ起リ得ルモノデアルカラ、攻者ハ時々其戰鬪法ヲ變更シテ、防者ノ不意ニ出ヅル必要ガアル。

我が軍隊ニ對シテモ、攻撃ノ意圖及其時間ヲ、成ルベク長ク秘匿セネバナラス。攻撃スベキ場所ハ、戰略上及戰術上ノ顧慮ニ從ツテ選定スル。此ノ兩者ハ必ズシモ常ニ一致スル譯ニハユカヌ。戰術上カラハ最モ薄弱ナ地點ヲ攻撃スルコトヲ望ムガ、戰略上デハ突破ノ効力ガ全般ニ最大ノ影響ヲ及ボスベキ場所ヲ採ル。吾トシテハ突破ノ成功ニ依ツテ、成ルベク廣イ正面ヲ崩潰セシメタイノデアアルガ、此ノ如キ場所ガ敵ノ方デモ、特ニ堅固ナル防備ヲ施スデアラウ。而カモ尙ホ故ラニ其點ヲ選ンデ攻撃ヲ實行スベキカ否カハ、我が攻撃手段ノ強度ニ就テノ、自己ノ判斷ニ依ツテ定マルモノデ、夫レガ負擔スベキ困難ナ任務ニ十分ニ堪ヘナクテハナラス。不十分ナ手段ヲ以テ實行スルノハ誤デアラウ。

又攻撃點ノ先方ノ土地ノ状態モ、問題トナル。若シ夫レガ數線ノ地區ヲ爲シ、森林及村落ヲ以テ掩ハレアラバ、擊退サレタ敵ガ抵抗線ヲ新設スルノニ、容易デアアル。故ニ其所ガ平坦開闢地デアルコトハ、突破ト、爾後ノ前進ニ特ニ有用ナル戰車ノ使用上ノ便宜トノ二點ダケカラ見テモ、最モ有利デア
ル。

長イ正面中ノ一ヶ所ノミヲ攻撃スルコトハ、決シテアルマイ。主攻撃ハ、他ノ場所ニ於ケル攻撃ノ企ニ依ツテ、之ヲ援助スベキデアアル。而シテ敵ヲシテ、何レニ主攻撃ガ行ハル、モノカニ就テ、判斷ニ迷ハシムル如ク之ヲ計畫シ、且ツ實行スベキデアアル。之レニ依ツテ、敵ヲシテ其豫備ノ使用ヲ誤ラ

シメ、以テ多大ノ利益ヲ收メ得ルデアラウ。

世界大戰ニ於ケル攻撃戰ニハ、往々數ヶ月ニ亘ツテ準備ヲ行ツタ。當該正面ノ守兵ノミデハ、防禦ニハ間ニ合フガ、攻撃ニハ十分デ無イカラ、兵力ヲ増加スル必要ガアツタ。若シ此ノ守兵ガ既ニ長イ間陣地ニ在ツテ、戰鬥力ヲ損シテ居タナラバ、通常攻撃開始ノ直前ニ之ヲ退ゲ、二倍或ハ三倍ノ新鋭ナ兵力ヲ以テ、之ニ代ヘタ。其際從來ノ守兵ハ、交代兵ヲ陣地ニ收容スルニ就テノ作業ニ從事シタ。而シテ攻撃ニ任ズベキ師團ノ數ニ應ジテ、新ニ其正面ヲ區分シ、各師團ノ幅ヲ一糎乃至一糎半トシタ。之レト共ニ各本部(其數ハ二倍乃至三倍ニ増加シタ)ノ位置ヲモ移シタ。彈藥及糧食ノ集積所並ニ工兵材料廠等ノ後方設備ニ就テモ、同様ノ處置ヲ取ツタ。而シテ通信設備ハ、師團毎ニ各々一ツ宛ノ通信網ヲ有スル如クシタ。兵力ノ増加ニ伴フ宿營、就中其給水ノ設備ハ、非常ノ作業デアツタ。豫備隊及戰車ヲ掩蔽シテ、配置スルノ用意ヲモ要シタ。増加砲兵ヲ陣地ニ就カシムル爲メ、多數ノ砲兵陣地(砲手ノ爲メ安全ナル地下室及彈藥置場共)ヲモ造ツタ。觀測所ヲ増設シ、圖表ヲ補足シテ、射撃ノ分配法ヲ新ニ示シタ。砲兵ガ歩兵ノ突撃成功後ニ、崩壞セル散兵壕ノ錯雜セル土地ヲ前進スル方法ニ就テハ、最前線ノ所マデ豫メ精細ニ偵察ヲ遂ゲ、新ニ選定シタ豫定砲兵陣地ニ至ル進路ヲ決定シ、且ツ壕及彈痕ヲ越ユルニ用フベキ板及梁ヲ、一定ノ場所ニ豫メ配置シタ。

其他ニ尙ホ準備シタモノニハ、大ニ増加セル飛行機ノ格納、莫大ナ量ノ糧食及彈藥ノ輸送及收藏

(瓦斯彈ハ特別ノ取扱ヲ要シタ)、敵彈ニ破壊サル、砲ヲ修理スベキ有力ナル工場ノ建設、後地ニ於ケル飛行機ノ防衛及其通信設備、増加師團ノ綑帶所ニ充ツベキ成ルベク安全ナル宿營ノ設備、戰線後ノ病院ノ開放、病院列車及患者輸送車、衛生部員及同材料ノ増加等ガアツタ。

此レ等ノ作業ハ一度敵ノ疑ヲ受ケレバ、其妨害射撃ノ爲メニ、作業ハ益々困難トナリ、往々殆ンド完成シタ設備モ、再ビ覆滅サレルヤウナ始末デアツタカラ、能率ノ高イ鐵道ト道路トヲ利用シナケレバ、到底實行ガ出來ナカツタ。其際ニ運搬スル器材ノ分量ガ多ク、互ツ重量モ大ナリシ關係上、設備ノ改良若シクハ新設ヲ、廣ク實行スル必要ヲ生ジタ。但シ總テ物ノ新設ハ敵ノ空中偵察ヲ免レ得ナカツタカラ、爲シ得ル限り之ヲ避ケタ。

失敗ノ經驗ニ教ヘラレテ、戰爭ノ末期ニハ、攻撃準備ノ爲メニ、敵ノ注意ヲ喚起セヌコトニ、非常ニ重キヲ置イタ。ソコデ攻撃開始前ニ、空中ニ優勢ヲ占メルコトガ非常ニ必要デアツタニモ拘ハラズ、突然多數ノ飛行機ヲ使用シテ、徒ラニ敵ニ警告ヲ與ヘルコトヲ恐レ、之ヲモ斷念シタ。増加砲兵ノ試射ヲモ避ケ、其射撃ノ基礎(諸元)ハ、他ノ方法ニ依ツテ之ヲ求メタ。陣地ニ在ル部隊ノ行動、通信等ニ就テハ、總テ敵ノ注意ヲ喚起スルコトヲ戒メタ。新ニ掘リ上ゲタ土ハ、附近ノ地表面ト同様ノ物體ヲ以テ蔽ヒ、壕ニハ樹枝ヲ載セテ、飛行機カラ、寫眞ニ映ラヌヤウニシタ。陣地ハ晝間ニハ極メテ靜肅ニシ、稍々大ナル運動ハ總テ夜間ニ實行シタ。飛行機及氣球ハ我ガ地帯ヲ監視シ

テ、少シデモ目立ツ事ニ就テ報告サセタ。

準備作業ト同時ニ、敵ノ陣地(攻撃地帯ノ全縱長及其附近)ノ細部ニ亘ツテ、偵察ヲ行ツタ。

突撃ノ前夜ニ増加砲兵ヲ陣地ニ着ケタ(彈丸ヲ先ニシ、砲ヲ後ニシタ)。歩兵ハ數日前ニ指導班ヲ陣地ニ出シ、前夜ニ至ツテ其隊ヲ入レタ。

攻撃其物ハ多クハ拂曉ニ、砲兵及迫撃砲ノ射撃ヲ以テ開始シタ。此ノ射撃ハ總テノ點ニ於テ、從來ノ戰爭ニ其類例ヲ見ナイ猛烈ナモノデアツタ。而シテ全砲兵ハ一貫セル規定ニ基ツキテ、之ヲ實行シタ。全般ノ關係ニ通ズル砲兵ノ最高ニ指揮官ノ計劃ニ從ツテ、各中隊ニ目標ヲ指定シタ。射撃ノ目標ハ敵ノ砲兵、歩兵地帯内ノ特殊設備、遠距離ノ目標(高等司令部、卸下停車場、集積所、橋梁等等)デアツタ。其外ニ尙ホ攻撃正面ニ増援隊等ヲ送ルベキ諸道路ニ對シテモ、妨害射撃ヲ行ツタ。瓦斯彈ハ砲兵陣地、豫想ノ豫備隊集合場及軍隊宿營地ニ向ツテ、射撃シタ。瓦斯彈ハ又敵ノ通過ヲ不可能ニシテ、突撃部隊ノ側面ヲ掩護スル等ノ目的ヲ以テ、全地域、殊ニ凹地ニ對シテ(凹地ニハ瓦斯ガ殊ニ長ク保存サレル)使用シタ。敵ノ砲兵ヲ十分長ク射撃シテ、其戰鬥力ヲ著シク減殺シ得タト豫想シタ後ニ、砲兵ノ大部ハ歩兵ノ方ニ、目標ヲ換ヘタ。極メテ猛烈ナル破壊射撃ヲ集注シテ、主ナル防禦設備ヲ破壊シタ。其際不規則ニ射撃ヲ休止シ、若シクハ突然射撃ヲ後方ニ移シタ。之ニ依ツテ前方ノ防禦地帯ニアル敵ノ歩兵ハ、突撃ノ時機ガ迫マレルモノト誤認シテ、掩蔽部ヲ出

テ、崩潰セル胸墻ニ就クニ至ツタ。然ルニ突然砲兵ノ射撃ガ再開サレ、若シクハ後方ヨリ戻ツテ來タ爲メニ、損害ヲ受ケタ。此ノ如キ方法ヲ屢々反覆スル間ニ、其抵抗力ヲ挫折サセ、爲メニ實際突撃ヲ行ツタ時分ニハ、掩體內ニ隠レテ居テ、容易ニ之ヲ捕虜トスルコトモアツタ。

此ノ期間ニハ敵ノ砲兵ヲ、之ニ當テタ砲兵ヲシテ一定ノ計畫ニ從ツテ制壓シ置キ、又他ノ一部ヲシテ敵ノ進入路、鐵道及卸下停車場ニ於ケル交通ヲモ妨害サセタ。

世界大戰中大會戰ニ於ケル準備砲撃(夫レニハ言フ迄モナク重迫撃砲、爆撃飛行機隊モ參加シタ)ノ期間ハ、其場合ニ依ツテ區々デアツテ、一般ノ狀況、破壊スベキ設備ノ強度及使用シ得ル彈藥ノ量ニ依ツテ、左右サレタ。聯合軍側ハ彈藥ヲ無制限ニ使用シ得タカラ、千九百十六年六月二十四日ヨリ七月一日マデ、ソナム河畔ノ我が陣地ヲ、晝夜ノ別ナク猛射シテ後ニ、歩兵ヲ進メタガ、我が軍ノ方ハ僅カニ時間ヲ數ヘルホドノ期間ダケノ準備射撃ヲ以テ、満足セネバナラナカッタ。經驗ノ結果、餘リ長時日ニ亘ル準備砲火モ亦、不利デアアルコトガ分ツタ。ソナムノ戰ニハ、獨逸軍ノ統帥部ヲシテ、長大ナル戰線ノ各部ヨリ、多數ノ豫備ヲ集メ、以テ敵ノ突撃ヲシテ大體失敗ニ終ラセルコトガ出來タノデアアル。

歩兵攻撃ハ精密ニ定メタ計畫ニ從ヒ、指定ノ時刻ニ、全線一齊ニ開始シタ。橫隊ノ形ヲ以テ前進スルトキハ、此ノ時迄尙ホ抵抗力ヲ保有セル機關銃ニ、有利ノ目標ヲ呈スルカラ、疎散ノ群ヲ前後

ニ重疊シ、常ニ地形ニ適應セル隊形ヲ取ツタ。突撃部隊ハ多數ノ機關銃ヲ先頭(第一ノ縦ノ列)ニ置キ、且ツ散兵壕及掩蔽部ノ殘兵ノ掃蕩ハ、後續部隊ニ任カセテ、爲シ得ル限り深ク敵ノ防禦系列(防禦組織)内ニ侵入スルコトヲ努メタ。戰場ノ整理及器材ノ運搬ニ任ズル作業隊モ亦、近ク之ニ續行シタ。

聯合軍ノ歩兵ハ、大戰中ノ後ノ二年間ニ於ケル大ナル會戰ニハ、大抵皆戰車ヲ先頭ニ立テ、其後方ヲ前進シタ。而シテ戰車ハ多數ヲ纏メテ使用シ、時ニハ攻撃地域ニ煙幕ヲモ設ケ、之ニ依ツテ戰車ヲシテ戰車防衛砲ノ射撃ヲ免レシメ、且ツ多大ノ精神的效果ヲ收メタ。輕戰車ハ歩兵ト密接ノ協同動作ヲ爲シ、重戰車ハ特ニ抵抗力ノ大ナル防禦設備ニ對シテ使用シタ。猶ホ掘り返ヘサレタ戰闘地域ニ、進路ヲ開拓スル爲メニ、之ヲ先遣シタ。

歩兵ガ愈々突撃ニ移ル瞬間ニ、砲兵ハ所謂「誘導彈幕射撃」ヲ以テ逐次ニ其先方ヲ射撃シテ行ツタ。

戰闘飛行機ノ協力ハ、突撃ノ瞬間ニハ特ニ有効デ、其成功ヲ助成スルニ適シタ。

次デ指揮官ハ砲兵及迫撃砲隊ヲ進メ、以テ獲得地域ノ維持及爾後ノ攻撃繼續ノ準備ヲ爲シタ。爆撃飛行隊ハ敵ガ攻撃ヲ受ケタ正面ニ、増援隊等ヲ送ルベキ道路ニ對シテ、之ヲ使用シタ。

全般ノ成否ハ主トシテ控置師團ノ數ニ關係シテ居ツタ。此ノ師團ハ即チ、攻撃部隊ガ擊破シタ破

口ヲ通過シテ之ニ續行シ、且ツ尙ホ抵抗ヲ持續シアル敵線ノ側撃ニモ用ヒタノデアアル。
以上説明シタ所ノ世界大戰中ノ設堡陣地ニ對スル攻撃ノ經過ハ、將來ノ場合ニモ亦、概ネ一致スルデアラウ。但シ決シテ一定ノ型ヲ固守セズニ、絶エズ變化スル所ノ狀況ニ、適應スルノ必要ハ言フ迄モ無イ。

全然準備砲撃ヲ行ハザルカ、若シクハ短時間ノ射撃ノ後、直チニ攻撃ヲ行フコトハ、常ニ例外トスベキモノデアラウ。多數ノ砲兵ノ開進ヲ全然敵ニ秘匿シテ遂行スルコトハ、決シテ出來ヌモノデアアルカラ、此ノ如キ方法ヲ取ルノガ、敵ヲ急襲スルノニ都合ガ良イノデアアルガ、夫レニハ少ナクトモ、特ニ多數ノ戰車ヲ使用スル必要ガアルデアラウ。

獨逸軍隊ニ横溢セル攻撃精神ハ、大戰前指揮官及兵卒ノ教育ニ於テ、防禦ヲ稍々繼子扱ニセル結果ヲ來シタ。然シ最近ノ經驗ハ、「軍隊ハ唯タ攻撃スルコトヲ知ルノミデナク、防禦ノ原則ニモ通ジネバナラス」ト云フコトヲ、吾人ニ教ヘタ。

而シテ又タ單ニ防衛スルノミデナク、敵ヲ破ラント欲スル防禦ハ、攻撃的行動ヲ併用スベキモノダ、ト云フコトヲモ、知り得タ。

防者ハ敵ガ必ズ攻撃セザルヲ得ヌヤウニ、陣地ヲ選定スベキデアアル。少ナクトモ敵ノ迂回ハ、防者ヲシテ時間ノ餘裕ヲ得サセ、且ツ自ラ攻撃ニ移ルベキ機會ヲ獲サセルモノデナケレバナラス。總テ防禦ハ移動性ニ富ミ、兵力ノ移動ヲ良ク準備シテ置カネバナラス。

抵抗ハ固定ノ一線ヲ以テセズシテ、一ツノ地帯内デ遂行スル。其地帯内ニハ相互ニ射撃ヲ以テ援護シ、群毎ニ設ケタル防禦設備ノ系列(組織)ヲ成形スル。

陣地ハ總テ、爲シ得ル限り防禦工事ヲ施スベキデアアル。歩兵地帯デハ、兵卒ハ先ヅ「散兵ノ孔」ヲ掘開シ、次デ之ヲ連接シテ、單獨機關銃、迫撃砲及散兵群ノ爲メノ抵抗ノ巢ヲ成形スル。歩兵砲其他歩兵ニ配屬サレタ砲兵ハ、通常固定のニ据付ケズニ、緊駕シテ爲シ得ル限り(極度マデ)近イ所ニ用意スル。重機關銃ノ爲ニハ、威ルベク味方ノ歩兵ヲ越エテ射撃シ、且ツ側射シ得ル所ノ陣地ヲ準備スル。次ニ各群ノ間ニ遮蔽セル交通壕ヲ設ケル。然ル後ニ障碍物ノ設置ト、掩蔽部ノ構築トヲ考慮スル。但シ之レガ爲ニハ後方ヨリ其材料ヲ、取寄セル必要ガアル。其外ニ尙ホ掩蔽セル進入路ヲ設クベキカ否カハ、地形ニ依ルノデアアルガ、多クノ場合ニハ之ヲ必要トスルデアラウ。豫備隊ヲ掩蔽シテ位置セシムルコトハ、特 緊要デアアル。

砲兵地帯ノ設備モ、右ト略ホ同様ノ要領ヲ以テ實行スル。良好ニシテ且ツ安全ナ觀測所ヲ設ケルコトガ、緊要デアアル。成ルベク同所ヨリ敵ノ砲兵地帯ニ至ルマデノ全攻撃地帯ヲ通視スルヲ得、尙ホ我が最前線ノ後方ヲモ觀得ルノガ良イ。最初ハ使用セズニ豫備トシテ控置スル砲兵ヲ、掩蔽シテ位置セ

シムルコトヲモ、考慮スベキデアアル。

總テ土工作業ハ、爲シ得ル限り繼續シテ實行スベキモノデアアル。僞工事モ亦往々有益デアアル。各防禦地帯ニハ、必ず主戰團線(主抵抗線)ヲ設ケ、各兵卒ニ確實ニ知ラセテ置カネバナラス。多クノ場合ニハ防禦地帯ノ前端ヲ以テ之ニ當テ、其前方デ射撃ヲ以テ攻撃ヲ打チ破リ、又敵ガ防禦地帯内ニ侵入シタ時ニハ、逆襲ニ依ツテ之ヲ奪回スベキモノデアアル。

主戰團線ノ決定ニ際シテハ、砲兵ノ觀測所ノ位置ヲ十分ニ顧慮スベキデアアル。兩者ノ間ニハ、前者ニ對スル射撃ガ、同時ニ後者ニ害ヲ及ボサヌダケノ距離ヲ、存スル必要ガアル。殊ニ主戰團線ガ敵カラ容易ニ認め得ルモノデアツテハナラス。往々高地ノ後方斜面ヲ可トスルコトガアル。又好ンデ住民地及森林ヲ橫斷シテ之ヲ設ケル。射界ノ大ヨリモ、敵ノ目ヲ避ケルコトガ緊要デアツテ、敵ヲシテ不意ニ夫レニ突キ當ラセル必要ガアル。

然シ敵ヲ更ニ前方デ制スル爲ニ、戰團前哨ゲフエヒツフオールホスツンヲ主戰團線ノ前方ニ出シ、以テ敵ガ防禦地帯ヲ窺フコトヲ禁ジ、之ヲシテ早ク展開サセ、且ツ成ルベク多クノ損害ヲ與ヘル。此ノ部隊ハ特ニ火力ヲ強メネバナラス。其戰團法ニ遊動性ヲ與ヘ、又陣地ヨリスル砲兵ノ援助及重機關銃ノ援助ヲモ、與ヘ得ルコトガ必要デアアル。戰團前哨ニ與ヘル命令中ニハ、眞面目ノ攻撃ヲ受ケタ場合ニ、如何ニ行動スベキカニ就キ、明確ニ示シテ置カネバナラス。

時ニハ抵抗地帯ウイテリスガシツツキノ遙カ先方ニアツテ、前方ヲ瞰制スル場所ヲ、稍々有力ナ部隊ヲ以テ、占領スルノガ有利ナ事モアル。例ヘバ抵抗地帯内ニ開始セル作業ノ完成ノ爲メ、時日ノ餘裕ヲ得ントスル時ナドニハ、夫レヲ必要トスルデアラウ。又前進陣地ノ占領ニ依ツテ、敵ガ早ク要點ヲ手ニ入レルコトヲ妨ゲ、且ツ之ヲシテ止ムヲ得ズ兵力ヲ現ハシ、若シクハ誤ツタ處置ヲ取ラセル。前進陣地ハ長ク維持スベキモノデナイカラ、之ニハ歩兵ヲ成ルベク少ナク出シ、徒歩セル騎兵、自轉車兵、機關銃隊並ニ砲兵ヲ、廣正面ニ成ルベク遮蔽シテ配置シ、最大射程ニ於テ戰團ヲ開始サセ、適時ニ之ヲ撤退シテ決戰ヲ避ケル。

總テ陣地ハ軍隊指揮官ニ於テ、之ヲ若干地區ニ分ツ。其幅員ハ場合ニ依ツテ變化スル。陣地ノ堅固ナ場所、即チ良好ナル射界ヲ有シ、從ツテ隱レテ近接シ得ヌ場所、就中水流及軟弱ナル草地等ノ、戰車攻撃ニ對スル障碍物ノ存スル場所ハ、地區ヲ廣クシ得ル。少數ノ部隊ト多量ノ彈藥トヲ此所ニ當テルノガ適當デアアル。之ニ反シテ遮蔽地デハ、地區ヲ狹クシテ、兵力ヲ多ク配當スル。

指揮官ハ皆、成ルベク少數ノ兵力ヲ以テ正面ニ當テ、豫備ヲ多ク取ルコトヲ努ムベキデアアル。斯クシテ地區ノ指揮官ハ、防禦地帯ニ進入セル敵ヲ直チニ逆襲シテ之ヲ驅逐スルヲ主任務トスル所ノ地區豫備ヲ得、軍隊指揮官ハ、砲兵及戰車ヲモ有スル有力ナル豫備ヲ作ル。地區ノ守備隊ガ敵ノ攻撃ヲ擊退シタル時、軍隊指揮官ハ自己ノ豫備ヲ以テ攻撃ニ轉ジテ勝利ヲ得ルコトモ出來、若シクハ少ナクト

モ地區守備隊ノ力ノ及バヌ場合ニ、有力ナ準備セル逆襲ヲ以テ、主戰團線ヲ奪回スルコトガ出來ル。軍隊指揮官ノ豫備隊ノ位置ハ、敵ノ主攻撃ノ方向ヲモ顧慮シテ、自ラ攻撃ニ移ルニ最モ有利ナル如ク之ヲ選定スル。而シテ空中偵察ニ對スル遮蔽ト、運動性ノ大トガ、必要デアアル。後者ノ目的ノ爲メニ鐵道ノ列車及自動車縱列ヲ利用スル。

防者ハ攻者ノ飛行機ニ對シテ、空中ノ勢力ヲ維持スルダケノ飛行機ヲ、持ツコトガ緊要デアアル。之ニ依ツテ始メテ、我が配置ヲ或程度マデ秘匿シ得、而カモ自ラ敵ノ處置ヲ明ラカニシ得ルノデアアル。絶對ノ制空權ヲ收メルコトハ、防者ニ取ツテモ、攻者ト同様ニ至大ノ利益タルハ、言フ迄モナイ。

防者ハ空中及地上ノ偵察ノ結果ニ基キ、敵ノ攻撃準備ヲ妨害スル。夫レニハ射程ノ大ナル單獨ノ砲ヲシテ、多數ノ彈丸ヲ使用シ、且ツ屢々其位置ヲ變ゼシメ、以テ我が準備セル砲兵陣地ノ位置ヲ知ラセヌヤウニスルノガ、最良ノ方法デアアル。斯クシテ近接路、卸下停車場、彈藥集積所、軍隊宿營所、軍隊集合所等ニ晝夜射彈ヲ注グ。

ヤガテ有利ナ目標ガ現ハレ、且ツ最早之レ以上長ク我が陣地ノ位置ヲ秘スル必要ヲ認メヌ時ニハ、軍隊指揮官ヨリ砲兵ノ主部ニ射撃開始ノ命令ヲ下ス。殊ニ敵ノ砲兵ガ其陣地ニ占據シ終ラザル間、即チ十分ニ射撃ヲ以テ吾ニ對抗シ得ザル間ニ、成ルベク之ヲ妨害スルコトニ力ヲ注グ。

敵ノ歩兵ガ攻撃準備ヲ完了シタノヲ認メタ時ハ、砲兵ノ制壓ニ當ル。此ノ時ニハ重機關銃及步兵ニ

配屬シアル砲兵モ亦、戰鬪ニ加ハル。但シ輕機關銃及迫撃砲ハ敵ガ近距離ニ迫ツテカラ、射撃ヲ開始スル。近距離戰鬪ニハ尙ホ、散兵群ヲモ使用スル。之レハ十分ニ偽裝ヲ爲シ、地形ニ順應シ、成ルベク長ク掩體內ニ留マリ、以テ敵ノ視目及射撃ヲ免レ、且ツ其力ヲ決戰ノ爲メニ貯ヘテ置ク。敵ノ突撃前進ニ當ツテハ、各兵器ノ火力ヲ最高度ニ發揮シテ、之ヲ撃退スル。最後ノ時機ニ完全ナ火力ヲ發揚セシムル爲メ、若干ノ砲(中隊)及重機關銃ヲ掩蔽シテ置クノガ、有利ナコトモアル。斯クノ如クスルモ尙ホ、敵ガ防禦地帯内ニ進入セルトキハ、手投彈及白兵ヲ以テ、尺寸ノ地ヲモ爭フ。而シテ地區豫備隊ヲ以テ、爲シ得ル限り早ク且ツ猛烈ニ、逆襲ヲ行フ。

突撃ヲ撃退シ、敵ガ主戰團線前デ大損害ヲ受ケテ、敗レタ場合ニハ、陣地ヨリ行フ逆襲ニ依ツテ、大ナル成果ヲ收メ得ル。大規模ノ攻勢移轉ハ、先ニ述ベテ置イタカラ、此處ニ再說スルコトヲ止メル。突撃ハ多クハ拂曉デ、太陽ノ微光ニ依ツテ地上ノ様子ガ分リ、而カモ防者ハ遠イ目標ヲ認識シ得ヌ時ヲ選ブモノデアアルガ、全ク暗イ時ニモ行フコトガアル。

此ノ如キ場合ニ備フル爲メ、前方ノ戰鬪線前ニ、砲兵、機關銃及迫撃砲ヲ以テ一連ノ隙間^{スキマ}ナキ阻止射撃^{ファイナル}ヲ行ヒ得ル如キ、處置ヲ取ツテ置ク必要ガアル。

運動戰ニ於テ一方ノ軍ガ、防勢ヲ取ツテ陣地ヲ占領シ、敵ガ之レヲ奪取スルコトガ出來ズ、再ビ運

動ヲ起サント欲シテ凡ラユル努力ヲ拂フモ、終ニ失敗ニ歸シタル場合ニハ、世界大戰ノ時ノ如ク、兩者共漸次永續的陣地(半永久陣地)ヲ作ルコトニナル。

斯カル陣地ハ本來一貫シタ周密ナ計畫ノ下ニ出來タノデハ無ク、遭遇戰ガ固着シタ場所ニ生ジタノデアアル。故ニ其位置ハ多クハ長ク使用スルニ適シタモノデハナカツタ。往々明ラカニ不利ナ陣地デ、多大ノ損害ヲ忍バナケレバ、到底維持ノ出來ヌモノデ、而カモ其直後ニハ、有利ナ土地ガ在ツタ場合ニモ、誤ツタ名譽心カラ、之レヲ強イテ維持スルニ努メ、多クハ直チニ多大ノ努力ヲ拂ツテ掩蔽部其他ノ設備ヲ設ケ、容易ニ之ヲ放棄シナカツタ。

若シ半永久陣地ヲ豫期スベキ形勢トナツタナラバ、最初ヨリ二、三ノ要件ヲ顧慮スベキデアアル。即チ先ヅ陣地ハ到ル所皆、實際ニ防禦ニ適セネバナラス。更ニ一層重要ナノハ長イ正面ノ線ニハ、將來ノ攻撃ノ爲メノ出發陣地ニ適スル所ノ、十分ニ廣イ地區ヲ有スベキ事デアアル。其際ハ固ヨリ、其場所ノ狀況ガ之ニ適應スルノミナラズ、後方ノ連絡ヲモ考慮ノ内ニ入レネバナラス。而シテ尙ホ敵ノ攻撃ヲ特ニ困難ナラシムル地區、即チ少數ノ兵力ヲ以テ維持シ得ル地區ガアラバ、作戰上有利デアアル。此ノ如キ地區ハ疲勞セル軍隊ヲ休メ、兵力及器材ヲ節約シ得テ、決勝點ノ兵力ヲ増サシメル。自ら攻撃ヲ行フ考ノ無イ場所ノ正面前ニ、障礙、就中戰車ヲ阻止スルモノガ存在スルコトハ、利益デアアル。此ノ如キ地形上ノ利益ヲ利用スル爲メニハ、一局部ノ目標ニ對スル攻撃ヲ企テルノ必要ガアルデアラウ。

攻撃ハ早ク行フダケ良イ。斯クスレバ敵ノ陣地ハ夫レダケ薄弱ナ譯デアアル。又所々正面ヲ退ゲルコトヲ嫌フテハナラス。此ノ如キ處置ハ、何遍モ新ニ陣地ヲ占メ直ホシテ、單純ナ兵卒ノ心ニモ、吾ガ陣地ノ選定ヲ誤ツタコトヲ認メサセルヨリハ、害ガ少ナイ。

半永久陣地ハ最初ハ、普通ノ野戰築城ノ觀ヲ呈スル。其後絶エズ(殊ニ夜間ニ)補強工事ヲ施シ、其防禦設備(散兵壕等)、觀測所、掩蔽部、支撐點、機關銃座、迫擊砲座、照明燈座、彈藥貯藏所、爆藥貯藏所、交通路、進入路等ヲ絶エズ改修増設スルコトニ依ツテ、其特性ヲ具備スルコトニナル。百枳若シクハ夫レ以上ノ幅ヲ有スル鏽ビサセタ具棘鐵條網、並拒馬ヲ入レタル狼狽、踏落地雷及鹿柴等ヲ縱横ニ設ケタ障礙ハ、大戰中屢々見タ所デアアル。

森林、谷地及隘路等ノ全體ニ亘ツテ、通過ノ出來ナイヤウナ設備ヲ施シタ。各防禦設備ノ一部ハ、「ベトン」ヲ用ヒ、永久築城ノ堡壘ニ等シクナツタ。殊ニ通信線ノ集ツテ居ル本部ハ、最強ノ攻撃手段ヲ取ラナケレバ、之ヲ奪取シ得ナカツタ。

總テ此レ等ノ設備ヲシテ敵眼、就中其空中偵察及砲兵ノ觀測ヲ免レシムルコトハ、實際ハ不可能デアルカラ、敵ノ判斷ヲ誤ラセ、其射擊ヲ散漫ナラシムル爲メ、廣ク偽工事ヲ施スベキデアアル。

交戰部隊ガ自ら第一陣地ヲ構築スル間ニ、指揮官ハ更ニ其後方ニ於テ、作業隊及休憩中ノ諸師團ヲ利用シテ、陣地ヲ設ケル。此レ等ノ陣地ハ皆第一陣地ト同様ニ、前後ニ重疊シテ不規則ニ設ケタル多

數ノ壕ヨリ成リ、相互ニ射撃ヲ以テ援護シ得ネバナラス。又後方ヨリ防禦地帯ニ向ツテ、交通壕及道路ヲモ設ケル。

半永久陣地ノ防禦ハ、野戰築城陣地ノ場合ノ處置ト、大ナル根本的差別ガアル譯デハナク、唯ダ攻撃ト同様ニ、其準備ガ極メテ周到廣汎デ、且ツ長時日ヲ要スルノデアアル。

世界大戰ニ於テハ通常兵力ヲ三分シ、陣地ヲ守備セル「戰鬥部隊」ト、其直後ニテ半バ休憩ノ姿勢ニアル「準備部隊」ト、豫備隊トニ區別シテ使用シタ。而シテ豫備隊ハ敵ノ中口徑砲ノ射撃ヲ避クル爲メ、可成後方ニ位置シタ。攻撃ヲ受ケル恐レノアツタ場合ニハ、更ニ「應援師團」ヲ設ケテ、不意ニ突破サレタ場合ニ、直チニ逆襲ヲ爲スベキ任務ノ之ニ課シタ。而シテ其際ニハ、此レ等ノ師團ヲ汽車又ハ自動車縱列ヲ以テ、速カニ前方ニ送り得ル用意ヲ整ヘタ。此ノ兵力區分法ハ良ク其目的ヲ果タシ得タカラ、將來モ亦應用サレルデアラウ。

交代ノ時機ニハ、必ズ或程度ノ危險ガ伴フカラ、餘リ屢々行フベキデナイ。交代ハ敵ノ注意ヲ喚起セヌ爲ニ、夜間ニ靜肅ニ行フガ良イ。攻撃ヲ受ケタ際ニ各人ノ占ムベキ位置ヲ、明ラカニ示シテ置ク必要ガアル。迅速靜肅ニ胸膈ニ據ルコトヲ、屢々練習セネバナラス。中隊長、小隊長及分隊長ノ剛毅沈着、周密ガ、大ニ緊要デアアル。蓋シ歩哨ニ立タヌ間ハ、晝ハ光線ノ乏シイ掩蔽部ニ閉ヂ込メラレ、夜間ハ土工作業ニ從事スル所ノ單調ナ墾壕生活ハ、動々モスレバ兵卒ノ注意力及好戰的精神ヲ鈍ブラ

セ易イモノデアアルカラ、上述ノ幹部ハ常ニ、之ヲ作振スルコトニ意ヲ用ヒル必要ガアルノデアアル。

次ニ歩砲兵間ノ緊要ナル協力ニ、十分ノ注意ヲ拂ハネバナラス。ソコデ兩者ノ下級指揮官（歩兵大隊長及砲兵大隊長）ハ、何時デモ親シク協議シ得ル爲メニ、成ルベク隣接シタ掩蔽部ニ位置スル。

各級ノ歩兵指揮官ハ斥候ヲ出シテ、絶エズ近距離搜索ヲ行ヒ、且ツ敵ヲ監視スルコトニ、意ヲ用フベキデアアル。

砲兵ハ近戰砲兵及遠戰砲兵ニ區別スル。其兵力及配置ハ、主トシテ地形ニ依ツテ定メル。前者ハ其地區内ニ於ケル歩兵ヲ直接ニ援護シ、後者ハ敵ノ砲兵ト交戦シ、尙ホ他ノ遠距離ノ目標ヲモ射撃スル。而シテ兩者ノ戰鬥行爲ハ、師團ノ砲兵隊長ノ砲戰計畫ニ基ツイテ行フ。其際ニハ歩兵ノ爲ニ成ルベク早く、有効ナル援護射撃ヲ行フコトヲ、主眼トスベキデアアル。

敵ガ突撃ヲ準備セル徵候ヲ認メタナラバ（觀測所、繫留氣球、若シクハ監視飛行機ヲ適時ニ、適切ニ使用スレバ、之ヲ認メルコトガ出來ル）、砲兵ハ其「殲滅射撃」ヲ、散兵壕、掩蔽部、進入路等、要スルニ敵ノ兵力ノ集合若シクハ前進ヲ豫想スル所ノ總テノ場所ニ對シテ注グ。而シテ奇襲的ニ射撃ヲ開始シ、又間モナク之ヲ緩ニスル。其目的ハ歩兵ガ好目標ヲ呈スル瞬間ニ、之ヲ射撃スルニアル。此ノ射撃ガ適切ノ所ニ注ガレ、バ、突撃ヲ未然ニ壓服スルコトモ往々アル。而カモ尙ホ敵ガ其壕ヨリ突進シ得タ場合ニハ、「阻止射撃」ヲ、我が最前ノ防禦設備ノ直前マデ、退ゲテ來ル。夜間ニハ歩

兵ハ、砲兵ノ援護射撃ヲ、火光信號ヲ以テ要求スル。但シ時々之ヲ變更シテ、敵ガ眞似シ得ヌヤウニスル。又霧ノアル時ニハ、音響信號ニ依ル。砲兵ノ防衛射撃ニハ機關銃ノ外、迫撃砲モ參加スルコトハ云フ迄モナイ。

砲兵ノ防衛射撃ガ如何ニ強力デアツテモ、歩兵ハ夫レノミニ一任シテ置ク譯ニユカヌカラ、自己ノ力デ敵ヲ擊退スル用意ヲ、常ニ整ヘテ居ルベキデアル。夫レニハ敵ノ奇襲ヲ受ケテハナラヌカラ、絶エズ監視ヲ嚴ニスルト共ニ、敵ノ砲兵ガ絶エズ後カラ後カラ破壊スル我ガ障碍物ヲ、毎夜修理スルコトガ、必要デアル。我ガ斥候ノ爲メニ、僅カニ一、二ノ間隙(其監視ヲ嚴ニスル)ヲ設ケタル強固ナ障碍物ヲ、前ニ控ヘテ居レバ、奇襲ヲ受ケテモ恐レハナイ。唯ダ之ヲ敢テシ得ルハ、戰車攻撃ノミデア

ル。突撃ノ擊退ニ任ゼス砲兵ハ、他ノ任務ニ服スル。其主ナルモノハ敵ノ砲兵ノ征壓デアツテ、飛行機及氣球ノ觀測ニ依リ、射撃陣地、觀測所並ニ彈藥集積所ヲ射撃スル、其外ニ尙ホ、敵ノ歩兵陣地ノ重要ナル設備ヲモ破壊スル。

「妨害射撃」ハ敵ノ陣地内ノ交通、司令部所在地、宿營地、停車場等ニ對シテ、之ヲ繼續スル。之ヲ深ク後地ニ向ツテ行フニ從ツテ、敵ニ取ツテ苦痛トナル。殊ニ休養宿營地ニ對シ夜間ニ妨害射撃ヲ行ヘバ、其地ノ敵兵ハ陣地ノ如ク砲彈ニ對シテ安全デナイカラ、多大ノ精神的不安ヲ感ズル。妨害射撃

ハ往々單獨若シクハ小隊毎ニ使用シ、時々位置ヲ變換シツ、豫メ測定セル各所ノ射撃陣地ヨリ之ヲ行フ。又時ニハ歩兵ノ直後ニモ進出シ、射撃後再ビ其砲ヲ撤退サセル。

飛行機ヨリノ寫眞又ハ發動機ノ騒音ニ依ツテ、敵ノ戰車ノ存在ヲ確メタナラバ、即時ニ各種ノ砲ヲ以テ、之ヲ猛射スル。而シテ戰車攻撃ニ對シテハ、先ヅ敵ノ砲兵ニ對抗セル砲兵ヲ以テ、之ヲ征服スル。而シテ突進シ來ル戰車ハ、前方ニ据エ置キタル單獨ノ砲ヲ以テ、之ヲ擊破スル。尙ホ指揮官ハ自動車砲、迫撃砲及機關銃(特別ノ彈藥ヲ有スル)ヨリ成ル遊動豫備ヲ、戰車攻撃ニ備ヘレバ、有利デアツテ、此ノ豫備ヲ戰車ニ向ツテ送り、近距離デ之ヲ征服スル。砲兵豫備ハ尙ホ其他ノ不測ノ場合ノ爲ニモ有利デアル。

指揮官ハ敵ノ大攻撃ガ近ク行ハルベキコトヲ察知シタ時ハ、之ニ應戰スベキカ、若シクハ之ヲ避クベキカヲ、研究セネバナラス。後者ハ常ニ敵ヲシテ多大ノ勞力ト時間トヲ、徒費ヒシムルノ結果ヲ招來スル。然シ一面ニ於テハ又、今迄維持シタ土地ノ任意ノ放棄ガ、敵味方ニ及ボス所ノ精神的影响ヲモ、考慮スベキデアル。

大攻撃ニ應戰スル場合ニハ、之ヲ擊退スベキ凡ラユル準備ヲ爲サネバナラス。即チ軍隊、彈藥、糧食、建築材料、裝具及器具等ヲ計算シ、且ツ準備シ、後方連絡線、通信及飛行機防衛ノ設備、飛行機着陸所、繫留氣球昇騰所、宿營、給水設備等ヲ建設及增加シ、彈藥貯藏所ヲ充實シ、修理工場ヲ整備

シ、糧秣倉庫及衛生設備ヲ建設シ、地方住民ヲ退却セシメル（人口ノ多キ都市ガ戰線内ニ在ル時ハ、其實行ガ極メテ困難デアアル）ガ如キハ、其一例デアアル。

完全ナル戰鬪準備ヲ以テ、敵ノ攻撃ニ應ズル爲ニハ、絶エズ偵察ヲ實行シテ、爲シ得ル限り敵ノ處置ニ就テ知り、且ツ攻撃方面ノ豫測ヲ爲シ得ルコトガ、最モ緊要デアアル。空中ニ於テ優越ノ地位ニ立ツトキハ、之レガ爲メニ極メテ有利デアアル。之ニ依ツテ敵陣地ヲ寫眞ニ依ツテ監視スル（時ヲ隔テ、屢々撮影シテ、其變化ヲ比較研究スル方法）機會ガ得フレル。此ノ方法ハ敵ノ意圖ヲ察知スルニ最良ノ手段デアアル。之ト共ニ敵ノ卸下停車場、彈藥集積所、倉庫、司令部所在地、飛行機格納所及砲兵陣地ニ對シテ、纏マツタ爆彈攻撃ヲ行ヘバ、敵ノ攻撃準備ヲ著シク澁滞セシメ得ル。

陣地ノ守兵ノ増加ニ當テタル師團ヲ、適時ニ使用シ、豫備（「應援師團」）ヲ其後方ニ準備スル。砲兵ノ増加及必要ト認メタル陣地ノ構築ヲ、早ク完了シテ置ク。

此ノ如ク注意ニ注意ヲ加ヘタニモ拘ハラズ、遂ニ不意ノ攻撃ヲ受ケタ場合ニハ、陣地師團（戰鬪部隊）ハ、極メテ優勢ナル敵ニ對シテ、有ラン限りノ手段ヲ盡クシテ抵抗スル。此レ等ノ師團ハ正面防禦ノ強味ニ依リ、少ナクトモ指揮官ヲシテ、突破ヲ防止シ、若シクハ逆襲ニ依ツテ敵ヲ擊退スル爲メニ、正面ノ他ノ部分ヨリ、所要ノ兵力ヲ招致スルダケノ時間ヲ、得シメルコトガ出來ラウデアラウ。若シ第一陣地ヲ奪ハレタナラバ、第二ノ（時ニハ第三ノ）陣地ニ據ツテ抵抗シ、終ニハ防禦工事ノ無イ所

デ、抵抗ヲ繼續スル。世界大戰ノ經驗ニ依レバ、勇敢ニシテ且ツ巧妙ナル防者ハ、至強ノ攻撃ニ對シテモ、終ニハ之ヲ挫折セシメ得ルモノデアアル。

彼ノソナム河畔及フランダールノ攻撃ノ際、數ヶ月ニ亘ル慘烈極マル激戰ニ依ツテ、結局英佛兩軍ガ得タ收穫ハ、僅カニ二、三百平方杆ノ荒廢セル土地ニ過ギナカツタ。

防者ハ攻撃地區ヲ察知シタナラバ、猛烈ナル集中砲火ニ依ツテ、攻者ノ特別ノ防禦設備及支撐點ヲ、夫レガ尙ホ本來ノ目的ニ使用シ得ル程度ニ發達スル以前ニ破壊シ、殊ニ其砲兵及迫撃砲ヲ制壓スルコトヲ試ミルデアラウ。而シテ防者ガ、攻者ノ戰線内及其後方ニ於ケル狀況ニ就テ知り得タ所ガ、右ノ處置ノ爲メニ基礎トナルノデアアル。又瓦斯彈射擊ニ依ツテ、敵ノ準備ヲ甚ダシク阻害シ得ル。

會戰其物ヲ實行スル間ハ、防者ノ砲兵ハ深キ縱長配備ヲ取り、以テ敵ガ陣地ニ突入シタ際ニモ、僅カニ其一部ガ危害ヲ被ムルニ止マル如クスル。其他ノ處置ハ、野戰陣地ノ防禦ノ場合ニ述ベタ所ト、同様デアツテ、別ニ妙案ガアル譯デハナク、絶エズ變化スル所ノ狀況ニ依ツテ決スベキモノデアアル。又「應援師團」ハ成ルベク纏メテ使用スル。大部隊ノ逆襲ハ不用意ニ、即席的ニ實行スルコトハ出來ス。夫レニハ周到ナル準備ヲ要シ、且ツ爲シ得ル限りハ、進入セル敵ノ側面ニ向ハセルノガ良イ。過度ニ急グバ失敗ヲ來シ易イ。

世界大戰ニ於ケル陣地會戰（陣地戰鬪）ハ、數ヶ月ニ亘リ、其莫大ナル人員及彈藥ヲ使用セルコト、

損害ノ甚大ナルコト、及各戰團ニ現ハレタ肉體及精神上ノ要求ナドカラ見レバ、之ヲ三千年ニ亘ル戰史中ノ大事件ト、稱スルコトガ出來ルデアラウ。

總テ戰團ハ凡ラユル手段ヲ用ヒテ、敵ニ損害ヲ與フベキ目的ヲ有シ、且ツ敵ノ組織ニ依ツテ、戰爭目的ニ最モ良ク貢獻シ得ベキコトヲ、確認シ得タガ、然シ特殊ノ場合ニハ指揮官ガ全ク特別ノ着眼ノ下ニ、戰團ヲ行フベキ考ヲ起スコトガアル。例ヘバ一ツノ軍ガ未ダ集中ヲ終ラヌ内ニ、敵ヨリ戰團ヲ強イラレタル時ノ如キハ、首將ハ手許ニ在ル軍隊ヲ以テ、爾餘ノ兵力ノ到着スル迄、持久的ノ戰（持久戰）ヲ試ミルデアラウ。此ノ場合ニハ敵ヲシテ我ガ兵力ヲ誤認サセルコトヲ努メ、廣正面ニ展開シ、有力ナル飛行機及氣球ヲ使用シ、且ツ遠大ノ射程ト多量ノ彈丸トヲ有シ、尙ホ運動性ニモ富ム所ノ多數ノ砲兵ヲ使用シ、歩兵ハ爲シ得ル限り之ヲ節約スル。

退却スル本隊ヲ敵ヨリ遠ク離脱サセル任務ヲ持ツタ後衛モ亦、之ニ似タ戰團法ヲ採用スル。若シ後衛ガ敵ヲシテ、我ガ本隊ガ退却ヲ中止シテ、再ビ戰團ヲ交フル目的デ、吾ニ正面シタモノト思ハシムルコトガ出來タナラバ、良ク其任務ヲ達成シ得ル。後衛ハ此ノ目的ヲ達スル爲ニ、自己ノ兵力ヲ強大ナル如ク見セ、全砲兵ヲ廣正面ニ於テ活潑ニ射撃サセ、歩兵ニモ廣ク手ヲ延バサセル。之ニ依ツテ敵ヲシテ、眞面目ノ攻撃ノ處置ヲ行ハシメ、而シテ最後ノ時機ニ之ヲ避ケル。然シ開闊地デ空中偵察ニ

便ナル地形デハ、長ク敵ヲ欺クコトハ出來ス。

敵ノ一翼ヲ包圍シ決戰ヲ求ムル間ニ、敵ノ強力ナル正面ニ向ケラレル部隊モ亦、持久的ニ戰闘スルノ道ヲ解セネバナラス。包圍ノ有効トナルニ先チ、此ノ部隊ガ餘リ猛烈ニ正面ニ迫ルノハ、誤リデアラウ。然シ又一面ニ於テハ、敵ノ正面ヲ相當ニ脅威シテ、敵ガ自由ニ退却シ、若シクハ包圍部隊ノ方ニ向フコトヲ、防止シ得ネバナラス。此ノ場合ニモ亦、任務ニ對スル兵力ノ割合ニ應ジテ、自然ニ戰團法ヲ定ムベキデアル。

村落ノ戰團ハ指揮上少ナカラザル危險ヲ藏スル。防者ハ之ヲ支撐點トシテ利用セントスル。是レハ堅固ナ建築物ガ兎ニ角、砲彈ノ破片及彈子、小銃火及輕爆彈ニ對シテ、若干ノ掩護ヲ與ヘルカラデア。尙ホ村落ニハ障礙物ヲ設ケ、靱強ナル防禦ノ設備ヲ施セバ、敵ノ前進ヲ著シク遲滯サセルコトガ出來ル。然シ他ノ一面ニ於テハ、著シク敵ノ射撃ヲ引キ着ケ、爲ニ其守兵ヲシテ豫期ニ反シ、多大ノ損害ヲ被ラセル。故ニ村落ニハ常ニ微弱ナル兵力ヲ配置スベキデアル。然シ其射撃力ヲ強大ニスル爲ニ、多數ノ機關銃、迫撃砲、及近戰砲ヲ與ヘル。之ヲ使用シテ其附近ノ平地ニ行ハル、戰團ニ參加スル。殊ニ村落ノ傍ヲ突進セントスル敵ノ側面ヲ撃テバ、多大ノ効果ヲ收メル。屋根、寺ノ塔及樹梢等ニ占據スル機關銃及小銃手ハ、此ノ場合ニ偉大ナル働ヲ爲ス。若シ敵ガ村落内ニ侵入シタナラバ、家屋毎ニ近戰ヲ交ヘツ、抵抗スル。

攻者ハ村落ノ攻略ニ、餘リ多クノ兵力ヲ使用スルコトヲ戒ムベキデアル。村落ハ燈火ガ蟲ヲ呼ブ如ク、軍隊ヲ引キ着ケル力ヲ持ツテ居ル。村落戰ノ渦中ニ卷キ込マレタ部隊ハ、家屋ヤ庭園ノ中ニ分散シ、激烈ナル亂戰ヲ演ジテ、指揮官ノ手裡ヲ脱シ易イカラ、多クノ場合ニ全般ノ決戰カラ、隔絶シテ了フコトニナル。

此レ等ノ理由ニ基キ、攻者ハ村落ノ守兵ヲ砲火又ハ毒瓦斯ヲ以テ抑壓シ置キ、其側方ヲ通過スルコトヲ努ムベキデアル。之ニ依ツテ村落内ニ在ル敵ヲ、容易ニ遮斷シ得ル結果ヲ來シ、其降伏ハ唯ダ時ノ問題タルニ過ギヌデアラウ。特別ノ理由デ之ヲ強襲スル必要ノアル場合ニハ、多數ノ迫撃砲、砲兵及爆撃用飛行機ヲ使用シテ、之ヲ陷レル。

村落戰ニ就テ尙ホ注意スベキハ、食料品ノ豊カナ村落ニ於テ起ル所ノ、特殊ノ危険デアル。殊ニ酒類ノ貯ノ多イ所デ、而モ軍隊ガ今迄甚ダシキ缺乏ヲ感ジテ來タ場合ニハ、益々危険デアル。現ニ世界大戰中何レノ農家ノ穴藏ニモ澤山ノ酒ガ貯ヘテアツタ、葡萄酒産地ノ村落デハ、攻者ガ甚ダ面白カラヌ事態ヲ引キ起シタ事モ、往々アツタ。兵卒ハ敵ヲ捨テ置イテ、獲物ノ方ニ走り、思フ存分ニ酒ヲ飲ミ、敵ノ逆襲ヲ受ケタ頃ニハ、戰鬪ノ用ヲ爲サナクナツテ居タ。此ノ如キ放縱ノ行爲ハ、如何ナル場合ニモ嚴ニ之ヲ抑壓セネバナラス。

森林戰モ亦、村落ニ似タ點ガアリ。森林ハ敵ノ眼ヲ遮ギリ、射撃ニ對シテモ若干ノ掩蔽トナル。少

ナクトモ砲彈ノ破片及彈子ハ、枝ノ密ナ高イ木ヤ下生ニ依ツテ、著シク其効力ヲ殺グ。但シ闊葉樹林ノ多クハ、冬ニ上空ヨリ其中ヲ窺フコトガ出來ル。

森林ハ通常攻者ヨリモ、防者ニ利益ヲ與ヘル。森林ノ多イ地方ハ、開闊地ヨリモ少イ兵力デ、防禦シ得ル。然シ森林ハ毒瓦斯ノ散布ニハ特ニ苦マサレル。

森林内ノ攻撃運動ハ、連絡方向ノ維持ニ苦ムカラ、困難デアル。攻者ハ包圍又ハ毒瓦斯ノ散布ニ依ツテ、森林ヲ占領スル。若シ森林ヲ攻撃スベキ必要ノアル場合ニハ、先ヅ前方ニ突出シアル隅角ヲ、砲兵及機關銃デ抑壓シタ後ニ、其所ヲ奪取スル。森林内ノ前進ニハ、部隊ノ分散ヲ戒メ、指揮官ガ良ク部隊ヲ掌握セネバナラス。距離及間隔ヲ縮メ、其側方後ニ豫備ヲ置イテ、翼ヲ掩護スル。歩兵ガ森林内ニ進入シタ時ニハ、多クハ森林外ニ位置スル砲兵ノ援護ヲ受ケルコトガ出來ナイ。是レハ砲兵ガ森林内ノ歩兵ノ攻撃運動ノ進捗ヲ、窺ヒ得ヌカラデアアル。其後十分狀況ヲ確カメテカラ、始メテ砲兵ヲシテ再ビ、之ニ射撃ヲ向ケシメルコトガ出來ル。迫撃砲ハ常ニ有効ナル援助ヲ與ヘ得ル。餘リ深ク無イ森林デハ、前方ノ林端マデ突進スル。

林縁ハ特ニ有利ナ目標ヲ呈スルカラ、防者ハ其所ニ位置ヲ占メズニ、其前方ニ出ルカ、若シクハ外方ヲ有効ニ射撃シ得ル程度ニ森林内ニ退ガル。時ニハ又森林内ヲ横斷シテ、陣地ヲ設ケル場合モアル。此ノ陣地ハ他ノ普通ノ慣例ニ反シテ、一連ノ線ヲ用ヒル。是レハ森林内ノ通視ガ不十分ナ爲メニ、相

互ニ援助スル群ノ組織ヲ應用シ得ヌカラデアル。而シテ此ノ場合ニハ、多少有利ニ射撃効力ヲ發揮シ得ル場所ニ、前哨ヲ出ス。防者ハ曲射砲及迫撃砲ヲ到ル所ニ用ヒ得ルガ、平射砲ハ唯ダ林空ノ後端ニ使用シ得ルニ過ギヌ。

森林内ノ戦闘ハ至近距離ヲ行ハレル。其際ニハ兵數ヨリモ、個人ノ勇氣ガ重キヲ爲ス。防者ハ隱シテ設ケタ抵抗ノ巢ニ伏兵ヲ置イテ、多大ノ効果ヲ收メルコトガ出來、又適切ニ設ケタ障礙物ヲ以テ、森林内ニ侵入セル敵ガ攻撃ノ手ヲ擴ゲルコトヲ、防止シ得ル。殊ニ敵ノ側面ヲ衝クコトヲ試ムベキデアル。

夜間戰鬥ハ世界大戰中、非常ニ多ク實行サレタ。此ノ戰鬥ハ訓練ノ行キ屈イタ軍隊ヲ以テ、狭イ範圍内ヲ行ヘバ、少シモ困難ヲ感ゼヌモノデアアル。陣地戰中、限定サレタ目的ヲ以テスル小部隊ノ企圖例ヘバ敵ノ陣地ノ一ツノ散兵壕、或ハ支撐點ノ奪取、捕虜ノ獲得等ハ、夜間ニ行ツテ屢々好結果ヲ收メタ。其役割ノ精確ナル分配及練習ト、果敢ナル指揮トハ、大ニ此ノ企圖ノ成功ヲ助ケタ。

之ニ反シテ大部隊ノ夜間ノ企圖ニハ、非常ナ困難ガアル。多クハ唯ダ敵ヘノ近迫及攻撃準備配置ニノミ、夜間ヲ利用シタ。之ニモ道路及軍隊ヲ置クベキ場所ノ詳細ナル偵察ト、之レヲ表示スル爲メノ燈火(敵方及上方ニ對シテ光ヲ遮ギルコトニ注意シテ)トヲ、必要トシタ。而シテ攻撃ハ拂曉ヲ待ツテ實行シタ。

歩兵ノ夜間ノ運動ニハ、極メテ單純ナ隊形ガ適スル。即チ敵ノ爆撃飛行機及遠距離射撃砲ニ對スル顧慮上、成ルベク道路外ヲ、縱隊ヲ以テ、敵ノ直前マデ進ミ、ソコデ濃密ナル散兵線ヲ作り、其直後ニ援隊ヲ置キ、白兵ニ依ツテ決戰ヲ求メツ、敵ノ陣地ニ突入スルノデアアル。其直前ニ、砲兵及迫撃砲ヲ以テ、短時間ノ猛烈ナ準備射撃ヲ行フカ否カハ、指揮官ノ判斷ニ依ツテ定メル。稍々大ナル部隊デハ、數個ノ突撃縱隊ヲ以テ、右ト同一ノ方法デ、攻撃ヲ行フ。其各縱隊ノ運動ノ統一、相互ノ連絡及突撃ノ時刻ノ一致ハ、確實ナ命令ト、時計ノ照合トニ依ツテ、之ヲ保證セネバナラス。總テ夜間ノ運動ニハ、晝間ヨリモ遙カニ多クノ時ヲ要スルコトヲ、考慮スベキデアアル。攻撃成功後ノ處置及失敗ノ場合ノ集合場ニ就テハ、必ズ示シテ置ク必要ガアル。夜間ノ攻撃ハ果敢ナル指揮ノ表現デアツテ、常ニ敵ニ甚大ナル精神的影响ヲ及ボスモノデアアル。

防者ハ夜間攻撃ヲ豫想スルトキハ、其配備ヲ閉縮スベキデアアル。殊ニ頻繁ニ斥候ヲ出シ、且ツ前地ヲ照明シ、以テ奇襲ヲ防グ。尙ホ各兵ガ自己ノ持場ニ就テ、嚴ニ自ラ用意シテ居ルコトガ必要デアアル。豫備ノ使用ハ狀況ノ判明ヲ待ツテ、實行スル。

霧ノアル時ニハ、飛行機及擊留氣球ハ用ヒ得ヌ。

隘路、渡河點及山地ノ戰鬥ハ、特殊ノ形式ヲ取ル。之ニ就テモ多少ノ説明ヲ試ミル必要ヲ認メル。

隘路ハ運動ノ妨害トナル。然シ防者ニ取ツテ妨害トナルノハ、防者ガ、部隊ノ通過シ得ル地區ノ中

ノ一定ノ場所デノミ、攻撃ニ移ラント欲スル場合ニ限ル。而シテ特ニ困難ナルハ、隘路ヲ通過シテ退却スベキ場合デアアル。之レヲ行フニハ、有力ナル後衛ヲシテ、追迫スル敵ヲ支ヘシメ、且ツ砲兵ヲ先遣シテ隘路ノ後岸上ニ陣地ヲ占メサセ、以テ其通過ヲ掩護セシムル方法ヲ取ル。其通過ニ際シテハ、嚴重ナル行軍々紀ト、運動ノ圓滑トヲ、維持セネバナラス。後衛部隊ノ爲メ、隘路ノ前岸ノ入口ヲ、絶エズ確實ニ保有シテ置ク必要ガアル。追撃軍ノ方デハ、隘路ニ向ツテ盛ニ壓迫ヲ加ヘルト共ニ、特ニ運動性ニ富ム部隊騎兵師團、自轉車兵、自動車ニ載セタ步兵及裝甲自動車ヲ、側方ノ道路ヲ經テ急行セシメ、反對側ノ隘路口ニ迫ツテ、退路ヲ塞グコトヲ試ミ、又之ト同時ニ飛行機ヲシテ、隘路ヲ退却スル縦隊ヲ間斷ナク襲ハシメ、又射程ノ大ナル砲ヲ以テ、反對側ノ出口ヲ射撃スルデアラウ。其隘路ガ深キ凹道若シクハ凹地ナルトキハ、毒瓦斯ノ爲メニ甚ダシク苦メラレル。

隘路ヲ敵ニ先ンジテ占領スベキ場合ニハ、前述ノ如キ種類ノ部隊ヲ、成ルベク早ク前方ノ出口ニ先遣シ、以テ後衛部隊ノ爲ニ、之ヲ開放シ置クガ良イ。隘路ノ手前ニ位置スル部隊ガ、後ニ之ヲ通過シテ前進スル意圖ヲ持ツ場合ニモ亦、之ト同様ノ處置ヲ取ルデアラウ。

數條ノ隘路ノミヲ通ズル地區ヲ、背後ニ控エテ留マル敵ヲ、攻撃スル場合ニハ、其各隘路口ニ向ツテ、同時ニ攻撃スル。各攻撃縦隊ハ隣接縦隊ニ顧慮セズニ、其進路ヲ打開スルコトヲ試ミル。之レニ成功シタ縦隊ハ、防者ノ側面及背後ニ對シテ躍進シ、以テ隣接縦隊ノ困難ヲ最モ有効ニ救フコトガ出

來ル。

河線ハ攻者ニモ防者ニモ、軍隊ノ不意ノ側方移動ヲ容易ナラシメル。河線ハ第一ニ攻者ニ取ツテ運動ノ障礙トナリ、防者ノ爲ニハ陣地ノ強味ヲ増ス。而カモ尙世界大戰中ニ、成功セル河線防禦ヲ見タノハ稀デアアル。攻者トシテハ渡河ニ適セル地點ノミナラズ、對岸ニ於ケル防者ノ兵力ノ配置ヲモ、早ク明ラカニスルコトガ緊要デアアル。後ノ事項ハ從來ハ困難デアツタガ、今日ノ飛行機ニハ他ノ偵察任務ト毫モ變ル所ガ無い。主ナル渡河ノ爲ニハ、我が軍ノ方ニ河線ノ突出セル曲折部ガ、問題トサレル。此ノ如キ地點ニ於ケル最初ノ隊ノ渡河ハ、自然ニ兩翼ヲ依托シ、且ツ有効ナル援護射撃ヲモ受ケ得ル利益ガアル。他ノ地點ニ於ケル副渡河ハ、敵ヲ欺クノニ有利デアアル。此ノ着眼點及偵察ノ結果ニ基ツイテ、渡河ノ實施法ニ就テノ決心ガ定マツタナラバ、最後ノ行程ヲ強行軍ヲ以テ前進シ、且ツ渡河ニ必要ナル器材ヲ前衛ニ附シ、尙ホ豫定ノ渡河點ヘノ到着ハ、架橋ガ拂曉ニ完了シアル如ク、區處スル。之ニ先ダツテ、技術ニ通ゼル將校ヲシテ、精細ナル偵察ヲ行ハシメ、且ツ前岸ニアル敵ノ部隊ヲ驅逐スル。多數ノ機關銃ヲ有スル先頭部隊(第一梯隊)ガ、小舟又ハ門橋ヲ以テ河ヲ渡ル。該部隊ハ此ノ時開始サレタ架橋ヲ掩護スル。ヤガテ砲兵ヲ有スル有力な部隊ガ渡サレタナラバ、此ノ部隊ハ更ニ進んで陣地ヲ占メ、急速ニ防禦工事ヲ施ス。之レガ所謂「橋頭堡」(橋頭陣地)デアアル。此ノ陣地ハ、本隊ノ軍橋ニ依ル渡過ヲ掩護シ得ル位置ニ、之ヲ選定スル。先頭部隊ノ渡河ガ、敵ニ發見サレナカッタ場合

ニモ、多クノ場合ニ一、二時間ノ内ニハ、敵ノ攻撃ヲ受ケルデアラウ。其場合ニ橋頭堡ヲ行フ防禦ニ對シ、後岸ニ展開セル有力ナ砲兵ヲ以テ、援助ヲ與ヘル。之レガ爲メ該砲兵ハ、夜間ニハ橋頭堡ノ周圍ヲ、射撃ヲ以テ行ヒ、又敵ノ前進路ヲ掃射シ得ル如ク用意シ、又晝間ニハ其時ノ戰況ニ應ジテ處置スル。最初ヨリ敵岸ニ有力ナ部隊ガ據ツテ居ル場合ニハ、渡河ニ先ツテ之ヲ征服セネバナラヌ。多數ノ砲兵ヲ有スル有力ナル掩護隊ヲシテ之ニ當ラセ、夫レガ敵ヲ壓倒シタ後ニ、始メテ船渡ヲ開始スル。本渡河ヲ企テタ方ハ失敗シテ、却ツテ副渡河ノ方ガ圓滑ニ遂行サレルコトモ往々アル。指揮官ハ此ノ場合ニ、其區處ヲ神速ニ變更スルダケノ、融通ガ利カナケレバナラナイ。

防者ガ多數ノ通過點ヲ有スル地區ヲ守ルトキ、若シクハ河線ヲ守ルトキハ、搜索機關及前遣部隊ヲ爲シ得ル限リ長ク敵岸ノ方ニ留メ、以テ敵ノ行進及渡河(通過)ノ實施計畫ニ就キ、爲シ得ル限リ正確ニ知リ、尙ホ陽企圖ト本攻撃トヲ、判別スルコトヲ努メル。危險ヲ感ズル各通過點ニ、平等ニ兵力ヲ配置スルハ、良シクナイ。寧ロ豫想ノ通過點ニ防禦工事ヲ施シ、敵ガ之ヲ通過スル爲ニハ、稍々有力ナ兵力ヲ要スル程度ノ部隊ヲ其所ニ配置スルニ止メテ置キ、其主力ハ遙カ後方ニ纏メ、敵ガ多大ノ兵力ヲ以テ通過ヲ企テタ時ニ、直チニ之ヲ、迎撃スベキデアアル。攻者ヲシテ強固ナル橋頭堡ヲ設クル暇ヲ、與ヘヌコトガ大切デアアル。然シ防者ガ適切ノ時機ニ自ラ出テ行クト云フコトガ、中々容易デナイノデアアル。

獨逸軍ハ從來ノ戰役ニ、高山地デ戰フ機會ガ無カツタガ、今回ノ大戰ニ於テ、始メテ之ヲ經驗シタ。高山地ノ戰鬪ニ適用サル、原則ハ、將來モ亦有用デアラウ。

高山地ノ戰鬪(山地戰)ハ主トシテ隘路ノ爭奪ノ爲メニ行ハレル。其道路ノ交叉點デハ、特ニ激シイ鬪爭ガ起ル。攻者ハ單ニ谷ノ中ヲ突進スルノミデナク、其兩側ノ高所ヲモ、占領セネバナラヌ。之レニハ多クハ、時間ヲ要スル困難ナ迂回ヲ必要トスルガ、然シ夫レニ依ツテ多大ノ効果ヲ收メ得ル。特別ノ裝備ト訓練トヲ施シタ山地隊ヲ、之ニ利用スベキデアアル。

高山地ニハ大抵左右ノ連絡ガ非常ニ困難デアアル。攻者ハ敵ヲ欺キ、且ツ我が兵力ヲ適當ニ活動セシムル爲メ、成ルベク廣正面ヲ取ツテ前進スル。豫備隊ノ左右ノ移動ガ極メテ困難デアルカラ、各縱隊ハ其豫想ノ任務ニ堪ヘル如ク裝備シ、且ツ編組スベキデアアル。下級ノ指揮官ニ多大ノ獨斷專行ヲ許ス。防者ハ主トシテ隘路ヲ阻止スル。夫レニハ單ニ隘路自體ノミデナク、兩側ノ高所ヲモ占領スル。防者モ亦軍隊ヲ容易ニ左右ニ移動シ得ヌ爲ニ、苦痛ヲ感ズル。故ニ最初ノ兵力ノ分配ガ最モ緊要デアアル。總テ高山地ニ於ケル軍隊運動ハ、非常ニ天候ノ爲ニ左右サレル。往々氣溫ノ激變ヲ來スカラ、此ノ如キ地方ニ於ケル企圖ハ、決シテ長イ時日ニ亘ツテ、豫メ決定シテ置クコトガ出來ヌ。然シ一度決シタ事ハ、爲シ得ル限リ之ヲ遂行スベキデアアル。

軍隊ノ給養ニ就テハ、特別ノ注意ヲ必要トスル。殊ニ被服ニ就テ意ヲ用ヒ、夏季ニモ急ニ寒冷トナ

ルコトヲ、顧慮スル必要ガアル。宿營ノ不便ハ殊ニ冬季ニ於テ憂フベキコトデアツテ、軍隊ノ保健ノ爲メ、暖房設備ノアル廠舎ヲ設ケルコトニ、十分意ヲ用ヒネバナラス。食料モ亦特ニ豊富ニスル必要ガアル。然シ此ノ點ニ就テモ多大ノ困難ガアツテ、土地ガ元來物質ノ乏シイ上ニ、能率ノ低イ少數ノ鐵道及縱列ノ輸送ニ待タネバナラス。

以上ノ理由ニ依リ高山地ニ於ケル作戰ニハ、特ニ根本的ノ準備ヲ必要トスル。

狹隘、隘路、凸堤若シクハ橋梁上ノ軍隊ノ運動ハ、總テ敵ノ爆撃飛行機及戰鬥飛行機ニ、特ニ有利ナル目標ヲ呈スルコトヲ、忘レテハナラス。從ツテ有力ナル空中防衛ノ手段ヲ取ル必要ガアル。

第十節 會戰

世界大戰以前ノ戰爭ニ於テハ、總テ會戰ガ最も重要ナル地位ヲ占メタモノデアアル。會戰ハ戰爭ノ轉機ヲ爲シ、凡ラユル重大問題ヲ解決シタ。アレキサンダーヲシテ、前人ノ解キ得ナカッタゴルデウスノ結ヲ斷ツテ、克ク亞細亞征服ノ壯圖ヲ決行セシメタルモノモ、即チ之レデアツタ。會戰ハ必ズ戰爭ニ新タナ進展ヲ來シ、中ニハ千八百六六年ノケーニヒグレッツツノ會戰ノ如ク、唯一回ノ會戰ヲ以テ、一般ニ敵ノ戰意ヲ失ハセタコトモ、往々アツタ。

從來ハ決勝的會戰ヲ經ズシテ戰勝ヲ得ルノ術ヲ、知ラナカッタ。弱敵ト雖モ、戰略的打算ノミデ、

武器ヲ抛ツテ降伏シタ者ハ、決シテ無カッタ。何カーツデモ自己ノ精神的長所ヲ見出セバ、夫レニ依賴シテ自ラ奮闘シ、以テ勢力ノ均衡ヲ回復スルコトヲ努メタノデアアル。

然ルニ世界大戰ニ於ケル獨逸ハ、大部分ノ會戰ニ於テ、勝利ヲ得、一回モ決戰的敗北ヲ招カズシテ終ニ敵ニ屈服スルニ至ツタ（但シ其原因ニ就テハ、余ノ既ニ述ベタ所デアアル）。

然ラバ將來ノ戰爭ニ於テ會戰ガ如何ナル役目ヲ演ズルデアラウカ。

之レハ全ク一般軍事界ノ發展ニ依ツテ、左右サレルモノデアアル。而シテ之ニ關スル諸家ノ意見ハ區別デ、未ダ歸一スル所ヲ知ラヌ有様デアアル。然シ世界各國ノ軍事學術界ニ發表サレタ所ニ就テ觀察スレバ、敵國民ノ武力ニ對抗スル戰鬥ニ依ツテ、戰爭ノ勝敗ヲ求ムルコトヲセズニ、寧ロ抵抗力ナキ普通人民ニ對シ、現代ノ技術及化學ノ恐ルベキ破壊力ヲ、計畫的ニ使用スルコトニ依ツテ、勝敗ヲ決セントスル傾向ノ存スルコトヲ、否認スル譯ニユカヌ。

之レハ其外形コン異ツテ居ルガ、正シク中世紀ノ暗黒時代、即チ蒙古ノ世界侵略軍ガ、歐亞ヲ蹂躪シ、到ル所テ家ヲ燒キ、人ヲ屠リ、財ヲ掠メテ、首塚ニ依ツテ其進路ヲ標示シタ時代ヘノ、逆轉デアアルマイカ。若シ前述ノ傾向ガ、二十世紀ノ文明世界ニ勢力ヲ占メテ、人口稠密ノ都市ニ對シ、飛行機上ヨリ投下スル毒瓦斯攻撃ガ實行サレタナラバ、彼ノ成吉思汗及鐵木真ガ、作戰ノ方針トシテ、老幼男女ノ別ナク、被征服民ヲ殺戮セル殘虐ヲ再演スルコトニナルデアラウ。マサカ今ノ世ニ此ノ如キ

進展ヲ見ルコトハアルマイトモ思ハレルガ、然シ大戰中及其後ノ革命等ニ現ハレタ道德ノ荒廢ヲ、吾々ガ現ニ目撃シテ居ル以上ハ、之ヲ單ナル杞憂トシテ、一笑ニ附スルコトモ出來ヌノデアアル。

兎ニ角今日ノ列強ハ、ヴェルサイユ條約ニ依ツテ、毒瓦斯ノ使用ヲ禁ゼラレタル獨逸ヲ除クノ外悉ク皆此ノ最新ノ戰鬥手段ノ改良ニ、熱中シテ居ル。毒瓦斯ハ世界大戰ノ當時ハ、僅カニ發達ノ初期ニ在ツタニモ拘ハラズ、既ニ異常ノ効力ヲ發揮シテ居ル。今後モ必ズ豫想外ノ發達ヲ遂ゲルニ相違ナクヤガテ之ニ依ツテ戰爭ノ勝敗ヲ決シ得ル迄ノ進歩ヲ見ルデアラウ。故ニ人道上ヨリ見レバ、誠ニ悲ムベキコトデハアルガ、何レノ國モ此ノ發明ヲ等閑ニ附スル譯ニ行クマイ。大量ノ瓦斯彈ノ製造ガ、普通ノ爆彈ヨリモ容易且ツ廉價ナ點モ亦之ニ關係ヲ持ツテ居ル。此ノ如キ情勢デアルカラ、此ノ新兵器ノ無制限ノ使用ニ至ル迄ニハ、其間僅カニ一步ヲ餘スノミデアアル。國家ノ存亡國民ノ死活ノ爲メニ闘フ場合ニモ、決シテ之ヲ踏ミ越エヌト誰ガ、保證シ得ルデアラウカ。

毒瓦斯ハ攻撃ノミデハナク、無論防禦ニモ之ヲ利用スル。毒瓦斯ノ持續的効力ヲ得ント努力シ、瓦斯ノ阻絶ニ依ツテ、國境ノ防備ヲモ爲サント企テ、居ル。現ニ米國デハ長イ海岸ヲ、敵ノ上陸ニ對シテ防衛スル爲ニ、砲兵ノ代リニ毒瓦斯ノ壁ヲ設クル研究ヲ爲シ、白耳義ハ將來ノ戰爭ニ、毒瓦斯ヲ以テ隣國ノ侵入ヲ防グ計畫ヲ立テ、居ル。伊太利ノアマデオ、ギユレット大佐ノ如キハ、更ニ一步ヲ進メテ、從來ノ形式ノ陸戰ヲ一般ニ否定シ、化學的發明ト飛行機トヲ併用シテ、戰爭ノ勝敗ヲ決スベキ

モノト斷定シテ居ル。又化學的ノ空中阻絶ヲ以テ、飛行機ヲ防衛センコトヲ、提案スル者モアル。(但シ毒瓦斯ガ空氣ヨリ重イ爲メニ、此ノ問題ノ解決ハ容易デ無イ)。

此ノ如キ競争ニ於テ、攻撃防禦ノ何レガ利益カハ、遽カニ斷定ガ下サレヌ。勇敢ナル國民ハ、爆彈ヤ瓦斯彈ヲ以テスル空中攻撃ノミデハ、決シテ屈服セヌデアラウ。飛行機ガ其攻撃スル土地ヲ占領スルコトハ決シテ出來ヌ。夫レニハ地上ノ兵ノ其力ヲ必要トスル。其地上ノ兵ニ對シテハ、(防者ガ全然屈服セヌ限リハ)必ズ之ニ抵抗スル兵ガ地上ニ居ル。隣國カラ織滅ノ脅威ヲ受クル國民ハ、將來モ亦抵抗スルデアラウ。其武器ヲ取り得ル男子ハ、自ラ集マツテ軍ヲ編成シ、有ラユル手段ヲ盡クシテ、父祖ノ遺業ヲ護ルデアラウ。兎ニ角現在ハ尙ホ大ナル陸軍ガ存在スル。夫レガ戰時ニ飛行機ノ戰鬥ヤ化學者ニ任カセテ、晏如トシテ國內ニ留マツテ居ル筈ガ無イ。故ニ將來ニ於テモ亦、從來ト同様ニ會戰ガ行ハレ、其勝者ヲシテ自己ノ意ニ從ハシムルデアラウ。縱令今日ニ於テハ、武器ヲ以テスル戰鬥ト併立シテ他ノ勢力(從來ハ全ク知らナカッタカ若シクハ今日ホド重要ノ位置ヲ占メナカッタ他ノ勢力)ガ、武器ヲ以テスル戰鬥ト同様ニ、戰爭ノ結末ヲ付ケル力ヲ現ハストシテモ、會戰(武器ヲ以テスル會戰)ノ勝利ノ效果ヲ全ク無用ニ歸セシムルヤウナコトハ、決シテ無イ。敵ト衝突スレバ之ヲ殲滅スルコトヲ努メル。他ノ總テノ顧慮ハ、之ニ對シテハ第二義ノ地位ニ落チル。

攻者ハ會戰ヲ行ハント努メ、防者ハ永ク之ヲ避ケ得ザルコトヲ知ツテ、之ニ對スル準備ヲ爲ス。即

チ防者ハ會戰ヲ期待スルガ、然シ他ノ事情ニ依ツテ、普通ヨリモ勝利ヲ得ベキ見込ノ多クナツタ時機ニ於テ、之ヲ行ハノコトヲ希望スル。會戰ハ防者ヲシテ從來ヨリモ有利ナ狀況ヲ招來シ、攻者ヨリ受ケル壓迫ヨリ免ルベキ唯一ノ手段デアル。コリンノ戰ノ例ハ、餘リ活動セヌ防者モ、一度奮激シテ敵ニ向ヘバ、幸運ガ向イテ來ルコトヲ示スモノデアル。要スルニ會戰ハ將來モ、依然トシテ戰爭ノ進展ハ樞軸ヲ爲スデアラウ。

千九百十四年以前ノ近代戰史中ノ大會戰ハ、二十二萬一千ノ普魯西軍ト二十一萬九千ノ奧國軍ト戰ヘルケーニヒクレツツノ會戰、及二十九萬ノ聯合軍ト十五萬ノ那翁軍ト戰ヘルライプツヒノ會戰デアル。然ルニ此ノ數字ハ世界大戰ヲ見ルニ及ビ、殆ンド云フニ足ラヌモノトナツタ。西方正面ノ國境戰ニハ、各々二、三十萬ノ兵ガ戰ヒ、聯合軍ガ十師團ホド優勢ヲ占メタルマルヌノ會戰ニハ、兩軍共遙カニ百萬ヲ越エル兵力ヲ以テ戰ツタ。而シテ陣地戰中ノ會戰ニ於テモ、其參加兵力ハ之ト餘リ大差ナイモノデアツタ。現ニ千九百十七年ノ數ヶ月ニ亘レルフランダールノ會戰中、獨逸ノ第四軍ノ如キハ、八十萬ノ兵ト二十萬ノ馬トヲ算スルニ至ツタ。

此ノ如キ狀態ノ下ニ、會戰場ガ如何ナル光景ヲ呈スベキカハ、從來ノ最大ノ會戰ノ例ヲ以テシテモ到底其一斑ヲモ窺フコトガ出來ヌ。此ノ大變化ハ音ニ兵員ノ數ヲ増加シタルノミナラズ、進化セル火器ノ効力、及夫レヨリ生ズル戰術ノ上カラモ、同等ノ影響ヲ受ケテ居ルノデアル。戰鬪ニ關スル教訓

デハ相當ノ縱長ト所要ノ力トヲ保持スル爲メニ、狹小ナル正面ヲ取ルコトヲ要求サレテアツタガ、實際ニ臨ンデハ、有効ナル銃砲ヲ使用センガ爲メニ、頻リニ其正面幅ヲ擴張シタ。其戰鬪力ハ却ツテ強大デアツタカラ、大戰ニ於テハ一般ニ廣正面ヲ用ヒルヲ例トシタ。マルヌノ會戰デハウールク。ヴェルダン間ノ百七十軒ノ正面ニ於テ、一齊ニ戰鬪ヲ交ヘタノデアル。如何ニセバ此ノ如キ宏大ナル戰鬪行爲ガ、統一セル意志ニ從ツテ指導スルコトガ出來ルカト云フ事ハ、今ニ至ルモ解カレヌ謎デアル。

通信ノ技術ガ、斯カル至難ノ狀況ニ於テモ、最高指揮官ノ干與ヲ確實ニ實行セシムルコトニ努メタデアウガ、然シ如何ニ此ノ方面ガ進歩シテ居タトシテモ、橫隊戰術時代ニ行ハレタル如ク、會戰ノ進展ニ對シテ、指揮官ノ勢力ヲ振ハシムルコトハ、到底出來ルモノデハナカツタ。即チ全般ノ戰鬪行爲ガ多數ノ激烈ナル各個戰鬪ノ形トナリ、其内部的連繫ガ多少共缺クルヲ免レナカツタ、獨逸軍ノ總參謀長ガ、戰場ヨリ甚ダシク遠隔セル總司令部デ電話、無線電信其他ノ方法ニ依ツテ得タル、戰鬪經過ニ關スル知識ハ、甚ダ不十分デアツタカラ、五日間ニ亘ル會戰ノ刻々ノ狀況ヲ、正確ニ頭ニ浮ベルコトガ出來ナカツタ。之レガ爲メ獨逸軍ハ、確實ナル統一の指揮ヲ最モ必要トセル時機ニ於テ、指揮官行ハレヌト云フ結果ヲ來シタ。此ノ缺陷ハ、全般ノ狀況ニ通ズルコトノ出來ヌ地位ニ在ル各軍司令官ノ思慮ヲ以テ之ヲ補足スルコトナドハ、固ヨリ出來ルコトデハナイ。

若シモルトケ大將ノ代リニ、現代ノ百萬ノ大軍ヲ率ユルニ適セル名將ヲ立たセタナラバ、精銳ナル

我が獨逸軍ハ當時ノ狀況ニ於テモ、尙ホ克ク勝利ヲ得タデアラウ。此ノ如キ至高ノ勝利ハ、凡庸ノ將官ナドニ、到底得ラルベキモノデナイ。今日ノ戰爭ニ於テハ、斯カル人物ガ難局ヲ救ヒ得ズシテ、却ツテ事態ヲ紛糾サセル弊害ハ、從來ヨリモ一層甚ダシイノデアアル。

世界大戰以前ニ、一般ニ獨逸ニ行ハレタ平時ノ演習ハ、此ノ點ニ於テノ用意ガ不十分デ、右ノ如キ經驗ヲ積ムベキ機會ガ甚ダ少ナカッタ。最大ノ軍隊演習ト雖モ、經濟上ノ理由デ、一軍團ヲ基幹トスルモノ、又ハ二軍團ニ一乃至二ノ騎兵師團ヲ附スルニ過ギナカッタ。而カモ此レ等ノ演習ハ實用ニ適セヌ點ガ多ク、大戰ニ現ハレタ所ニ比較スレバ、殆ンド兒戲ニ等シイモノデアッタ。學術的作業ニ於テモ、多クハ高等帥兵ノ初步ヲ研究スルニ止マッタ。唯ダ參謀本部ノ參謀演習旅行、及同部ノ作戰計畫ニ關スル問題ハ、稍々廣範圍ニ亘ツテ研究サレタガ、夫レニ參加シタノハ參謀將校ノミデ、實際ノ時ニ軍ノ上ニ立ツタ將官達デハナカッタ。之ニ依ツテ見レバ、將帥ノ訓練ニ於テ、甚ダシキ缺陷ガ在ツタノデアアル。他ノ國軍ガ果シテ我が邦ヨリ有利ナ状態ニアツタカモ、固ヨリ疑問デハアルガ、何レニシテモ將來ニ於ケル國軍統帥ノ困難ナ點ニ就テ、實際ノ研究ヲ爲スニハ、軍隊演習ヲ極メテ大規模デ行ヒ、且ツ現代的裝備ノ軍ノ有スベキ大兵器ヲモ、實際之ニ參加サセルノデ無クバ、到底之ヲ期待シ得ナイ。之レヲ實行シ得ヌ國デハ、世界大戰及他ノ諸國ノ軍事界ニ起ル事柄ヲ、實用的ニ研究スルヲ以テ、唯一ノ補助手段トスルノ外、他ニ良法ガナイ。

是ヨリ將來ノ戰爭ニ於テ、相對抗スル兩軍ノ運動カラ、偶然ニ進展スル會戰(遭遇戰)ノ經過ヲ、迎ツテ見ヨウ。

飛行機及軍騎兵ノ報告ニ依レバ、敵ハ二日前カラ其前進ヲ止メテ居ル。我が騎兵斥候ハ一定ノ線ヲ越エテ進入シ得ナカッタガ、飛行機ハ其線ノ後方ニ部隊ノ移動ガ行ハレテ居ルノヲ目撃シタ。其意味ハ遽カニ判断ヲ下スコトガ出來ナカッタ。敵ガ一定ノ地帯デ防禦工事ヲ施サントスルモノ、如ク思ハレル。然シ敵ハ尙ホ何時デモ再ビ運動ヲ開始スルコトガ出來ル。又餘リ遠クナイ地區ノ後方マデ、退クコトモ考ヘラレル。即チ此ノ際ハ有力ナル敵ノ兵力ガ一定ノ地域ニ居ルト云フ事實ノ外ハ、總テ皆不確實ナノデアアル。

軍司令官ハ此ノ見込ノ下ニ命令ヲ下シ、從來ノ方向ヘノ前進ノ繼續ヲ區處スル。即チ敵ヲ發見シタ場所デ、直チニ攻撃セントスルノデアアル。數日來敵ノ飛行機ガ盛ニ活動シテ居ルカラ、夜半ニ軍ヲ出發サセル。從來敵前ニ在ツタ騎兵師團ハ、敵ノ一翼及背面ニ向ハセ、殊ニ其退却ヲ妨害サセラル。各師團ノ搜索隊(騎兵)ヲシテ、騎兵師團ニ代ツテ軍ノ前進方向ニ於テ、敵トノ觸接ヲ保タセ

ル。軍ハ所命ノ時刻ニ數縱隊トナツテ、並行路上ヲ敵方ニ向ツテ一定ノ線ヲ越エテ前進ヲ起ス。暗闇デアアルノニ空ニハ敵機ノ發動機ノ爆音ガ聞エル。之レハ頻リニ大道路ヲ物色シテ居ルノデアツテ、

落下傘ヲ備ヘタ光彈ヲ投下シ、其下ノ一定區域ヲ眞晝ノ如ク照ラス。ヤガテ爆彈ガ所々ニ落チル。愈々敵ガ吾ガ軍ノ運動ヲ發見シタノデアアルカラ、最早敵ノ不意ニ乘ジ得ル望ハナイ。戦闘距離マデ敵ニ迫ル爲メノ里程ヲ、夜暗ノ内ニ前進スルコトガ一層必要トナツタヤウニ思ハレル。

天明ト共ニ行軍縱隊ハ大道路ヲ避ケ、小部隊ニ分レテ、副道路又ハ路外ヲ前進スル。之レガ爲メ當然、全般ノ運動ガ著シク澁滯スル。師團ハ今迄ハ長大ナ縱隊ヲ以テ、間斷ナク前進ヲ續行シタノガ、今ハ分進シテ一地區ヨリ次ノ地區ヘト、逐次ニ移ツテ行ク。

拂曉ト共ニ空中ノ戦闘ガ始マリ、敵味方共制空權ヲ握ラント努力スル。頭上高ク機關銃ノ音ガ鳴リ渡ル中ニ、躍進的ニ縱隊ニ隨伴スル我が飛行機射擊砲ガ、時々耳ヲ裂ク如キ砲聲ヲ轟カス。行軍縱隊内ノ將卒ハ非常ナ緊張ヲ以テ、空中戦闘ノ成行ニ注意シテ居ル。蓋シ從來ノ經驗ニ依ツテ、夫レガ自己ノ休戚ニ至大ナ關係ノ存スルコトヲ承知シテ居ルカラデアアル。而カモ我が將卒ハ皆味方ノ勝利ヲ疑ハス。

是レカラ中央師團ノ爾後ノ經過ヲ研究スル。

師團長ハ其諸隊ノ出發ノ際ハ、尙ホ宿舍ニ留マツタ。其所ニ居ル方ガ夜暗ニ行軍縱隊ト同行スルヨリモ、良ク狀況ガ知レ、指圖モ出來ルノデアアル。師團長ハ通信大隊ヲ以テ無電ノ連絡ヲ有シ、且ツ前進命令ノ規定ニ從ツテ、電話線ヲモ行軍路ニ架設シテアルカラ、何時デモ前衛司令官及本隊指

揮官ト、意志ヲ通ズルコトガ出來ル。宿舍ノ前ニハ自動車ガ用意シテアリ、馬ヤ下級ノ幕僚等ハ、前衛ト共ニ先發サセテアル。

師團ノ各部ガ必ズ通過スベキ道路ノ交叉點ニ、司令部ノ一將校ヲ置キ、規定通りニ行軍縱隊ガ組織サレルカ否カラ監視セシメ、其結果ヲ報告サセル。間モナク搜索隊(騎兵)ヨリ無線電信ニテ、敵ノ抵抗ヲ受ケタガ、其兵力ハ拂曉ノ薄光ノ爲メ良ク分ラヌト云フコトヲ報告シテ來ル。地圖ヲ一見シテ、此ノ衝突ガ今迄敵ノ到着シテ居ナカツタ地域デ起ツタコトヲ知ル。若シ夫レガ稍々有力ナ部隊デアアルナラバ、敵ノ方カラ前進ヲ起シタモノデ、又我が師團ニ正對シテ向ツテ來テ居ルノデアアル。

此ノ見込ヲ立テタ爲ニ、師團長ハ自動車ニ乗り、幕僚ヲ從ヘテ行軍縱隊ノ傍ヲ通過シテ、半時間ノ後ニ前衛ノ所ニ達シタガ、其間ニハ別ニ重大ノ事柄ハ起ラナカツタ。一、二ノ装甲自動車ヲ伴ツタ敵ノ騎兵ガ、搜索隊ノ進路ヲ遮ギツタモノデ、我が自動車砲ノ射擊開始ト共ニ退却シタノデアアル。

暫ラク無事ニ經過シタ後、機關銃ノ音ガ聞エ出シ、二、三ノ砲聲モ起ル。搜索隊カラ、敵ノ自動車兵ヲ驅逐シテ前進シツ、アルコトヲ、報告シテ來ル。左右ノ師團ニモ之ニ似タ狀況ヲ呈シテ居ラシク、其方面カラモ時々短時間ノ微弱ナ銃砲聲ガ聞エル。

前衛ノ後尾ガ今通過シタバカリノ村落ノ出口ニ、突然一發ノ重榴彈ガ轟然トシテ破裂スル。續イテ榴彈ガ頻リニ師團ノ前進路ニ沿フテ、前後ニ落下スルノヲ見ルト、我が前進ヲ知ツテ、之ヲ阻止シ、眞ノ戦闘ノ始マル前ニ、損害ヲ吾ニ與ヘントシテ、大射程ノ平射砲火ヲ試ミルニ相違ナイ。少ナクトモ吾ガ隊伍ノ混亂ヲ來タサセヤウトスルノデアアル。然シ本隊ハ既ニ大道路ヲ避ケテ居ルカラ此ノ企ハ無効デアアル。

空中ノ戰況ハ不斷ノ注意ヲ引ク。今ハ空モ明ルクナツタノデ、詳細ノ様子ガ分ル。今迄ノ戦闘デ我が飛行機ノ形勢ガ良イノハ、歩兵ニ多大ノ満足ヲ與ヘル。見エル限リデハ、前衛ノ前方遙カノ領域マデ、我が飛行機ノ勢力範圍ニナツテ居リ、我が飛行機射撃砲ガ目下沈黙シテ居ルノモ、有利ナ徵候デアツテ、其活動範圍内ニハ敵機ヲ見出シ得ヌノデアアル。然ルニ不意ニ非常ナ高所ニ敵ノ飛行機ガ現ハレテ、十機、二十機ト益々其數ヲ増ス。今迄ハ夫レガ速ク流レル雲ニ蔽ハレテ居タノデ、地上デハ其近接ニ氣ガ着ク者ガ、一人モ無カッタノデアアル。今モ其運動ノ敏活ナ、小サナ形ヲ肉眼デ認メルコトハ、一寸困難デ、唯ダ其數ガ著シク吾ニ勝ツテ居ルノガ、分ルダケデアアル。

我が飛行機ハ何レモ皆、多數ノ敵機カラ同時ニ攻撃ヲ受ケル。空中ノ機關銃ノ音ハ益々盛ントナルノヲ明ラカニ認メ得ルガ、飛行機射撃砲ハ入り亂レテ戰フ我が飛行機ニ、危害ヲ及ボスヲ恐レテ射撃ヲ行ハヌ。其内ニ燃エル一機ガ、長イ煙ノ尾ヲ引キナガラ、墜落スル。又一機ハ操縦ガ十分ニ

出來ヌト見エテ、甚ダシク動搖ヲ起ス。確カニ操縦者ガ負傷シタカ、死ンダニ相違ナイ。終ニ一個ノ黒イ形體ガ、飛行機カラ離レテ非常ナ速度ヲ以テ、落下スル。夫レガ敵カ味方カ、此所カラハ、シカト判別ガ着カス。尙ホ新タナ現象ガ、觀察者ノ心ヲ奪フ。驅逐機ノ集團的使用ノ掩護ノ下ニ、愈々敵ノ戰鬥機ガ、一團トナツテ迫ツテ來タノデアアル。前者ヨリモ低空ヲ飛ブノハ、地上ノ目標、即チ我が行軍縱隊ヲ襲ハント欲スルカラデアアル。我が飛行機射撃砲ハ、頻リニ之レガ防衛ニ努メテ居ルガ、遂ニ一方ヲ突破サレ、忽チ右側ノ方面ニ當ツテ、多數ノ爆彈ノ破裂スルノガ聞エ、砂煙ノ柱ガ、高ク卷キ上ガル。確カニ隣接師團ヲ襲フテ居ルノデアアル。次デ第二、第三梯團ガ見エル。餘リ損害ヲ受ケヌヤウニ、殊ニ前進ヲ阻止サレヌヤウニ心ニ念ジ、又我が飛行機ガ早ク敵ニ報キルコトヲ、切望スル。

再ビ前回ヨリモ激シイ戰聲ガ、我が前進方向ニ當ツテ聞エ出シ、復タ又自分ノ足許ノ事ニ、注意ヲ喚ビ戻サレル。ヤガテ搜索隊カラ、報告ガ來テ、優勢ナ敵ガ前面ニ居ツテ、夫レヨリ先ニハ進メヌコト、今ヨリ師團ノ前方ニ搜索及警我ノ幕ヲ張ラントスル線ニ就テ報告シ、尙ホ左右ニハ隣接兩師團ノ搜索隊ト連繫ガ保タレテ居ルコトヲモ、告ゲル。

ソコデ師團長ハ馬ニ乗り、參謀一人、師團砲兵隊長、(砲兵司令官)工兵隊長、通信隊長、飛行隊長及傳令將校一、二人ト共ニ、前衛司令官ノ許ニ行ク。他ノ幕僚ハ直接ノ連絡ヲ保チツ、若干ノ

距離ヲ隔テ、其後ヲ追フ。

前衛司令官ハ、敵方ニ通ズル道路ノ傍ノ小丘ノ後方ニ居リ、前方ヲ蝸牛式眼鏡ヲ以テ偵察シ、今將ニ命令ヲ下サントスル所デアアル。師團長ハ總テノ狀況カラ判斷シテ、師團ハ近ク戦闘ヲ開始スベキデアアルカラ、之ニ、着手スベキ方法ニ就テ、最初カラ十分自己ノ考ヲ以テ指導シ、且ツ直接ニ地形ヲ知ツテ置キタイト云フ心組デアアル。依ツテ前衛司令官ニ向ツテ、其判斷ヲ尋ネル。司令官ハ約三千呎前方ノ高地ヲ示シ、「其所ヲ敵ノ歩兵ガ占領シアルコトヲ、再三ノ確カナ報告ニ依ツテ知ツタガ、遮蔽陣地ヨリ射撃スル敵砲兵ノ位置ハ、未ダ判明セヌ」旨ヲ答ヘル。其射撃ハ、丁度我が搜索隊ノ自轉車兵ガ、占領シテ居ル低イ樹叢ノ散在スル土地ニ、落チル。我が歩兵尖兵ガ、今其所ニ近づイテ行クノが見エル。前衛司令官ハ、敵ノ占領シアル前面ノ高地（之ニ對シテ既ニ我が監視砲兵ガ、射撃ヲ開始シタ）ヲ、占領スル計畫デアアルコトヲ報告スル。夫レハ師團長ノ意見ト全ク合致スル。唯ダ前衛ニ居ル工兵ハ、當面ノ任務ニハ無クトモ差支ナイカラ、師團長ハ其邊ノ小森林ニ之ヲ殘シテ、自己ノ使用ニ供スベキコトダケヲ指圖スル。

其内ニ、前衛ニ屬スル砲兵ノ他ノ兩中隊モ、數團ニ分レ、且ツ梯次ニ廣正面ヲ取ツテ、陣地ニ着キ、早速射撃ヲ開始スル。其効力ハ良ク現ハレテ、射撃ヲ受ケタ高地デハ、敵ガ頻リニ活動シ出シタノが見エル。其所ニハ豫想以上ノ兵力ガ據ツテ居ルラシク思ハレル。間モナク其所カラ、次デ他

ノ各地點カラモ、敵ノ砲兵ガ應戰スル。然シ其射撃ハ我が砲兵カラ外レテ居ル。敵ハ巧ニ地形ヲ利用セル我が陣地ヲ、未ダ發見シ得ヌデアアル。前衛ノ十裡中隊ハ、敵ガ是非通過スベキ鑿開道ヲ遠距離ヨリ射撃スル。

師團長及前衛司令官ノ居ル位置カラ、戰況ヲ視察スルト、騎兵一小隊、砲兵一中隊及装甲自動車二輛ヲ有スル我が歩兵大隊ガ、展開シテ前進スル。大隊長ハ第一線ニ二中隊ヲ出シ、其中央ヲ前面ノ高地ニ正對サセ、砲兵中隊ヲ右方、重機關銃二小隊ヲ左方ニ出シテ、前進ヲ援助シ、騎兵小隊及装甲自動車ハ、主トシテ敵ノ爾餘ノ部隊ガ前進シ來ルカ否カラ確カメル爲ニ、敵ノ翼ヲ迂回スル。第三ノ中隊ハ機關銃ノ殘部ヲ率キテ二、三百呎ヲ隔テ、中央後ヲ續行スル。大隊ノ戰鬥車（小行李）ハ、凹地内ノ樹木ノ下ニ巧ニ偽裝シテ、停止スル。

搜索隊ノ自轉車隊ハ、自己ノ傍ヲ前兵大隊ガ通過シテモ、之レト合シテ前進セヌ。此ノ隊ハ自己ノ任務完了後ハ、右翼ノ方ニ集合シテ新任務ヲ待ツノデアアル。

前兵ハ、高地端ヲ掃射スル重機關銃及砲兵ノ猛火ノ援護ノ下ニ、着々地歩ヲ占メル。敵ノ歩兵ノ射撃ガ其敵兵墜ニ落下スルト、一時前進ガ停マリ、所々ニ兵ノ倒ホレルノが見エルガ、間モナク復々勇ヲ鼓シテ前進ヲ起ス。廣イ凹地ヲ利用シテ、敵ノ陣地ノ三、四百呎以内ニ迫ル。ヤガテ輕機關銃ノ猛火ヲ注イダ後、諸兵ノ美事ナ協力ノ下ニ、高地ヲ奪取シ、一、二中隊位ノ敵ガ退却シテ、樹

木、樹叢、家屋等ノ間ニ消エ失セルノガ見エル。我が重、輕兩機關銃ハ、短時間追撃射撃ヲ行フ。第一回ノ捕虜ガ後方ニ送ラレル。其多クハ輕傷ヲ負フテ居ル。

前衛司令官ハ、前衛聯隊ノ爾餘ノ兩大隊ヲ、前兵大隊ノ左右ニ梯置シテ、之レニ續行サセタガ、之レハ戰鬪ニ參加スルニ及バナカツタ。然シ今後ハ何時敵ト復タ衝突スルカモ知レヌカラ、戰鬪展開ノ儘ニ置ク。重火器ハ交互ニ潜伏陣地ヨリ、次ノ潜伏陣地ヘト移リナガラ、聯隊ニ續行スル。飛行機防衛ノ任務ハ、二個ノ隨伴機關銃小隊ニ之ヲ課スル。

敵ハ既ニ戰鬪ヲ斷念セルモノト思フテ居ルト、突然先頭大隊ニ對シテ、機關銃火ヲ注グ。夫レハ大キナ庭園ヲ持ツタ廣イ村落ノ端カラ來ル。散兵群ハ止ムヲ得ズ、地上ニ伏臥スル。歩兵砲及重機關銃ヲ以テ、又後ニハ大隊ニ屬セル輕迫撃砲小隊ヲモ加ヘテ、村端ヲ射撃シテモ、敵ハ依然トシテ射撃ヲ續ケ、既ニ相當ノ損害ヲモ受ケタノデ、今ハ輕機關銃及小銃手ヲシテ、應戰サセル外ニ手段ガナイ。斯クシテ若干ノ分隊ハ前進スルコトガ出來タガ、大隊ハ依然トシテ動カヌ。彼我ノ間ニハ二、三百呎バカリ相當ニ開闊シタ部分ガアル。之レヲ通過スルニハ、先ヅ火力ヲ以テ敵ヲ其掩體內ニ打チスクメネバナラス。

ヤガテ第二線ノ兩大隊ガ、前衛大隊ノ左右ニ増加スル。其時ニハ一時前進ノ氣勢ヲ添ヘタガ、間モナク復タ停止シテ了フ。

斯クシテ前衛ノ歩兵聯隊ハ、悉ク戰鬪ニ參加シ、其正面ハ忽チ擴大サレテ、戰鬪ハ刻々激烈トナル。直後カラ支援ヲ受ケルコトヲ承知シ、且ツ本隊ノ戰鬪展開ヲ援護スベキ任務ヲモ考ヘテ、可成^{カナリ}廣イ正面ヲ取り、豫備隊モ多ク殘シテナイ。而シテ後デ砲兵ノ觀測所トシテ價値ノアル地點ヲモ、占有スルコトニ重キヲ置ク。聯隊ノ戰鬪正面ハ一連ノ線ヲ成サズニ、兵力ヲ群毎ニ集團的ニ戰鬪サセル。

軍ノ他ノ師團モ、敵ト戰鬪ヲ交ヘテ居ル。機關銃聲及砲聲ガ、頻リニ左右ノ縱隊ノ方カラ聞エル。重榴彈ノ着發ノ爆音モ、追々増シテ來ル。最早疑ヒハ晴レタ。單純ナ戰鬪デハナク、愈々大會戰ガ始マツタノデアアル。多分之ガ決勝戰トナルノデアラウ。

愈々師團長トシテ、最モ大切ナ時機ガ來タノデアアル。即チ本隊ヲ使用スベキ場所ト、方法トヲ決定セネバナラス。此ノ決心ノ如何ガ、恐ラクハ勝敗ヲ左右スルコトニナルノデアラウガ、然シ決心ノ基礎トナルベキモノガ、甚ダ不十分デアアル。師團長ハ敵ノ第一線部隊ノ位置ヲ知り、又戰場ノ地形ノ大體ノ狀態ハ自ら觀察シテ居ルガ、其他ノ事ハ總テ不明デアアル。敵ガ自己ヨリ優勢カ劣勢カモ分ラズ、又敵ノ兵力ノ配置ニ就キ、何等ノ想像ガ付カヌ。敵ノ指揮官ガ如何ナル企圖ヲ有スルカニ至ツテハ、更ニ一層不明デアアル。隣接部隊ノ狀況モ亦、明ラカデナイ。而カモ尙ホ、何トカ處置ヲセネバナラス。夫レニハ軍命令ニ示サレテアル。軍司令官ノ意圖ガ、指針トナル。夫レニ依ツテ始

メテ、自己ノ決心ヲシテ全般ノ埒外ニ脱逸サセヌコトニナル。

高級參謀(譯者曰我が參謀長ノ地位)

ト單簡ニ相談スル。重要ナ諸點ニ於テ(殊ニ地形ガ有利ラシク思ハレル所ノ左翼方面ニ、攻撃ノ重點ヲ置クコトニ就テ)、兩者ノ意見ガ一致スル。ソコデ自己ノ考ヲ、明瞭ニシテ毫モ疑ヲ生ゼヌヤウニ、軍隊ニ示サネバナラス。

時ハ刻々ニ迫ル。若シ師團ノ各部ヲ包括スル所ノ纏マツタ命令ヲ作成シテ居ルト、夫レガ部下ノ指揮官ニ傳ハルノガ、遅レテ了ラフデアラウ。各指揮官ハ一刻モ早ク夫レヲ知ルコトガ必要ナノデア
ル。

此ノ場合ニハ即チ時刻ノ關係上、各個命令ヲ下スベキ時ナノデアアル。

先ヅ前衛ハ何ヲ爲スベキカヲ示サネバナラス。刻下ノ狀況ガ、今後ノ總テノ處置ノ出發點トナルノデアアル。今迄ニ現ハレタ敵ハ、少ナクトモ吾ト同等ノ兵力ラシク思ハレル。何レニシテモ敵ノ方ガ、先ニ展開シテ居ル。故ニ更ニ前進サセテモ、決シテ好結果ハ得ラレマイシ、而カモ多大ノ損害ヲ受ケルコトハ確デアアル。尙ホ前衛ガ占據スル場所ハ、防禦ニハ適シナイカラ、獨力デハ長ク維持シ得ナイ。

此ノ考ノ下ニ師團長ハ、傍ニ居ル前衛司令官ニ、現在ノ位置デ本隊ノ戦闘展開ヲ掩護スベキヲ命ジ、且ツ本隊、就中砲兵ノ使用法ニ關スル自己ノ計畫ノ概要ト、師團司令部ノ位置及夫ヘノ通信設

備ニ就テ告ゲル。

其間ニ師團砲兵隊長(砲兵司令官)ハ、自己並ニ其補助官ノ偵察ニ依リ(又氣球小隊ノ觀察ヲモ參考トスル)、本隊ノ砲兵、即チ野砲九中隊及重砲五中隊ノ使用法ニ關スル意見ヲ、上申スル。夫レニハ各大隊ノ占ムベキ陣地ノ概略ノ位置、其射撃スベキ目標、及其援護ヲ受クベキ歩兵等ヲ、現地ニ就テ述ベ、尙ホ「大隊ガ有利ナ目標ヲ認メ次第、射撃ヲ開始スルコトヲ許スベキコト、並ニ砲兵豫備ヲ取ルベキコト」ヲ具申シ、更ニ「砲兵用飛行機及砲兵輕縱列ノ使用權ヲ與ヘルコト」ヲ乞フ。

師團長ハ少シノ修正ヲ加ヘテ、之ヲ承認シ、尙ホ成ルベク多クノ中隊ヲシテ、豫定ノ左翼ノ決勝的攻撃ヲ援護スベキコトヲ要求スル。其外ノ事ハ多クノ言葉ヲ費ヤス、必要ガ無イ。砲兵隊長ハ拂曉カラ師團長ノ許ニ居リ、一ツ所デ戦闘ノ進展ヲ見、又前衛ニ對スル命令ヲモ聞イテ、總テ承知シテ居ル。砲兵ノ兩聯隊長ハ戦闘開始前ヨリ、命令受領ノ爲メニ、砲兵隊長ノ許ニ來テ居ルカラ、更メテ呼ビ寄セル必要ハナク、數分ノ後ニハ、一般ノ狀況、師團長ノ意圖及砲兵ノ戦闘任務ノ大體ヲ告ゲラレ、且ツ兩隊ノ展開ニ使用シ得ベキ地域ヲモ示サレル。

兩聯隊長ガ先ヅ、觀測所及射撃陣地ニ就キ、是カラ至急ニ偵察ヲ實行スル爲ニハ、右ノ指示ダケデ十分デアアル。其内ニ砲兵隊長ハ狀況ノ判明スルニ從ツテ、確定シタ戦闘任務ヲ下スノデアアル。而シテ之ガ基礎トナルモノハ、目標ノ偵察デアツテ、夫レハ砲兵用飛行機ヲシテ實施セシメル。此ノ

飛行機ハ着陸場ニ用意ヲ整ヘ、且ツ砲兵隊長ト有線及無線ノ電話ノ連絡ガアル。砲兵縦列ハ成ルベク正面ノ中央後デ、空中偵察ヲ避ケ得ル場所ヘ招致スル。

次ニ歩兵ニ就テノ處置ヲ要スル。師團長ハ兩聯隊ノ統一の攻撃ニ依ツテ、決戦ヲ求メント欲シテ居ルカラ、兩聯隊ニ對シ最初ニハ唯ダ、一定ノ地域ニ攻撃準備配置ヲ取ルベキコトト、各聯隊ノ搜索地帯トヲ示シ、攻撃開始ノ命令ヲ保留スル。此ノ時高級參謀(譯者曰、我が參謀長ノ地位)ハ、本隊指揮官ニ命令ヲ傳フベキ傳令將校ニ、攻撃準備位置ヲ地圖ニ就テ示シテ、決シテ誤解ヲ生ゼヌヤウニスル。尙ホ該將校ニ狀況ヲモ告ゲル。高級參謀ハ今迄與ヘラレタ總テノ命令ノ要點ヲ、側ソバデ書キ取ツテ居ルカラ、右ノ如キ狀況ヲ示スノニ少シモ困ラヌノデアアル。

工兵大隊ハ其兩中隊ヲ以テ、左翼聯隊ニ配屬スル。是レハ該聯隊ガ攻撃ノ際ニ、困難ナ地區ヲ通過セネバナラヌカテデアアル。工兵隊長ハ此ノ地區ニ就テ、直チニ詳細ノ偵察ヲスル。師團ノ後尾ニ位置スル架橋縦列及照明燈小隊ハ、小森林ヲ利用シテ停止サセル。戰團梯團ゲラニツスマツフエル(前進輜重)、糧食行李及荷物行李モ、亦同様ノ處置ヲ取ル。

ソコデ師團長ハ戰團間ノ指揮ヲ取ルベキ師團司令部ノ位置ニ赴ク。此ノ位置ハ可成後方デ、敵ノ有効射界外ニアルガ、而シ戰團地域ノ大部分ヲ見得ル所ニ選ブ。師團長ハ同所ニ到着シテ後、更ニ今一度高級參謀ト相談スル。其際今迄二種々ノ報告ガ澤山ニ來テ居ルガ、敵情ニ就テ尙ホ不十分ノ

點ガ少ナクナイ事ヲ知ル。此ノ缺陷ヲ充タヌニハ、偵察機隊ヲ使用スル必要ガアル。該隊ノ長ハ既ニ師團司令部ノ附近ニ、自己ノ位置及報告筒投下場ヲ選定シ、且ツ着陸場ニ在ル自己ノ飛行機ト、無線電信及自動二輪車ノ連絡ヲ持ツテ居ル。

師團長ガ飛行隊長ニ與ヘル任務ハ、敵ノ一般的偵察ノ外ニ、其兵力ノ分配戰場ニ於ケル其運動並ニ敵ノ増援隊ノ來否等デアアル。

左右ノ連繫ヲ調べテ見ルト、左ノ師團トハ確實ニ連繫ガ取レテ居ルガ、右方ノ師團トハ未ダ取レテ居ラス。此ノ師團ハ今朝飛行機ノ大攻撃ヲ受ケテ、豫想以上ニ長ク前進ヲ阻止サレタノカ、サモナクハ敵ノ處置ニ應ジテ、本來ノ前進方向ヲ變向シタラシイ。依ツテ之レト連絡ヲ取ル爲メ、今ヨリ更メテ搜索隊(騎兵)ヲ出ス。

尙ホ通信隊ノ古參將校ニ、師團司令部ト前衛司令官、砲兵隊長、本隊ノ兩聯隊長、豫備ノ砲兵及右方隣接隊トノ間ヲ、電話及火光信號器ヲ以テ連絡線ヲ設クベキ命令ヲ與ヘル。左方師團ニハ我が師團司令部ノ位置ヲ、無線電信ヲ以テ通報シテアルカラ、其方カラ連絡線ヲ設クルデアラウ。無線電信ニハ總テ暗號ヲ用ヒル。

其間ニ高級軍醫ハ、繃帶所及輕傷者集合所ヲ設クベキ位置ヲ偵察シテ、其結果ヲ師團長ニ報告シ尙ホ戰況ノ判明スル迄ハ、衛生中隊ノ使用ヲ差控フベキ意見ヲ、具申スル。是レハ損害ノ生ズル場

所ニ成ルベク近ク設ケテ、長ク且ツ有効ナ働ヲ、爲サシメンガ爲メデアアル。師團長ハ準備的處置トシテ衛生中隊及患者用自動車小隊ヲ、今ヨリ前方ニ招致シ置クベキヲ命ズル。此自動車小隊ニハ、其間ニ生ジタ前衛及砲兵ノ負傷者ヲ收容サセルノデアアル。

總テ此レ等ノ區處ヲ爲シタル後ニ、師團ノ各部ヲ悉ク包括スル所ノ合同ノ命令ヲ綴ツテ、之ヲ筆記シテ各指揮官ニ送り、以テ今迄取ツタ處置ヲ詳細且ツ齊一ニ知ラシメル。

師團長ノ決心及狀況ヲ無線電話ヲ以テ、軍司令部ニ報告スル。之ニ似タ内容ノ通報ヲ同一ノ方法ヲ以テ隣接師團ニ送ル。

然シ未ダ夫レダケデハ足りナイ。補充ノ事ヲモ考ヘネバナラス。第一ニ彈藥及近戰用器材等ガ必要デアアル。戰鬪梯圖(前進輻重)及輸送縱列(輻重)ノ指揮官ニハ、狀況ヲ筆記シテ送り、以テ之ヲシテ後退シ來ル空^カノ部隊車輛及縱列ノ圓滑ナル積換ニ就テ、準備ノ處置ヲ取ルヲ得サセ、且ツ前進輻重ノ許ニ居ル野戰病院ノ軍醫ガ、其ノ開設ニ適スル場所ノ偵察ヲ爲シ得ルヤウニスル。又馬廠(師團ガ一兩日前ニ通過シタ地域ニ置イテ來タモノ)ニ、命令ヲ送ツテ、戰線ノ後方ニ病傷馬ノ集會所ヲ設定シ、其人負及繃帶材料ヲ送ラセル。

師團長ノ考フベキ事柄、取ルベキ處置ハ、非常ニ多イ。一ツ宛ノ場合ニ處置スルコトハ、元來ガ單簡ナ事項デ、其適切ナル處理ハ、別ニ大^{ダイ}シタ伎倆ヲ要セヌモノデアラウガ、指揮官ノ行爲及其頭

ノ中デ考ヘルコトハ、總テ皆非常ニ困難ナ狀況ノ下ニ行ハレルモノデアアル。

絶エズ其心ヲ散ラセ、思考ヲ妨害スル事柄ガ起ル。報告ハ頻リニ來ル。夫レガ前衛ノ搜索隊、砲兵隊長及隣接隊等カラ送ラレルノデアアルガ、用ヲ爲スノハ、其一小部分ニ過ギヌ。一部ハ何等カノ原因デ、傳達ガ遲滯シタ爲ニ、時機ヲ逸シテ居リ、一部ハ不確實デ且ツ錯誤シテ居ツテ、其儘ニ受ケ入レレバ、憂フベキ結果ヲ生ズルデアラウ。又其間ニ起ツタ師團ノ狀況ヲ知ラヌ軍司令部カラ來ル命令ハ、其儘實行ガ出來ヌコトガアル。而カモ其命令ノ主旨ヲ、爲シ得ル限り顧慮セネバナラス夫レニハ輕カラヌ責任ガ伴フノデ、決斷力ガ自然ニ鈍ルノデアアル。

斯クノ如クシテ錯雜紛糾ノ中カラ、正シク道ヲ選ブコトガ、益々困難トナル。然シ我ガ師團長ハ此ノ場合ニ必要ナ炯眼ト沈着トヲ、保ツテ居ル。夫レガ戰鬪ノ喧噪ト慘害トノ中デモ、良ク高級參謀ニモ反映シ、至大ノ緊張ノ中ニモ心ノ平靜ヲ失ハヌ。兩者ハ若シ意外ノ報告ノ來ル毎ニ、之ニ應ジテ直チニ變ツタ命令ヲ發スルトキハ、軍隊ニ混亂ト不安トヲ來スニ過ギヌト云フコトヲ十分ニ心得テ居ルノデアアル。

本隊ノ歩兵ガ攻撃準備配置ヲ完了スル迄ノ時間ハ、特ニモトカシク感ジラレル。前衛ノ形勢ガ刻刻危險ニ迫ツテ來ルノガ、良ク分ツテ居ル。前衛司令官カラハ屢々増援隊ヲ請求シテ居ル。本隊ノ歩兵ヲ統一的ニ使用スベキ最初ノ決心ヲ改メテ、其來着次第ニ逐次ニ、第一線ニ投入シタ方ガ良ク

ハナイカ、ト云フ意見ガ、段々ニ強クナツテ來ル。然シ師團長ガ、今ノ場合ハ斯カル應急策ヲ是非共必要トスルホドノ形勢デハ無い、ト云フ確實ナ判斷ヲ下シテ、動カヌ堅確ナル意志ヲ持ツテ居ル爲ニ、終ニ克ク此ノ危機ヲモ救ヒ得ルノデアアル。

然ルニ復タ敵ノ飛行機攻撃ノ危険ガ迫ツテ來タ。司令部ニ居ル者ガ特ニ注意ヲ拂ツタニ拘ハラズ終ニ敵ノ空中偵察ヲ免レルコトガ出來ズ、丁度師團長ガ本隊ノ指揮官ニ命令ヲ與ヘテ居ル時ニ、銳イウナリヲ立テ、爆彈ガ落下シ、大分離レタ畑地ノ中デ破裂スル。夫レガ何ヲ目標トシテ居ルカハ最早疑フノ餘地ガナイ。次デ第二、第三ノ爆彈ガ益々近ク落下スル。是レハ附近ニ据エ着ケタ我が飛行機射撃砲ノ猛火ヲ突破シテ、敵ノ飛行機ガ低ク降リテ來タカラデアアル。今ハ身ヲ隠スノ外ニ手段ガ無いノデ、師團長ヨリ傳令卒ニ至ル迄、地上ノ凹地ヲ利用シテ、伏臥シ敵機ノ去ル迄、動カズニ居ル。幸ニ損害ハ少ナイガ、然シ電話線ヲ悉ク切斷サレ、又無線電信ノ通信所ハ、爆彈ノ破片ノ爲メニ使用シ得ナクナツテ居ル。此ノ當座ハ師團長ハ、部下ノ指揮官トノ連絡ガ總テ絶タレテ、通信ガ出來ヌ。電話線ヲ補修シ、通信所ヲ修理スルノニハ可成^{カナリ}ノ時間ヲ要スル。

豫定ヨリモ殆ンド半時間モ遅クテカラ、漸ク報告ガ來テ、準備配置ガ間モナク完了スベキコトガ知レ、始メテ少シク愁眉ヲ開ク。ソコデ豫^カネテ準備セル命令ヲ先ヅ無線電信デ送り、更ニ筆記シテ傳令將校ニ持タセテ遣ル。

此ノ命令ニ依ツテ、敵ノ其後ノ狀況、隣接部隊ノ狀況、前衛トシテノ命令關係ノ廢止、各歩兵隊ノ戰鬪地帯ノ分配(之ニ依ツテ其攻撃目標ガ明確ニ分ル)ヲ示シ、且ツ各聯隊ノ戰鬪地帯ニ砲兵ノ一部隊宛ヲ指定シ、又豫備隊ヲモ取り、尙ホ爾餘ノ砲兵ノ任務、繙帶所ノ位置、輕傷者集合場及傷病馬ノ集合場及戰鬪梯團ヨリ彈藥ヲ補充スベキ場所ヲ指定シ、最後ニ攻撃進捗ノ際ニ、師團司令部ノ移ルベキ場所ヲ示ス。

右ノ外ニ尙ホ師團長ガ戰鬪ノ經過關ニ與スベキ手段ハ、豫備ニ取ツテアル兵力ノ使用デアアル。之レハ攻撃ヲ最モ早ク進捗セシムベキ場所ニ使用スル。

軍司令部ニ向ツテ、師團ガ今ヨリ決勝的攻撃ヲ開始スベキコト、及其攻撃目標ニ就テ報告スル。

是レヨリ軍司令部ノ處置ニ就テ研究スル。先ヅ敵ト衝突セル日ノ前晚ノ事カラ述ベル。

軍司令官ハ飛行機、軍騎兵、師團ノ無數ノ報告、住民ノ言、間諜ノ報告等ニ依ツテ、軍ガ明朝戰鬪ヲ交フベキコトヲ察知シタ。兎ニ角我が軍ガ前進スレバ、戰鬪ヲ生ズルホドニ近イ所ニ、敵ガ來テ居ルノハ確カデアアル。夫レヨリ會戰ヲ惹起スルカ、或ハ單ニ緒戰ダケニ終ルカハ、固ヨリ判然セヌ。兎ニ角今ハ人力ノ及ブ限り、總テノ準備ヲ整ヘテ、成功ニ資スベキ時デアアル。

明日軍司令部ヲ何所ニ置クカト云フコトガ、極メテ重要ナ問題デアアル。此ノ二日間ハ軍司令部

ヲ移シ得ナカッタノデ、今ハ前哨カラ六十軒モ隔ツテ居ル。軍ガ前進ヲ繼續スレバ、其距離ガ八、九十軒ニモ達スルデアラウ。此ノ如キ距離デハ、技術的手段ニ依ラナケレバ、軍隊ト連絡ガ出來ズ、軍司令官自ラ關與スルコトハ、不可能ニナル。然シ軍司令官ハ決シテ之ヲ斷念スルモノデナイ。然シ司令部ノ移轉ハ問題トナラス。戦闘ヲ行フ日ニハ其各部ガ悉ク事務ニ從事シ得ネバナラスノニ司令部ヲ一地ニ移轉サセテハ、夫レガ出來ヌ。故ニ軍司令官ハ其作戰部ダケヲ連レテ、前方ニ進ミ殘餘ハ其儘留マツテ日常ノ業務ニ執ラセル外ニ、手段ガナイ。此ノ種ノ分離ハ本來ノ統帥ニ從事スル總テノ將校ノ歡迎スル所デアツテ、之ニ依ツテ不快ノ妨害ヤ煩累ガ減ズルノデアアル。

參謀長ハ軍ガ明日通過スル地域ヲ良ク見渡シ得ル地點ヲ、豫メ偵察サセル。其近傍ニ繫留氣球ノ昇騰所及飛行機ノ着陸場(戰場着陸場)ヲ豫定スル。其所ナラバ數日行程ヲ隔テタル現在ノ位置ヨリモ、軍ノ統率ガ一層確實ニ出來ルデアラウ。

夜半後ニ至ツテ各師團ガ前進中ナルヲ知ル。時ニハ各師團カラノ報告ガ、元ノ軍司令部ヘノ電話線ノ方ヘ來ルガ、夜ノ内ニ復線ニ依ツテ軍ノ「ベオニアヘトウシグスワルテ戰況觀察所」ノ方ヘ連絡シテアルカラ、軍司令官ガ前方ニ移ツテモ、報告ハ其方ヘ達スルデアラウ。其外ニ尙ホ各師團トハ無線電信ニ依ル連絡ガ在ル。

朝ニ到着シタ諸報告ニ依ツテ、各師團ノ搜索隊ガ到ル所デ敵ト觸接シタコトヲ知ル。敵ガ軍ニ向ツテ前進シテ來ルラシイ。二、三時間後ニ其各師團ノ前衛ガ、敵ト稍々眞面目ナ戦闘ヲ交ヘタコトヲ知り、正午近クニハ愈々會戰ガ始マツタコトガ疑ナクナツテ來ル。

愈々「戰況觀察所」ニ赴クベキ時機ガ到來シタヤウニ思ハレルノデ、軍司令官ハ幕僚ヲ從ヘテ自動車ニ乗ル。地圖、業務用品及若干ノ糧食ヲモ携行スル。

自動車ヲ急ガセタガ、間モナク道路ニハ彈藥縱列等ガ居ルノデ、左程速度ヲ出ス譯ニハ行カナクナル。或地點デハ死傷馬及破壊車輛等ガ混亂シテ居ル爲メニ、自動車ガ暫ラクノ間止メラレル。之レハ飛行機攻撃ノ爲メニ生ジタモノデアアル。間モナク軍隊ヲ追ヒ越ス。軍隊ハ刻々銃砲聲ノ激シクナル戰場ノ方ヘ、眞劍ナ態度デ進ンデ居ル。ヤガテ最初ノ負傷者ニ遇ヒ、次デ捕虜ノ一隊モ來ル。最初ノ獲物ヲ確實ニ收容シヨウト云フ考カ、割合多クノ護送兵ガ附ケテアル。附近ノ高地カラハ、行軍縱隊ガ小部隊ニ分レテ降リテ來ル。皆戰場ノ方ニ向ツテ行クノデアアル。自動車ノ進ムニ從ツテ激戰ノ地ニ近ツイテ居ル徵候ガ現ハレル。捕虜ガ益々多ク來ル。道路ノ兩側ニハ野戰病院ガ開設ノ準備ヲシテ居ル。自動車ガ負傷者ヲ其方ニ運ブ。多數ノ車輛ハ樹木ノ下、又ハ家ノ蔭ニ置キ、戸口ヤ窓カラ、住民ノ不安ナ顔ガ現ク。鈍イ砲聲ト鋭イ機關銃聲トガ混ジテ、不斷ノ咆哮ヲ放ツ。遙カ前方ノ土地カラ砂ヤ煙ガ立チ揚ル。夫レハ多數ノ榴彈ノ着發ニ依ツテ生ズルノデアアル。

間モナク「戰況觀察所」ニ到着スル。此所ガ是レカラ軍司令官ノ位置スベキ所デアアル。最後ノ急斜

面ハ徒步ヲ進マネバナラス。自動車ハ急イデ飛行機ヲ避ケル場所ヲ求メル。先發ノ參謀カラ各師團ノ最近ノ報告ニ基イテ、狀況ヲ單簡ニ報告スル（師團トハ電話及無線電信ノ連絡ガ取レテ居ル）。夫レニ依ルト左翼後ヲ前進スル師團ト豫備トノ外ハ、各師團ガ悉ク戦闘ニ參加シテ居ル。

軍司令部ノ位置ハ有利ノ所デアル。此所カラ附近ノ各師團ヘハ、他ノ連絡ガ悉ク用ヲ爲サヌ場合ニモ、自動車ヲ以テ直チニ達シ得、又馬ヲ急行スルコトモ出來ルカラ、軍司令官ハ危急ノ場合ニ、自ラ直接ニ區處スルコトモ出來ル。之レガ司令官ニ取ツテ最モ大切ナ事デアル。又敵ノ中等口徑砲ノ射程外ニアルカラ、戰場カラモ必要ノ距離ハ取レテ居ル。唯ダ大口徑ノ平射砲彈ガウナリヲ生ジテ、司令部ノ上ヲ掠メテ後方ノ村落ニ落チル。敵ハ軍司令部ガ其所ニ在ルト判斷シテ居ルニ相違ナイ。

軍司令部ノ位置カラハ、各師團ノ戦闘展開ヲ行ツテ居ル所ヲ、遠ク展望スルコトガ出來ル。前線ハ土地ノ起伏、森林、村落等ノ爲メニ遮ギラレテ見エヌノアデルガ、氣球トハ電話ガ通ズルカラ、多少其缺陷ヲ補ヒ得ル。其外ハ眞ニ「戰場ノ空虛」ト云フ譯ニハ行カヌ。砲、戰車、車輛、馬、等ガ非常ニ多數デアルカラ、如何ニ注意シテ偽裝ヲ施シテモ、全然隠レルコトガ出來ヌ。砲兵ノ開進ニ就テハ、間々目ニ止マルモノガアル。殊ニ彈藥縱列ノ砲兵陣地ヘノ往復運動ヲ認メ得ル。蝸牛式眼鏡ヲ用ヒレバ、歩兵ノ一部モ見エル。敵ノ反對側ノ急斜面ニ、一ツノ大隊ガ密着シテ居ルノモアレ

バ、又小群ニ分レ地皺ヲ利用シテ、鮮綠ノ草地ノ上ヲ進ム大部隊モアル。敵ニ就テハ勿論砲火ヲ注グ場所ノミガ見エル。其砲火ノ最モ激シク注ガレル所ハ、我が最前ノ戰鬥群ノ居ル場所ヲシイ。又大體ニ於テ確カニ前方ヘ進ンデハ行クガ、老巧ナ軍司令官ノ眼ニハ、今日ノ戰ハ迅速ナ成功ヲ期待シ得ヌモノト、判斷サレタ。

各師團カラノ報告ハ、今モ著シク減少シテ居ル。蓋シ今大ニ戰鬥酣デ如何ニ成行クカ、師團自身ニモ分ラヌノデアル。兎ニ角目立ツタ成功ハ、未ダ得テ居ラス。此ノ如キ場合ニ軍司令部ノ所ヘ投下サレタ飛行機ノ一報告ニ依ツテ、敵ノ右翼端ノ位置ヲ知り得タノハ、殊ニ有益デアル。其位置ハ軍司令官ガ今迄ノ報告及自己ノ觀察ニ依ツテ、判斷セル所ト、略ホ一致シテ居ル。之ニ依ツテ敵ノ右側面ニ有力ナル衝撃ヲ與ヘテ、決戰ヲ招來スルコトガ出來ルノデアル。之ニ必要ナ暗號ノ無線電報ガ各師團ニ發セラレル。

着發スル彈丸ノ卷キ上ゲル砂ヤ、炸裂ノ際ニ散ラス土煙ヤ、多數ノ燃エル家ガ發スル煙ナドノ爲メニ、漸次ニ遠方ノ展望ガ出來ナクナル。又敵モ全地域ニ亘ツテ煙幕ヲ作ツタ。之ニ依ツテ觀測ヲ伴フ射撃ヲ免レントスルモノトモ取レ、又自己ノ攻撃準備ヲ秘匿セントスルモノトモ判斷サレル。經驗ニ依レバ煙幕ハ往々戰車攻撃ノ前驅ヲ爲シ、其直後ニ決戰ヲ求ムル歩兵ノ突進ヲ伴フコトガアル。從ツテ敵ガ煙幕ヲ設ケタ場合ニハ、突如トシテ煙ノ中ヨリ集團シテ現ハレタル戰車ニ備フル爲

メ、特ニ警戒スル必要ガアル。

蝸牛式眼鏡ヲ見エル限リハ、各方面トモ同様ノ狀況デアアル。兩翼ハ判然セヌガ、砲聲ニ依ツテ、夫レガ視界外ニ亘ツテ居ルコトガ知レル。夕方ニ近ヅクニ從ツテ、空ガ曇ツテ來テ、晚ニハ細雨ガ降り始メル——大キナ戦闘ノ行ハル、日ニ、良ク見ル現象デアアル。

夕暗ガ迫ルト共ニ、戰勢ハ漸次衰へ、前線ニハ所々ニ折々光彈ノ信號ガ揚リ、夫レト共ニ短時間ノ激シイ砲撃ガ行ハレル。軍司令官ハ今日ハ勝敗ガ着カヌモノト断定スル。

斯カル狀況デハ、明日戦闘ヲ有利ニ繼續スベキ處置ヲ、直チニ取ルコトニ全力ヲ注ガネバナラヌ。

戰爭ヲ知ラヌ人ガ思フホドニ、然カク容易ノモノデハナイ。先ヅ第一ニ會戰ノ真相ヲ知ルコトガ困難デアアル。師團デサヘモ、自己ノ第一線ノ戰鬥群ノ實況ヲ、必ズ承知シテ居ルトハ限ラヌ。唯ダ或村落、森林、高地ノ獲得若シクハ喪失ノ如キ、著シイ局部的ノ勝敗ガ、若干ノ標準トナルニ過ギヌ。然シ此レ等ノ勝敗ガ定マラヌ内ハ、不安ナ霞ニ蔽ハレル。夜ニナツテカラ、始メテ會戰ノ實況ガ追々判明シテ來ル（固ヨリ多少ノ想像ヲ以テ補フベキ所ハアルガ）。ソコデ敵ガ多分何ヲスルデアラウカト云フコトガ、大方判明スルカラ、此ノ判斷ニ基イテ自己ノ決心ヲ定メ、且ツ全力ヲ注イデ、其實行ニ着手スルノデアアル。若シ攻撃ノ重點ノ選定ガ、適切デアツタナラバ、從來ノ方向ニ於テ飽クマデ成功ヲ

追フベキデアアル。苟モ此ノ考ヲ促進スベキ處置ハ、決シテ其實行ヲ怠ツテハナラヌ。之レガ爲ニハ一人ノ兵、一門ノ砲ト雖モ、輕視スベキデナイ。利用シ得ル限リノ戰車ヲ附シタル豫備隊ヲ使用シ、且ツ決勝點ニ向ツテ、射撃、毒瓦斯及飛行機ノ効力ヲ大規模ニ集注スルコトハ、此ノ時期ニ於テ、最高指揮官ノ意志ヲ實行スベキ最モ緊要ナ手段デアアル。

其外ニモ決定スベキ事柄ガ、澤山ニアアル。例ヘバ或方面デハ重要ナ地點カラ後退シタノデ、是非共今夜ノ内ニ、夫レヲ奪回スル必要ガアリ、又或方面デハ隣接部隊トノ連繫ヲ顧ミズニ、餘リ進出シ過ギタ爲ニ、危險ニ陥ル恐ガアル。尙ホ部下ノ指揮官中ニハ、左程重要ナ任務ニ當ツテ居ラヌノニ、自ラ己レノ地位ヲ重要視シテ、激シク増援ヲ要求スル者モアリ、彈藥ノ缺乏ヲ訴ヘテ來ル者モアリ、側面ノ危險ヲ報告スル者モアリ、損害ガ甚大デ疲勞ノ甚ダシイコトヲ訴ヘル者モアリ、又何カ特別ノ理由デ重砲ノ援助ヲ請求スル者モアル。或師團ハ恰カモ全ク潰亂シテ退却中ニアアル如ク、又他ノ師團ハ敵カラ全然包圍サレタル如キ情報ガ傳ハル。多クハ局部的ノ事件カラ、此ノ如キ無稽ノ凶報ヲ生ミ出スノデアアルガ、之ヲ信ゼヌ迄モ、一應ハ其眞偽ヲ確カメネバナラヌ、其爲ニ時間ノ徒費ト混雜トヲ來ス。

此ノ如キ狀況ニ於テ、指揮官ノ犯シ易イ過失ハ、種々ノ心ノ刺戟ヤ、多數ノ要求ニ禍サレテ、戰鬥繼續ノ決心ガ出來ズ、然ラザル迄モ其決心ガ遅レル事デアアル。然シ指揮官ノ決心ハ必ズシモ此ノ場合

ニ採ルベキ最良ノ手段タルコトヲ要セス。寧ろ敵ガ徒ラニ理想的ノ解決法ヲ探究シテ居テ、實行ヲ怠ル間ニ、早ク果斷ノ處置ニ出デ、多少デモ適當ナ事ヲ實行シ、以テ精神的ニ形勢ヲ支配スル地位ニ立ツコトガ、大切デアアル。元來會戰ニハ互ニ相手ヲ恐レルモノデアツテ、早ク此ノ恐怖ヲ去ル者ガ、勝者トナル。即チ敵ノ考ヲ自由ニ支配シ、總テ先制ノ地位ニ立チ、敵ヲシテ元來希望セヌ事ヲ、強イテ實行サセ、終ニ全ク我が意志ニ從ハシムルニ至ルノデアアル。斯クナレバ敵軍ハ自己ノ力ヲ自由ニ發揮スルコトガ出來ナクナリ、軍隊モ指揮官モ不安ト混迷トニ陥ル結果、自己ノ方ガ有力ナ場合ニモ、自ラ困難ナ形勢ヲ招キ、何時モ氣分ニ支配サレ、氣ヲ以テ壓倒サレルノデアアル。即チ恐怖ト不安、元氣ト確信ガ勝敗ニ大關係ヲ來スノデアアル。

首將ガ細事ヲ顧ミズ、戰場ニ集メタカラ、共同ノ方向ニ注グベキ大決心ヲ下シタ後ハ、其決心ノ遂行ニ實際ニ必要ナ區處ヲ、細大漏サズ實行スルコトハ、其補助官タル者ノ責務デアアル。使用シ得ル限リノ兵力及補助手段ヲ協力サセレバ、必ズ勝利ヲ得ルコトガ出來ル。

既ニ陣地ヲ占メタル敵ヲ攻撃スル場合ハ、「遭遇的會戰」(遭遇戰)トハ、其趣ガ異ナツテ來ル。攻者ガ敵ノ陣地ニ向ツテ前進スル場合(即チ自ラ尙ホ運動中ニ在ル場合)ト、戰鬪ノ勝敗ガ着カズニ兩軍交綏シ、敵ト相對峙スルコトニナリ、自己モ亦一旦陣地ヲ占メタ後ニ再ビ攻撃ニ移ル場合トガアルガ、

此ノ二ツノ場合ニハ、其衝突ノ時期及場所ニ就テ、遭遇戰ノ場合ヨリモ、一層明ラカニ豫測出來ルノデアアル。敵ノ兵力及配置ヲ始メトシ、其防禦設備ニ至ルマデモ、攻者ニ或程度迄ハ知レテ居ル。總テ此レ等ノ事項ハ周到ナル偵察ト、前衛ガ敵ノ前進部隊ヲ本陣地ニ擊退スル所ノ緒戰トニ依ツテ之ヲ知リ得ル。カクテ總テノ準備ガ整フタ後ニ、攻撃ヲ行フ。會戰ノ指揮ニ關スル方針ヲモ、攻撃開始以前ニ於テ豫メ決定スル。此ノ方針ハ全般ノ戰爭ノ遂行ト適切ナル連繫ヲ保タシメ、且ツ其細部ノ事項マデモ、少數有爲ノ人物ト詳細ニ協議シテ立案スル。

大體カラ云ヘバ、陣地攻撃ノ際ニハ、指揮官ノ任務ハ、遭遇戰ノ場合ヨリモ容易デアアルガ、軍隊ノ任務ハ、却ツテ困難トナル。遭遇戰デハ指揮官ガ準備ヲスル時間モ少シモナク、即席ニ處置セネバナラス。或一定ノ狀況ニ置カレ、夫レニ當面シ、自ラ十分ニ偵察ノ結果ヲ待ツコトナク(又時ニハ地形ヲモ十分ニ知り得ズシテ)、急速ニ重大ナル決心ヲ爲スベキ必要ニ迫マラレル。之レニ反シテ軍隊ハ、略ホ敵ト同様ナ條件ノ下ニ、之ト衝突スルノデアアル。然ルニ陣地ノ攻撃ノ際ハ、敵ハ地形ノ利ト技術的ノ補強設備トヲ有シ、且ツ凡ラユル手段ヲ盡クシテ、防禦ヲ計畫的ニ準備スルコトガ出來ル。陣地攻撃ノ際ノ最大ノ過失ハ、兵力ノ不十分ナ事ヲ承知シナガラ、敵ニ向ツテ行キ、且ツ準備ノ不足ヲ、「軍隊ノ精神」ヲ以テ補ハント、スル事デアラウ。固ヨリ軍隊ノ精神ハ、實戰ニ於テ多クノ事ヲ成シ時ニハ遂行不可能ニ見エル事ヲモ、可能ナラシメルモノデアアルガ、指揮ノ不足ヲ補フ爲メニ、之ヲ

利用シテハナラヌ。敵ガ陣地ニ永ク占據スルニ從ツテ、即チ敵ガ多クノ時日ヲ利用シ得ルニ從ツテ、攻者ハ益々其準備ヲ整フベキモノデアル。

故ニ此レ等ノ事項ヲ悉ク顧慮シ、且ツ軍隊ガ其責任ヲ果シタナラバ、必ず好結果ヲ收ムベキ筈ノモノデアル。然シナガラ周到ノ注意ヲ以テ建築シタ家屋ヲモ倒潰サセルヤウナ事情ガ、尙ホ多少ハ存在スルノデアル。

即チ如何ニ周密ニ考慮ヲ廻ラシタ會戰モ、決シテ其計畫通りノ經過ヲ取ルモノデハナイ。縱令遭過戰ホドデハナクトモ、意外ノ事ガ湧キ出デ來ル。例ヘバ軍司令部ノ方デ、有力ナ師團ト思ツテ重大ナ任務ヲ當テタモノガ、突然不覺ヲ取り、而カモ其理由ヲ知ルニ苦ムヤウナ場合ガアル。其ノ時ニハ他ノ方面ニ使用スル筈ノ新銳ナ師團ヲシテ、之ニ代ハラセル必要ガ生ズル。從ツテ豫期ノ目的ヲ達スルダケノ兵力ヲ、其方面ニ使用シ得ナクナル。又軍司令官ノ方デ、「必ず自己ノ意圖ヲ汲ンデ任務ヲ果スニ相違ナイ」ト、期待セル指揮官ガ、戰鬪ノ初ニ爆彈ノ爲ニ斃レ、假令良イ後繼者ヲ得テモ、其特別ノ場合ニ必要ナ特性ニ缺ケテ居ル爲メニ、軍司令部ガ其命ジタ處置ニ就キ、特別ノ注意ヲ佛ハヌト、其方面ノ戰鬪ガ豫期ノ通りニナラヌ事モアルデアラウ。又形勢ノ全ク一變スル場合モアル。例ヘバ會戰第一日ノ夜ニ、「包翼ノ企圖ガ全然失敗ニ歸シタ」ト云フ報告ヲ軍司令部デ受ケ取ツタ時ノ如キハ、即チ夫レデアツテ、其包翼ニ任ジタ部隊ガ、敵ノ延長セル正面ニ衝突スルカ、若シクハ敵ノ爲ニ却ツ

テ翼ヲ包マレ、却ツテ餘リ多クヲ期待シナカッタ正面ノ方ガ、意外ニ深く進入シテ居ルコトガ分リ、敵ガ包圍ニ備フル爲メニ正面ノ兵力ヲ割キ過ギタカラ斯カル結果ニナツタモノト、判斷シ得タナラバ正面突破ノ見込ガ生ジタノデアル。即チ狀況ハ全ク一變シタノデアツテ、適切ダト信ジテ今迄飽クマデ遂行シテ來タ最初ノ處置ハ、今ハ之ヲ放抛セネバナラヌガ、其代リニ勝利ニ對スル新シイ見込ガ生ジタノデアル。依ツテ之ヲ利用シ、夫レニ對スル必要ナ處置ヲ即時ニ實行スベキデアル。然シ實際ノ場合ニハ夫レニ要スル心機ノ一轉ガ、中々容易ニ出來ヌモノデ、一度起ツタ事ニ、知ラズ知ラズ心ヲ奪ハレ易イノデアル。

千八百六十年十月十日ノザールフェルドノ戰鬪ハ、豫定ノ經過ヲ餘リ固守スルコトノ危險ヲ、知ラシムルノニ、良イ實例デアル。

ルイ、フェルデナンド親王ハ九千ノ兵ヲ率キテ、十月九日ニルードルスタット附近ニ位置シタ。親王ハ翌日普魯西ノ本軍ノ前衛ト交代シタナラバ、直チニミツテル、ベルニツツニ赴キ、ホーエンローエ軍ニ近接スベキ命令ヲ受ケテ居タ。然ルニ山ヲ越エテ同所ニ到ルベキ直路ガナク、先ヅザールフェルドニ迂回シ、同所デザール河ヲ渡ル必要ガアツタ。然ルニ其渡河點ニハ、既ニ佛軍ガ甚ダシク接近シテ居テ、若シ夫レガ同所ヲ占領スレバ、親王ハ本軍カラ遮斷サレルコトニナル。故ニ親王ガ十月十日ニザールフェルドニ前進シタノハ、全然適當ノ處置デアリ、又同所デ先ヅ停止シテ居

タノハ、其所デ本軍ノ先頭部隊ノ來着ヲ待タネバナラヌ、而カモ夫レガ未ダ到着シテ居ナカッタカラ、夫レモ非難スベキコトデハナイ。即チ不注意ノ處置トシテ屢々兵家ノ非難ヲ受ケル所ノ親王ノザールフェルド附近ノ停止ハ、實際ハ其時ノ狀況ト親王ガ實行スベキ任務トカラ來テ居ルノデア。然シ親王ハ其以後ノ進展ニ關シテ、全ク固定不變ノ經過ヲ頭ニ畫イタ。即チ「佛軍ノ先頭ガ森林ノ在ル山地ヲ出テ、ザールフェルド附近ニ展開シタ時ニハ、先ヅ之ヲ攻撃シ、且ツ擊退シテ置イテ、其内ニ到着スル筈ノ本軍ガ見エタナラバ、ミツテル、ベルニツツヘノ轉進ヲ實行スル」ト云フ考デアッタ。

若シ實際其様ニ事ガ進ンダナラバ、親王ノ初陣ノ大成功トシテ、擧ゲルコトガ出來タデアラウ。然ルニ佛軍ハ不用意ナ隘路進出ヲ行ハナカッタ。即チ高地上カラ親王ノ陣地ヲ眺メ、其兵力ノ劣勢ナルヲ知り、山地ノ森林ヲ利用シテ、親王ノ軍ノ右翼ヲ迂回シ、其退路ヲ斷チ、且ツ兵力ノ優勢ヲ賴ンデ、之ヲザール河ニ向ツテ壓迫シタ。此ノ時親王ハ敵ガ自己ノ豫想通りノ處置ニ出ナカッタコトヲ知ルト同時ニ、ルーデルスタットノ方ニ退却スルカ、サモナクバザールフェルドヲ經テ反對ノ岸ニ移ルコトヲ、直チニ決心スベキデアッタ。然ルニ親王ハ最初ノ考ニ囚ハレテ、退却ノ時機ヲ逸シテ了ヒ、爲メニ其軍ハ潰亂シ、多望ノ前途ヲ持テル親王モ亦、終ニ陣沒スルニ至ツタノデア。ホーエンローエ公ガ此ノ間ニミツテルベルニツツヘノ集中（其爲ニ親王ノザールフェルドヘノ前進

モ行ハレタノニ）ヲ中止シ、而カモ夫レヲ親王ニ通報スルコトヲ怠ツタト云フコトハ、別シテ此ノ非運ニ就テ、吾々ノ心ヲ暗クサセル。

將帥タル者ハ會戰ノ實行ニ就テ熟慮ノ後ニ定メタ方針ハ、冷靜明晰ナル研究ニ依ツテ、更ニ良策ヲ發見シ得ルマデハ、如何ニ障礙ヤ不利ナ突發事件ガ起ルトモ、飽クマデ之ヲ守ツテ、動クベキモノデハナイ。然シ之ト同時ニ、虚心坦懷、克ク事ノ經過ノ真相ヲ觀破シテ、必要ノ場合ニ臨ミ、方針ノ變更ヲ爲シ得ルダケニ、心ニ餘裕ヲ持ツコトヲモ、忘レテハナラヌ。

シユリーフエン元帥ハ千九百九年出版ノ「現今ノ戰爭」ト題スル書中ニ、會戰中ノ將帥ノ行爲ニ就テ左ノ如ク述ベテアル。

「今日ノ戰爭デハ那翁ノ如ク、幕僚ヲ隨ヘテ悠然トシテ馬ヲ小丘ニ立テル將帥ハ決シテアルマ。如何ニ精良ノ双眼鏡ヲ用フルトモ、其觀察シ得ル所ハ僅少ニ過ギヌ。其白馬ハ其多數ノ砲兵ノ爲メニ容易ニ斃ホサレテ了フ。將帥ハ遙カ後方デ、廣イ室ノアル家ニ居ル。其所ニハ有線及無線ノ電信、電話機ガ備ヘテアリ、又一群ノ自動車及自動二輪車ガ、長距離疾走ノ準備ヲ整ヘテ居ル。現代ノアレキサンダーガ樂ナ椅子ニ倚リ、大キナ机ヲ前ニ控ヘテ、全戰場ヲ見渡シテ居リ、或ハ電話ヲ激勵シ、或ハ軍司令官ヤ軍團長カラノ報告ヲ受ケ、又全戰線ニ亘ツテ敵ヲ直視スル所ノ繫留氣球

ヤ飛行船カラノ報告ヲモ受ケル。

此ノ光景ハ當時ノ最新ノ經驗タル、日露戰爭ヲ基トシテ、晝イタモノデ元帥ハ千九百十四年九月ノ獨逸軍ノ最高統帥部ノ事ヲ、心ニ浮ベタニ相違ナイ。然ルニ其間ニ大分事情ガ異ツテ來テ居ル。滿洲ノ戰場ニ比スレバ規模ガ著シク大キク、全軍ノ戰線ハ非常ニ長大ナモノトナツタ。

然ルニ通信機關ノ建設及其新式器械ノ設備ガ、夫レニ伴ハナカッタ。我ガ軍ガ白耳義及佛蘭西ヲ非常ニ速度デ前進シタ際ニハ、總司令部ト遠イ軍司令部トノ間ヲ電話線デ連絡シ得タコトハ、極メテ稀デ無線電信ガ唯一ノ連絡機關デアッタ。然シ其技術的性質上、單簡ナ通信ニ止マリ、長イ説明ナドニハ適シナカッタ。

之レガ爲メ統帥上最モ大切ナ時機ニ、將帥ガ「激勸的ノ言葉ヲ送ル」コトモ出來ネバ、又麾下ノ指揮官カラモ、報告ヲ受ケラレヌヤウナ結果ヲ來シタ。我ガ統帥部ハ技術ノ能力ヲ過信シテ、餘リ遠クニ位置シタ爲メニ、自ラ軍ト隔離シ、自動車デ送ツタ筆記ノ訓令ハ、多クハ其内容ガ戰況ノ推移ニ伴ハヌヤウナ時ニナツテ始メテ交付サレタ。

今後通信機關ガ發達シテモ、之ニ似タ狀況ガ將來ニモ起ルコトガアルデアラウ。正面ガ數百軒ニモ巨ル大軍ノ運動中ニ、最高統帥部ト兩翼ノ軍トノ間ニ、確實ナ連絡法ヲ設ケルコトハ、常ニ困難デアラウ。之ニ最モ適シタ手段ハ、目下ハ飛行機デアル。千九百十四年ノ獨逸軍ハ、此ノ如キ目的ニ使用

シ得ルホドノ多數ノ飛行機ヲ持タナカッタ。若シ將來ニ於テモ斯クノ如クナラバ、軍司令部ト總司令部トノ間ニ、決シテ故障ヲ生ゼス所ノ確實ナ連絡ハ、斷ジテ得ラレヌデアラウ。

之レガ爲メニハ首將ハ少數ノ幕僚ヲ從ヘテ、臨機ニ進退スベキ(必要ノ場合ニハ飛行機ヲモ利用シ)デアラウ。將帥タル者ハ、其ノ總司令官タルト、軍司令官タルトヲ問ハズ、危險ノ場合ニ、戰鬪ノ焦點ニ自ラ干與スル爲メニ、何等カノ手段ヲ見出サネバナラス。此ノ如クシテ始メテ眞ノ「指揮官」ト云ヘルノデアル。

第十一節 追撃、勝利、退却

最近二、三百年間ノ戰史ニハ、縱令大勝ヲ博シタ後デモ、成功シタ追撃ノ實例ハ甚ダ少ナイ。

之ニハ當然ノ原因ガアル。何レノ會戰モ至大ノ興奮、心身ノ極度ノ勞苦ヲ伴フ。尙ホ勝利ヲ獲タ後ニハ、「此ノ上ノ犠牲ハ無益デアル」トカ、「夫レヲ償フホドノ効果ハ得ラレヌ、」トカ云フ感ガ起ル。

故ニ戰線ニ並立スル各兵團ハ、縱令追撃ノ必要ヲ認メタ場合ニハ、多クハ其着手ヲ他ノ兵團ニ期待スル。各々皆「我ガ兵團ガ一番多ク働キ、最モ奮闘シタノデアルカラ、此所デ一休ミスルノハ、當然ノ事ダ」ト考ヘル。

故ニ何レノ時代ニ於テモ、追撃ヲ有力ニ實行サセル爲ニハ、有爲ノ指揮官ノ力ニ依ツテ、部下ヲシ

テ得テ起リ易イ此ノ弱點ヲ、決シテ現ハサシメヌコトヲ必要トスルノデアアル。

然シ其外ニ尙ホ、着眼スベキコトガアル。追撃ガ殆ンド實行サレヌ時代モアレバ、又比較的多少實行サレテ居ル時代モアルノヲ見ルト、其原因ヲ單ニ、各將帥ノ性格ノ差ニノミ、歸スル譯ニ行カナクナル。

特ニ追撃ノ少ナカツタノハ、フリードリツヒ時代デアアル。モルウイツツ、ホーヘンフリードベルヒクツアスラウ等ノ戰ノ後ニハ、追撃ヲ實行シナカツタ。ロースバツハ及ロイテンノ會戰後ノ追撃モ、今日觀察スレバ、甚ダ緩漫モノデアツタ。コリン、ホツホキルヒ及クイーネルスドルフ等ノ敗戰ノ際ハフリードリツヒ大王ノ軍ハ易々ト退却スルコトガ出來タ。蓋シ其原因ノ一部ハ、當時ノ戰鬪序列ノ不便ナ點ニ歸スベキデアアル。即チ當時ノ軍ハ、一ツニ纏マツテ始メテ用ヲ爲シタノデアアルガ、此ノ纏マツタ軍ヲ擧ゲテ、追撃ノ爲メニ前進セシムルコトハ、容易デナカツタノデアアル。尙ホ他ノ原因ハ戰爭ニ就テノ全般ノ考ガ、誤ツテ居タコトデアアル。即チ其後一般ニ普及セル如キ戰爭行爲ニ關スル正當ナル理解ガ、其當時ニハ未ダ無カツタ爲メニ、個々ノ企圖ヲ迅速ニ相次デ實行スルコトモ、毫モ尊重セズ、一ツ一ツノ戰ニノミ重キヲ置キテ、古武士的ノ寛大ナ態度ヲ以テ行動シ、長時日ヲ隔テ、再三慘烈ナル激戰ヲ行ヒシニ拘ハラズ、現今ノ如ク全戰役ヲ實用的ノ眞劍味ヲ以テ實行シナカツタノデアアル。

夫レガ那翁ニ至ツテ面目ヲ一變シ、戰爭ガ自然ノ姿ヲ備フルコトニナツタ。即チ各兵團ガ一層獨立性ヲ具備シ、敵ノ殲滅ヲ以テ、最高ノ原則ト爲シタ。之レガ爲メ息ヲモツカヌ追撃ニ依ツテ、勝利ヲ完成シタ。此ノ點ニ於ケル那翁ノ傑作ハ千八百六年ノ戰役デアアル。リユーベツク及ワイクセル河迄ノ前進ハ、潰亂セル普魯西ノ軍ニ對スル典型的追撃ニ外ナラナカツタ。那翁カラ容捨ナク追撃サレテ丁抹ノ國境近クニ追ヒ込メラレタブリユツヘル將軍ハ、最モ良ク那翁ノ戰法ヲ解得シ、後年終ニ會稽ノ恥ヲ雪グコトガ出來タ。カツツバツハノ會戰後ノ追撃ノ如キハ、那翁ノ傑作ニモ伍スルニ足ルモノデアツタ。那翁ノ最後ノ會戰タルベル、アリアンズノ戰ガ、大敗ニ陥ツタノハ、ブリユツヘルガ勝ニ乗ジテ、息ヲモツカズニ追撃ヲ續行スルコトヲ良ク解得シテ居タカラデアアル。

當時此ノ如キ企圖ノ實行ガ容易デアツタノハ、フリードリツヒ時代ノ戰法ノ束縛ヲ免レ、而カモ其武裝ハ舊ニ依ツテ單純デアツタカラデアアル。戰鬪ハ近距離ニ於テ實行サレ、歩兵ガ多大ノ損害ヲ冒シテ敵陣ニ侵入セル時ニハ、敵ガ尙ホ其ノ眼ノ前ヲ退却シテ居ルノデアアルカラ、追撃ハ容易ニ取り抑ヘ得ル敵、大體目ニ見エテ居ル目標ニ向ツテ、行ハレタノデアアル。

然ルニ其後大射程ノ火器ノ採用ト共ニ、此ノ事情ガ一變シテ來タ。防者ガ其陣地ヲ維持シ得ルカ否カハ、敵トノ格闘ヲ待タズシテ、之ヲ決定シ得タ。多クノ場合ニ火器ノ効力ニ依ツテ、敵ヲ其陣地ヨリ追ヒ出シ、爲ニ攻者ガ陣地ヲ占領セル時ニハ、敵ハ既ニ去ツテ、目ニ見エルノハ唯ダ死傷者ノミデ

アツタ。若干ノ距離ヲ隔テタ高地線、林縁、村端ヨリ、再ビ開始サル、射撃ヤ、退却ヲ掩護スル砲兵ノ動作ニ依ツテ、始メテ敵ノ退却方向ヲ知ル、ト云フ有様デアツタ。從ツテ兩軍ノ間ニハ最初ヨリ相當ノ距離ガアツタ。尙ホ其上ニ、勝者ガ其火器ノ効力ヲ十分ニ利用セントシテ、先ヅ停止シタ爲メニ、此ノ距離ガ益々増大シタ。而シテ追撃ヲ開始スルニ當ツテハ、退却軍ノ射程ノ大ナル砲火ニ妨ゲラレテ、敵ニ急迫スルコトガ出來ナカッタノデアアル。

モルトケガ得意トヒル包圍翼攻撃ノ形式ハ、追撃ノ即行ヲ妨ゲタ。其際共通ノ中心點ニ向ツテ諸隊ガ突進スルニ當リ、戰鬪ガ有利デ地歩ヲ獲得スルコト多キニ從ツテ、益々混亂ヲ増シテ來タ。之レガ爲メ第一線ニハ、命令デ動カシ得ル纏マツタ隊ハ、極メテ稀デアリ、戰鬪ヲ交ヘヌ新銳ノ部隊ナドハ其場ニ少シモ無ク、而カモ遙カ後方ニ位置スル部隊ハ、何レノ方向ニ追撃ヲ實行シテ良イカ分ラヌ、ト云フ有様デアツタ。

此ノ如キ障礙ガ在ツタノニ、追撃ノ方法ニ就テハ、那翁時代ニ比シテ何等ノ改良ヲ施サズ、舊ニ依ツテ唯ダ人馬ノ力ニ依頼シタガ、夫レデハ間ニ合ハナカツタ。「人馬ノ息ノ續ク限り追撃セヨ」トノ戰術學ノ要求ハ、普埃戰役中ニモ、將タ又世界大戰中（初期ニハ追撃ニ就テ從來ノ要求ガ行ハレタノデアアル）ニモ、殆ンド實行サレズシテ、相變ラズ人ノ力ノ及バヌ貴キ訓トシテ仰グニ過ギナカツタ。ケレニヒグレッツツノ敵ニ敗レタ埃軍ノ一部ノ如キハバルドウイツツノ橋梁ヲ渡リ、二十軒ノ側敵行軍ヲ行

ツテ、戰場ヲ脱シテ了ツタ。モルトケハ此ノ事實ニ教ヘラレテ、敵ヲ決シテ逃ガサヌヤウニ會戰ヲ計畫スベキモノト考ヘタ。斯クテグララヴエロツト——サンブリヴァ及セダンノ兩會戰ニハ、敵軍ヲ捕虜トシタカラ、進撃ヲ必要トシナカツタ。ヒンデンブルヒ將軍モ亦タンネンベルヒニ於テ、敵軍ヲ包圍シタ。將軍ガ東普魯西ヨリ退却スル「ニエーメン」軍ヲ追撃シテ、四萬五千人ノ捕虜及百五十門ノ砲ヲ獲タノハ、美事ナ成功ト云ヘル。然シ千九百十四年ノ西方面ノ緒戰ニ成功セル後ノ獨逸軍ハ、毎回敵ヲ逃ガシテ了ツタ。又聯合軍側モ有力ナ追撃ヲ實行シ得ナカツタ。

然ラバ追撃ハ將來如何ナル成行ヲ見ルデアラウカ。從來ヨリモ容易トナルカ、困難トナルカ、其回數ガ増スカ、將タ又減少スルカ。

勝利ヲ得タ後ニ、直チニ追撃ノ續行ニ努力スルコトハ、依然トシテ合理的處置デアアル。ブリユツヘルガカツツバツハノ會戰後ノ訓令中ニ、「戰鬪ニ勝ツノミデハ十分デナイ。其勝利ヲ利用スルコトヲモ知ラネバナラス。敵ヲ急追シナケレバ、敵ハ必ず再ビ停止スル。ソコデ猛烈ナル追撃ヲ實行セナケレバ、復タ更ラニ會戰ヲ行ツテ夫レヲ獲得セネバナラスコトニナル」ト述ベテアルノハ、此ノ點ニ關スル永久ノ參考ト爲スニ足ルモノデアアル。確カニ有利ナ會戰後ノ追撃ガ、大成功ヲ收メルノニ一番都合ノ良イ時ナノデアアル。

夫レニハ勿論先ヅ確カナ勝利ヲ得ルコトガ必要デアアル。單ニ戰場ヨリ敵ヲ退却サセタダケデ、之ヲ

驅逐シタノデナクバ、追撃ハ唯ダ決勝戦闘ノ再開タルニ過ギス。那翁ハグロース、ゲルシエン及パウツェンノ戦ニ「勝ツタ」ガ、此ノ時ダケハ彼ト雖モ、イツモノヤウナ追撃ガ出来ナカツタノハ此ノ戦ニ真ノ勝利ヲ得テ居ナカツタカラデア。即チ會戰ニ於テ敵ヲ如何ナル程度マデ打テ破ツテアルカト云フコトガ、常ニ追撃ノ能否ノ標準トナルノデア。ル。

然シ將來ハ夫レヲ知ルコトガ、一層困難トナルデアラウ。其戰場ニハ、數千ノ榴彈ガ破裂シ、殊ニ地上ニ着發シタモノハ砂煙ヲモ揚ゲ、火災ヲ起シタ家屋森林等カラ出ル煙ガ、戰場ヲ掩ヒ、綠色ノ毒瓦斯ヤ、通視ノ出来ヌ煙幕ガ其上ヲ流レル時ニハ、假令飛行機ト雖モ、勝敗ノ差別ヲ見極メルコトガ中々容易デアアルマイ。又其勝敗ノ外觀ガ判然トシテ居ラヌノデ、最初ノ衝突ニ依ツテ攻撃ノ成否ヲ確實ニ知り得タル横隊戰術時代ノ如ク、勝敗ノ判別ガ容易デナイノデア。ル。尙ホ其上ニ今日ノ戰場ハ非常ニ廣ク、全般ノ戦ガ多數ノ戰鬥ニ分レ、火器ノ射程ノ増大ニ伴フテ、兩軍ノ交戰距離モ増シ、努メテ縦長ノ配備ヲ取り地形ヲ周密ニ利用シ、且ツ敵ノ目ヲ避クル爲メニ兵員及器材ヲ偽裝ニ依ツテ秘匿スル。故ニ大會戰ノ行ハレタ日ノ晩ニモ、首將ガ己レノ方ガ勝ツタノカ敗レタノカラ、知ルノニ苦ム事情ハ、將來ト雖モ決シテ今日ト變ル所ガ無イデアラウ。首將ハ「過早ノ追撃ガ敵カラ撃退サレル恐ガアリ、勝利ヲ擴大セント努力シテ、却ツテ掌中ノ勝利ヲモ再ビ失ヒハセヌカ」ト云フ心配ヲ、起スデアラウ。敗レタ方ノ軍ガ明ラカニ退却シテカラ、始メテ其敗北ガ知レルノデア。ル。

然シ大規模ノ計畫的追撃ヲ實行セシメ得ル地位ニ在ル最高司令部ハ、今日ハモルトケ時代ナドヨリモ、他ノ有利ナ手段ヲ持ツテ居ル。即チ夜ノ内ニ吾ヨリ若干距離ヲ隔テ得タル敵ニ對シテモ、機關銃ヲ有スル歩兵ヲ自動車ニ載セタモノ、飛行機、自轉車兵、自動車砲並ニ新式裝備ヲ有スル騎兵團ヲ利用スレバ、之ヲ追躡シテ、殲滅シ得ルノデア。ル。

若シ世界大戰ノ末期ノ如キ考デ戰爭ヲ行フカ、若シクハ更ニ進ンデ、憎惡ト敵愾心トヲ主トシテ、行動スル場合ニハ、確カニ前述ノ如キ追撃ガ、實現サレルデアラウ。普埃戰役ヤ普佛戰役ナドニハ、之レガ缺ケテ居タカラ、當時ノ我が作戰ハ、餘程上品デ、寛大ナ所ガアツテ、敵ニ更ニ一層ノ損害ヲ與ヘ得ベキ大事ナ機會ニ於テモ、「モウ之レ位ノ所デ措イテヤラウ」ト云フヤウナ感情ヲ起シタノデア。ル。然シ將來ハ夫レガ變ツテ、那翁ノ心靈ノ中ニ存シタル鬼神的ノ塵殺慾ガ、復活スルデアラウ。其場合ニハ極度マデノ追撃ノ實現ガ期待サレル。

敵ノ退却ノ意圖ヲ早ク察知スルニ從ツテ、此ノ如キ追撃ヲ行ヒ得ル見込ガ多クナル。飛行機及軍隊ヨリノ報告、並ニ隣接部隊カラノ通報、敵ノ抵抗力ノ減退、一定ノ場所ニ於ケル部隊ノ前進ノ遲速等ハ、高級指揮官ヲシテ或程度迄確實ナル狀況判斷ヲ下スコトヲ得サセル。此ノ場合ノ指揮官ハ、從來ノ努力ノ結果ガ愈々現ハレテ來タ時ニ、部下ノ指揮官ノ勝利慾ヲ、極度ニ煽揚スベキ責任ヲ持ツテ居ル。而シテ此ノ時尙ホ手許ニ存スル豫備隊ヲ、追撃ニ有利ナ方向ニ移シ、且ツ新ニ豫備ヲモ作ルコト

が必要である。

下級指揮官ノ方デハ、苟モ敵ノ退却ヲ認メタナラバ、自己ノ疲勞ヲ忍ンデ、即時ニ追撃ニ移ルベキ義務ガアル。歩兵ハ激シク敵ノ後方ニ迫ツテ、敵ノ敗北ヲシテ潰亂ニ陥ラシムベキデアル。其際歩兵ノ機關銃及迫撃砲ヲ第一線ニ出シ、其直後ニ歩兵砲並ニ配屬サレアル砲兵ヲ立タセル。各級ノ指揮官ハ徒ラニ命令ヲ待タズニ、大膽ニ且ツ獨立的ニ、行動スベキデアル。其際彈藥及糧食ノ補充ノ準備ハ勿論忘レテハナラヌガ、之レガ爲メニ前進運動ガ滯滞シテハナラヌ。廣大ナル正面ニ於テ此ノ如キ行動ニ出デ、且ツ退却スル敵ヲ抑留シ、其側面ヲ衝キ、退路ヲ遮斷スルコトヲ努メネバナラス。

使用シ得ル限りノ飛行機ヲ追撃ニ當テル。偵察機ハ敵ノ停止スル位置ヲ確カメ、爆撃機及戰鬥機ハ殊ニ行軍縱隊ニ移ツタ部分ヲ襲フ。又敵ガ退却ニ利用スベキ道路、停車場及鐵道線ニ對シテハ、爲シ得ル限り混亂ヲ大ナラシムルコトヲ努メル。

火力ト高速度力トヲ併有スル所ノ砲兵ハ、殊ニ緊要デアル。砲兵ハ用ヒ得ル限りノ砲ヲ以テ、退却中ノ敵ニ、自己ノ有効射程内マデ近迫セネバナラス。又遠距離射撃ヲ敵ノ通過スベキ隘路、橋梁等ニ注グ。自動車砲及騎砲兵ハ、側方ニ迂回スル部隊ニ隨伴セシムルニ殊ニ適スル。砲兵ノ觀測將校ガ最前線ノ歩兵ト同行シ、無線電信(電話)ヲ以テ、砲兵ノ射撃ヲ、重要ナ目標ニ導クコトガ必要デアル。通信ノ連絡ハ、歩兵ノ最前部隊マデモ、之ヲ延長スル。頻繁ニ報告ヲ出スノガ有利デアル。

追撃隊ハ敵ノ後衛ノ爲メニ、其本隊ニ迫ルコトヲ、妨ゲラレテ了ツテハナラス。爲シ得レバ敵ノ後衛ヲ迂回スベキデアル。決シテ多クノ兵力ヲ固定サセテハナラヌ。又上級指揮官ノ命令ヲ待タズシテ恣ニ追撃ヲ中止スルコトヲ許サヌ。

尙ホ勝利ノ當然ノ收穫ニ意ヲ用フベキデアル。退却スル敵ヲ更ニ引キ留メ、之ヲ包圍シテ捕虜トスレバ、其收穫ガ最多イノハ言フ迄モ無イ。之レヲ全般ニ亘ツテ達成スルコトハ、稀デアルガ、有力ナル追撃ト適切ナル處置トヲ以テスレバ、少ナクとも敵ノ兵力ノ一部ヲシテ、斯カル運命ニ陥ラセルコトハ、何レノ場合ニモ大概爲シ得ルノデアル。最小限度トシテモ、敵ノ一部ヲ、人員及器材ヲ補充スベキ後方連絡線ヨリ遮斷シ、若シクハ新銳ノ部隊カラ收容サルベキ方向ヨリ、之ヲ引キ離スコトヲ努メネバナラス。而シテ追撃モ亦、攻撃ト同様ニ、重點ヲ設ケ、主ニ其方向ニ力ヲ注グベキデアル。追撃部隊ヲシテ彈藥ノ缺乏ヲ來サシメヌコトモ亦、高級指揮官ノ主要ナル仕事デアル。迅速ナル追撃ノ際、最前部隊ニ迄モ、時ヲ逸セズ常ニ之ヲ補給シ得ルガ爲メニハ、必ズ自動車縱列ノ力ヲ待タネバナラス。

決勝的勝利ヲ得タ場合ニハ、從來ニ於ケル彼我ノ兵力ノ關係ガ變ツテ來ル。敗退シタル敵軍ノ潰亂ガ甚ダシイホド、彼我ノ兵力ノ關係ガ、勝者ニ有利トナル。此ニ於テ今迄不可能ト思ハレタ戰略上ノ目的モ、可能ノ範圍ニ入ルデアラウ。唯ダ勝者ガ敵ノ意志ニ動かサレズニ自由ニ活動シ得ル期間ヲ、

無爲ニ經過スルコトヲ、嚴ニ戒メネバナラス。然シ會戰ニ勝利ヲ獲タ當座ニハ、成功ノ喜ビニ酔フテ動々モスレバ戰爭ノ前途ノ益々重大ナルコトヲ忘レ、終局目的ニ貢獻スベキ新ナル大企圖ニ必要ナル處置ニ、直チニ着手スルコトヲ全ク等閑ニシ、若シクハ其時機ヲ逸スルコトニナル。互ニ勝利ヲ祝ヒ合ヒ、感謝ノ祭典ヲ行ツテ居ル間ニ、其祝福シツ、アル成果ヲ失ツテ了ツタコトハ、古今ノ戰史ニ其實例ガ澤山アル。若シレンネンカムブ大將ガ千九百十四年八月二十日ニ、ガワイテン—グンビンネンノ成功後、即時ニサムソノフ軍ト共ニ獨逸第八軍ヲ狹擊スル目的ヲ以テ、強勢ナル前進ヲ爲スノ處置ヲ取ツタナラバ、タンネンベルヒノ會議ハ決シテ起ラナカツタデアラウ。

之ニ反シテ勝利ノ利用ニ於テ卓越セル技術ヲ現ハシタノハ、モルトケ元帥デアツタ。千八百七十年八月十八日ノ會戰ノ結果ガ、十分ニ判明シタノハ、十九日ノ午前デアツタガ、既ニ其日ノ正午ニハ新企圖ニ就テノ命令ヲ發シ、其結末ガ佛國皇帝ノ有スル最後ノ軍ヲ、悉ク捕虜トスルコトニナツタノデアル。即チ軍ノ一部ヲメツツノ包圍ニ當テ、殘餘ヲ以テ新軍ヲ編成シ、之ニ獨立ノ指揮官ヲ與ヘ、統帥及管理ニ必要ナル補助機關ヲモ備ヘテ、直チニ西ニ向ツテ出發サセタ。元帥ハ斯クシテ戰爭一般ノ大目的ノ要求ノ爲メニ、半日ヲモ空費シナカツタノデアアル。之レト同様ニヒンデンブルヒモ亦、タンネンベルヒノ戰場ニ於テ、既ニレンネンカムブ軍ニ對スル策動ニ着手シタ。此ノ如キ勝利ノ瞬間ニ於ケル統帥部ノ不斷ノ努力ハ、良ク後世ノ鑑トスルニ足ルモノデアアル。

敗者ノ狀況ハ全ク之ト異ナル。總テノ處置ハ、軍ヲ安泰ナラシムルト云フ唯一ノ目的ヲ追フノデア
ル。此ノ目的ニ對シテハ、作戰ノ大目的ハ第二義ニ置カレル。退却ハ即チ從來ノ戰爭目的ノ放棄デア
リ、軍ノ安全ヲ求ムルノ試ミニ外ナラス。勿論之レハ敵ニ強イラレタ退却ノ事ヲ指スノデアツテ、更
ニ有利ナル條件ヲ得ル迄、決戰ノ實行ヲ待タントスル隨意退却ノ如キハ、別問題デアアル。

有利ノ決戰ヲ爲ス見込ガ絶無ト認メタル指揮官ハ、「今後多少ノ成功ヲ收ムルモ損害ヲ償フニ足ラズ
敵ガ全然有利ノ地位ニ立ツテ了フ迄、此ノ儘居ルノハ無益ダ、」ト云フ考ヲ起ス。ソコデ敵ノ希望スル
方向へ壓迫サレテ行ツテ、徒ラニ敗滅ヲ招クヨリモ、寧ロ自己ニ有利ナ場所へ退却ヲ實行スル爲ニ、
此ノ戰闘ヲ中止スル方ガ利益ダ、ト云フコトニナル。然シ一度開始シタ戰闘ヲ中止スル決心ハ容易ニ
下セルモノデハナイ。之レガ爲メニ指揮官ハ重大ナル責任ヲ負フコトニナルガ、然シ軍隊ノ利益ノ爲
メニ必要ナ場合ニハ、之ヲモ甘受セネバナラス。中止シタ戰闘ト雖モ、決シテ無駄ニハナラス。少ナ
クトモ夫レニ依ツテ敵ノ兵力ヲ知り得タノデアアル。

如何ナル時機ニ軍隊ヲ撤退サセルカ、ト云フコトニ就テハ、別ニ一定ノ規則ガアル譯デハナク、狀
況ト地形トニ依ツテ決スベキモノデアアル。此ノ兩者ハ常ニ變化シ、決シテ同一ノ場合ハ二度ト起ラ
ヌ。

夜暗ヲ利用シテ敵ト離脱スルカ、若シクハ軍隊ガ尙ホ眞面目ノ戰闘ヲ交ヘヌ時機ニ於テ、之ヲ行フ

ノガ一番容易デアル。先づ局部ノ戰鬪ニ於テ成功ヲ收メ、以テ戰鬪中止ノ意圖ヲ秘シ、且ツ一時敵ノ活動ヲ鈍ブラセレバ、退却ニ便利デアル。

次ニ此ノ企圖ノ成就ノ爲メニ必要ナル條件ハ、敵ト交戦中ノ軍隊ハ、高等司令部ガ主力ヲ希望ノ方向ニ澁滞ナク撤退セシムルニ必要ナル總テノ準備ヲ、實行スル迄、其陣地ヲ維持スルコトデアル。主力ノ退却ニハ、先づ再ビ停止スベキ陣地ヲ選定シ、且ツ其占領法ヲ決定スル。各隊ニ其占領スベキ地區ヲ成ルベク早く示シテ、之レヲ偵察サセル。往々原野ヲ横斷シテ行進方向ヲ決定スル必要ガアルデアラウ。之ヲ標示シ、障礙物ヲ除キ、橋梁ヲ架設シ、若シクハ破壊スル爲ニ、要スレバ工兵ヲ先遣スル。次ニハ退却路ヲ開放スル。即チ行李及縱列ヲ新陣地ノ後方ノ一定地域内ニ移シ、傷病兵ヲ後送シ、敵手ニ落ツル恐アル病馬廠、集積所、材料廠等ヲ、安全ノ地ニ移ス。又新陣地ニ成ルベク早く通信網ヲ設ケル。

其間我が退却ノ意圖ヲ敵ニ氣着カレヌヤウニ、舊陣地ニ於ケル戰鬪ヲ實行スルコトニ注意シ、砲兵ハ飽クマデ頑強ニ其陣地ヲ防禦シ、又適當ノ場所デハ、局部的ノ逆撃ヲモ行フ。止ムヲ得ス場合ニハ歩々ノ抵抗ヲ試ミツ、後退スル。砲兵、機關銃、迫撃砲及戰鬪機ハ歩兵ノ戰鬪ヲ援助スル。薄暮ト共ニ、軍隊中敵ト直接ニ戰鬪ヲ交ヘヌ部分ガ、廣正面ノ儘、總テノ道路ヲ利用シテ垂直ノ方向ニ退却スル。部隊ハ漸次行軍縱隊ヲ作ツテ、指定ノ道路ヲ退却スル。本隊ガ安全ニ撤退シ、相當ノ距離ヲ取リ

得タ後ニ、始メテ全正面ヲ、同時ニ敵カラ離脱サセル。而シテ多數ノ彈藥ト火光信號器(光彈)トヲ持ツタ斥候ヲ殘置シテ、其撤退ヲ掩護サセル。此レ等ノ斥候ハ、爲シ得ル限り從來ノ戰鬪動作ヲ裝ヒ、敵ガ退却部隊ヲ追フテ突進セントスルトキハ、極度ノ抵抗ヲ爲ス。機關銃、裝甲自動車及單獨ノ砲等ヲ以テ、之ヲ援助スルガ良イ。撤退ガ各方面共澁滞ナク實行サレタナラバ、此レ等ノ斥候モ亦直チニ其後ヲ追フ。

敵カラ離脱シ得タナラバ、後衛ヲ設ケル。其編組及戰鬪法ハ、既ニ述ベタ通りデアル。又空中防衛ノ處置ヲモ取ラネバナラス。

時ニハ豫備隊ニ多數ノ砲兵ヲ與ヘテ、時ヲ逸セズニ、側方ニ寄ツタ陣地ヲ取ラセテ、全般ノ退却運動ヲ掩護スルノガ、有利ナ場合モアル。此ノ種ノ陣地ハ、敵ノ追撃ヲシテ、誤ツタ方向ニ轉ゼシメ易イ。果敢ニシテ且ツ企圖心ニ富ム指揮官ハ、輕快デ、火力ニ富ム小部隊ヲシテ、機會ノアル毎ニ敵ノ側面ヲ脅威スルコトニ依ツテ、右ノ目的ヲ達スルコトガ出來ル。殊ニ森林ノ多イ地方デハ、其機會ガ屢々得ラレル。之ニ依ツテ敵ガ停止シ、側面ニ向ツテ展開シタナラバ、退却軍ノ本隊ノ爲メニ、貴重ナル時間ヲ利得サセルコトニナル。而シテ敵ガ展開スルヤ、此ノ部隊ハ眞面目ノ戰鬪ヲ交ヘズニ逃レ去リ、再ビ他ノ地點ニ於テ、之ヲ復行スル。

近ク應戰シ得ベキ見込ノナイ状態ニ陥ツタ場合ニハ、數團トナツテ種々ノ方向ニ退却スルノガ良イ

デアラウ。此ノ如キ方法ニ依ルトキハ、全兵力ヲ擧ゲテ一方向ニ退却スルヨリモ、多クノ道路ヲ利用シ得ルカラ、敵ヨリ早ク離脱スベキ最良ノ方法デアアル。此ノ場合ニハ敵ヲ撃ツノデナク、總テ眞面目ノ戦闘ヲ避ケタイノデアルカラ、各兵團ノ如キハ、大ナル問題トスルニ足ラス。然シ合一ノ機會ヲ得ルコトニ就テハ、常ニ考ヘテ置ク必要ガアル。其機會ハ、安全ナ地區ノ後方ニ達スルカ、若シクハ追撃ガ鈍ブツテ來レバ得ラレル。而シテ種々ノ方向ニ退却スレバ、敵ノ追撃ハ鈍ブリ易イノデアアル。是レハ追撃軍ハ（殊ニ空中偵察ニ不利ナ地形デハ）、何レノ方向ニ主ナル壓迫ヲ加フベキカラ、正シク知ルコトガ出來ヌカラデアアル。其結果溢滯、不確實且ツ誤ツタ處置ヲ生ムニ至ルデアラウ。夫レニ依ツテ敗者ハ窮地ヲ脱シ得ルコトニナル。

總テ最初ノ退却方向ハ、自ラ定マツテ居ルモノデ、砲兵ノ有効射程外マデハ、正面ニ直交スル方向ヲ取ルノデアアル。夫レカラ先ハ、自然ノ退却方向ニ向ケテ、或ハ道路上ニ行軍縱隊ヲ作り、或ハ分進シテ正面デ道路外ヲ橫斷スル。自然ノ退却方向ハ増援隊ヲ得ラル、場所カ、地形ノ保護ヲ得ラル、場所カ、要塞若シクハ防禦工事ヲ施シアル線ノ方ヘ向フ。停止スベキ線ニハ、間モナク到着セネバナラヌ。敗レタ軍ノ餘リ長イ退却ハ、不良ノ結果ヲ生ズル。

其後ハ凡ラユル手段ヲ盡クシテ、爲シ限リ早ク戰爭ノ大目的ヲ、再ビ追フコトヲ努メル。苟モ形勢ノ轉換ニ資シ得ル機會ハ、決シテ之ヲ逸セズニ、利用スベキデアアル。夫レニハ一回有利ナ戦闘ヲ交ヘルノガ、一番好都合デアアル。之ニ依ツテ軍隊ノ阻喪セル志氣ヲ鼓舞シ、指揮官ノ自信モ増シテ來ル。此ノ場合ハ敵ヲ擊破スルダケガ目的デアルカラ、故ラニ敵ノ本軍ヲ避ケテ、劣勢ノ敵ヲ選ンデ差支ナイノデアアル。フリードリツヒガ千七百五十七年八月ニ、微弱ナル兵力ヲ以テ、チタウ附近ノ埃國本軍ヲ監視サセ、自ラ主力ヲ率キテ、能力ノ少ナイ價值ノ低イ帝國軍、佛軍ニ向ツタノハ、蓋シ全般ノ狀況上ノ必要ト云フコトヨリモ、寧ロ其精神的効果ニ重キヲ置キ、確實ニ期待シ得ル方面ニ、成功ヲ求めタノデアアル。

我が退却軍ノ阻喪セル志氣ヲ、凡ラユル手段ヲ盡クシテ、振作セネバナラス。此ノ時コソ各級ノ將校ガ大ニ其手腕ヲ發揮セネバナラス。退却ハ多クノ場合ニ、軍隊ニ取ツテ至大ノ受難デアリ、最大ノ試鍊デアアル。形勢ノ有利ナ場合ニハ、軍隊ノ價值ヲ過信シ易ク、僥倖デ得タ結果マデモ、自己ノ能力ニ歸スルコトガ往々アル。形勢ノ非ナルニ至ツテ始メテ、其眞面目ガ發露サレル。此ノ期ニ臨ンデハ、氣力、思慮、及決斷ニ依ツテ難局ヲ救ヒ、以テ自然ノ公明ナル判斷ヲ仰グベキデアアル。

第十二節 運動及戰鬥ノ連續及結合。必要ノ法則

運動及戰鬥ヲ容捨ナク連續スルコトガ、作戰ノ最大ノ強味デアアル。普埃戰役及普佛戰役ニ於ケル普（獨）軍ガ名聲ヲ揚ゲ、且ツ敵軍ヲシテ驚怖セシメタノハ、主トシテ此ノ力ニ依ルノデアアル。世界大戰

ニ於テ、我が軍が多クノ成功ヲ收メ得タノモ、亦其功ニ歸スベキデアアル。
戦争ニハ休暇ヲ與ヘテハナラヌ。千八百六年及千八百十四年ニ於ケル那翁ト、大モルトケヲ首班ト
セル獨軍統帥部トハ、運動及戰鬥ノ連續及結合ニ就キテ、模範ヲ示スモノデアアル。而シテヒンデンブ
ルヒ及ルーデンドルフノ東普魯西及波蘭土ニ於ケル征戰モ亦、之ニ匹敵シ得ルト云ヘル。陣地戰ニ於
テモ、攻撃ノ迅速ナル反覆ヲ、有利トシタ。之レヲ實行スル期間ニ限り、敵ニ對スル威力ト壓迫トヲ
増進セシメ得タ。

企圖ノ不斷ノ繼續ハ、將帥ノ絶大ナル精神力ヲ必要トスル。苟モ戦争ノ繼續スル限り、將帥ガ心ヲ
休ムル時ハ少シモナイ。一刻モ責任カラ免レ難ク、晝夜ノ差別ガナイ。世界大戰中ノ獨逸ノ總參謀長
モ亦、之ニ似タモノデアツテ、終ニハ眞ニ至大ナ重荷、至高ノ責任ヲ自ラ負ハネバナラヌヤウナ事情
ニナツテ來タ。

批評家ハ苟モ果斷ノ處置ヲ缺イタ場合ヲ發見スレバ、直チニ司令部ヲ攻撃スル。彼等ハ唯ダ外部ニ
現ハレタ行動ヲ見ルノミデ、其前ニ諸種ノ疑惑ヲ征服スル爲メニ、内部ニ起ツタ鬭争ヲ知ラヌノデア
ル。

「鐵ハ熟シアル内ニ鍛ヘヨ」トノ原則ハ、戦争ニモ適用サレル。然シ戦争行爲ヲ絶エズ滯滞ナク進歩
サセルニハ、強烈ナル實行ヲ必要トスル。吾々ハアレキサンダーガ、味方ニモ敵ニモ少シノ休養ヲ與
ヘズ、寸毫モ身ノ安逸ヲ望マズシテ、常ニ眼ヲ大事業ニ向ツテ注イダ事實ニ就テ、之ヲ認メルコトガ
出來ル。近世ノ名將ノ中デハ、活動的精神ノ横溢セル那翁ノ如キハ、其好典型デアアル。或外交家ガ「那
翁ニ日々十四時間宛眠ル習慣ガツク迄ハ、世界ハ到底平穩ニナラヌデアラウ」ト云フタノハ、蓋シ至
言ガアル。那翁ハ終日馬ヤ車ニ乗ツタ後デ、副官ニ口授シテ十本、十五本ノ手紙ヲ書キ取ラセタ。千
八百六年九月三十日ノ如キハ十七本ノ手紙ヲ書カセテ居ル。今日ノ如キ便利ナ文具ノ無イ時代トシテ
ハ、其精力ノ絶大ナルニ驚カザルヲ得ヌ。又千八百六年十月三十日ノ午前二時ニ、セラヨリ皇后ジヨ
セフイヌニ宛テ、次ノ如キ信書ヲ送ツテ居ル。

余ハ至極健全デアアル。出發以來毎日四十五哩乃至五十四哩ヲ車馬等デ馳驅シテ居ルガ、益々元氣
デアアル。余ハ八時ニ寢ニ就キ、夜半ニ起キ、時々ハ御身ガ今頃ハ未ダ就寢シテ居ルマイ、ナドト想
像スル。

將帥ノ此ノ如キ不斷ノ努力ハ、戦争行爲ノ連續及敏速ニ取ツテ、最モ大切ナ條件デアアル。

此ノ事ハ戦争ノ始メガ最モ大切デアツテ、ヤガテ重要ナ會戰ガ、實行サレルガ、一旦敵ノ心ヲ奪ッ
テ了ツタ後ニハ、之ヲシテ再ビ平靜ニ復セシメヌヤウニスルダケデ十分デアアル。那翁モ開戰ニ際シ、
千八百六年十月八日ニシユラニ宛テタ書狀ノ中ニ、「今ガ戦争ニ取ツテ、一番大切ナ時期デアアル。普魯
西軍ハ吾ガ軍ノ爲サント欲スル事ヲ、未ダ察知シテ居ラス。敵ガ躊躇シテ僅カニ一日ヲ徒費スレバ、

忽チ敗滅ヲ來タスノデアルト述ベテ居ル。那翁ハ爾來普軍ヲ擊滅シテ、ワイクセル河畔ニ達スル迄ハ、一日トシテ軍ヲ休メタコトハナカツタ。

唯ダ體力ノ盡クルニ至ツテ、始メテ休養ヲ與ヘルノデアルガ、人馬ノ力ハ案外持續スルモノデアル。好機ニ乗ジ、最後ノ精力ヲ傾注シテ敵ニ與ヘル一撃ハ、克ク全戰役ノ勞苦、數年ニ亘ル流血ヲ、不用ニ歸セシムルコトガ出來ルト云フコトヲ、決シテ忘レテハナラス。若シ千九百十四年ノ獨逸軍ガ、兵力ノ配置上ニ、重大ナ過失ヲ犯サナカツタナラバ、其間斷ナキ進軍ハ（固ヨリ之レハ最高司令部ヨリモ、寧ロ軍隊及軍司令官以下ノ指揮官ノ功ニ歸スベキデアル）、確カニ好結果ヲ齎ラシタニ相違ナイ。

最初ニ發揮サレタ不斷ノ活動モ、戰爭ガ長年月ニ亘ルニ從ツテ、夫レガ漸次衰退シテ來ル。長イ間繼續サレタ多大ノ努力ト、往々起ル所ノ給養ノ不足トノ爲メニ、體力ガ衰ヘテ來ル上ニ、更ニ精神的弛緩ヲモ伴フノデアル。之レガ爲メ活動ノ興味ヲ感ジ、夫レガ軍ノ凡ラユル階級ニ及ブ。

數次ノ會戰ヲ經タ軍隊ハ、優秀ナル將卒ヲ失ヒ、戰鬪ヲ交ユル毎ニ、優良ナル分子ハ減ジテ、而カモ其補充ニ苦ムノデアル。斯クシテ各部隊ノ內的價值ハ漸次減退シ、夫レガ戰爭ノ長引クニ從ツテ、益々甚ダシクナル。軍ハ磁鐵ノ如ク、使用スルニ從ツテ、益々其効力ヲ増スト云フ譯ニユカス。

元來兵卒ハ何レモ皆或期間迄ハ、戰爭ノ艱苦缺乏ヲ甘ンジテ忍ブモノデアルガ、數ヶ月、數年ニ亘ツテ、同一ノ奉公心ヲ以テ、之ニ堪ヘルト云フ譯ニハユカス。戰鬪ガ日課ノ如クニナリ、絶エズ危險

ニ襲ハレ、泥濘脚ヲ沒スル惡路ヲ彷徨シ、數週間ノ陰慘ナ掩蔽部生活ニ惱マサレ、濁水ノ溜マツタ彈痕ノ中ニ立テ籠ル場合ニハ、常時勇士タルヲ得ヌ。兵卒ガ自己ヤ周圍ノ、仲間ノ土ニ塗ミレタ見、スボラ、シイ服装ヲ見ルダケデモ、其心ハ沈ミ勝チニナル。初心ノ戰士ガ、美シイ空想ヲ畫イテ居ル所ノ會戰ヤ戰鬪ニハ、人間ノ力ニ堪ヘ難イホドノ勞苦ガアル。夫レガ爲メ士卒ノ意氣ガ漸次銷沈シ、國家ノ大事ニ就テノ自覺ナドハ、中々起ラヌ。心身ノ過度ノ疲勞ハ人ヲシテ無感覺ニ陥ラセル。エーナヨリフレンツナウヘノ退却ノ際、擲彈兵ノ古武者ガ、唯ダ此ノ上ノ行軍ノ苦痛ヲ免レタイバカリニ、互ニ差シ違ヘテ死ンダト云フ事實ガ、戰史ニモ載ツテ居ル。戰爭ノ苦痛ガ、百戰ノ古武者ヲシテ、死ニモ勝ルト思ハシムルホドナラバ、カケダシノ若武者ガ、如何ニシテ之ニ打ち勝チ得ルデアラウカ。又内地ノ國民ハ從來ヨリモ戰爭ニ及ボス勢力ガ増大シ、其堅實ナル態度ガ、終局ノ勝利ニ甚大ノ影響ヲ及ボスモノデアルガ、戰爭ガ長ガ引クニ從ツテ、彼等モ其重荷ニ苦ムヤウナツテ來ル。總テ文明國民ハ平和的發展ヲ阻害スル異常ノ事態ニ、遭遇スル毎ニ、忽チ夫レニ飽イテ、長ク辛棒ガ出來ナクナル。夫レデアルカラ、昔ハ、自己ノ慣レタ生活法ガ中絶サレテモ、平氣デ居レル野蠻人ヲ、非常ニ恐レタモノデアル。

戰爭ノ經過ガ有利ナ場合ニモ、國民及軍隊ニ戰意ノ減退ガ起ルモノトスレバ、如何ニ努力スルモ勝利ガ得ラレズ、敗戰ト退却トガ相次デ行ハレル場合ニハ、其結果ノ如何ハ想像ニ難クナイ。

然シ此ノ如キ場合ニ於テモ、形勢ノ轉換ヲ來ス迄ハ、全力ヲ傾注シテ戰爭行爲ヲ繼續セネバナラヌ。夫レニハ上ニ、強力ニシテ且ツ先見ノ明アル政府ガ在ツテ、國民ノ力ヲ統合シ、極力之ヲ維持シ凡ラユル有害ノ勢力及影響ヲ、斷乎トシテ抑壓スルコトガ、第一ニ必要デアル。然ルトキハ常ニ物資及精神ノ糧ヲ内地ヨリ仰グ所ノ軍隊ハ、其上ニ有爲ナル將帥ヲ戴ク限り、至難ノ狀況ノ下ニ在テモ、尙ホ克ク其責務ヲ果タスデアラウ。而シテ首將タル者ハ、此ノ如キ情勢ニ臨ンデ、堅忍持久ノ精神ト不退轉ノ心トヲ發揮シ、將卒ノ義務心ヲ喚起スルノ道ヲ解スベキデアル。必要ガ起ツタ場合ニ、直チニ異常ノ事ヲ實行スル者ハ、間々之ヲ見受ケルモノデアルガ、自ら進ンデ異常ノ事ヲ要求スル人ハ、更ニ一層稀ナルコトハ、戰史ガ吾人ニ教フル所デアル。之レガ爲ニハ、國民全般ノ敬仰ヲ受クル所ノ人物ガ、夫レヲ要求スルノガ、第一ニ必要ナ條件デアル。即チ此ノ場合ニモ亦、戰爭行爲ノ連續ノ鍵ガ、主ニ首將ノ手中ニ存スルコトガ知レル。

其首將ノ行爲ハ、「必要ノ法則」ニ從ツテ行ハレル。如何ナル場合ニ於テモ、此ノ法則ヲ辨ヘテ居ラネバナラヌ。大軍ハ至大ノ威力ヲ以テ、國民ノ生活ヲ壓迫シ、爲メニ自己保存ノ必要上、成ルベク早ク其壓迫ヨリ免ル、コトヲ望ム。故ニ交戰諸國ハ何レモ皆、「適切ノ時機ニ、講和ヲ爲サウ」ト云フ一定ノ目標ヲ持ツテ居ル。敵ヲ擊破スルコトガ困難デアルカ、若シクハ疑ハシク思ハル、場合ニハ、戰爭ノ經過ガ有利デ、自己ノ意志ヲ悉ク貫徹シ得ル見込ノアル場合ヨリモ、其ノ目標ガ控目トナルデア

ラウ。兎ニ角統帥部ノ總テノ行動ヲシテ、此ノ目標(之レハ國政ヲ司ル者ガ決定スベキデアル)ト調和セシメネバナラヌ。

世界大戰ニ於テハ、獨逸ノ政治ノ當局者ハ、大局ノ推移ニ眼ヲ注イデ、戰爭目的ニ就キ、統帥部ニ適切ナル指示ヲ與ヘルコトガ、残念ナガラ出來ナカッタ。帝國政府ハ統帥部ヲ指導セズニ、政治上ノ事マデモ、統帥部ノ獨斷ニ任カセ、平然トシテ其結果ヲ眺メテ居タ。

兩者ノ協力ハ、如何ナル場合ニモ、國家ノ利益ノ爲メニ必要デアルガ、夫レガ終ニ實現サレナカッタ。ピスマルク伯及モルトケ元帥ガ此ノ點ニ關シ、國家ノ繁榮ノ爲メニ實行シタル典型的實例ヲ見テ居リナガラ、之ニ倣フコトヲ少シモ努メナカッタ。

獨逸ノ政治ノ當局者ハ、戰爭ノ事ニ就テ、少シモ理解ガナカッタ。敵ヲ擊破スル爲ニ、斷乎トシテ總テノ手段ヲ纏メ、之ヲ利用スルノ決心ヲ、爲シ得ナカッタガ、我が敵國ノ質ト數トヲ考フルトキハ彼ト同等ノ考慮ヲ拂フテ、テヌルイ手段ヲ取ツテ行クコトハ、實ニ愚ノ極デアッタ。又千九百十四年ノ開戰ノ際、獨逸軍ノ重點ヲ悉ク、白耳義及佛國ニ向ケタ時ニ、彼等ノ提議ニ依ツテ、我が外洋艦隊ヲ同時ニ使用スルコトヲ差控ヘタ事ガ、其後ニ至ツテ彼等ノ統治上ノ威信ヲ著シク害シタ。若シ其當時ニ外洋艦隊ガスカグラツクノ海戰ノ如ク、東西南南方面ニ於テ、野戰軍ノ統帥部ト連絡ヲ取ツテ、勝利ヲ得タナラバ、之ヲ二年ノ後ニ於テ行フヨリモ、終局ノ勝利ニ對スル影響ガ、甚大デアッタデアラ

ウ。

戦争ガ長引イタ時ニ、統帥部ガ戦争繼續ノ決心ヲ取ツタノニ、政府ノ當局者ハ、有利ナ結局ヲ結ブ爲ニ必要トスル處置ヲ、十分ニ取ラナカツタ。然シ此ノ時機トナツテハ、敵ニ對シテ勝利ヲ得ル見込ハ無ササウデアツタカラ、右ノ如キ戦争繼續ノ決心ハ、「必要ノ法則」ニ合致シナカツタ。之レガ爲メ後日、獨逸ノ不幸ヲ招イタノデアアル。

然シナガラ又吾々軍人トシテハ、最後マデ勝利ヲ信ジ、至誠ヲ傾ケテ奮闘セル將帥ヲ非難スル考ハ毫モ無イ。否ナ「不可能ノ事ヲ渴望スル者ヲ可愛ク思フ」トノ、マントーノ言ガ、覺エズ心ニ浮ブノデアアル。

第十三節 決心ト其維持。獨斷專行ト專恣

現今常備軍ヲ有シ、且ツ十分ニ戦争ノ經驗ヲ積メル諸國ノ、奉ズル作戰ノ原則ハ、或程度マデ共通デアアル。

然ルニ往々夫レガ實行サレヌノハ、多クハ意志薄弱ノ爲デアアル。平時ニハ正當ナ考ヲ以テ作戰計畫ヲ立テルガ、戦争ニハ夫レダケデハ濟マヌ。其作戰計畫ハ唯ダ第一歩ノ解決ニ止マル。困難ナノハ實際ノ場合ニ起ル故障デアアル。敵ヨリ受クル影響、軍隊ノ運動ノ際ニ生ズル不測ノ障碍、部下ノ指揮官

ノ誤ツタ考等ノ爲ニ、立派ナ決心ガ、實現サレヌコトガ往々アル。

純然タル個人的性格モ、關係ヲ持ツテ來ル。一度定マツタ決心ハ之ヲ非常ナ勢デ、實行スルガ、一ツノ決心ヲ取ルニハ、非常ニ困難ヲ感ズル人ガアル。凡庸ノ者ハ、殊ニ他ノ異ナツタ説ヲ聞イタ場合ニ、自己ガ本來考ヘテ居タ事ガ、不鮮明ニナツテ、知ラズ、他ノ説ガ混入シ易イ。是レハ既ニ獨立ノ精神ヲ失ツテ、他ノ支配ヲ受クル習慣ガ、着イテ居ルカラデアアル。又卓越シタ頭腦ノ人ハ、他ノ原因カラ斯カル性格ヲ得テ居ル。即チ此ノ如キ人ハ、常ニ難局ニ當ルガ、夫レガ中々自己ノ思フヤウニナラス。ソコデ不利ナ狀況ノ下デモ、一定ノ道ヲ進ムベキ、確乎タル決心ニ乏シクナルノデアアル。然シ指揮官タル者ハ、戦争デハ理想通りニ決シテ行カヌト云フコトヲ、心得テ居ラネバナラス。何事モ事ハ自分ノ思ツタヨリハ、遠ツタ經過ヲ取ルモノデアルカラ、全然確定シタ豫想狀況ノ下ニ決心ヲ立テ、夫レガ豫期ニ反シタカラト云フテ、一々自己ノ決心ガ動搖スルコトニナツテハナラス。之レハ實ハ決心ノ確否ノ問題ノミデハナク、人間デハ到底完全ヲ期シ難イ所ノ、判斷力ノ問題デアアル。悉ク自己ノ希望通りニハナラズトモ、兎ニ角自己ノ目的ヲ達成スルコトヲ以テ、満足スベキデアアル。

知足ハ即チ決心ヲ催進スルモノデアアル。

決心ヲ下ス前ニハ、狀況ヲ判斷セネバナラス。其際自己ノ任務ガ、如何ナル行動ヲ要求スルカラ、先ヅ確定スベキデアアル。夫レニハ、自己ノ有スル兵力(使用シ得ル限りノ兵ヲ招致スル)ノ計算ヲモ爲

ス。而シテ此ノ計算ニハ、軍隊ノ輸送ニ使用スベキ鐵道及自動車ノ使用ガ、著シク影響スルコトガ、屢々アル。但シ此ノ補助手段ハ、即席ニハ間ニ合ハヌモノデ、豫メ準備ヲ要スルノデアアル。又隣接部隊ノ協力ヲモ、勘定ニ入レネバナラス。尙ホ軍隊ノ目下ノ状態ヲモ、顧慮スベキデアアル、新銳ノ野戰師團ガ、過度ニ疲勞セル後備師團ヨリモ、多クヲ要求シ得ルコトハ言フ迄モナイ。

自己ノ狀況ト同様ニ、敵情ヲモ判断セネバナラス。夫レニハ先ヅ第一ニ、今迄得タ報告等ニ依ツテ「何レノ地點(或ハ線)ニ敵ガ到着シ得ルカ、其配置及兵力ハ如何ニナルデアラウカ、何レノ方向ニ前進ヲ繼續スルデアラウカ、」ト云フヤウナ事ヲ、豫想スル必要ガアル。其ノ際或程度マデノ正鵠ヲ期スル爲ニ、鐵道網及道路網ヲ綿密ニ觀察スル。此ノ二ツガ發達セヌ地方ニハ、大兵器ヲ有スル有力な軍隊ヲ向ケルコトハ、稀デアラウ。敵ノ指揮官ノ性格及軍隊ノ特質ヲモ、考慮ノ中ニ入レル。但シ先ヅ普通ノ場合ニハ、前者ニ就テハ、正當適切ナル處置ヲ取ルモノト豫想シ、又後者ニ就テハ、自己ノ軍隊ニ劣ラヌ能力ヲ有スルモノト、判断スルノガ、安全デアアル。此點ニ就キ確カナ證據ヲ握ツテカラ、始メテ我が判断ノ參考資料ニ供スベキデアアル。次ニ地形ガ彼我ノ處置ニ、如何ナル程度マデ影響ヲ及ボシ得ルカラ考ヘル。

此レ等ノ考察ヨリ、「敵ハ我が意圖ノ遂行ヲ妨害スル爲ニ、如何ナル行動ニ出ツベキカ」ニ就キ、根據ノアル見込ガ立ツ。

夫レニモ拘ハラズ、尙ホ吾ガ意志ヲ貫徹スルニハ、如何ニスベキカニ就キ、確乎タル決心ヲ定メネバナラス。之ニ反シテ一定ノ理想ヲ立テ、之ヲ實現セントスルコトハ、考物デアアル。斯クテハ戰ヲ己レノ希望通り、寸分モ違ヘズニ、完全ニ實行シ、且ツ作戰ヲ一ツノ體系(一定ノ型)ニ、強イテ徹メ込マフト試ミルニ至ルノデアアルガ、決シテ其通りニナルモノデハナイ。戰爭デハ何事モ皆正否ノ別ガ最初ヨリ確定シテ居ル譯デハナクテ、正當ニモナレバ、不適當ニモナル。唯ダ指揮官タル者ハ、許容スベキ範圍ノ最大限度マデハ、之ヲ敢行シテモ良イガ、力ノ及バヌ事ニ、手ヲ出スコトヲ、戒ムベキデアアル。其限界ハ各自ノ感得スベキモノデ、他ヨリ之ヲ示スコトハ出來ヌ。

時ニハ順序ヲ踏ンデ、狀況ノ判断ヲスル暇ノ無イコトガ、往々アル。小規模ノ場合及運動戰ニ於テハ、殊ニ左様デアアル。時ニハ精神ノ興奮ノ爲ニ、夫レノ出來ヌ場合モアル。而カモ尙ホ何トカ決心ヲ定メネバナラス。斯カル場合ニハ、唯ダ其時ノ直感ニ依ツテ、之ヲ得ル外ハナイ。此ノ時コソ生レナガラノ指揮官、天才的名將ガ、獨特ノ能力ヲ發揮スルノデアツテ、其咄嗟ノ考案ガ良ク正鵠ヲ得ルモノデアアル。蓋シ一瞥シテ克ク全般ノ形勢ト細部ノ事項トヲ、同時ニ握ムカラデアアル。

總ジテ天才ハ、決心ヲ下ス前ニ、一々自ラ意識シテ、思索スルコトヲ必要トセス。而カモ其決心ノ中ニハ、非凡ノ理解力ト、強烈ナル精神トガ、現ハレテ居ル。此ノ如キ決斷ニ對シ、史家ハ後カラ、色々ト解釋ヲ下スガ、實ハ其様ナ研究ヤ説明附デ、決心ヲ定メルコトハ、稀デアアル。例ヘバフリード

リツヒ大王ガロイテンノ會戰デ、埃軍ノ左翼ニ向ツテ行ツタ有名ナ攻撃ノ如キモ、王ハ全ク問題ニナラヌヤウナ理由ヲ以テ、自ら説明ヲ試ミテ居ル。若シ其理由ガ何所マデモ、大王ノ言ヲ通リダトスレバ、吾々ハ此ノ大決心ニ對シテ感嘆スルコトヲ差控フベキコトニナル。然シ實際ハ、大王ガ敵ノ陣容ヲ眺メテ、直チニ其弱點ヲ感知シ、之ニ向ツテ猛烈果敢ニ突進シタノガ、事實ナノデアアル。

然シ斯カル天才ガ、一國民ノ間ニ現ハレルノハ、百年ニ一度カ二度デアアル。然シ自ら天才ヲ有スルト過信シ、從ツテ一々秩序的研究ヲ經ズシテ、決心ヲ下シ得ルモノト誤認スル人ハ、時々出テ來ルガ其咄嗟ノ思付ハ、必ズ誤ツタモノトナル。此ノ如キハ一般軍事界ニ取ツテ、有害ナルノミナラズ、指揮官トシテモ極メテ危険ナ人物デアアル。

一度決心ヲ定メタ上ハ、之レヲ忠實ニ守ルベキデアアル。後カラノ詮議デ、之ヲ改善シ得ルコトハ、稀デアアル。後ニ起ツタ考慮ハ、其決心ヲ全ク破滅ニ陥ラスコトガアル。故ニ總テ區處ヲ爲スニ際シテハ、一部ハ決心ニ應ジ、一部ハ憂慮ニ備ヘルト云フヤウナ處置、換言スレバ半信半疑ヲ以テスル半途ノ處置ハ、嚴禁デアアル。總テノ區處ガ、其決心ノ精神ト調和スルコトニ、意ヲ用フベキデアアル。例ヘバ或ル確定シタ場所デ戰鬥セントスル者ハ、其前進陣地ヲ有力ナ歩兵ヲ以テ占領スベキデアナイ。其所ニ出シタ歩兵ハ、戰鬥ガ進展スルト、敵ト離脱スルコトガ困難トナリ、ソコデ今迄ノ決心ヲ抛ツテ、之ヲ援助スベキカ、若シクハ成行ニ任カセテ、依然從來ノ決心ヲ固守スベキカ、ト云フ問題ガ起ル。

而シテ其何レヲ取ルトモ、兎ニ角既ニ失敗デアツテ、指揮官ノ過失ヲ表現スルモノデアアル。運動戰中ノ戰鬥ハ、決心ノ維持ニ對スル銳イ試練デアアル。此ノ場合ニハ、不測ノ出來事ガ指揮官ノ心ヲ甚ダシク刺戟シテ決心ノ混亂、動搖ヲ誘發スルノデアアル。展開ノ進捗ガ甚シク豫期ニ反シタ場合ニハ、夫レガ最モ著シイノデアアル。其場合ニモ指揮官ハ、決シテ惑フテハナラヌ。自ら本來希望シタ所、自己ノ目指シタ目的ヲ、再ビ心ノ中ニ喚ビ起シ、大局ニ目ヲ注ギ、途中ノ出來事ノ如キハ、全體ノ大キナ經程ノ中ニ、引キ入レテ了ハネバナラヌ。要スルニ「戰爭ノ生命トスル所ハ大目的ニアアル」。

指揮官ノ個人的感化モ亦、重大デアツテ、其泰然タル態度ニ依ツテ、勝利ニ對スル確信ヲ示スベキデアアル。故ラニ確信ヲ裝フテモ、利益トナルコトガアリ、不注意ニ發シタ疑惑、憂慮ノ言葉モ、忽チ有害トナル。今日ノ哲學上ノ人生觀カラハ、全ク其影ヲ潛ムルニ至ツタ所ノ樂天家ガ、戰鬥中ニハ再ビ其勢力ヲ回復シテ來ルノデアアル。

根據ノアル確信カラ、立派ナ命令ガ出ルノデアアル。

總テ實戰ニ於テ決心ヲ定メル際ニ、最モ惡ムベキ敵ハ、責任感デアアル。故ニ全然責任ノ無イ地位ニ居ル者ガ、何時モ一番大膽ナ決心ガ出來ルノデアアル。軍司令部ニ居ル新參ノ參謀ハ、何等ノ屈托ナク速カニ決心シ、且ツ好ンデ最モ大キナ決心ヲ採ル。而シテ屢々夫レガ適中スルカラ、彼等ガ「自分ハモウ元帥杖ヲ授カリサヘスレバ、立派ナ將軍ニナレル」ト心潛カニ思フヤウニナルノモ、無理ハナイ

ノデアル。然シ「責任ノ多イ地位ニ立ツテ始メテ、那翁ノ偉大サヲ知り得ルモノダ」ト云フコトヲ茲ニ警告シテ置ク。

軍隊ニ於ケル地位ノ進ムニ從ツテ、責任ノ重荷ガ益々加ツテ來ル。最下級者ハ此ノ點ニ於テ一番氣樂デアル。ソコデ軍ノ統帥者等ガ、對等ノ社會カラ出身シ、吾人ガ皆最高地位ニ進ム權利ヲ持ツテ居ル國デハ、最モ若年ノ者ガ一番企圖心ニ富ム譯デアル。獨逸軍隊デハ昔カラ中少尉ガ一番大膽デアツタ。彼等ハ今回ノ戰役ニ於ケル下カラ上ヲ促スカヲ現ラハシ、且ツ夫レニ依ツテ大軍ノ運動ニ氣勢ヲ添ヘタノデアル。

下級指揮官ノ此ノ如キ獨斷專行ノ中ニ、何物ヲ以テモ補ヒ難キ、貴イカガ存スルノデアル。之ニ依ツテ軍ト云フ大機關ガ、萬事ヲ上ヨリ命令スル場合ヨリモ、一層敏活、圓滑、且ツ有効ニ運轉スル。上ヨリ一々命令スル軍隊デハ、絶エズ起ルベキ不測ノ出來事ニ對シ、徒ラニ命令ヲ待ツテ居ルカラ、其運動ガ敏速、信賴、連繫ノ諸點ニ於テ、常ニ缺陷ヲ生ズル。之ニ反シテ獨斷專行ノ精神ニ富ム所デハ、命令ノ到着スル時分ニハ、軍隊ノ方デ既ニ夫レニ着手シテ居ル。如何ナル將校ト雖モ、「命令ヲ受ケナカッタ」ト云フ理由ヲ以テ、自己ノ怠慢ヲ辯護スルコトヲ許サレヌ。クラウゼウイツツハ常ニ職務上必要トスルコトノミヲ實行スル者ヲ以テ、中庸ノ人ト稱シタガ、吾々ハ之ヲ以テ義務ニ對スル考ノ足ラヌ者ト斷定スル。

然シ獨斷專行ヲ以テ、暴虎馮河的ノ行動ト取違ヘテハナラヌ。此ノ如キハ即チ、獨斷專行ノ精神ニ乏シイ證據デアル。例ヘバ不意ニ敵ト衝突シ、而カモ何ヲ實行シテ良イカ、決心ガツカヌト云フ理由ダケデ、攻撃ヲ命ズルガ如キハ、即チ夫レデアル。

獨斷專行ナルモノハ、高級指揮官ノ目的ニ對スル理解ヲ基トスル所ノ、自立的行爲デアル。

固ヨリ時トシテ之レガ不便トナリ、高級指揮官ノ手デ如何トモ爲シ難キ事態ヲ引キ起シ、行動ノ自由ヲ奪ハル、コトモアル。故ニ各指揮官ハ之ヲ敢行スルニ先チ、周到ナル研究ヲ必要トスル。高級ノ地位ニアル者ハ、殊ニ其必要ガアル。將官ガ攻撃ノ決心ヲナス場合ニハ、小隊長ヤ中隊長ガ果斷ナ行動ヲ取ル場合ヨリモ、多クノ軍隊ヲ使用シ、其全般ニ及ボス影響ガ後々マデモ永續シ、時ニハ全軍ノ運命ニモ關スルコトガアル。然シ時ニ好マシカラヌ事ガ起ルカト云フト、一般ニ軍隊ノ獨斷專行ヲ抑壓スルノハ、斷ジテ許スベキデナイ。之レガ爲メニハ軍ハ永久ニ其力ヲ失フコトニナル。

獨斷專行ニハ強敵ガアル。即チ精神的ノ怠慢、放任、習慣的行動、責任ニ對スル恐怖、人間ノ通弊タル事勿レ主義ガ夫レデアル。若シ其上ニ更ニ、獨斷專行ノ阻止ニ依ツテ、此ノ弊ヲ助長シタナラバ軍隊ニ於ケル總テノ活動ヲ忽チ壅塞シ、軍隊ハ軟弱ナル集團ト化シ、之ヲ意ノ儘ニ制御スルコトハ出來ルガ、大事ヲ爲スニ必要ナ彈力ガ根絶シテ了フ。獨斷專行ハ非常ニ早ク軍隊カラ消失スルモノデア
ルガ、之レヲ再ビ涵養スルニハ、絶大ノ困難ガアル。而シテ獨斷專行カラ生ズル不利ノ結果ヲ豫防ス

ルニハ、全軍ニ亘リ齊一的ニ、明晰ナル判斷力ヲ教養スレバ、良イノデアル。上官ハ部下ノ獨斷專行ニ對シテ、或程度マデ寛大ナル心ヲ以テ、臨ムベキデアル。高等司令部ハ戰爭中、若シ部下ガ實行シテ了ツタ事ヲ認メタ後ニハ、長ク其實行者ヲ罵ルコトヲセズニ、早ク其實事ヲ顧慮セル對策ヲ講ズルガ良イ。之レニ依ツテ總テノ下級指揮官ヲシテ、如何ナル場合ニモ、見殺ニサレルヤウナ事ハナク、上官ヨリ必ズ援助ヲ期待シ得ルト考ヘシメルカラ、益々其ノ獨斷專行ノ勇氣ト、敢爲ノ氣象トヲ、助長スルコトガ出來ル。然シ專恣ヲ抑壓スベキハ、勿論デアル。皮相ナ觀察ヲ下セバ、時ニ獨斷專行ト似テ居ルヤウニモ見エルトモアルガ、兩者ノ間ニハ、判然タル差別ガアル。即チ專恣ハ自己ノ爲メニ事ヲ試ミ、獨斷專行ハ事ノ爲メニ自己ヲ試ミルモノデアル。故ニ前者ハ之ヲ抑壓シ、後者ハ手段ヲ盡クシテ之ヲ獎勵スベキハ、當然デアル。

第十四節 運動及戰鬥ニ對スル特殊ノ影響

運動及戰鬥ニ對スル外部的影響ノ中デ、天候ノ影響ノ如キハ、其主ナル一ツデアル。其重要ナル事ハ、軍事上ノ觀察ニ常ニ重視サル、所ノ地形ニモ、讓ラヌモノデアツテ、季節ニ應ズル戰略ト云フヤウナモノヲ、起案スルコトモ出來ルデアラウ。

冬季ノ戰爭ノ狀態ガ、夏季ト異ナルハ明ラカナル事實デアル。冬季ニハ土地ガ雨雪等ニ依ツテ軟クナリ、原野ニ通ズル道路ハ、泥田ノ如クナツテ居ル。強固ナ大道モ交通ノ頻繁ナ時ニハ、殆ンド使用シ得ヌヤウニナル。霧ト低イ雲ハ、展望及空中偵察ヲ妨ゲル。此ノ如キ狀況デハ、迅速ナル攻撃ヲ追撃ハ行ヒ得ヌ。之ニ反シテ防禦ハ力ヲ増ス。精銳ナ軍隊モ戰鬥力ヲ十分ニ發揮スルコトガ出來ヌカラ、劣ツタ軍隊デモ之ト拮抗スルノガ容易トナル。冬ノ日ガ短イコトダケデモ、其様ナ結果ヲ來ス。元來決勝的會戰ハ明ルイ間デナクバ實行シ得ヌ。而シテ之ニ用ヒ得ル時間ハ、夏ニハ薄光ヲモ加算スレバ、午前ノ二時ヨリ夜ノ十時迄デアルガ、冬ハ午前七時ヨリ午後五時迄デアツテ、前者ハ二十時間後者ハ十時間トナル。冬ノ日ノ半途ノ勝利モ、夏ナラバ全ク敵ヲ擊破スル機會ガ得ラレル。何故カト云ヘバ、戰鬥ノ威力ハ單ニ時間ト共ニ増進スルニ止マラズシテ、益々遞加シテ行クカラデアアル。

冬季ニハ行軍ガ困難デアアル。道路ガ不良トナルノミデナク、寒氣モ亦影響ヲ及ボス。即チ人間ハ長時間ノ睡眠ヲ必要トシ、早ク村落露營ニ就イテモ、出發ハ遅レル。軍隊ハ暖ヲ取ル爲メ、成ルベク屋下ニ入ル必要ガアル、自然ニ宿營地ハ擴大シ、集合ニ多クノ時間ヲ要スル。寒氣ハ食慾ヲ増スカラ、軍隊ノ戰鬥力ヲ維持スル爲ニハ、十分ノ溫食ヲ與ヘル必要ガアル。從ツテ其補給ガ困難トナル。冬季ニ蔭蔽地ノ戰鬥ヲ決戰迄遂行スルノハ、特ニ困難デアアル。此ノ種ノ戰鬥ハ常ニ經過ガ緩漫デアアル。夫レデモ夏ナラバ目的ヲ達シ得ルガ、冬ニハ夕間ガ早クモ迫ツテ來ル爲メニ、中途デ戰鬥ヲ止メルコト

ガ屢々起ル。其場合ニハ防者ハ長イ夜ノ内ニ、隊伍ヲ整へ、損害ヲ補充シ、増援隊ヲ招致シ、他ノ陣地ヲ占領スル等、要スルニ再ビ頑強ナル抵抗ヲ爲スベキ諸種ノ用意ヲ、整ヘルコトガ出來ル。「夜ニナルカ、サモナクバ普魯西軍ガ來レバ良イト思ツタ」ト云フベル、アリアンズニ於ケルウエルリントンノ言ハ、戰鬥ニ對スル日ノ長短ノ關係ヲ、極メテ適切ニ表明スルモノデアアル。之レガ爲メ、冬季ノ戰ニハ、大ナル決戰ノ無イノガ、特長デアアル。劣勢ナ軍ガ決戰ヲ避ケント欲スレバ、敵ニ擊破サレズニ冬ニ入ルコトヲ努ムベキデアアル。之レニ依ツテ少ナクトモ、一時ノ急ヲ免レルコトガ出來ル。

世界大戰ニ於テ西方戰線ニ對スル聯合軍ノ攻撃ハ、千九百十六年及千九百十七年ノ夏ニハ、從來ニ例ノ無イホドニ猛烈且ツ執拗ニ實行サレタガ、十一月ノ雨季ニ入ルト共ニ、忽チ減退シテ了ツタ。獨逸軍ノ千九百十七年十一月三十日ノゴンヌリユー及ヴィレル、ギユレーンノ有利ナ攻撃ハ、敵ノ抵抗ニ依ツテ終息シタノデハナク、地盤ガ砲兵ヲ進メルコトノ出來ヌホド軟カクナツタ爲メニ、戰鬥ヲ休止スルニ至ツタノデアアル。千九百十八年ノ獨逸革命ハ、軍事的敗北ヲ招クベキ危險ガ、當分無クナラウトスル時ニ、起ツタノデアアル。若シ聯合軍ガ夏ノ内ニ、獨逸軍ヲ徹底的ニ擊破シ得ナカツタナラバ冬ノ間ハ到底其見込ガ無カツタノデアアル。革命ガ我が軍ノ長イ間ノ奮闘ノ成果ヲ、一朝ニシテ破棄シ至大ノ犠牲ヲ無効ニ歸セシメラ、敵ノ軍門ニ降ルニ至ラシメタノデアアルガ、若シ此ノ革命ガ無カツタナラバ、獨逸軍ハ冬期ノ數ヶ月ヲ利用シテ、内部ノ充實ト器材ノ増加トニ努メ、獨逸政府ハ我が面目

ヲ傷ケヌダケノ講和ノ爲ニ、外交上ノ進展ヲ謀ルコトガ出來タノデアラウ。

天候ハ軍隊ノ志氣ニ可成ノ影響ヲ與ヘル。然シ快晴ノ春ノ日、明月ノ夜ナドガ、將卒ノ最モ好ムト云フコトハ出來ス。丁度此ノ時ニ、敵ノ飛行機ガ最モ有効ニ活動シ得ルノデアアル。休養舍營地ハ爆彈ニ對シテ安全ナ設備ガ無イカラ、雨ガ降り、雲ガ低ク垂レテ、其位置ノ分ラヌ時ニハ、兵卒ガ一番喜ンデ、藁布團ノ上ニ横臥スル。其時ニハ少ナクモ明朝マデハ安ンジテ休息シ得ルト、考ヘテ居ルノデアアル。然シ不良ノ天候ガ續ケバ、兵卒ノ健康ヲ害シ、從ツテ其志氣ニモ影響スル。

其上ニ給養ノ不足ヲ來ストキハ、軍ノ戰鬥力ニ重大ナル危險ヲ與ヘル。無爲ニ苦ム時ニ於テ、一層夫レガ有害トナル。其場合ニハ各級ノ指揮官ハ、軍隊ノ精神ヲ維持スル爲メニ、至大ノ注意ヲ拂ハネバナラス。勤勞及作業ヲ頻繁ニ課スルト共ニ、「上官ハ刻下ノ狀況ニ於テ、吾々ノ爲メニ力ノ及ブ限リノ事ヲ盡クシテ居ル」ト云フ事ヲ、彼等ヲシテ覺ラシムル必要ガアル。兵卒ノ精神的要求ヲ滿タシ且ツ内地トノ通信ヲ便ニスルガ如キハ、其一部ニ屬スル。

運動戰ニ於テハ通常、天候ノ影響ヲ受ケルコトガ、少クナル。四圍ノ風物ノ變化ガ、兵卒ニ活氣ヲ添ヘル。長イ休止後ノ行軍ハ、氣分ヲ爽快ニスル。

衛生上ノ顧慮カラ、屢々換氣ノ必要ヲ生ズル。之ニ依ツテ傳染病ノ傳播ヲ、減ズルコトガ出來ル。規則正シイ起居ハ好結果ヲ來ス。

冬季ノ征戰ハ、常ニ軍隊ノ抵抗力ニ對シテ、嚴シイ試練デアアル。特ニ不良ナ狀況ノ場合ニハ、軍隊ノ維持ニ對スル願慮ガ、其使用上ノ要求ヲ壓シテ、終ニ其方ガ主トナツテ了フコトモアル。

軍隊ノ戰鬥力ニ特別ノ影響ヲ及ボスモノハ、定員ノ不足デアアル。缺員ヲ補充シ得ヌコトニナレバ、忽チ其師團ハ、兵力ヨリ見レバ、微弱ナル旅團若シクハ聯隊トナツテ了フ。而カモ尙ホ依然トシテ其名ニ對シテ一定ノ意味、一定ノ要求ガ付イテ居テ離レヌカラ、單ニ師團ヲ數ヘテ要求サレ、戰爭ノ末期ニモ其初期ト同一ノ任務ヲ課スルノ弊ニ、陥リ易イ。之レハ或程度マデハ師團ノ外形上ニ、餘リ大ナル變化ヲ來タシテ居ラヌ事カラ起ル過失デアアル。即チ師團ガ一萬八千ノ兵ヲ有スルトキモ、夫レガ三分ノ一ニ減ジタ場合ニモ、本部ノ數、團隊ノ數、砲數、行李等ハ大體ニ於テ變化セヌノデアアル。兵數ノ減少ノ著シク目立ツノハ、主トシテ歩兵デアアル。現今ハ激戰ニ依ツテ生ズル損害ハ、各兵種其餘リ大ナル相違ガ無クナツタガ、歩兵ハ尙ホ其外ニ激シイ行軍ノ爲ニモ、減員ヲ生ズル。歩兵ハ又前哨及警戒勤務ニ服シ、多クハ敵ニ最モ近ク位置シ、從ツテ他ノ兵種ホドニ、個人ノ安易ヲ圖ルコトガ出來ヌ。之レガ爲メ疾病ニ罹ル者モ多クナル。既ニフリードリッヒ大王モ歩兵ノ兵力ノ減退ヲ嘆ジテ、千七百五十八年ノ冬ニ、フリークニ宛テ、「余ハ我が砲兵ヲ著シク増加シタ。之ニ依ツテ歩兵ノ不足ヲ補フコトガ出來ル。歩兵ノ素質ハ戰爭ノ長引クニ從ツテ、低下スルト、書イテ居ル。

故ニ歩兵ノ本來ノ定員及教育ノ維持ニハ、特別ノ注意ヲ拂フベキデアアル。之レヲ實行シナケレバ、

必然的ニ師團内ノ各兵種間ノ比率ガ、漸次變化シテ來ル。之レト共ニ師團ノ戰鬥力モ亦變ハル。攻撃遂行ニハ、多數ノ精銳ナ歩兵ヲ必要トスル。若シ全體ニ於テ其數ガ過少トナレバ、歩兵ハ終ニ砲兵ノ掩護隊トナツテ了ヒ、會戰ハ砲擊トナリ、大ナル決戰ヲ見ズニ終ル。此ノ現象ハ從來ノ戰役ニ就テ、屢々認め得ル所デアアル。即チ戰爭始期ニハ通常、大規模ノ壯烈ナ會戰ヲ行フガ、戰爭ガ長引クニ從ツテ、其勢ガ漸次衰退スルノガ、普通デアツタ。此ノ特色ガ、世界大戰ニ於テ聯合軍側ニハ現ハレズニ寧ロ反對ノ現象ヲ呈シタガ、夫レハ益々有力ナ新式ノ武器ガ發明サレタ爲メバカリデナク、我方敵國側ニ加擔スル國ガ、絶エズ増加シテ、新銳ノ兵力ヲ供給シタコトガ、寧ロ主ナル原因ト見ルベキデアツタ。英佛兩軍ノ勢ガ衰ヘタ時分ニナツテ、米國軍ガ非常ナ勢デ應援シ、數十萬ノ勇敢ナ兵ト、長ク戰場ニ在ル英佛ノ兵ニ勝ル新銳ナ戰意トヲ、戰線ニ注入シ、且ツ英佛兵ヲ勵マシテ、再ビ立ツテ一大努力ヲ試ミサセタ。獨逸軍ハ之レト反對ニ、戰役ノ最後ノ數ヶ月間ハ、敵ノ數上ノ優勢ト、自己ノ武器ノ貧弱トノ爲ニ、益々純然タル防勢ニ立ツコトニナリ、終ニハ其肉體及精神ノ力ノ衰退ニ因ツテ、退却セザルヲ得ナクナツタ。千九百十八年ノ獨逸軍ガ持ツテ居タ武器ヲ、千九百十四年ノ獨逸軍ニ與ヘ、且ツ千九百十八年三月ヨリ開始セル攻撃ヲ、千九百十四年ニ於テ行ハシメタナラバ、必ズ有利ナ局ヲ結び得タデアラウ。四年間モ戰爭ヲ繼續シタ後ノ獨逸軍ガ、尙ホ此ノ如キ任務ヲ負擔シテ、成功スル見込ガ在ツタカ否カハ、大ナル疑問デアアル。何レニシテモ軍隊ノ戰鬥力ノ減退ハ、困難ナ戰爭ヲ

長ク繼續シタ後ニハ、當然起ルモノデアルカラ、此ノ事ハ軍隊ヲ使用スル者ノ、常ニ顧慮スベキモノデアル。

上述ノ如キ次第デアルカラ、國軍ヲ其本來ノ狀態ニ長ク維持スルニ就テハ、有ラン限りノ手段ヲ盡クシ、時ヲ逸セズ、豫メ十分ノ處置ヲ講ジナケレバナラス、必要ヲ感ジテカラ、之ガ救済ニ着手シタノデハ、既ニ遲イ。戰時ニ採用シ得ベキ手段ヲ、平時カラ十分ニ準備シテ置クノガ、最モ良イノデアラウ。然シ之レヲ十分ニ實行シ得ヌノハ、明瞭ナ事デアツテ、如何ニ富裕ナ國民ト雖モ、到底其經費ニ堪ヘルモノデハナイ。ソコデ少ナクトモ最初ノ必需品ヲ整ヘルコトニシ、動員セル軍ヲ二、三ヶ月間支フベキ被服、金錢、兵器、彈藥及糧食ヲ貯ヘ置キ、尙ホ其後ニ實行スベキ計畫ヲ立テ、置ク外ニ良法ガ無イ。然シ戰時ニハ總テノ事柄ガ不確實デアルカラ、何レノ時期ニ如何ナル方針ヲ以テ、新タナ準備ニ着手スベキカニ就テ、適切ノ時機ヲ選定スルノガ、容易デナイ。戰役ノ繼續期間デサヘモ、之ヲ豫見スルコトガ困難デアル。現ニフリードリツヒ大王ガ千七百五十六年ニザクセンニ進軍シタ時ニハ、マサカ七年モ戰地ニ居ラウトハ、想ハナカツタニ相違ナイ。千八百五十六年ノ普埃戰爭ノ時ニハ、經驗ヲ積ンダ人々モ、「此ノ戰ハ略ボ同等ノ兩軍ノ間ニ行ハル、ノデアルカラ、先ヅ數ヶ月、事ニ依ルト一年ハカ、ルト、見込ヲ立テ、出征シタノデアアル。又千八百七十年ニハ戰爭ノ經過ガ迅速且ツ有利ナルヲ見テ、冬ニ入ラス内ニ、凱旋ガ出來ルモノト、信ジタノデアアル。千九百十四年ニモ似タ

狀況デアツタ。文明國民ハ長ク戰時狀態ヲ持續スルニ堪ヘヌカラ、現代ノ戰爭ハ短時日ノ間ニ終結スルモノト、一般ニ確信シテ居タ。獨逸ヲ始メ敵國側デモ、此ノ考ヲ基トシテ、戰爭準備ヲ限定シタノデ、非常ニ不完全ナモノトナツタ。例ヘバ砲兵ノ彈藥ノ準備ニ於テ、各交戰國共甚ダシキ誤算ヲ爲シタコトハ、周知ノ事實デアル。ソコデ有効ナル手段ヲ取ツテ、其缺點ヲ補フコトニシタ。獨逸ノ軍事當局者ノ行ツタ補給上ノ功績ハ、永ク歴史ニ傳フベキモノデアアル。常ニ準備ノ適切ヲ期スル爲ニハ、交戰兩者ノ真相ニ就キ、諸種ノ方面カラ判斷シ、且ツ精細ニ觀察スル必要ガアツタノデ、戰場ニ立ツ統帥部ト、内地ニ在ル陸軍省トノ間ノ密接ナル連繫ノ下ニ、之ヲ實行シタ。而シテ軍事當局者カラ政府ノ當局者ニ向ヒ、再ビ警告セルニ拘ハラズ、戰爭間ノ國民ノ食料供給ニ對スル準備ガ、等閑ニサレタコトガ、戰爭ノ經過ニ多大ノ不利ヲ來シ、之レガ爲メ敵ノ食料封鎖ノ計畫ヲ、著シク容易ナラシメタノデアアル。

軍ニ人員、戰用器材及各種ノ糧食等ヲ絶エズ補充スルト共ニ、尙ホ軍ノ兵力ノ減損ヲ豫防スル爲メニ、有効ナル保健上ノ施設ヲモ必要トスル。傷病兵ヲ滿載シタ列車ガ、毎日内地ニ向ヒ、而カモ此ノ缺ヲ補フベキ補充員ノ到着ガ少數デアリ、且ツ何等ノ對策ヲモ講ゼラレヌノヲ見ルノハ、實ニ心細ク感ズルモノデ、彼ノチエルザレムヲ攻メタサンヘリブノ軍ノ故事ヲ、想ヒ出サ、ルヲ得ナクナル。戰時ニ疾病ニ依ツテ生ズル損失ハ、(大ナル傳染病ノ無イ時デモ)、通常死傷者ヨリモ多イ。世界大戰中

獨逸軍ノ衛生勤務ハ、從來ノ戰役ト同様ニ、(歐羅巴ノ戰場デハ)克ク傳染病ノ豫防、若シクハ其初期ニ於ケル撲滅ニ成功シタ。夫レニモ拘ハラズ疾病ニ依ル損失ハ莫大ナモノデアッタ。普佛戰役ノ時ノ入院患者ハ、傷者十萬、病者四十萬デアツテ、病者ノ入院日數ハ平均二十日間デアツタ。之レヲ總括スレバ、十二軍團ノ兵ガ二週間病氣ノ爲ニ缺ケタ結果トナル。世界大戰ニ於テハ到底比較ニナラスホドノ數ニ達シテ居ル。

獨逸軍中殊ニ風土ノ變ツタ所デ戰ツタ軍隊ガ、病氣ニ惱マサレタ。就中土耳其及マケドニアニ派遣シタ部隊ニ於テ甚ダシク、「マラリア」「チブス」「バラチブス」赤痢等ノ患者ガ續發シテ、殆ンド戰鬪ニ使用シ得ヌヤウニナツタ。總員ノ半數ガ入院シ、殘餘ノ者モ大ナル要求ヲ爲シ得ヌ状態ニ陥ツタ。此ノ如キ場合ニハ爲シ得レバ、軍隊ヲ使用スルニ先チテ、兵站ヲ設ケ、其所デ軍隊ヲシテ事情ノ許ス限リ、從來ノ習慣ニ近イ生活ヲサセルコトヲ、努ムベキデアアル。例ヘバスエズ運河ニ對スル獨逸軍ノ遠征ハ、長イ輸送路ニ滯滞ナク、前進ヲ行ヒ得ル如キ設備ヲ爲セル後ニ、之ヲ實行スベキデアリ、又軍隊ニハ其途中及目的地ニ於テ、從來通りノ糧食ヲ供スベキデアツタ。然ルニ實際ハ此レ等ノ處置ヲ取ラズシテ、一部ノ隊ノ如キハ往々一週間以上モ瘴癘ノ地ニ停止シ、且ツ兵卒ノ好マヌ土人ノ食料ヲ供シタ。此レガ爲メ、戰線ニ到着シタ時ニハ、既ニ甚ダシク人員ヲ減少シテ居タ。

自己ニ對抗スル敵ノ特色モ亦、漸次我が軍隊ノ全般ノ戰鬪法ニ、或程度ノ影響ヲ及ボスモノデア

ル。精銳ナ軍ト雖モ、長イ間劣敵ト戰ツテ居レバ、其能力ガ低下スル。歐羅巴諸國ノ軍隊ガ殖民地ノ戰爭ニ於テ實行スル如ク、武裝ノ貧弱ナ島合ノ兵ニ對シテ、容易ニ勝利ヲ得テ居ル内ニハ、其軍隊ハ自然自己ノ能力ヲ過信シ、兵卒ノ心ガ驕ツテ、怠慢ノ風ガ増長スル。然ルニ其軍隊ガ若シ、戰爭ヲ猛烈且ツ適切ニ實行スル敵ト對戰スルニ至レバ、忽チ其缺點ガ現ハレテ來ル。世界大戰ニ於テ獨逸側ニ於テハ、所謂「西方師團」ト「東方師團」トノ間ニモ、若干ノ差別ガアツタ。固ヨリ露兵ハ勇敢ニシテ且ツ熟練シタ敵デハアツタガ、西方戰場ノ敵、殊ニ佛軍ホドニ、適切且ツ有效ニ相手ヲ擊破スル如ク、戰爭ヲ遂行スルノ道ヲ解シテハ居ナカッタ。ソコデ「東方師團」、即チ長イ間露軍ト戰ヒ、且ツ西方戰場ノ經驗ナキ師團ガ、西方戰場ニ來タ時ハ、其ノ狀況ニ適應スルコトガ、容易デナカッタカラ、止ムヲ得ズ當分ハ輕易ナ任務ヲ課シタノデアアル。

或ル國軍ガ一ツノ征戰ヲ終ヘ、其精力ガ若干減退シアル時ニ、又第二ノ新銳ナ敵ト對戰スルコトニナツタ場合ニハ、至難ナル試練ニ遭遇スルモノデアアル。ブルガリア軍ハ千九百十二年ノ第一次巴爾幹戰爭ニ於テ、土耳其ニ對シ如何ニモ勇敢ニ奮闘シタノデアアルガ、其直後ニ再ビ從來ノ同盟國ト戰フタ時ニハ、十分ナ働ガ出來ナカッタ。勿論始メノ戰爭ノ時、就中チャタルデヤノ戰線ノ損害ガ甚大デアリ、又形勢ノ突然ノ變化ガ、軍ニ取ツテ全ク不意打チデアツタ。即チ勝利ノ當然ノ榮冠ヲ手ニシテ、將ニ休養セントスル時ニ、更ニ一層重大ナル戰ヲ交ヘネバナラスコトニナツタ。新敵ノ出現ハ殊ニ其

意氣ヲ鎖沈サセル原因トナリ、セルビア及ギリシャトノ交戦中、背後ヲルーマニアニ衝カル、ニ及ビ忽チ劍ヲ抛ツニ至ツタノデアル。又獨逸軍隊デハ各人ガ皆、萬一東西ニ敵ヲ受ケテ戦フ場合ニハ、先ヅ一方ノ敵ヲ撃破シ、然ル後ニ他ノ軍ニ向フコトヲ承知シテ居タ。即チ二ツノ任務ヲ最初カラ覺悟シテ居ツタカラ、第二段ノ行動ニ移ル際ニモ、別ニ精神上ノ惡影響ヲ被ムラナカツタガ、其後ニ續々新敵ガ現ハル、ニ至ツテハ、流石ノ獨逸兵モ無關心デハ居ラレナクナツタ。敵ガ多クナルダケ、夫レニ勝ツ吾々ノ名譽モ増ス」ト云フ慰メハ、増大スル危險ニモ堪ヘ得ルト云フ自信ノ有ル間ダケノ事デアツタ。葡萄牙兵ノ西方戦線ニ出陣シタ事ハ、寧ろ滑稽ニ感ジ、伊太利ノ參戰ニモ左程驚キハシナカツタガ、米國ノ新銳ナル師團ガ、續々戦線ニ現ハル、ニ至ツテ、剛勇ナ士ト雖モ、最早自己ノ力ニハ及バヌト云フ、稍々悲觀的ノ感ジヲ起スニ至ツタ。

第十五節 要塞ノ效力

要塞ガ普通ノ戰場ニ於ケル戦争ノ經過ニ及ボス影響ニ就テ、概略ノ研究ヲ試ミタイ。元來要塞ハ主トシテ重要地點ヲ確實ニ占有スル爲メニ設ケルモノデアアル。殊ニ敵ノ攻撃ヲ受ケ易イ首都ノ如キガ、即チ夫レデアアル。又交通線ノ閉塞ノ爲メニモ要塞ヲ設ケル。尙ホ廣イ地域ニ亘ル堡壘ノ援護ノ下ニ渡河ヲ實行シ得ンガ爲メニ、渡河點ニ要塞ヲ設ケル。軍隊及艦隊ノ戰鬥力維持ノ爲メニ必要ナル工場及

兵器彈藥ノ貯藏所ヲモ、永久築城ヲ以テ之ヲ保護スル。軍港モ亦艦隊ノ根據地トシテ、防禦設備ヲ施スベキハ勿論デアアル。遠隔シタ地方ノ攻撃ヲ受ケ易ク、且ツ其位置ノ關係上、有力ナ兵力ヲ送り難イ所ニモ、大ナル要塞ヲ設ケル。若シ此ノ如キ土地ニ、設備ヲ施サナケレバ、容易ニ敵ノ爲ニ占領サレル。例ヘバ東普魯西ハケーニヒスベルヒヲ保有スル間ハ、決シテ敵ノ手ニ落チヌデアラウ。其他尙ホ内亂ニ際シ、政府ハ危險ノ場合ニ、其位置ヲ防禦工事ヲ施シタ都市ニ移シ得ルカラ、之レガ多大ノ意味ヲ持ツコトニナリ、兎ニ角要塞ノ占有ニ依ツテ、安寧及秩序ノ回復ヲ容易ニスル。

要塞ハ此ノ如キ利益ガアルガ、然シ要塞ヲ餘リ多ク設ケテ置クト、其國ノ武力ヲ増進スルヨリモ、寧ろ夫レヲ弱メルコトニナル。元來一國ノ武力ハ主トシテ野戦軍ニ存スルノデアツテ、其兵力及器材ヲ各要塞ニ割クノハ、考慮スベキコトデアアル。防禦工事ノ過度ノ施設ハ、其源ヲ詮セバ、弱者タルノ感ジカラ起ツテ來ルノデアアル。苟モ攻撃精神ニ富ム國民ハ、要塞設備ヲ適度ニ止メルデアラウ。障礙物ト防禦工事トニ依頼スル者ハ、己レノ力ヲ恃ム心ガ乏シク、防禦ニノミ偏シ、假令其生命ヲ延バヌコトハ出來テモ、結局ハ戦敗ヲ招クコトニナル。少數ノ而カモ優秀ナル要塞ヲ備フルノガ、最モ良イノデアアル。

要塞ハ野戦軍ニ多大ノ利益ヲ與ヘル。之レガ開進地域内ニ在レバ、其勢力内ノ軍隊ガ、過早ニ敵ノ攻撃ヲ受クルコトヲ防止シ得ル。規模ガ大キク、其堡壘ガ諸方向ニ分派サレテアレバ、右ノ効果ハ益

々増進スル。運動及戰闘間ニハ、要塞ハ一翼ノ依托物トシテ、甚大ナル効用ヲ爲ス。但シ其際ハ必ズシモ直接ニ、夫レト相接觸スル必要ハナク、野戰軍ト要塞トノ間ニ間隙ガ在ツテモ少シモ差支無イ。敵ガ其中ニ侵入シテ來ルコトハ、容易ニ出來ルモノデナイ。之ヲ敢行シタ敵ガ如何ナル危険ニ陥ルカハ、千九百十四年九月上旬ニクルツク軍ガ、巴里ノ東方ヲ通過シテ英佛軍ノ左翼ノ包圍ニ着手セントシタ場合ノ状態ガ、良ク之ヲ説明シテ居ル。防者ハ此ノ如キ空隙ヲ利用シテ、著シク廣イ正面ヲ抑ヘルコトガ出來ル。又其豫備ヲ置クベキ場所モ最初ヨリ豫定シ得ル。若シ兩翼ヲモ強固ナ要塞ニ依托シ得レバ、少ナカラザル利益ヲ生ズル。デヨツフル元帥ハマルヌ會戰ノ際、之ヲ利用シテ多大ノ成功ヲ收メタノデアアル。

河川ニ沿ヘル要塞ハ、既ニ從來ノ戰役ニ於テモ、屢々重要ナ役目ヲ果シテ居ル。之ヲ有スル軍ハ兩岸ヲ制シ、其何レノ岸ニ於テモ、全兵力ヲ以テ、敵ノ分離セル兵力ヲ迎ヘルコトガ出來ル。敵ハ常ニ渡河中ニ攻撃ヲ受ケルコトヲ恐レル。那翁ハオイゲン親王ニ對シ、千八百十三年ノ退却ノ際、キユストリンノ小要塞ヲ、右ノ如キ方法ヲ以テ利用シテ、オーデル河ノ防禦ヲ行ハナカツタコトヲ、激シク非難シ、左ノ如ク述ベテ居ル。

「貴下ガ若シフランクフルトニ向ツテ退却セズニ、キユストリンノ前方ニ停止シタナラバ、敵ハ左岸ニ渡ルベキカ、否カニ就キ、大ニ迷フタニ相違ナイ。之ニ依ツテ貴下ハ少クトモ、二十日ヲ贏

チ得タデアラウ。」

會戰中後方ニ大ナル要塞ヲ有スルコトハ、或程度ノ安心ヲ與ヘル。萬一退却スル場合ニハ、夫レニ依ツテ敵ノ追撃ヲ有効ニ阻止スルデアラツ。而シテ敗退者ガ更ニ其後方ニ於テ陣地ヲ占メタナラバ、勝者ハ其要塞ニ敵ガ幾何ノ兵力ヲ留メテアルカヲ知ラヌデアラウ。ソコデ止ムヲ得ズ之ニ對スル掩護ノ處置ヲ取り、爲ニ野戰ニ用フル兵力ヲ減ズルコトニナル。自由ノ地位ニ在ル敵ノ要塞ヲ、自己ノ背後ニ置クノ不便ハ、千九百十三年ニチャタルヂヤノ戰線ヲ攻撃セルブルガリヤ軍、及千九百十五年ノカルバーテン山地戰中ノ露軍ノ例ニ依ツテ、之ヲ知ルコトガ出來ル。前者ハ土耳其兵ノ維持シタアドリアノーブル要塞ノ爲メ、後者ハ奧國兵ノ勇敢ニ守備セルブルゼミスルノ要塞ノ爲メニ、戰線ヘノ輸送ニ著シキ困難ヲ感ジタ。

要塞及野戰軍間ノ諸種ノ交渉ニ於テ、野戰軍ガ要塞ニ入り込ンデ了フコトハ、如何ナル場合ニモ之レヲ避ケネバナラス。單ニ其所ヲ通過スルコトモ、(動々モスレバ自己ノ意志ニ反シテ、夫レニ引キ止メラレルカラ)甚ダ危険デアアル。然シ渡河ノ如キ場合ニハ之ヲ避ケル譯ニハ行カス(此ノ場合ニハ右ノ如キ憂ハ少ナイ)。大軍ガ會戰ニ敗レテ、孤立要塞ノ一ツニ封鎖サレバ、殆ンド皆敗滅ニ歸スルコトハ、アレシアヨリメツツニ至ル諸ノ攻城戰ノ長イ歴史ガ、良ク立證スル所デアアル。尙ホ今日ニ於テハ、此ノ如キ軍ヲ保護スルニ足ルホドノ要塞ハ、實際ニ存在セヌノデアアル。以前ニハ軍ガ其所デ多少

敵ノ攻撃ヲ避ケ得タガ、將來ハ到底問題トナラヌデアラウ。世界ニ現存スル要塞ハ、一ツトシテ重平射砲ノ射彈ヲ避ケ得ル如キ場所ヲ、有スルモノガナイ。尙ホ其上ニ敵ノ飛行機ガ、休憩スル軍隊ヲ絶エズ不安ニ陥レルデアラウ。舊式ノ要塞、即チ大概人口ノ多イ都市ヲ圍壁ヲ以テ包ミ、其前方ニ分派堡ヲ設ケタモノハ、今日ノ見地ヨリスレバ、大兵團ノ滞在地トシテハ、頗ル不利ナ所デアアル。現今ハ總テ人員器材ヲ狭小ナル地域ニ集ムルコトヲ嚴禁シ、凡ラユル遮蔽物ヲ利用シ、且ツ防禦工事ヲモ成ルベク秘匿スル。尙ホ游動性ヲ有スルコトガ、防禦ニ取ツテ主ナル要求トナツタ。然ルニ此レ等ノ事ハ要塞ノ中デハ、殆ンド問題トナラズ、而シテ其中ニ封鎖サレタ軍ノ兵力ガ多クサルホド、敵ノ砲兵及爆撃機隊ノ爲メニ、益々密集シタ好目標ヲ與ヘルコトニナル。而シテ瓦斯射撃ハ特ニ有害ナル影響ヲ及ボスデアラウ。

其外ニ尙ホ、封鎖サレタ軍ガ受ケル昔カラノ困難ガ、依然トシテ存在スル。先ヅ第一ニハ、既ニ要塞外デ敵ノ優勢ナコトヲ認メタ所ノ軍ガ、敵ト雄雄ヲ決スル爲メニ、確信ヲ以テ之レニ向フコトガ、出來ヌデアラウ。次ニハ堡壘ノ内方ニ封鎖サレタ軍隊ハ、運動ノ自由ヲ有シナイ。堡壘トノ間ニハ集團家屋、庭園、障壁、各種ノ植物ガ一杯ニアル。從ツテ軍隊ハ、出撃ノ爲メニ多少其道路ヲ利用スル必要ヲ生ジ、其戰鬪展開ハ緩漫トナル。又堡壘ノ内方ノ兵力ノ配置等ハ、攻者ノ繫留氣球及飛行機ヲ以テ容易ニ之ヲ認知スルコトガ出來ル。從ツテ攻圍軍ハ常ニ時ヲ逸セズ、突破點ニ十分ノ準備ヲ整ヘ

ルコトガ出來ルデアラウ。而カモ尙ホ敵ノ圍ヲ突破スルコトガ絶對ニ出來ヌコトハ無イ。但シ攻圍軍ハ攻撃ヲ受ケタ部分ニ向ツテ、其隣接セル部分ヨリ兵ヲ送ツテ、突破軍ノ側面ヲ衝クカラ、復タ又タ困難ニ陥ル。而シテ交戰部隊ガ更ニ進ンデ、敵ノ攻圍線外ニ進出シ得タ場合ニモ、行李ヲ跟隨サセルコトハ出來マイ。之レガ無クテハ、長ク戰鬪力ヲ保有シ得ヌ。

右ノ如キ次第アルカラ、包圍サレタ要塞カラ、大部隊ガ出撃シテ成功シタ例ハ、極メテ稀デアツテ、多クハ外部カラノ有力ナル救援隊ノ協力ヲ必要トシタ。

相互ノ間ニ組織的連撃ヲ有シ、且ツ夫レニ依ツテ或地方ノ全體ヲ、敵ガ侵入シ得タ如ク閉鎖スル所ハ、數多ノ要塞ハ、孤立ノ要塞ヨリモ、野戰軍ヲ利スル力ガ著シク勝ツテ居ル。(但シ此ノ如キ種類ノ要塞ヲ以テ、周圍ヲ悉ク取り圍ムコトハ、殆ンド不可能ニ近イデアラウ)。此ノ如キ地方ヲ利用スル所ノ野戰軍ハ、其力ニ依ツテ、敵ノ包圍ヲ絶對ニ避ケ得、而カモ其運動ノ自由ハ、増大スル。此ノ場合ニハ敵ノ一部ヲ引キ着ケル所ノ要塞ニ依托シテ、應戰スルコトモ出來、又成功ノ見込ノ立ツタ時ニ、要塞線外デ戰鬪ヲ交ヘル目的ヲ以テ、種々ノ方向ニ向ツテ出撃スルコトモ出來ル。伊太利及ブルガリヤノ「要塞」形ガ、數次ノ戰役ニ現ハシタ働ハ、人ノ良ク知ル所デアアル。又ヴエルダン、ベルフオールノ間ニ佛國ノ大要塞ガ、大戰當初ノ策動ノ進展ニ及ボセル影響ニ就テハ、前ニ述ベタ通りデアアル。

阻止要塞(堡壘)ノ線ノ力ニ依ツテ、敵軍ノ前進ヲ有効ニ支ヘルコトガ出來ル。佛國ハアロ二州ノ國境ニ沿フテ、此ノ種ノ設備ニ着手シタ。又露國ノブーグ——ナレウノ線ノ防禦設備モ亦、之レニ似タ性質ヲ以テ居ル。瑞西ガ山中ノ隘路ニ設ケタ堡壘モ、之レニ類スルモノデアアル。此ノ種ノ防禦設備ノ利益ハ、野戰軍カラ多クノ兵力ヲ奪ハヌ點ニ存シ、其不利ハ防禦ニ當リ多數ノ要塞司令官ト、個々ノ小守備隊トガ、相併立セル點デアアル。勿論阻止要塞ノ線ガ、完全ナ意義ヲ發揮スルノハ、野戰軍ガ之レト密接ナル連繫ヲ保ツテ、之レヲ利用スル時デアアル。此ノ場合ニハ各堡壘ハ、野戰軍ノ戰線内ノ支掌點トナル。其中間ノ土地ノ維持ニ使用スル軍隊ハ、野戰カラ除外サル、コトハナク、又包圍ヲ受クル危険モナイ。將來ニ於テモ防禦工事ヲ施シタ線ハ、必ズ利用サル、デアラウ。固ヨリ其各堡壘ハ從來ノ如ク胸墻ト壕トヲ以テ取圍マズシテ、單ニ裝甲砲塔、「ベトン」製ノ機關銃ノ巢及障礙物ヲ用ヒ、此ノ如キ組織ノモノヲ縱ニ深ク各所ニ配置シ、且ツ成ルベク敵眼ニ觸レヌ如ク設置スルデアラウ。瓦斯戰ノ信者ハ、此ノ設備ニ代フルニ、通過シ難キ毒瓦斯ノ壁ヲ設ケンコトヲ希望スルガ、假令永續的効力ヲ有スル瓦斯ヲ發見シ得タトシテモ、扱テ其瓦斯ヲシテ、流動スル大氣ノ中ニ於テ、如何ニシテ一定ノ場所ニ永ク固定シ置ク力ガ、解キ難キ謎デアアル。若シ夫レガ強風ノ壓迫ヲ受ケテ、國內ニ向ツテ動キ出シデモシタナラバ、敵ハ拊舞シテ喜ブ事ニナルデアラウ。

世界大戰ニ於テ要塞ガ演ジタ役目ヲ觀察スルト、先ヅ其經驗ガ全然相反對シテ居ルコトガ目ニ留マラル。余ハ前ニ佛英軍ガ開戰ノ當初、北部佛蘭西ノ適切ナル要塞設備ニ依リ、多大ノ利益ヲ得タコト、並ニマルヌ會戰中ニ於ケル巴里及ヴェルダン要塞ガ兩翼ノ依托トシテ、至大ナル意義ヲ發揮シタコトヲ指摘シテ置イタ。若シ戰地ニ一方軍ノ利益ノ爲メニ、此ノ如キ強固ナ防禦工事ガ存在シテ居ナカツタナラバ、戰役ノ經過ハ全然變化シ、獨逸ニ有利ナ形勢ヲ展開シ得タコトハ、疑ヲ容ル、餘地ガ無いニコライ太公ノ獨逸第九軍ノ左翼ニ對スル突進ハ、同軍ノ退却ヲ來サシメ、且ツ露國ノ大軍ノポーゼン及シンデア蹂躪ノ端緒トモナツタノデアアルガ、此ノ突進ハモドリン及ワルシヤウノ堡壘ノ掩護ノ下ニ、ワイクセルノ渡河ニ成功シタ爲メニ、助成サレタノデアアル。

然シ他ノ一面ニ於テハ、多數ノ要塞ハ所期ノ效果ヲ擧ゲ得ナカツタ。リエーデナムール及アンヴェルスハ、何レモ數日ニシテ陥落シ、モーブーデーノ抵抗力ハ更ニ一層少ナク、ユイデナン及ギヴェノ如キ阻止要塞ハ、苦モナク獨逸軍ノ手ニ落ちタ。東方戰場ニ於テモ亦、之レニ似タモノデアツテ、一度露軍ノ攻撃力ガ挫折シタ後ニハ、波蘭土ノ戰地ニアツタ多數ノ要塞ハ、露軍ヲシテ長ク止マラシムルコトガ出來ナカツタ。モドリン及ワルシヤウノ堅塞モ數日ニシテ陥落シ、多數ノ獲物ヲ敵ニ與ヘ、デユベルグ——ミンスク——コウノ沼澤地ノ後方ニ至ツテ、始メテ停止スルコトガ出來タノデアアル。

正式ノ攻圍(正攻法)、即チ攻者ガ先ヅ要塞ヲ包圍シ、防者ノ前哨線ヲ堡壘線ニ擊退シ、次デ選定セラル攻撃正面ニ砲兵ノ開進ヲ設備シ、其際伴攻ヲモ他ノ正面ニ行ヒ、又歩兵ノ交通壕ヲ前方ニ進メ、遂

ニ砲戰ニ勝利ヲ占メ、且ツ一若シクハ若干ノ堡壘ヲ奪取シタル後、本來ノ要塞ニ向ツテ突撃ヲ實行スルノ方法ハ、大戰中ニ一度モ實現シナカッタ。唯ダブルセミスルノミハ攻圍サレタガ、其陷落ハ糧食缺乏ノ爲メデアル。之レヲ數ヶ月モ支ヘ得タノハ、防者ガ勇敢デアツタノト、露軍側ニ最大重砲ガ無カッタ爲デアル。ヴエルダンハ數百軒ニ亘ル戰線上ノ、特ニ堅固ナル支掌點ガアリ、又其後方ガ開放サレテ居タノデ、獨逸軍ハ之ヲ奪取スルコトガ出來ナカッタ。

以上ノ事實ニ依ツテ現在ノ舊式堡壘ハ、價值ガ少ナイコトガ分カル。何レノ野戰軍モ、之レヲ壓倒スルニ足ルダケノ兵器ヲ持ツテ居リ、其攻略ハ野戰陣地ヨリモ、容易デアル。故ニ從來ノ習慣ニ依ツテ、人員及材料ヲ其所ニ集メルコトヲ避クベキデアル。然ラザレバ其人員ヤ材料ハ、容易ニ敵ノ手ニ入ルコトニナル。

之レニ反シテ新式ノ要塞、即チ裝甲砲塔、「ベトン」製ノ匿シタル支掌點、強固ナル障礙物等ヲ、豊富ニ使用スル所ノ要塞ハ、將來ニ於テモ大ナル價值ヲ有スルモノデアル。此ノ如キ要塞ヲ攻略スルニハ、野戰軍ノ器材デハ間ニ合ハヌカラ、攻城材料廠ヲ招致スル必要ガアル。此ノ事ガ既ニ防者ニ取ツテ極メテ有益デアル。加之攻者ハ其兵力ノ一部及器材ヲ、此ノ新任務ノ爲メニ固定サレ、從ツテ之レヲ決戰ニ用ヒ得ヌコトニナル。此ノ種ノ要塞ノ抵抗ハ、敵ヲシテ之レヲ攻略スルニ要スル期間ヲ、他ニ利用シ得シメヌ點ダケデモ有利デアル。

要塞ガ若シ孤立セズニ、要塞ノ系列(體系)ノ一部ヲ爲シテ居レバ、其價值ハ將來ニ於テモ一層高マルデアラウ。此ノ如キ要塞ヲ野戰軍ガ巧ニ利用スレバ、即チ野戰軍ノ力ニ要塞ノ力ヲ併用シ、而カモ夫レガ爲メニ作戰ノ運動性ヲ奪ハレヌ如クスレバ、將來ノ戰爭ニ於テモ亦、要塞ノ効果ヲ收メ得ルデアラウ。

要塞ノ攻撃ニハ、種々ノ方法ヲ取り得ル。之レニモ決シテ一定ノ型ハ無イ。其場合ノ狀況ニ依ツテ前進法ヲ定ムベキデアル。

千九百十四年八月六日ニリエーデ行ツタ如ク、白兵戰ニ依ツテ要塞ヲ陥ルコトガ出來ル。即チ突然要塞ヲ襲ヒ、準備砲火ヲ行ハズニ、外側ノ堡壘(分派堡)ノ間ヲ通過シテ、内部ニ侵入スルノデアアル。然シ此ノ如キ前進法ハ、特殊ノ場合、殊ニ複郭ノ無イ場合デナクバ、成功セヌ。復タ防者ガ要塞ニ所要ノ防衛設備ヲ施スノ暇ノ無カッタ場合ニモ、之レヲ實行スルコトガ出來ル。蓋シ一流ノ要塞ト雖モ平時カラ防禦設備ヲ完成シアルモノハナク、各所ニ非常ナ作業ヲ行フ必要ガアル。何レノ要塞ニモ十分ノ點ガアリ、平時ニハ夫レニ手ヲ下シ難ク、其完成ヲ戰時ニ讓ツテアル。單ニ射界ノ清掃ノ事ヲ考ヘタダケデモ分ル。之レニハ往々全住民地又ハ森林ヲ取り除ク必要ガアル。又障礙物ヲ増加シ、若シクハ新設シ、壕ヲ開キ、多數ノ砲兵陣地、散兵壕及掩蔽部、道路及野戰鐵道ヲ構築シ、遮蔽物ヲ設ケ、各種ノ集積所、材料廠、病院等ヲ設ケル必要ガアル。此レ等ノ要求ニ應ズル爲メニハ、百千ノ作

業ヲ必要トスル。此ノ緊急配備作業ガ完了セヌ内ハ、要塞ハ其軍事上ノ眞價ヲ完全ニ發揮スルコトガ出來ス。奇襲ハ之レニ非常ナ危険ヲ與ヘル。又其主ナル豫備隊ガ野戰ニ參加スル爲メ要塞外ニ在ツテ且ツ戰爭ノ經過中ニ要塞ヨリ砲其他ノ器材ヲ屢々野戰軍ニ取ツタ場合ニモ、奇襲ヲ猛烈ニ行ツテ、成功ヲ收メルコトガ出來ル。

此ノ如キ攻撃法ガ成功スル見込ノ無イ場合ニハ、攻者ハ不意ニ強大ナル砲兵ヲ使用シ、且ツ同時ニ歩兵攻撃ヲモ行ヒ、以テ敵ヲシテ整然タル防禦ヲ行フベキ時間ヲ與ヘヌヤウニシテ、目標ニ到着スルノ決心ヲ定ムベキデアル。小要塞若シクハ人口ノ多數ノ都市ヲ、包括スル要塞ニ向ツテ、砲及飛行機ヲ以テスル猛烈ナル砲撃ヲ行ヘバ、其精神ニ及ボス効果ニ依ツテ、防者ヲシテ忽チ屈服セシムルコトガ出來ル。尙ホ他ノ方法ニ兵糧攻^セノ手段ガアル。攻者ニ要スル砲兵ヲ持タヌ時ニハ、此ノ方法ヲ採ルデアラウ。此ノ場合ノ成功ハ、要塞内ノ糧食準備ノ程度ニ依ル。

其外ニ尙ホ計畫的攻撃(正攻法)ガアル。其經過ノ概要ハ前ニモ一言シタ所デアアル。此ノ方法ハ、他ノ手段デハ成功ノ見込ノ立タヌ時ニ限ツテ、問題トナル。之レニ要スル人員、器材ハ、國軍ノ統帥部以外ニハ無イ。其所デ十分研究シテ、正攻ノ決心ヲ定メタ後ニ、之レガ命令ヲ下スノデアアル。

指揮官ハ要塞若シクハ防禦工事線ノ價值ハ、通常夫レガ、彼我ノ野戰軍間ノ戰鬪經過ニ及ボシ得ル影響ノ大小ニ依ツテ、上下スルコトヲ常ニ承知シテ居ラネバナラヌ。故ニ必ズシモ其攻略ニ着手セズ

トモ、單ニ外部ニ對スル働ヲ阻止スレバ足リルコトガ、往々アル。戰爭目的ガ是非共之ヲ奪取スル必要ヲ認メタ場合ニ限り、之レニ必要ナ多大ノ兵力及器材ヲ使用スル價值ガ生ズルノデアアル。例ヘバ佛國ハ巴里ヲ維持スル間ハ、決シテ屈服セヌデアラウ。之レヲ屈服サセルニハ、今日ニ於ケル世界ノ最大且ツ最強ノ要塞タル此ノ首都ヲ、陥レル必要ガアル。

以上述べた所ニ依ツテ、要塞防禦ノ指揮ノ主ナル着眼ハ、自ラ分ツテ居ル。敵ノ攻圍ヲ受ケヌ要塞ハ、其職能ヲ誤ツタモノデ其中ニ固定サセタ兵力ハ、戰爭ノ遂行ニ貢獻シ得ヌコトニナル。故ニ要塞司令官ハ野戰軍ノ戰鬪ガ、多少デモ自己ノ手ニ届ク所ニ行ハル、場合ニハ、其戰鬪ニ自ラ攻勢的ニ參加スルコトヲ努ムベキデアル。夫レニハ強襲ニ對シテ堡壘ヲ防禦スル爲メニ、絶對ニ必要ナル守兵以外ノモノヲ、之レニ使用スル。而シテ其企圖ヲ實行スルニ當ツテハ、其使用シタ兵力ヲ要塞外ニ壓迫サレヌ如ク、行動スベキコトハ、言フ迄モナイ。右ノ如キ處置ニ依ツテ、敵ヲシテ止ムヲ得ズ其要塞ヲ攻撃スルニ至ラシメタナラバ、要塞司令官ハ自己ノ本軍ノ爲メニ、多大ノ貢獻ヲ爲スノデアアル。即チ少數ノ兵力ヲ以テ、優勢ナル敵ヲ抑留シ得ルノデアアル。防者ハ要塞ノ砲兵ガ協力シ得ル所ニ、外側陣地ヲ占領シ、之レヲ爲シ得ル限り維持スベキデアル。其以後ハ尺寸ノ地、一個ノ防禦設備ヲモ、死力ヲ盡クシテ防衛セネバナラヌ。包圍ヲ受ケタ要塞ノ糧食ハ、今日ノ空中ノ經路ニ依ツテ、之レヲ補充スルコトモ出來ル。

第十六節 海外ノ企圖

世界大戰ニ於ケル獨逸ノ戰敗ハ、制海權ノ決勝的價值ニ就テ、新タナ證據ヲ提供シタモノデアアル。英國海軍ノ爲メニ、海外諸國トノ連絡ヲ悉ク遮斷サレタコトガ、戰敗ノ第一ノ原因デアリ、協商國ニ取ツテハ、制海權ノ掌握ガ、其終局ノ勝利ニ絶大ノ貢獻ヲ爲シタ。英吉利艦隊ハ其ノ優勢ト、海上ノ戰略的状況ノ巧妙ナル利用トニ依ツテ、獨逸ノ艦隊ヲ北海ニ封鎖シタ。英吉利海峽ノ東口ト、オルクナイ諸島那威海岸間ノ區域トヲ、永續的ニ閉塞シタ爲メニ、潜水艇以外ノ獨逸ノ軍艦ハ、エルベ河口若シクハハーデヨリ外洋ニ出デ、若シクハ同所ヲ經テ歸還スルコトガ、出來ナカッタ。之レガ爲メ英國海軍ハ、所謂「積極的封鎖」ノ努力及危險ヲ犯サズシテ、陸兵ヲ自國ヨリ佛國及白耳義ニ送り、且ツ殖民地軍隊、葡萄牙軍隊及米國軍隊等ヲモ、同所ニ送ルコトガ出來タ。同時ニ獨逸ヲシテ食糧及軍需品ノ製造原料ヲ海外ヨリ得ラレヌ如キ處置ヲ講ジ、以テ自己ノ爲メニ利シ、敵ヲ不利ニ陥ラシムルノ策ヲ取ルコトガ出來タ。

尙ホ英國海軍ハ直接ニ、陸戰ニ參加シタ。即チニユーポール附近デ海岸ニ依托セル英佛軍ノ左翼ノ爲メニ、其前面ノ獨逸軍隊ヲ側方カラ砲撃シテ、多大ノ援助ヲ與ヘタ。又英兵及印度兵ヲ埃及ヨリ出シテ、パレスタイン及シリアノ占領ヲ企テタ時ニモ、同様ノ方法ヲ以テ、之ヲ援助シタ。更ニ其掩護

ノ下ニ、強力ナル佛英軍ガガリポリ附近及マケドニアノ海岸ニ上陸シ、獨逸及其同盟國ヲシテ之レガ防衛ニ多大ノ努力ヲ拂ハセタ。ダーダネル海峽ニ對スル企圖ハ、失敗ニ歸シタガ、サロニカハ決勝的攻勢ノ出發點トナリ、之レガ爲メ四國同盟軍側ノ戰略的地位ヲ覆ヘスニ至ッタ。

獨逸ノ方デハ外交上ノ顧慮カラ「艦隊ヲ講和談判ノ時ニ利用スル爲メニ、之ヲ保存スル」ト云フ方針ヲ立テ、陸軍ト強大ニシテ有利ナル艦隊トノ共同作戰ヲ、斷念シタ爲メ、封鎖ハ終ニ如何トモシ難キ勢力トナツテ了ツタ。此ノ如キ形勢ニ陥ツタ爲メニ、千九百十四年八月一日ニ、敵ノ領海内ニ在ツタ獨逸ノ小艦隊ガ（後ニハ武装シタ商船モ）、敵ノ海上ノ交通ニ對シテ行ツタ活動ノ如キモ、左程形勢ヲ左右スル力ガナカッタ。外洋ノ海岸ニ堅固ナル根據地ト、貯炭所トヲ有シナカッタカラ、此レ等ノ艦船ハ早晚、敵ノ手中ニ落ツベキモノデアッタ。

夫レニモ拘ハラズ、獨逸ハ尙ホ潜水艇ニ依ツテ海上ニ稍々重大ナル結果ヲ招來シ得ベキ見込ガアツタ。然シ此ノ目的ヲ達スルニハ、十分ノ數ヲ有スル時期ニ至ツテ、一舉ニ之レヲ使用シタ方ガ良カツクデアラウ。然ルニ開戰當時ノ獨逸ノ潜水艇ノ數ハ、僅カニ三十餘隻ニ過ギナカッタ。其後新式ノモノヲ數百隻建造シタガ、外交上ノ顧慮カラ、其使用ヲ控目ニシタ爲メニ、徒ラニ敵ニ警告ヲ與ヘ、其防禦手段ヲ大ニ促進スルノ時日ヲ與ヘタ。之レガ爲メ其乘員ガ献身の活動ヲ爲シタルニ拘ハラズ、折角見込ノアツタ此ノ企モ、終ニ好結果ヲ期待シ得ナクナッタ。

獨逸側デハ海戰ノ指揮ニ於テモ亦初期ノ陸戰ニ於ケルト同様ニ、確乎タル適切ナ統率者ヲ缺イテ居
タコトハ、甚ダ遺憾ナ事デアツタ。

本書ノ研究ノ範圍ニ於テ、最モ吾人ノ興味ヲ引クノハ、海外ノ敵地ニ於テ、或計畫ヲ實行スル爲メ
ニ、陸兵ヲ運送船ニ載セ、軍艦ノ援護ノ下ニ送り、之レヲ敵地ニ上陸セシムル所ノ企圖デアアル。

千九百十三年迄ノ歐羅巴戰史ノ中デ、此ノ種ノ企圖トシテ最モ注目ニ値スルモノハ、千八百五十四
年ニ英兵、佛兵サルヂニア兵及土耳其兵十二萬ヲ、クリミア半島ニ送ツタ實例デアアル。當時此ノ舉ガ
成功シテ、露軍ヲ擊破シ、セバストポールヲ陥レタコトハ、世人ノ知ル所デアアル。日本ハ千八百九十
四年ノ支那トノ戰爭及千九百四年ノ露國トノ戰爭ニ、海ヲ越エテ敵ヲ攻撃シテ、勝利ヲ得タ。支那ト
ノ戰爭ニハ六ヶ月ノ間ニ、十二萬ノ兵ヲ露國トノ戰爭ニハ極メテ短時間ニ、殆ンド百萬ノ兵ヲ亞細亞
ノ大陸ニ送り、敵ニ對シテ優勢ヲ占メ得タ。然シ上述ノ場合ハ總テ、海上輸送ノ大困難ハアツタガ、
兎ニ角攻者ノ海上ノ連絡ガ、防者ノ連絡ヨリモ著シク良好デアツタカラ、決勝點ニ於テ常ニ優勢ナ兵
力ヲ集メ得タノデアアル。若シ露國ガクリミヤ戰爭ノ時ニ、現在ノ如キ鐵道ヲ持ツテ居タナラバ、當時
ノ聯合軍ノ如キ能力ノ低イ軍隊ノ爲メニ、左程苦ムコトモナカツタデアラウシ、又タ日露戰役ノ際ニ
當時尙ホ完成ヲ告ゲナカツタ西比利亞鐵道ガ、完全ナ能力ヲ有スル複線デアツタナラバ、日本ハ恐ラ
ク不利ニ陥ツタデアラウ。日清戰爭ハ日本軍隊ノ軍事上ノ價值ト、支那ノ夫レトノ間ニ、著シキ懸隔

ガアツタカラ、普通ノ場合トシテ、之レヲ取扱フ譯ニユカス。亞米利加ノ南北戰爭ニ於テモ、海ヲ渡
ツテノ企圖ガ、勝敗ヲ決スルノ因トナツタ。即チ北方政府ガ、南方政府ノ策源地タリシ港ノ都市ヲ之
レニ依ツテ占有シ、南方政府ハ其回復ノ爲メニ人口稀薄ナル國土ニ於テ、新銳ノ軍ヲ糾合スルコトガ
出來ナカツタノデアアル。

世界大戰ノ當初ニハ、參加國ハ何レモ皆、其敵國海岸ヘノ上陸ノ企圖ヲ、決心シ得ナカツタ。獨逸
トシテハ海上ノ勢力ガ劣ツテ居タ爲メニ、此ノ如キ企圖ハ全然問題トナラナカツタ。然シ協商國側デ
ハ、英國艦隊ノ援護ノ下ニ、一軍ヲ北部シユレスウイツヒニ送り、北海ト東海トヲ連絡スル運河（バ
ルチツク運河）ヲ占領スルコトガ、出來タデアラウ。實際獨逸側ニ於テハ、之レヲ豫期シテ、防衛ノ
諸準備ヲ行ツタノデアアル。之レヲ實行シナカツタノハ、丁度英佛兩軍ガ共同シテ、獨逸ノ最初ノ攻撃
ヲ支ヘ得ルニ過ギヌト考ヘタカラデアアル。當時彼我ノ兩軍ノ勢力ガ平均シテ居タナラ、兵力ニ少シノ
餘裕モ無ク、本來ノ決戰ノ場所カラ遠ク離レテ、不確實ナ海外ノ企圖ヲ行フ爲メニ、假令一時ナリト
モ若干師團ヲ割クコトヲ、敢テシナカツタノデアアル。露國ハワイクセル下流ニ對スル前進ヲ容易ナラ
シムル爲メニ、同所ヲ守ル獨逸軍ノ背後ヲ脅威スル目的ヲ以テ、ボムメルンノ海岸ニ上陸スルノガ、
有利デアツタラウシ、又之レニ使用スベキ軍隊ヲモ、十分ニ持ツテ居タノデアアルガ、遂ニ此ノ舉ニ出
ナカツタ。之レハ主トシテ東海上ニ絶對ニ安全ナ連絡ヲ有シナカツタ爲メデアアルガ、尙ホ獨逸ノ方ニ

モ、上陸シタ敵ノ兵團ヲ擊退スルニ足ルダケノ兵力ガアツタ。各衛戍地ニハ後備隊及兵站部隊ガアリ且ツ近ク戰場ニ使用スル爲メニ、大部隊ノ新設ニモ着手中デアリ、鐵道モ十分ノ餘力ガアツタカラ、上陸兵團ニ對シテ、遠隔ノ地ニアル兵力ヲ、神速ニ送ルコトモ出來タ。從ツテ敵ノ上陸兵團ハ忽チ危險ナ形勢ニ陥ルノデアルカラ、ヤハリ此ノ企圖ヲ行ハヌ方ガ良カツタデアラウ。之レニ當ツベキ兵力ヲ、最初ヨリ主力ト直接ニ連絡シテ使用スル方ガ、其攻撃力ヲ一層増進スルノデアアル。尙ホ又海外ノ企圖ハ、其成果ヲ收ムル迄ニ、多クノ時日ヲ要スルカラ、上陸部隊ガ神速ニ活動シ得ル場合デナクバ、大ナル効果ハ得ラレヌ。

然ルニ其當初ニハ活動力ガ必ズ少ナイモノデアアル。是レハ奇襲的ニ早ク前進スルノニ必要ナル騎兵ガ、乗船及上陸ニ不便ナ爲メニ、之レヲ上院兵團ニ十分ニ與ヘヌカラデアアル。尙ホ新式裝備ノ軍隊ガ携行スル莫大ナ器材モ亦、特別ノ障害トナル。而シテ艦隊ガ多クノ地點ヲ占有シ、且ツ最初ノ兵團ガ上陸シタ後ニ、他ノ兵團ガ之レニ續行スルニ至ツテ、始メテ彼我ノ形勢ニ變化ヲ與ヘルノデアアルガ、夫レ迄ニハ多クノ時日ヲ費ヤシ、其間ニ他ノ場所デ決戦ガ行ハレルコトニナル。此レ等ノ理由カラ通常敵ノ海岸ヘノ上陸ヲ實行スル爲メニ、野戰軍ノ兵力ヲ割クノ害ハ、之レニ依ツテ得ベキ利益ヲ償フニ足ラヌノデアアル。

海外ノ企圖ニ關シ、千八百七十年ノ獨逸ノ作戰計畫ニ述ベアル左ノ如キ判斷ハ、世界大戰ノ當初ニ

モ、又將來ニモ依然トシテ之レヲ是認スベキモノデアラウ。

「既ニ北獨逸ノ兵力ダケデモ、敵ヨリモ優勢デアアルガ、此ノ優勢ヲ何所マデモ維持スルコトノ正當ナルハ、言フヲ俟タヌ。若シ佛國ガ北海ノ海岸ニ陸兵ヲ送ルナラバ、右ノ優勢ハ決勝點ニ於テ、益々優勢トナルデアラウ、而シテ敵ノ上陸兵ヲ防衛スルニハ、國內ノ兵力デ十分デアアル」

特ニ有利ノ條件ガ備ハレバ、問題ハ變ツテ來ル。若シ世界大戰ノ際、丁抹ガ聯合軍側ニ加擔シタナラバ、相當ノ兵力ヲ上陸セシムベキ足場ガ得ラレ、此ノ兵力ヲ以テ丁抹ノ軍隊ト共ニ、獨逸ニ侵入スルコトガ出來、又一般ノ場合ニハ不足ヲ感ズベキ騎兵モ、丁抹ノ騎兵ヲ以テ之ヲ補ヒ得デアラウ。然シ此ノ場合ニハ、上陸企圖ノ性質ハ、無クナリ、唯ダ敵ノ兵力ノ一部ガ、艦隊ノ援助ノ下ニ分離シタ開進ヲ爲スニ止マルデアラウ。

戰爭ガ長ク繼續スル中ニハ、上陸ノ企圖ヲ必要トスル狀況ガ必ズ起ルデアラウ。敵國ノ力ガ殆ンド盡キテ、其國防機關ガ亂レ、國民ノ戰意ガ挫折シタ場合ニハ、此ノ種ノ企圖ノ成功スル見込ハ、總テガ不確實ナ戰爭ノ初期ヨリモ、遙カニ増大スルデアラウ。獨逸ノフィンランドノ上陸及バルチック諸島ノ占領ノ企圖ノ如キモ、千九百十四年ノ八、九月頃ニハ、成功ガムヅカシカツタデアラウガ、戰爭ノ末期ニハ遙カニ有利ナ狀況トナツテ居タノデアアル。

總テ上陸ノ企圖ノ爲メニハ、最初ニ若干廣イ正面デ上陸スルノガ、利益デアラウ。斯クスレバ一ケ

所ノ攻撃ノミデ、之ヲ行フモノヨリモ、一層多クノ運動ノ自由ヲ、最初カラ得ラレルノデアアル。

而シテ海岸ニ近キ島嶼ハ、兵力ヲ安全ニ纏メルノニ利用サレル。現ニ英佛軍ノダーダネル海峡ニ對スル企圖ノ際ハ、テノドス、イムブロス及レムノスノ諸島ヲ根據地トシタ。然シ之レガ爲メニ攻撃ノ準備ガ、土耳其軍ノ知ル所トナリ、獨逸ノ援助ノ下ニ、防衛ヲ準備スルノ時日ヲ得タ。上陸ノ成功後深ク内地ニ進入シ得ルカ否カハ、敵軍ノ全般ノ狀況ニ依ルコトハ、前ニモ述ベタ通りデアアル。

開戦直後ニ行フ上陸企圖ハ、單ニ敵國ヲ不安ニ陥ラセ、且ツ動員ヲ妨グル目的ヲ以テ、之ヲ行フノデアアルガ、眞面目ノ攻撃ヲ目的トスルモノデハナイ。國境ヨリ遠ク離レテ居ルト思ツテ居ル敵ガ、突然船ニ乗ツテ海岸ニ現ハレタナラバ、一般ノ民衆ニハ相當ノ印象ヲ與ヘルニ相違ナイ。然シ敵ノ此ノ如キ企圖ハ、人口ノ稠密デ、軍事上ノ組織ガ整フタ國ニ對シテ行ハル、場合ニハ、其實際上ノ危険ハ少ナク、寧ロ恐怖不安ヲ起サセルニ過ギナイ。唯ダ上陸後直チニ重要ナ無防禦ノ目的地ニ達シ得ル場所デハ、多大ノ憂慮ヲ感ズル。丁抹ニ於ケルコーペーハーゲン、和蘭ニ於ケルアムステルダム、白耳義ニ於ケルアントウエルペンノ如キハ、即チ之レニ屬スル。此ノ如キ都市ニハ、敵ノ奇襲ニ對スル防備ヲ施スベキデアアル。倫敦ノ攻撃ニハ、單純ナ海ヲ越エテノ企圖ノ力ノ及ブ所デハナク、且ツ豫メ執拗ナル海戦ヲ行フ必要ガアルガ、英國ハ嘗ツテ防備ヲ施シタ大ナル陣地ヲ設ケル計畫ヲ立テタ。最後ニ千九百十七年十月ニ獨逸軍ガ行ヘルバルチック諸島ノ占領ニ就テ、一瞥ヲ試ミヨウ。

之レニ依ツテ海外ノ企圖ノ成功ニ要スル諸條件ヲモ、知ルコトガ出來ル。

其當時獨逸ノ東方戦線ノ左翼ガ、リガヲ占領シタガ、後方ノ鐵道ノ輸送力ガ不十分ナ爲メニ、其補給ニ困難ヲ感ジタカラ、海路ヲモ利用スルノ必要ヲ生ジタ、加之獨逸軍ハ、側面ニ海ヲ控ヘテ居ルノデ夫レガ敵ノ勢力下ニアル間ハ、我が側面ハ常ニ脅威ヲ感ズルノデアアル。

ソコデ獨逸ノ統帥部ハ、リガ灣ノ制海權ヲ獲得スル決心ヲ取ツタ。夫レニハ其前面ニ在ルエーゼル、モーン及ダゲノ諸島ヲ、占領スルル必要ガアツタ。露國ノ軍隊ガ此ノ諸島ヲ占領シ、且ツ若干海岸重砲ヲ以テ、リガ灣ノ各出入口ヲ抑ヘテ居リ、尙ホ一艦隊ヲ以テ之レガ警備ニ任ゼシメ、且ツ廣ク水雷ヲモ布設シアアルコトガ分ツテ居タ。

元來敵ガ抵抗手段トシテ使用スベキ推定兵力ヲ基トシテ、我が處置ヲ定ムベキモノデアアル。而シテ此ノ時ノ企圖ハ、海陸ノ兩目標ヲ征服スル必要ガアツタカラ、是非共陸海軍ノ協力ニ俟タナケレバナラナカッタ。

先ツ豫定ノ部隊ヲ輸送スルニ適シタ汽船ヲ、集メル必要ガアツタ。次デ其輸送中、敵ノ攻撃ニ對シテ警戒シ、海岸砲臺ヲ制壓シ、汽艇ノ砲ノ援護ノ下ニ、上陸ヲ實行スルヲ要シタ。使用スベキ海陸ノ兵力ハ、迅速且ツ徹底的ノ成功ヲ收メ得ル程度ニ定メタ。掃海ト空中偵察ノ準備ニハ、豫メ特別ノ注意ヲ拂ツタ。敵ノ不意ニ出ヅルコト(少ナクトモ主力ノ上陸ヲ企ツル所ニ就テ敵ノ判斷ヲ誤ラスコト)

ニ特ニ重キヲ置イタ。

此ノ企圖ノ出發點ニ選ンダリバウノ港ガ、バルチック諸島ニ近イコトガ、好都合デアツタ。之レガ爲メ長イ航海ニ必要ナ施設ヲモ行ハズニ濟シ、又運送船ノ收容力ヲモ十分ニ利用シ得タガ、夫レデサヘ二萬五千ノ人、八千五百ノ馬、四十ノ重砲及二千五百ノ車輛ヨリ成ル上陸兵團ヲ、一度ニ上船サセルコトハ出來ズ、十九隻ノ汽船ヲ以テ、全兵團ノ半數ヨリ少シ多ク收容シ得タニ過ギナカツタ。其外ニ尙ホ上陸援護隊トシテ、本上陸ノ開始以前ニ陸上ニ出スベキ部隊ト、副上陸ヲ行フベキ部隊トハ水雷艇其他ノ小汽艇ニ乗セタ。殘餘ハ第二次ノ輸送ヲ以テ送ルコトニナツタ。

海軍ハ装甲巡洋艦「モルトケ」(旗艦)ノ外、戰艦十隻、巡洋艦八隻、水雷艇五十四隻及潜水艇六隻ヲ使用シ、以テ豫想ノ戰鬪任務ニ應ズル如クシタ。水雷ノ除去ニハ母艦七隻、發動機艇約百隻ヲ當テ潜水艇防護ニハ水雷艇三隻及各種ノ船艇八十隻ヲ當テ、尙ホ若干ノ彈藥運送船、糧食運送船、電線布設線、病院船、封鎖用船、水雷防護網船、封鎖破壞船ヲモ伴ツタ。空中ノ兵力ハ飛行船七隻、飛行機約九十二、飛行機母艦一隻ヲ附シタ。

以上ノ數字ニ依ツテモ、獨立シテ前進シ得ル小部隊ヲ、敵ノ抵抗ヲ排シテ敵地ニ上陸セシムル場合ニハ、莫大ナル運送船ト、海上ノ兵力トヲ要スルコトガ分ル。

尙ホ此ノ種ノ企圖ニ際シテハ、野戰軍ノ司令部ト艦隊ノ司令官トガ、之レニ干與スル必要ガアル爲

メニ、一層ノ困難ヲ増スノデアアル。良ク命令系統ヲ明ラカニシテ、爲シ得ル限り錯誤軋轢ヲ豫防スベキデアアル。

周到ナ徹底的準備(軍隊ノ上陸演習ヲモ行ツタ)ト、適切ナル計畫及實施トニ依ツテ、此ノ企圖ガ完全ニ成功シタ。

飛行船、飛行機、小艦船及間諜ノ詳細ナル偵察ニ基キ、最モ有利ナル上陸點トシテ、エーゼル島西岸ノタツガ灣ヲ、又副上陸點トシテ、同島北岸ノバーメルオストヲ選定シタ。ソコデ第一ノ仕事ハ、上陸點マデ水雷ノ無イ安全ナ航路ヲ開設スルコトデアツタ。此ノ困難ナ作業ノ實行中ニ、上陸兵團ハリバウデ乗船シ、十月十一日ニ輸送船隊ガ艦隊ノ掩護ノ下ニ、同地ヲ出發シ、碇ヲ下シタ。火船ファイヤーシップヲ以テ標示セル安全ナ航路ヲ、通過シテ進ンダ。而シテ夜ノ内ニタツガ灣ニ到着スル如ク、時間ヲ計ツタ。先發隊(上陸掩護隊)ノ上陸中ニ、艦隊ノ一部ハ海岸ノ他ノ地點ニ砲撃ヲ開始シテ、敵ヲ欺クコトヲ努メタ。拂曉ニ至ツテタツガ灣ノ砲臺ヲ制壓シ、次デ特別ノ部隊ヲ出シテ、之レヲ占領シタ。ソコデ本部ノ運送船隊ヲ灣内ニ入レテ、上陸ヲ開始シタ。陸上デハ上陸掩護隊ヲ以テ、又兩側ハ二重ノ水雷防禦網ト、更ニ遠ク離レテ設ケタ監視線トヲ以テ、之レヲ警戒シタ。副上陸點タルバーメルオルトデハ、敵ノ抵抗ヲ受ケズニ上陸シ得タ。諸隊ハ上陸後ハ直チニ島ノ内部ニ向ツテ前進シ、十月十五日迄ニ全島ヲ占領シタ。次デ陸海軍ノ完全ナル協力ノ下ニ、モーン島及ダケ島ヲモ占領シ、之レト同